令和5年度決算に係る行政報告書

（主要な施策の成果を説明する書類）

令和6年8月

埼玉県加須市

この報告書は、地方自治法第233条及び加須市予算規則第29条に基づき、令和5年度決算に係る主要な施策の成果を説明する書類として作成したものである。

当該決算年度に、どういう予算に基づいて、何にどう取り組み、結果としてどんな事業実績や成果をあげることができたか等について、原則として職員人件費を除くすべての予算事業について、具体的な数値等で、より見やすく分かりやすくとりまとめた。

なお、成果を数値化できないもの等については、事業を行うに当たり、特に意を用いたことや改善したこと等を記載するように努めた。

また、ゼロ予算事業として、予算措置は伴わないものの職員の創意工夫や市民の皆さんとのパートナーシップなどにより市民サービスを向上させる事業についての実績・成果も同様にとりまとめた。

表記について

主な事業の実績・成果については、過去5年分の実績も合わせて表に掲載し、より分かりやすくデータ化した。

目　　次

Ⅰ　財政の状況（一般会計）

１　歳入 …… １
２　歳出 …… ２
３　収支 …… ５
４　市税 …… ６
５　地方債等（一般会計・全会計） …… ７
６　財政構造（普通会計） …… １１
７　地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられる社会保障４経費その他社会保障施策に要した経費 …… １２
８　森林環境譲与税の使途 …… １４

Ⅱ　一般会計の状況（主要な事業の実績・成果　予算科目別）

１款　議会費　１項　議会費 …… １７
２款　総務費　１項　総務管理費 …… ２２
２款　総務費　２項　徴税費 …… １３５
２款　総務費　３項　戸籍住民基本台帳費 …… １４２
２款　総務費　４項　選挙費 …… １４９
２款　総務費　５項　統計調査費 …… １５４
２款　総務費　６項　監査委員費 …… １５８
３款　民生費　１項　社会福祉費 …… １５９
３款　民生費　２項　児童福祉費 …… ２３３
３款　民生費　３項　生活保護費 …… ２８３
３款　民生費　４項　災害救助費 …… ２８７
４款　衛生費　１項　保健衛生費 …… ２８９
４款　衛生費　２項　清掃費 …… ３４６
４款　衛生費　３項　水道費 …… ３５６
５款　労働費　１項　労働諸費 …… ３５７
６款　農林水産業費　１項　農業費 …… ３６６
７款　商工費　１項　商工費 …… ４１２
８款　土木費　１項　土木管理費 …… ４３７
８款　土木費　２項　道路橋りょう費 …… ４４１
８款　土木費　３項　河川費 …… ４５６
８款　土木費　４項　都市計画費 …… ４５９
８款　土木費　５項　住宅費 …… ４７７
９款　消防費　１項　消防費 …… ４７９
１０款　教育費　１項　教育総務費 …… ５００
１０款　教育費　２項　小学校費 …… ５２２
１０款　教育費　３項　中学校費 …… ５３０
１０款　教育費　４項　幼稚園費 …… ５３８
１０款　教育費　５項　社会教育費 …… ５４１
１０款　教育費　６項　保健体育費 …… ５８０
１１款　公債費　１項　公債費 …… ６０４
１２款　予備費　１項　予備費 …… ６０５

Ⅲ　特別会計の状況

国民健康保険事業 …… ６０９
国民健康保険直営診療所 …… ６１７
後期高齢者医療 …… ６１８
介護保険事業 …… ６２１
農業集落排水事業 …… ６３３
野中土地区画整理事業 …… ６３５
河野博士育英事業 …… ６３７

Ⅳ　ゼロ予算事業の状況（実績・成果　部課順）

…… ６４１

Ⅴ　（巻末資料）新型コロナウイルス感染症及び物価高騰に係る対応の説明

ｉ　新型コロナウイルス感染症に係る対応に要した経費
……　６９９

ｉｉ　一般会計の状況
２款　総務費　１項　総務管理費　……　７０３
２款　総務費　４項　選挙費　……　７０４
３款　民生費　１項　社会福祉費　……　７０５
３款　民生費　２項　児童福祉費　……　７０７
４款　衛生費　１項　保健衛生費　……　７１３
４款　衛生費　３項　水道費　……　７１５
６款　農林水産業費　１項　農業費　……　７１６
７款　商工費　１項　商工費　……　７１７
１０款　教育費　１項　教育総務費　……　７１８
１０款　教育費　６項　保健体育費　……　７１９

ｉｉｉ　特別会計の状況
国民健康保険事業　……　７２３
後期高齢者医療　……　７２４
【参考】水道事業　……　７２５

Ⅰ　財政の状況（一般会計）

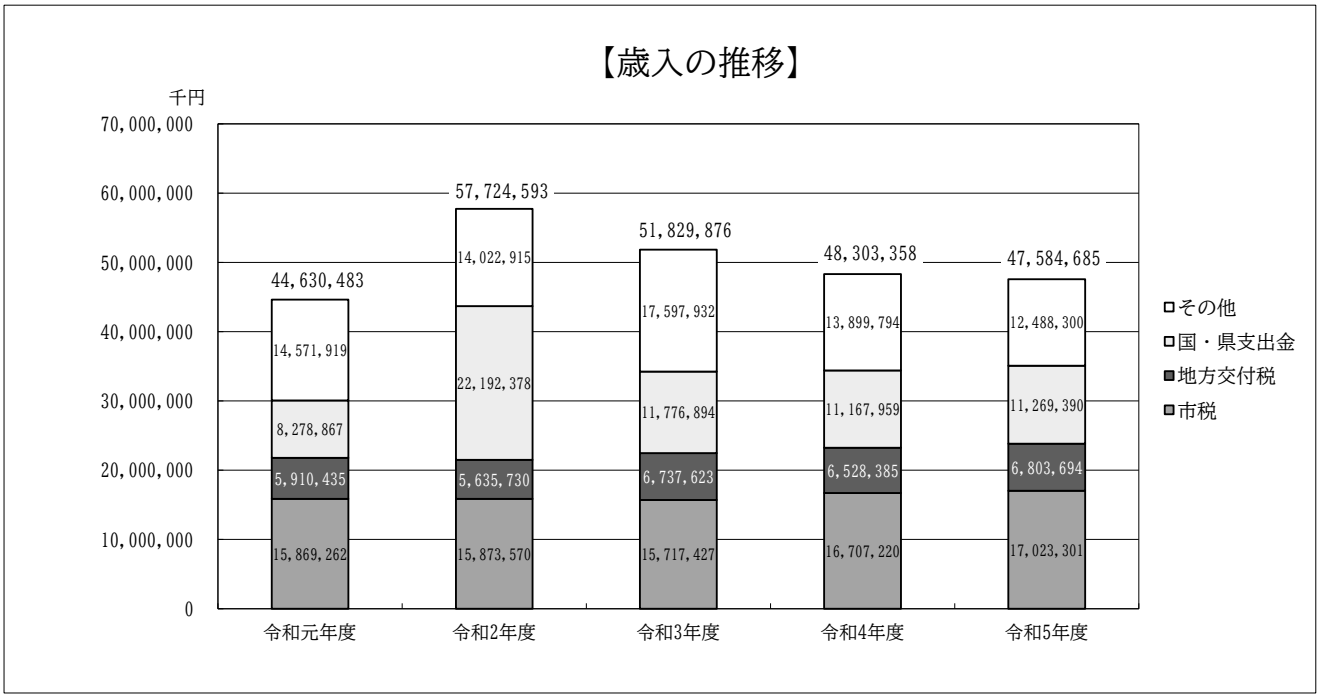
1　歳入

（単位：千円）

区分	令和5年度					令和4年度				
	決算額	構成比（%）	前年比 増減額（千円）	前年比 増減率（%）	人口一人当たり額（円）	決算額	構成比（%）	前年比 増減額（千円）	前年比 増減率（%）	人口一人当たり額（円）
市税	17,023,301	35.8	316,081	1.9	151,838	16,707,220	34.6	989,793	6.3	148,866
地方譲与税	534,591	1.1	6,617	1.3	4,768	527,974	1.1	▲ 4,665	▲ 0.9	4,704
利子割交付金	4,814	0.0	▲ 559	▲ 10.4	43	5,373	0.0	▲ 3,334	▲ 38.3	48
配当割交付金	87,979	0.2	10,591	13.7	785	77,388	0.2	▲ 7,967	▲ 9.3	690
株式等譲渡所得割交付金	102,326	0.2	42,075	69.8	913	60,251	0.1	▲ 41,030	▲ 40.5	537
法人事業税交付金	214,417	0.5	9,910	4.8	1,912	204,507	0.4	33,868	19.8	1,822
地方消費税交付金	2,633,053	5.5	▲ 26,340	▲ 1.0	23,485	2,659,393	5.5	106,256	4.2	23,696
環境性能割交付金	104,436	0.2	11,849	12.8	932	92,587	0.2	21,367	30.0	825
地方特例交付金	167,901	0.4	14,378	9.4	1,498	153,523	0.3	▲ 148,978	▲ 49.2	1,368
地方交付税	6,803,694	14.3	275,309	4.2	60,685	6,528,385	13.5	▲ 209,238	▲ 3.1	58,170
（普通）	6,011,085	12.6	260,651	4.5	53,615	5,750,434	11.9	▲ 225,289	▲ 3.8	51,238
（特別）	792,135	1.7	15,114	1.9	7,065	777,021	1.6	16,841	2.2	6,923
交通安全対策特別交付金	15,458	0.0	▲ 1,183	▲ 7.1	138	16,641	0.0	▲ 1,739	▲ 9.5	148
分担金及び負担金	278,896	0.6	49,758	21.7	2,488	229,138	0.5	12,569	5.8	2,042
使用料及び手数料	412,312	0.9	▲ 63,901	▲ 13.4	3,678	476,213	1.0	12,791	2.8	4,243
国庫支出金	8,258,323	17.4	▲ 137,677	▲ 1.6	73,659	8,396,000	17.4	▲ 782,846	▲ 8.5	74,811
県支出金	3,011,067	6.3	239,108	8.6	26,857	2,771,959	5.7	173,911	6.7	24,699
財産収入	88,694	0.2	33,792	61.5	791	54,902	0.1	▲ 60,783	▲ 52.5	489
寄附金	304,618	0.6	189,761	165.2	2,717	114,857	0.2	85,440	290.4	1,023
繰入金	556,838	1.2	▲ 10,039	▲ 1.8	4,967	566,877	1.2	▲ 3,919,155	▲ 87.4	5,051
繰越金	5,732,461	12.0	▲ 654,960	▲ 10.3	51,130	6,387,421	13.2	892,632	16.2	56,914
諸収入	998,505	2.2	▲ 83,879	▲ 7.7	8,906	1,082,384	2.3	69,731	6.9	9,644
市債	251,001	0.5	▲ 939,365	▲ 78.9	2,239	1,190,366	2.5	▲ 745,141	▲ 38.5	10,606
合計	47,584,685	100.0	▲ 718,673	▲ 1.5	424,427	48,303,358	100.0	▲ 3,526,518	▲ 6.8	430,396

住民基本台帳人口　　令和6年3月31日　112,115人　　令和5年3月31日　112,230人

※　単位未満を四捨五入しているため、合計額等が整合しない場合がある。



2　歳出

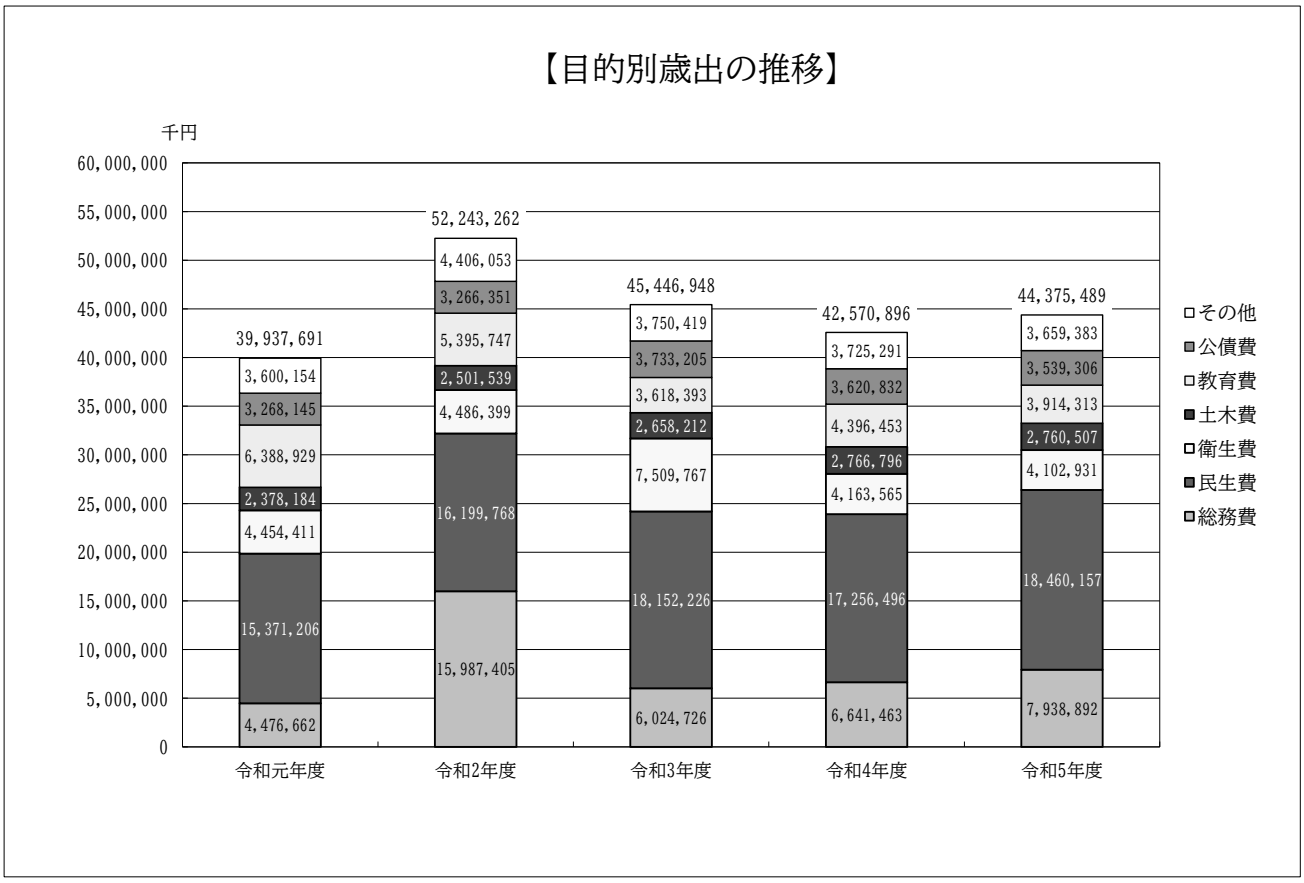
(1) 目的別歳出内訳

（単位：千円）

区　分	令和5年度					令和4年度				
	決算額	構成比(%)	前年比 増減額(千円)	前年比 増減率(%)	人口一人当たり額(円)	決算額	構成比(%)	前年比 増減額(千円)	前年比 増減率(%)	人口一人当たり額(円)
議会費	279,228	0.6	▲ 11,683	▲ 4.0	2,491	290,911	0.7	▲ 423	▲ 0.1	2,592
総務費	7,938,892	17.9	1,297,429	21.5	70,810	6,641,463	15.6	616,737	10.2	59,177
民生費	18,460,157	41.6	1,203,661	6.6	164,654	17,256,496	40.5	▲ 895,730	▲ 4.9	153,760
衛生費	4,102,931	9.2	▲ 60,634	▲ 0.8	36,596	4,163,565	9.8	▲ 3,346,202	▲ 44.6	37,099
労働費	82,276	0.2	1,059	1.3	734	81,217	0.2	32	0.0	724
農林水産業費	1,389,578	3.1	52,201	3.6	12,394	1,337,377	3.1	▲ 113,308	▲ 7.8	11,916
商工費	220,725	0.5	▲ 242,754	▲ 69.8	1,969	463,479	1.1	115,682	33.3	4,130
土木費	2,760,507	6.2	▲ 6,289	▲ 0.2	24,622	2,766,796	6.5	108,584	4.1	24,653
消防費	1,687,575	3.9	135,267	8.6	15,052	1,552,308	3.7	▲ 27,110	▲ 1.7	13,831
教育費	3,914,313	8.8	▲ 482,140	▲ 13.3	34,913	4,396,453	10.3	778,060	21.5	39,174
公債費	3,539,306	8.0	▲ 81,526	▲ 2.2	31,569	3,620,832	8.5	▲ 112,373	▲ 3.0	32,263
諸支出金					0					0
合計	44,375,489	100.0	1,804,593	4.2	395,803	42,570,896	100.0	▲ 2,876,052	▲ 6.3	379,318

住民基本台帳人口　　令和6年3月31日 112,115人　　令和5年3月31日 112,230人

※　単位未満を四捨五入しているため、合計額等が整合しない場合がある。



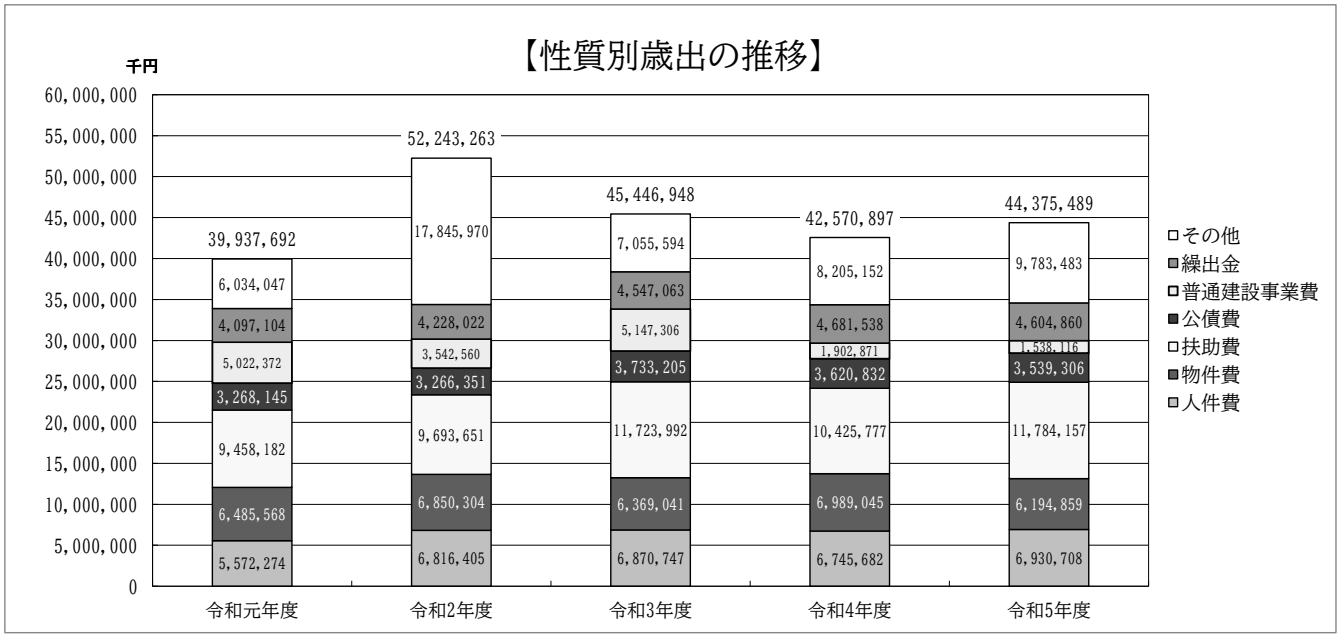
(2) 性質別歳出内訳

（単位：千円）

区　　分	令和5年度						令和4年度		
	決算額	構成比（%）	前年比 増減額（千円）	前年比 増減率（%）	人口一人当たり額（円）	一般財源等	決算額	構成比（%）	人口一人当たり額（円）
人件費	6,930,708	15.6	185,026	2.7	61,818	6,276,653	6,745,682	15.8	60,106
任期の定めのない常勤職員	3,901,754	8.8	90,053	2.4	34,801	3,541,671	3,811,701	9.0	33,963
再任用職員	112,659	0.3	19,670	21.2	1,005	112,659	92,989	0.2	829
会計年度任用職員(フルタイム)	160,296	0.4	1,557	1.0	1,430	160,296	158,739	0.4	1,414
会計年度任用職員(パートタイム)	1,000,996	2.3	27,825	2.9	8,928	746,935	973,171	2.3	8,671
物件費	6,194,859	14.0	▲ 794,186	▲ 11.4	55,255	4,879,704	6,989,045	16.4	62,274
維持補修費	1,402,986	3.2	2,431	0.2	12,514	802,977	1,400,555	3.3	12,479
扶助費	11,784,157	26.6	1,358,380	13.0	105,108	4,500,465	10,425,777	24.5	92,897
補助費等	4,836,763	10.9	320,530	7.1	43,141	4,300,494	4,516,233	10.6	40,241
公債費	3,539,306	8.0	▲ 81,526	▲ 2.3	31,569	3,503,908	3,620,832	8.5	32,263
積立金	3,533,921	8.0	1,268,108	56.0	31,521	3,217,454	2,265,813	5.3	20,189
投資及び出資金	0				0	0			0
貸付金	9,813	0.0	▲ 12,738	▲ 56.5	88	0	22,551	0.1	201
繰出金	4,604,860	10.4	▲ 76,678	▲ 1.6	41,073	3,851,612	4,681,538	11.0	41,714
普通建設事業費	1,538,116	3.5	▲ 364,755	▲ 19.2	13,719	723,901	1,902,871	4.5	16,955
補助事業	526,038	1.2	37,747	7.7	4,692	100,264	488,291	1.1	4,351
単独事業	988,754	2.2	▲ 409,420	▲ 29.3	8,819	621,213	1,398,174	3.3	12,458
その他	23,324	0.1	6,918	42.2	208	2,424	16,406	0.0	146
災害復旧事業費	0				0	0			0
合　　計	44,375,489	100.0	1,804,593	4.2	395,803	32,057,168	42,570,896	100.0	379,318

住民基本台帳人口　令和6年3月31日　112,115人　令和5年3月31日　112,230人

※　単位未満を四捨五入しているため、合計額等が整合しない場合がある。



（3）節別歳出内訳

（単位：千円）

区　　分	令和5年度					令和4年度				
	決算額	構成比（%）	前年比		人口一人当たり額（円）	決算額	構成比（%）	前年比		人口一人当たり額（円）
			増減額（千円）	増減率（%）				増減額（千円）	増減率（%）	
1 報酬	1,189,012	2.7	23,400	2.0	10,605	1,165,612	2.7	▲ 35,813	▲ 3.0	10,386
2 給料	2,734,822	6.2	28,048	1.0	24,393	2,706,774	6.4	21,012	0.8	24,118
3 職員手当等	1,724,905	3.9	51,898	3.1	15,385	1,673,007	3.9	▲ 69,018	▲ 4.0	14,907
4 共済費	1,039,983	2.3	32,659	3.2	9,276	1,007,324	2.4	6,366	0.6	8,976
5 災害補償費	794	0.0	769	3,076.0	7	25	0.0	▲ 16	▲ 39.0	0
6 恩給及び退職年金					0					0
7 報償費	251,612	0.6	108,762	76.1	2,244	142,850	0.3	50,210	54.2	1,273
8 旅費	51,045	0.1	4,621	10.0	455	46,424	0.1	1,523	3.4	414
9 交際費	1,421	0.0	556	64.3	13	865	0.0	403	87.2	8
10 需用費	2,204,439	5.0	29,301	1.3	19,662	2,175,138	5.1	289,454	15.4	19,381
11 役務費	333,686	0.8	12,495	3.9	2,976	321,191	0.8	21,659	7.2	2,862
12 委託料	6,325,957	14.3	▲ 266,732	▲ 4.0	56,424	6,592,689	15.5	204,415	3.2	58,743
13 使用料及び賃借料	439,414	1.0	40,729	10.2	3,919	398,685	0.9	▲ 19,994	▲ 4.8	3,552
14 工事請負費	1,379,260	3.1	▲ 804,036	▲ 36.8	12,302	2,183,296	5.1	653,261	42.7	19,454
15 原材料費	14,700	0.0	2,639	21.9	131	12,061	0.0	▲ 754	▲ 5.9	107
16 公有財産購入費	41,382	0.1	40,933	9,116.5	369	449	0.0	▲ 2,433	▲ 84.4	4
17 備品購入費	160,870	0.4	▲ 66,540	▲ 29.3	1,435	227,410	0.5	258	0.1	2,026
18 負担金、補助及び交付金	5,696,523	12.8	214,378	3.9	50,810	5,482,145	12.9	▲ 3,409,381	▲ 38.3	48,847
19 扶助費	9,814,057	22.1	1,146,056	13.2	87,536	8,668,001	20.4	▲ 1,345,537	▲ 13.4	77,234
20 貸付金	9,813	0.0	▲ 12,738	▲ 56.5	88	22,551	0.1	▲ 10,782	▲ 32.3	201
21 補償補填及び賠償金	23,233	0.1	17,858	332.2	207	5,375	0.0	▲ 28,398	▲ 84.1	48
22 償還金利子及び割引料	4,032,994	9.1	41,398	1.0	35,972	3,991,596	9.4	61,703	1.6	35,566
23 投資及び出資金					0					0
24 積立金	3,533,921	8.0	1,268,108	56.0	31,521	2,265,813	5.3	635,015	38.9	20,189
25 寄附金					0					0
26 公課費	2,482	0.0	496	25.0	22	1,986	0.0	▲ 657	▲ 24.9	18
27 繰出金	3,369,164	7.6	▲ 110,465	▲ 3.2	30,051	3,479,629	8.2	101,451	3.0	31,004
合　　計	44,375,489	100.0	1,804,593	4.2	395,803	42,570,896	100.0	▲ 2,876,052	▲ 6.3	379,318

住民基本台帳人口　　令和6年3月31日　112,115人　　令和5年3月31日　112,230人

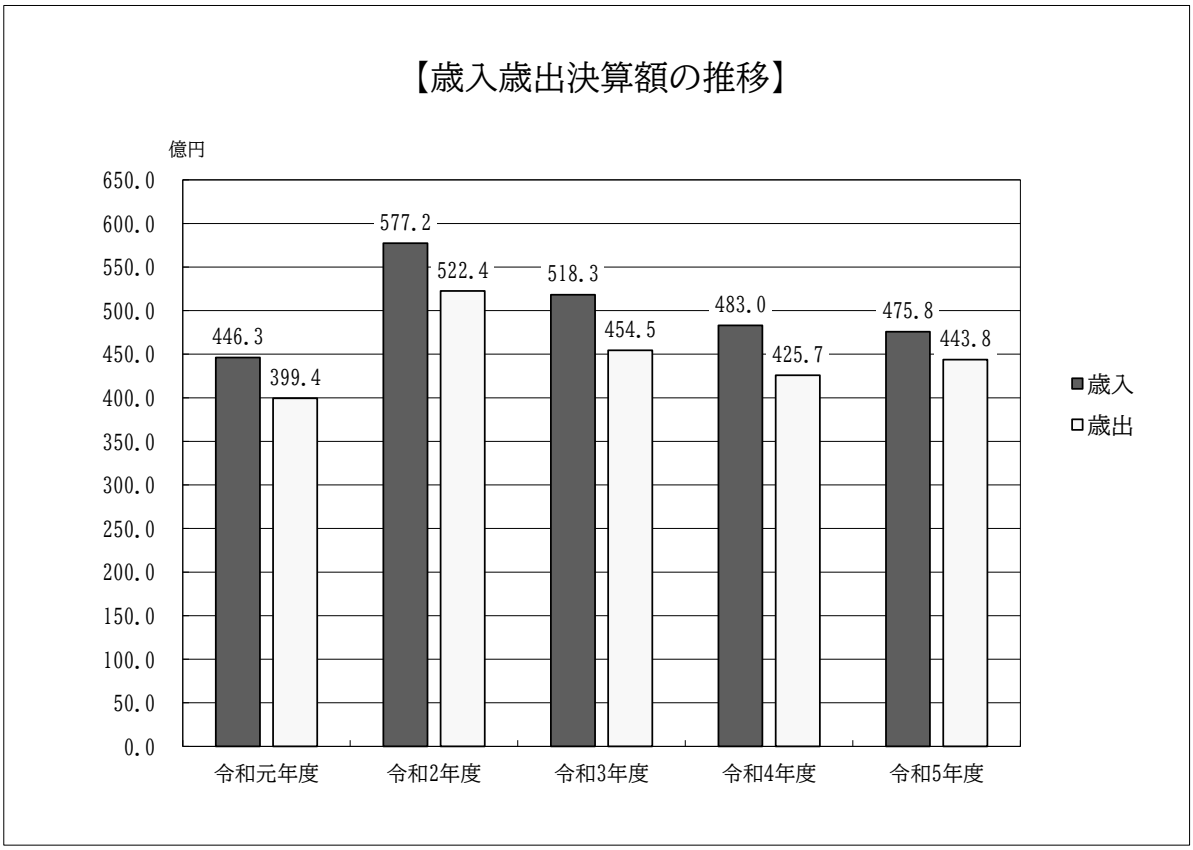
※　単位未満を四捨五入しているため、合計額等が整合しない場合がある。

3　収支

（単位：千円）

	令和5年度	前年比（%）	令和4年度	前年比（%）
A　歳入総額	47,584,685	▲ 1.5	48,303,358	▲ 6.8
B　歳出総額	44,375,489	4.2	42,570,896	▲ 6.3
C　形式収支（A-B）	3,209,196	▲ 44.0	5,732,461	▲ 10.2
D　実質収支	2,287,567	▲ 54.8	5,062,549	▲ 0.5
E　実質収支比率	8.7%	▲ 55.7	19.6%	0.9
F　単年度収支	▲ 2,774,982	▲ 9,966.3	▲ 27,567	▲ 106.9
G　実質的黒字要素の額（財政調整基金積立等）	2,368,872	267,871.9	884	▲ 99.6
H　実質的赤字要素の額（財政調整基金取崩等）				▲ 100.0
I　実質単年度収支（F+G-H）	▲ 406,110	▲ 1,422.0	▲ 26,683	▲ 104.4

※　端数整理の結果、形式収支と実質収支が整合しない場合がある。
※　実質収支比率は、実質収支を標準財政規模（臨時財政対策債発行可能額を含む。）で除したもの。



4　市税

（単位：千円）

区分 / 税目別	調定済額 現年課税分 A	調定済額 滞納繰越分 B	調定済額 合計 C	収入済額 現年課税分 D	収入済額 滞納繰越分 E	収入済額 合計 F	構成比 %	収入済額Fの対前年度増減率 %
普通税 1 法定普通税	16,430,584	300,965	16,749,716	16,311,880	136,371	16,466,418	96.7	1.9
(1)市民税	6,855,228	137,883	6,993,111	6,801,802	52,016	6,853,818	40.3	1.7
個人均等割	208,459	4,702	213,161	206,634	1,820	208,454	1.2	0.8
所得割	5,636,515	127,128	5,763,643	5,587,194	49,193	5,636,387	33.1	2.0
法人均等割	342,377	2,051	344,428	339,749	338	340,087	2.0	1.6
法人税割	667,877	4,002	671,879	668,225	665	668,890	3.9	▲0.1
(2)固定資産税	8,362,569	151,850	8,514,419	8,301,831	80,772	8,382,603	49.2	2.1
純固定資産税	8,287,944	151,850	8,439,794	8,227,206	80,772	8,307,978	48.8	2.1
土地	2,298,727	42,117	2,340,844	2,281,880	22,403	2,304,283	13.5	1.3
家屋	4,283,093	78,474	4,361,567	4,251,705	41,742	4,293,447	25.2	4.6
償却資産	1,706,124	31,259	1,737,383	1,693,621	16,627	1,710,248	10.0	▲ 2.7
交付金・納付金	74,625		74,625	74,625		74,625	0.4	▲ 1.3
(3)軽自動車税			407,721			395,532	2.3	3.6
環境性能割			18,167			18,167	0.1	▲ 3.7
種別割	378,322	11,232	389,554	373,782	3,583	377,365	2.2	3.9
(4)市たばこ税	834,465		834,465	834,465		834,465	4.9	0.3
(5)特別土地保有税								
目的税 1 都市計画税	555,540	10,179	565,719	551,469	5,414	556,883	3.3	2.9
(1)土地	243,834	4,468	248,302	242,047	2,376	244,423	1.4	1.0
(2)家屋	311,706	5,711	317,417	309,422	3,038	312,460	1.8	4.3
合計	16,986,124	311,144	17,315,435	16,863,349	141,785	17,023,301	100.0	1.9
国民健康保険税	2,213,701	328,110	2,541,811	2,094,575	101,778	2,196,353	100.0	▲ 1.6

※　単位未満を四捨五入しているため、合計額等が整合しない場合がある。

区分 / 税目別	徴収率（%） D／A ×100	前年度	E／B ×100	F／C ×100
普通税 1 法定普通税	99.3	99.2	45.3	98.3
(1)市民税	99.2	99.2	37.7	98.0
個人均等割	99.1	99.1	38.7	97.8
所得割	99.1	99.1	38.7	97.8
法人均等割	99.2	99.4	16.5	98.7
法人税割	100.1	100.0	16.6	99.6
(2)固定資産税	99.3	99.1	53.2	98.5
純固定資産税	99.3	99.1	53.2	98.4
土地	99.3	99.1	53.2	98.4
家屋	99.3	99.1	53.2	98.4
償却資産	99.3	99.1	53.2	98.4
交付金・納付金	100.0	100.0		100.0
(3)軽自動車税				97.0
(4)市たばこ税	100.0	100.0		100.0
(5)特別土地保有税				
目的税 1 都市計画税	99.3	99.1	53.2	98.4
(1)土地	99.3	99.1	53.2	98.4
(2)家屋	99.3	99.1	53.2	98.4
合計	99.3	99.2	45.6	98.3
国民健康保険税	94.6	94.3	31.0	86.4

【都市計画事業費等及び財源内訳（都市計画税等）】

（単位：千円）

区分			令和5年度（決算額）
都市計画事業費等	街路		
	公園		
	下水道		2,052,493
	その他		
	市街地開発事業		80,442
	都市計画事業　計	A	2,132,935
	土地区画整理事業	B	
	地方債償還額	C	1,105,226
	合計（A+B+C）	D	3,238,161
Dの財源内訳	地方債	E	633,100
	支出金	F	90,101
	負担金その他	G	562,903
	都市計画税収入額	H	556,883
	一般財源等 D－（E+F+G+H）	I	1,395,174
	合計		3,238,161
充当割合	$\frac{H}{H+I}$ ×100	J	28.5%

5　地方債等（一般会計・全会計）

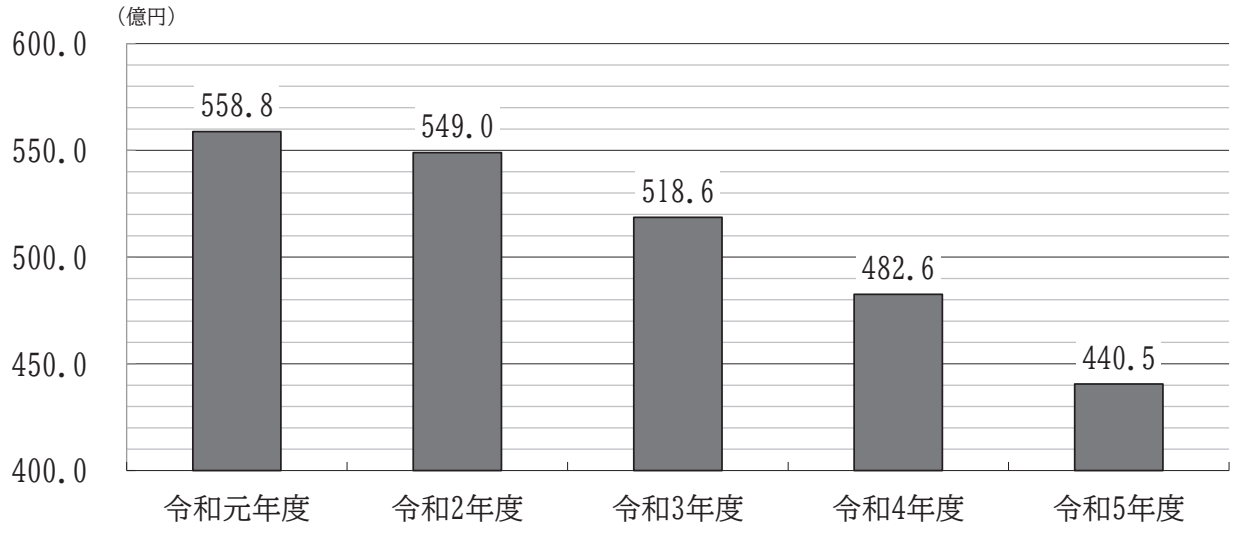
(1) 会計別現在高

（単位：千円）

区分	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般会計	25,458,265	28,685,124	31,045,196	32,750,333	32,703,694
野中土地区画整理事業特別会計	45,801	76,316	121,056	165,202	218,763
栗橋駅西（大利根地区）土地区画整理事業特別会計				8,888	18,908
普通会計	25,504,066	28,761,440	31,166,252	32,924,423	32,941,365
国民健康保険直営診療所特別会計					
農業集落排水事業特別会計	2,755,941	3,063,919	3,360,338	3,670,433	3,974,517
野中土地区画整理事業特別会計					
水道事業会計	7,373,408	7,673,802	8,004,768	8,313,879	8,315,417
下水道事業会計	8,302,827	8,611,955	9,120,694	9,717,423	10,394,193
公営事業会計	18,432,176	19,349,676	20,485,800	21,701,735	22,684,127
埼玉東部消防組合	117,288	149,751	208,926	270,400	257,300
一部事務組合	117,288	149,751	208,926	270,400	257,300
合計	44,053,530	48,260,867	51,860,978	54,896,558	55,882,792
増減額	▲ 4,207,337	▲ 3,600,111	▲ 3,035,580	▲ 986,234	143,289

※　単位未満を四捨五入しているため、合計額等が整合しない場合がある。
※　一部事務組合は、借入ごとの構成市町の負担割合に基づく加須市負担分である。

【全ての地方債等現在高の推移】



（2）借入先別・利率別現在高（一般会計）

		政府資金				地方公共団体金融機構
		財政融資資金	郵便貯金・簡易生命保険管理機構		小計	
			（旧郵貯資金）	（旧簡保資金）		
令和4年度現在高 A		11,506,500		168,875	11,675,375	10,547,593
令和5年度発行額 B		116,101			116,101	3,600
令和5年度元金償還額 C		1,477,346		67,753	1,545,099	926,996
差引現在高 A＋B－C		10,145,255		101,122	10,246,377	9,624,197
差引現在高の利率別内訳	0.5% 以下	8,741,440		57,494	8,798,934	8,738,937
	1.0% 以下	933,990			933,990	762,466
	1.5% 以下	8,872			8,872	
	2.0% 以下	433,906		43,628	477,534	118,721
	2.5% 以下	19,435			19,435	3,258
	3.0% 以下	1,470			1,470	815
	3.5% 以下	603			603	
	4.0% 以下					
	4.5% 以下	3,934			3,934	
	5.0% 以下	1,605			1,605	
	5.5% 以下					
	6.0% 以下					
	6.5% 以下					
	7.0% 以下					
	7.0% 超					
証書借入分		10,145,255		101,122	10,246,377	9,624,197
証券発行分						
割合（％）		39.8		0.4	40.2	37.8

※　単位未満を四捨五入しているため、合計額等が整合しない場合がある。

（単位：千円）

市中銀行等	国の予算貸付・政府関係機関貸付	共済等	埼玉県	合　　計	割合（%）
5,043,865	25,480	566,901	825,910	28,685,124	
131,300				251,001	
831,846	4,247	71,277	98,395	3,477,860	
4,343,319	21,233	495,624	727,515	25,458,265	
4,337,289	21,233	320,000	727,515	22,943,908	90.1
		172,282		1,868,738	7.4
		3,342		12,214	0.0
6,030				602,285	2.4
				22,693	0.1
				2,285	0.0
				603	0.0
				3,934	0.0
				1,605	0.0
4,343,319	21,233	495,624	727,515	25,458,265	100.0
17.1	0.1	1.9	2.9	100.0	

（3）目的別現在高（一般会計）

（単位：千円）

区　　分	令和4年度 現在高 A	令和5年度 発行額 B	令和５年度元利償還額			差引現在高 A＋B－C	割合 %
			元金 C	利　子	計		
総　務　債	1,324,609	0	183,991	2,262	186,253	1,140,618	4.5
民　生　債	232,007	0	59,279	270	59,549	172,728	0.7
衛　生　債	1,137,005	0	141,261	3,713	144,975	995,744	3.9
農林水産業債	293,970	30,800	46,688	424	47,112	278,082	1.1
土　木　債	236,807	51,400	34,166	1,653	35,820	254,041	1.0
消　防　債	309,233	3,600	222,008	1,333	223,341	90,824	0.4
教　育　債	5,543,530	49,100	866,812	18,060	884,872	4,725,818	18.6
減税補てん債	100,087	0	42,593	129	42,722	57,494	0.2
減収補てん債	92,504	0	11,563	3	11,566	80,941	0.3
臨時財政対策債	19,415,373	116,101	1,869,498	33,599	1,903,097	17,661,975	69.4
合　　計	28,685,124	251,001	3,477,860	61,446	3,539,306	25,458,265	100.0

※　単位未満を四捨五入しているため、合計額等が整合しない場合がある。

6　財政構造（普通会計）

（単位：千円）

区　　分	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
1 形式収支 （前年度比（％））	3,222,712 （ ▲ 43.8）	5,732,749 （ ▲ 10.3）	6,387,709 （ 16.1）	5,499,566 （ 16.8）	4,710,003 （ 12.4）
2 実質収支 （前年度比（％））	2,283,083 （ ▲ 54.9）	5,063,108 （ 0.1）	5,060,230 （ 9.0）	4,644,224 （ 18.2）	3,927,970 （ 23.9）
3 実質収支比率（％）	8.7	19.6	19.3	18.4	16.1
4 単年度収支	▲ 2,780,025	2,878	416,006	716,254	757,440
5 実質単年度収支	▲ 411,153	3,762	624,842	716,650	894,938
6 財政力指数	0.721	0.729	0.737	0.756	0.754
7 経常収支比率（％）	94.6 （減収補てん債（特例分）、臨時財政対策債を除いた場合 95.0%）	91.3 （減収補てん債（特例分）、臨時財政対策債を除いた場合 93.2%）	87.9 （減収補てん債（特例分）、臨時財政対策債を除いた場合 93.3%）	91.8 （減収補てん債（特例分）、臨時財政対策債を除いた場合 97.4%）	89.3 （減収補てん債（特例分）、臨時財政対策債を除いた場合 94.0%）
8 実質公債費比率（％）	5.6	5.1	4.5	4.4	4.8
9 一般財源比率（％）	74.3	72.0	65.6	56.7	67.2
10 義務的経費比率（％）	50.2	48.9	49.1	37.9	45.8

※ （　）内は、前年度比増減割合。

※ 普通会計とは、総務省の定める会計区分のひとつで、一般会計・特別会計で経理する事業の範囲が自治体ごとに異なっているため、統一的な基準で整理して比較できるようにした統計上の会計区分。
当市の普通会計は、次の会計を合算したもの。
・一般会計　・住宅新築資金等貸付事業特別会計　・野中土地区画整理事業特別会計（一部）
・栗橋駅西（大利根地区）土地区画整理事業特別会計　・河野博士育英事業特別会計

※ 住宅新築資金等貸付事業特別会計は令和2年度末をもって廃止。

※ 栗橋駅西（大利根地区）土地区画整理事業特別会計は令和3年度末をもって廃止。

※ 実質収支比率は、実質収支を標準財政規模（臨時財政対策債発行可能額を含む）で除したもの。

7　地方消費税交付金（社会保障財源化分）が充てられる社会保障４経費その他社会保障施策に要する経費

（歳入）
　地方消費税交付金（社会保障財源化分）　1,403,884 千円
（歳出）
　社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費　15,373,991 千円

【社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費】　（単位：千円）

	事業名	経費	財源内訳 特定財源 国県支出金	市債	その他	一般財源	うち地方消費税交付金（社会保障財源化分）
社会福祉	戦没者遺族支援事業	520				520	101
	更生保護活動支援事業	1,180				1,180	230
	民生委員・児童委員活動推進事業	27,097	16,753			10,344	2,015
	生活困窮者自立相談支援事業	6,158	4,619			1,539	300
	生活困窮者住居確保給付事業	2,364	1,773			591	115
	生活困窮者学習支援事業	5,998	2,999			2,999	584
	中国残留邦人等支援事業	5,011	391			4,620	900
	障害（児）者生活サポート事業	19,446	2,000			17,446	3,398
	心身障害者生活ホーム事業	900	450			450	88
	重度心身障害者医療費支給事業	194,935	90,987			103,948	20,245
	在宅障害者おむつ支給事業	4,141				4,141	806
	特別障害者手当等支給事業	56,415	42,311			14,104	2,747
	在宅重度心身障害者手当支給事業	50,647	24,617			26,030	5,070
	重度視覚障害者介助手当支給事業	972				972	189
	在宅重症心身障がい児の家族に対するレスパイトケア事業	890	445			445	87
	身体障がい者等はり・きゅう・マッサージ券給付事業	54				54	11
	障害者福祉団体支援事業	415				415	81
	重度身体障害者居宅改善整備事業	240				240	47
	障がい者訪問サービス事業	246,637	184,978			61,659	12,008
	障がい者日中活動サービス事業	1,435,691	1,081,027			354,664	69,073
	障がい者居住サービス事業	750,368	562,776			187,592	36,535
	障がい者相談管理事業	27,162	20,371			6,791	1,323
	補装具費支給事業	19,602	14,524			5,078	989
	自立支援医療費支給事業	124,010	93,008			31,002	6,038
	障がい児発達支援事業	567,588	425,691			141,897	27,635
	障がい者成年後見制度利用支援事業	244	147			97	19
	訪問入浴サービス事業	4,000	2,399			1,601	312
	日中一時支援事業	94	56			38	7
	地域活動支援センター事業	8,309			3,634	4,675	910
	移動支援事業	19,872	11,919			7,953	1,549
	障害（児）者日常生活用具給付等事業	22,030	13,211			8,819	1,718
	障害者相談支援事業	23,776				23,776	4,631
	障害者就労支援事業	4,836				4,836	942
	障害者スポーツ交流事業	67				67	13
	障害者コミュニケーション支援事業	3,230	1,079			2,151	419
	社会参加促進事業	7,627				7,627	1,485
	外国人高齢者福祉手当支給事業	120				120	23
	老人クラブ支援事業	5,522	1,168			4,354	848
	ねたきり老人等居宅介護者慰労金支給事業	11,090				11,090	2,160
	家族介護用品支給事業	2,636				2,636	513
	緊急通報システム整備事業	2,411				2,411	470
	配食サービス事業	16,919				16,919	3,295
	生活管理指導短期入所事業	444				444	86
	養護老人ホーム入所事業	56,296			13,397	42,899	8,355
	敬老祝金支給事業	39,977				39,977	7,786
	敬老会助成事業	8,394				8,394	1,635
	介護サービス利用者負担助成事業	33,066				33,066	6,440
	子育て短期預かり事業	160	88			72	14
	訪問支援ホームスタート事業	1,098				1,098	214
	産後支援事業	1,549	525		23	1,001	195
	子育て支援医療費支給事業	390,667	49,422		1,962	339,283	66,078
	未熟児養育医療給付事業	5,553	1,756			3,797	739
	遺児手当事業	2,589				2,589	504
	多子世帯学童保育料軽減事業	5,076				5,076	989
	子育てのための施設等利用費支給事業	61,477	31,946			29,531	5,751
	教育・保育に係る教材費等補助事業	2,356	408			1,948	379
	子育て支援センター事業	37,103	24,706			12,397	2,414

【社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費】　（単位：千円）

事業名		経費	財源内訳 特定財源 国県支出金	市債	その他	一般財源	うち地方消費税交付金（社会保障財源化分）
社会福祉	子育て支援ネットワーク事業	114				114	22
	民間児童館助成事業	3,309				3,309	644
	母子家庭等自立支援事業	9,391	7,043			2,348	457
	ひとり親家庭等医療費事業	52,876	24,116			28,760	5,601
	民間保育所運営委託事業	1,676,558	1,051,304		115,844	509,410	99,211
	民間認定こども園・幼稚園等給付費支給事業	504,961	311,298			193,663	37,717
	低年齢児保育事業	67,850	33,925			33,925	6,607
	長時間保育事業	30,468	20,310			10,158	1,978
	病後児保育事業	9,559	6,370			3,189	621
	夜間保育所事業	44,405	27,452			16,953	3,302
	民間保育所障害児保育事業	4,810	1,960			2,850	555
	一時保育事業	20,796	13,864			6,932	1,350
	避難者支援民間保育所等運営委託事業	1,455	899			556	108
	民間保育所助成事業	32,879	10,113			22,766	4,434
	保育団体助成事業	232				232	45
	民間放課後児童健全育成事業	245,797	164,734			81,063	15,788
	児童手当支給事業	1,477,160	1,248,031			229,129	44,624
	児童扶養手当支給事業	348,794	113,511			235,283	45,823
	避難者支援児童扶養手当支給事業	1,849	616			1,233	240
	公立保育所管理運営事業	848				848	165
	あすなろ園管理運営事業	960				960	187
	民間保育所等施設整備助成事業	169,095	112,592			56,503	11,004
	生活保護事業	1,900,541	1,447,399			453,142	88,252
	被災者支援事業	1,710				1,710	333
	小計	10,933,446	7,304,087		134,860	3,494,499	680,576
社会保険	国民健康保険組合支援事業	576				576	112
	国民健康保険事業特別会計繰出事業	964,762	364,888			599,874	116,829
	後期高齢者医療広域連合負担事業	1,064,632				1,064,632	207,344
	後期高齢者医療特別会計繰出事業	302,945	213,986			88,959	17,326
	介護保険事業特別会計繰出事業	1,509,658	71,007		356	1,438,295	280,117
	小計	3,842,573	649,881		356	3,192,336	621,728
保健衛生	骨髄移植ドナー推進事業	420	210			210	41
	食生活改善推進事業	510				510	99
	地域医療ネットワーク（とねっと）事業	4,574				4,574	891
	初期・２次・３次救急医療支援事業	119,724	16,144		45,779	57,801	11,257
	休日小児科診療事業	1,415			1,036	379	74
	特別休日歯科診療事業	175				175	34
	小児科医による救急講座・子育て相談事業	30				30	6
	不妊治療事業	3,992	353			3,639	709
	避難者支援妊婦保健事業	24				24	5
	妊婦応援事業	3,265	1,625			1,640	319
	こんにちは赤ちゃん事業	2,752	1,834			918	179
	母子保健推進員訪問活動事業	39				39	8
	乳幼児健診事業	13,465				13,465	2,622
	親子歯科保健推進事業	886				886	172
	育児健康相談事業	419				419	82
	幼児発達支援事業	2,840				2,840	553
	親と子の食育事業	66				66	13
	がん検診事業	136,604	299		1,283	135,022	26,296
	骨粗しょう症予防事業	1,626	469			1,157	225
	健康相談事業	63	23			40	8
	生活習慣病予防事業	252	12			240	47
	成人歯科保健推進事業	2,091	512		967	612	119
	こころの健康づくり事業	824	413			411	80
	新型コロナウイルス感染症予防対策事業	10				10	2
	高齢者予防接種事業	83,016				83,016	16,168
	予防接種事業	218,205	5,439			212,766	41,438
	避難者支援予防接種事業	685				685	133
	小計	597,972	27,333		49,065	521,574	101,580
合計		15,373,991	7,981,301		184,281	7,208,409	1,403,884

※上記経費は、令和5年度決算に基づく集計である。
※事務費や事務職員の人件費等は除外している。
※地方消費税交付金（社会保障財源化分）は、各事業に要する一般財源の比率に応じて充当している。

8　森林環境譲与税の使途

（歳入）
　森林環境譲与税　12,398 千円

（歳出）
　木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進等に要する経費（森林環境譲与税充当分）　12,398 千円

【森林環境譲与税の使途】

（単位：千円）

事業区分	事業名	経費	財源内訳				
			特定財源			一般財源	うち森林環境譲与税
			国県支出金	市債	その他		
木材利用の促進	道路維持管理事業	4,114	0	0	0	4,114	4,088
	公園整備事業	1,947	0	0	0	1,947	1,947
	小学校管理運営事業	1,266	0	0	0	1,266	1,266
	中学校管理運営事業	2,199	0	0	0	2,199	2,199
普及啓発	屋敷林等保全事業	901	0	0	0	901	901
	「浮野の里」自然環境保全事業	1,997	0	0	0	1,997	1,997
合計		12,424	0	0	0	12,424	12,398

Ⅱ　一般会計の状況

（主要な事業の実績・成果　予算科目別）

事業名	議会運営事業				5131-10
担当課	議会事務局			現　年	前年度からの繰越
款	01	議会費	当初予算額	29,775,000円	―
項	01	議会費	最終予算額	29,775,000円	―
目	01	議会費	決　算　額	23,975,406円	―
事業の目的	加須市議会基本条例に基づき、市民と行政との協働を推進するため、議決機関としての議会運営を適切に補助し、議会運営の充実を図る。				
事業の概要	・事務局機能を発揮し、円滑かつ効率的な議会運営に努めるとともに、会議録（本会議・常任委員会・特別委員会）の公開により、さらに開かれた議会を推進する。 ・住民自治を原則にした請願・陳情等を受理し、議会に諮る。 ・タブレット端末を導入し、活用する。 ・議会改革を推進する。				

事業の実績・成果

二元代表制に基づく議決機関として、団体意思の決定機能及び執行機関への監視機能を担う議会の補助を行い、本会議、常任委員会、議会運営委員会を円滑に運営した。

また、議会のペーパーレス化を図るため、令和4年第4回定例会からタブレット端末を試験的に導入し、令和5年第2回定例会から、本格稼働した。

1　会議の開催状況

（1）本会議

区　分	会期日数（日）	本会議日数（日）	市長提出議案（件）	諮問（件）	請願（件）	陳情（件）	議員提出議案（件）	議員提出修正案（件）	傍聴者（人）
合　計	99	30	104	1	7	2	3	0	290

※市民に開かれた市議会を目指し、質疑及び一般質問の通告書をホームページで事前公表した。

（2）常任委員会

区　分	開催日数（日）	条例（件）	予算（件）	決算（件）	請願（件）	陳情（件）	傍聴者（人）
総務常任委員会	5	2	4	0	1	1	14
民生教育常任委員会	3	2	5	5	4	0	1
産業建設常任委員会	4	1	3	4	2	1	2
予算決算常任委員会	10	0	1	1	－	－	2
合　計	22	5	13	10	7	2	19

（3）その他の委員会

区　分	構成人員（人）	内　容	開催日数（日）
議会運営委員会	7	議会運営等について	15

２　会議録、ホームページの作成

議会に対する市民の理解と信頼を深めるため、会議録を作成し、市ホームページ上での公開を行い、より開かれた議会を推進した。また、市議会ホームページを更新し、積極的な情報発信を行い、より開かれた議会の推進に努めた。

（１）加須市議会会議録の作成

会 議 録 名	作成部数（部）	内　　訳	支出額（円）
定例会会議録	60	15部×4回	4,186,660
臨時会会議録	15	15部×1回	187,671
常任委員会会議録 （総務・民生教育・産業建設）	56	14部×4回	1,147,853
予算決算常任委員会会議録	28	14部×2回	1,699,420
合　　計	159		7,221,604

（２）市ホームページにおける議会のホームページへのアクセス件数　（単位：件）

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
件数	127,699	50,917	60,401	60,207	84,191

３　政務活動費の交付

議員の政策立案能力の向上及び調査研究並びに議会の活性化に資するため必要な経費の一部として、１人当たり月額12,000円の政務活動費を会派に交付し、議員の能力の向上や議会の活性化を図った。

また、収支報告書及び領収書をホームページで公表し、適正な運用と透明性の向上に努めた。

（単位：円）

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
交付額	3,408,000	3,972,000	3,888,000	3,888,000	3,468,000
決算額	3,120,333	2,332,694	2,443,551	3,093,554	2,861,381

４　行政視察

各委員会が所管する施策の先進事例について研究し、議員各自の政策形成能力の向上が図られた。また、新たな視点での施策を市政に提案するなど、視察研修の成果を具体的に活かす取組を行った。

さらに、令和５年度分の行政視察報告書（委員会及び会派分）をホームページで公表し、透明性の向上に努めた。

委員会名	実施日	視察内容・視察先
総務 常任委員会	10月17日（火） ～19日（木）	諫早市食育推進事業（食育推進計画）について（長崎県諫早市） 長崎スタジアムシティ整備事業について（長崎県長崎市）
民生教育 常任委員会	10月24日（火） ～26日（木）	富山市まちなか総合ケアセンターについて（富山県富山市） 子どもの権利支援センター「ほっとスマイル」について（富山県射水市）
産業建設 常任委員会	11月06日（月） ～08日（水）	流域治水（治水対策・田んぼダム）等について（愛媛県大洲市） 令和２年度及び令和４年度に実施された「自動運転の実証実験」について（高知県四万十市）

５　議長交際費

「加須市議会議長交際費支出及び公開に関する基準」に基づいた交際費の支出及びホームページでの公開により、適正な支出と透明性の確保に努めた。　（単位：円）

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
予算額	800,000	800,000	720,000	720,000	680,000
決算額	293,700	148,750	72,300	149,550	320,100

６　本会議インターネット中継の運用（インターネット中継システム使用料）

市民に開かれた議会の実施に向け、本会議におけるインターネット中継（ライブ中継及び録画中継）を行った。

（単位：円）

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
予算額	605,000	1,879,000	1,879,000	1,923,000	1,936,000
決算額	594,000	1,775,400	1,711,600	1,691,800	1,694,000

事業名	議会広聴広報事業			5131-11
担当課	議会事務局		現　年	前年度からの繰越
款 01	議会費	当初予算額	4,183,000円	―
項 01	議会費	最終予算額	4,183,000円	―
目 01	議会費	決　算　額	3,539,516円	―

事業の目的	加須市議会基本条例に基づき、市民に信頼される開かれた議会、より身近な議会を推進するため、積極的に議会情報を発信するとともに、市民との意見交換会等を通じた広聴活動を行う。
事業の概要	市議会だよりを年4回（39,200部）定例会後に発行する。 また、市議会ホームページの内容を充実するとともに、新着情報を随時更新して周知を図る。 さらに、市議会モニター制度、市民や平成国際大学生との意見交換会の開催といった広聴活動を展開する。

事業の実績・成果

開かれた議会、親しみやすい議会を目指し、かぞ市議会だよりを自治会を通じて配布するとともに、ホームページに掲載し、市議会の審議や活動状況を広く、分かりやすく市民に周知した。

また、X（旧Twitter）による情報発信や市議会議員と市議会モニターとの意見交換会の開催など、広聴活動に取り組んだ。

1　かぞ市議会だよりの発行

発行日	市議会だより名	発行部数（部）	支出額（円）
6月1日	かぞ市議会だより第56号	39,200	799,444
7月1日	かぞ市議会だより第57号	39,200	294,940
9月1日	かぞ市議会だより第58号	39,200	799,444
12月1日	かぞ市議会だより第59号	39,200	799,444
3月1日	かぞ市議会だより第60号	39,200	799,444
合　計		196,000	3,492,716

2　加須市議会議員と加須市議会モニターとの意見交換会の参加者数

		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
開　催　数		2回		2回		2回		2回		2回	
参加者数（人）		47		60		49		37		50	
内訳	回	第1	第2	第1	第2	第1	第2	第1	第2	第1	第2
	市議会モニター	6	8	7	6	5	10	9	7	6	5
	市議会議員	10	10	10	6	7	9	9	9	8	9
	傍聴議員	3	10	12	8	5	12	9	6	8	14

3　加須市議会議員と平成国際大学学生との意見交換会の参加者数

例年、加須市議会議員と平成国際大学学生との意見交換会を開催しているが、令和2年度～4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため中止とした。

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
開　催　数		1回	―回	―回	―回	1回
参加者数（人）		55	―	―	―	66
内訳	平成国際大学学生	28	―	―	―	36
	教員	3	―	―	―	5
	市議会議員	24	―	―	―	25

事 業 名		議員年金対策給付費負担事業			5131-12
担 当 課		議会事務局		現　年	前年度からの繰越
款	01	議会費	当初予算額	39,147,000 円	―
項	01	議会費	最終予算額	37,711,000 円	―
目	01	議会費	決　算　額	37,710,400 円	―
事業の目的		平成 23 年 5 月末で地方議会議員年金制度が廃止されたことから、適正に議員年金を支給するために必要な負担金を市議会議員共済会へ支払う。			
事業の概要		これまでの議員年金は、議員共済会の積立金、共済給付費負担金、共済掛金、特別掛金により支給されていたが、地方議会議員年金制度廃止後の給付に要する費用は、地方議員共済会が保有する残金の積立金を除き、加須市が負担する。			

事業の実績・成果

地方議会議員年金制度の廃止に伴い、経過措置としての給付に要する費用の財源を各地方公共団体が公費で負担するため、総務省及び市議会議員共済会から示された給付費を負担した。

1．負担金　（単位：円）

内　　容	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年
事務負担金	364,000	364,000	364,000	364,000	364,000
市議会議員共済会給付費負担金	47,113,920	45,198,720	41,368,320	39,644,640	37,346,400
合　　計	47,477,920	45,562,720	41,732,320	40,008,640	37,710,400

2．年金受給者数等

内　　容		令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年
年金受給者数（人）		89	86	83	80	75
内訳	退職年金	47	45	43	45	39
	遺族年金	39	38	37	38	36
退職年金平均受給額（年額）（円）		868,169	881,531	873,513	853,929	851,117

事 業 名		市役所業務短期補助事業			3112-03
担 当 課		職員課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	8,682,000 円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	6,268,378 円	―
目	01	一般管理費	決　算　額	209,728 円	―
事業の目的		会計年度任用職員として任用し市政に参画してもらうとともに、市職員の時間外勤務の抑制及び健康増進に資する。			
事業の概要		会計年度任用職員を業務繁忙等により人員を必要としている部署に配置する。			

事業の実績・成果

会計年度任用職員を業務繁忙等により人員を必要としている部署に配置した。

【配置実績】

No.	配置部署	配置人数	配置理由
1	子育て支援課	2 人	令和 5 年 7 月からの子育て支援医療費の対象年齢拡大に伴う業務

事 業 名		秘書事務事業			5121-02
担 当 課		秘書課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	6,740,000 円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	6,411,000 円	―
目	01	一般管理費	決　算　額	5,049,521 円	―
事業の目的		市長及び副市長の公務を適切に執行する。			
事業の概要		市長及び副市長のスケジュール管理、市長交際費の適正管理を行う。			

事業の実績・成果

○市長交際費

「加須市市長交際費の支出及び公開に関する基準」に基づいた交際費の支出及びホームページでの公開により、適正な支出と透明性の確保に努めた。

【市長交際費の推移】　（単位：円）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
予算額	2,000,000	2,000,000	1,800,000	1,800,000	1,700,000
決算額	1,351,540	287,650	289,450	592,200	958,680

○祝電

叙勲褒章の受章者等に対し、祝電を送った。

【祝電の推移】　（単位：人）

令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
38	33	52	40	60

事業名	市の花コスモス普及事業			5133-07
担当課	総務課		現　年	前年度からの繰越
款 02	総務費	当初予算額	1,290,000円	―
項 01	総務管理費	最終予算額	1,290,000円	―
目 01	一般管理費	決　算　額	1,178,218円	―

事業の目的	・市の花「コスモス」が市民生活と結びつき、加須市の象徴として市民に末永く愛され、親しまれる花として市内全域の普及に努め、併せて市民と行政との協働によるまちづくりの推進を図る。
事業の概要	・市民と協働による市の花の栽培等を推進する。 ・市の花の市内における見どころを関係課等と連携して整備、紹介する。 ・市の花が加須市のＰＲに有効に活用できるものとして、各公共施設等での栽培、外部へ情報を発信する際の封筒や資料への掲載を積極的に行う。

事業の実績・成果

1　全自治協力団体及び公共施設にコスモスの種の配布希望を調査し、希望のあった自治協力団体及び公共施設にコスモスの種を配布した。また、令和5年度の新規取組として、本庁舎総合案内及び各総合支所地域振興課窓口等で、小袋に入れたコスモスの種を配置し、来庁者に配布した。その結果、市内各所及び多くの公共施設でコスモスが咲き、街並みに彩りを加え、市民に親しんでいただくことができた。

年　　度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
自治協力団体	配布団体数	20	17	13	14	15
	栽培面積(㎡)	11,322	6,970	7,660	7,720	9,130
公共施設	配布施設数	37	39	44	49	51
	栽培面積(㎡)	2,796	2,663	3,015	2,441	2,698
庁舎内配布	栽培面積(㎡)	－	－	－	－	2,970

2　加須未来館周辺の休耕田等にコスモス等の栽培を実施し、加須未来館への集客の向上及び大越地区の生産調整の推進を図ることができた。【農業振興課】
〔受託者〕加須市グリーン・ツーリズム振興組合
〔事業面積〕9,097㎡

事業名	市民の日記念・顕彰事業			5133-09
担当課	総務課		現　年	前年度からの繰越
款 02	総務費	当初予算額	1,415,000円	―
項 01	総務管理費	最終予算額	1,238,000円	―
目 01	一般管理費	決　算　額	781,566円	―
事業の目的	・「加須市民の日」(3月23日）を記念する事業を展開し、市民の郷土意識を高めるとともに、更なる市民の一体感の醸成を図る。また、市民顕彰を適時行い、市民と行政との協働によるまちづくりを推進する。			
事業の概要	・市の取り組みとして、市民の日記念式典や公共施設の無料化等を行い、また、市民の取り組みとして、民間協賛事業の展開等を行うなど、市と市民が共に市民の日にちなんだ事業を展開する。 ・名誉市民、一般表彰、感謝状の贈呈を行う。			

事業の実績・成果

1　加須市民の日記念事業

「加須市民の日を定める条例」の趣旨を踏まえ、市民の郷土意識を高めるとともに、更なる市民の一体感の醸成を図るため、市民の日（3月23日）を中心として、市民とともに取り組んだ。

（1）市の取組

3月23日を中心とする9日間（3月16日～24日）に次の事業を展開し、市民の郷土意識を高めた。

ア　「令和5年度加須市民の日記念式典」の開催

各課において様々な分野で功績等のあった市民及び団体への表彰や、文化庁文化財調査官による騎西城（私市城）跡からの出土品に関する「十六間筋兜」講演会を開催した。

イ　イベントの実施

市民の日特別給食メニューの提供（小中学校及び幼稚園・保育所)、「私の323」の募集・紹介、郷土史料展示室（騎西城）特別公開など7事業を実施した。

ウ　有料公共施設等の無料化を実施

市内シャトルバス、運動公園、体育館、グリーンファームなどの16施設等で実施した。

（2）市民の取組（市民の日協賛事業）

「加須市民の日協賛事業募集要項」に基づき、市民団体等から市民の日にちなんだ自発的な取組を募り、実施した。

記念セール・割引など17事業を実施していただき、2,720名が利用した。

2　市民顕彰事業

市政の進展及び市民福祉の増進に貢献し、功労のあった個人又は団体に対し、感謝状等を贈呈することにより、活力あるまちづくりへの推進及び市政への参画と協働に対する市民意識の醸成が図られた。

市政の進展・市民福祉の増進に功労のあった個人・団体に感謝状を贈呈した。(257件)

防災防犯、自治協力団体、環境衛生、社会福祉等の活動…　加須市感謝状贈呈に関する要綱

事業名	自治体間交流事業				5134-01
担当課	総務課			現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	540,000円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	540,000円	―
目	01	一般管理費	決　算　額	315,720円	―
事業の目的	・県内外の自治体との間で、教育・文化・スポーツなど交流活動を行うことにより、相互の理解と友好親善を深め、地域社会の発展と振興を図ることを目的とする。				
事業の概要	・防災協定関係等にある自治体や、県内外の自治体との間で、教育・文化・スポーツなどの交流活動を行うことにより、相互の理解と友好親善を深め、地域社会の発展と振興を図る。 ・姉妹都市等との住民交流を促進するため、該当する事業に対して補助金を交付する。				

事業の実績・成果

1　姉妹都市・友好都市交流事業補助金

姉妹都市（栃木県さくら市）・友好都市（福島県双葉町）と住民交流の推進を図るため、1団体当たり補助対象人数30人（訪問事業：1,500円／人、歓迎事業：1,000円／人）を限度として、親善及び交流を目的とする事業に補助金を交付する。令和5年度は、2団体がさくら市との訪問事業を実施し、1団体が双葉町との訪問事業を実施し、住民レベルでの友好親善が図られた。

・訪問事業（最大45,000円／団体）〔交付〕3団体（88,500円、補助対象人数：59名）
・歓迎事業（最大30,000円／団体）〔交付〕0団体

2　姉妹都市、友好都市との主な交流

(1) 栃木県さくら市

令和6年 2月8日	さくら市の名産品・名所等を見る、食べる、体験する「姉妹都市“ほっこり”訪問ツアー」を開催した。
令和6年 3月3日	さくら市との協働により、加須市の食（グルメ）を活用した「姉妹都市婚活グルメツアー」を開催した。

(2) 福島県双葉町

令和5年 9月22日	双葉町立双葉南・北小学校の5・6年生が、修学旅行の帰りに、種足小学校に立ち寄り、交流を行った。
令和6年 3月18日	双葉町立双葉南・北小学校の5・6年生とオンライン発表会を開催し、種足小学校の5年生が、総合的な学習の時間で、種足地域の農業の現状と課題について調べたことと、課題解決に向けて取り組んだことを発表した。

事業名	国際交流推進事業				5135-01
担当課		総務課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	1,507,000円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	1,507,000円	―
目	01	一般管理費	決　算　額	775,300円	―
事業の目的	・国籍や民族・性別など、互いの差異を認め合い、対等な関係を築き、違いについて理解を深める。				
事業の概要	・海外日本語教師のホームステイ先を斡旋する「ワンナイトステイ事業」や、国際交流を行う市内団体への支援を行う。 ・外国人住民が地域社会の一員として共に暮らしていくために必要な支援等を行う。				

事業の実績・成果

1　ワンナイトステイ事業

国際交流基金日本語国際センター及び埼玉県国際交流協会において実施する海外日本語教師のホームステイについて、市内の受入家庭を登録し、ホームステイ受入の斡旋をすることで、身近な国際交流を促進した。

年　　度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
登録家庭数	9	5	5	3	3
受入人数	4	0（※1）	1（※2）	3（うち1件はオンライン交流会）	6

（※1）新型コロナウイルス感染症予防のため、斡旋団体の事業が中止
（※2）オンラインにて交流会を開催

2　市内在住外国人向け多言語表記配布物等

(1) 市で作成・配布（延べ84資料）

・主な市の配布物等

市ホームページ（11か国）、広報かぞ（9か国）、こいのぼり手ぬぐい同封チラシ（1か国）、加須市紹介リーフレット（1か国）、市民プラザかぞ施設案内（1か国）、総合案内表示等（1か国）、人権啓発リーフレット（9か国）、ごみの分け方・出し方（10か国）、地域別ごみカレンダー（4か国）、災害時における避難場所に配布するコミュニケーション支援ボード（4か国）、ハザードマップ（6か国）、子育てガイドブック（9か国）、集団胃がん検診後の注意事項（1か国）、図書館コミュニケーション支援ボード（1か国）、給食だより（9か国）

(2) 関係機関が作成したものを市で配布（延べ93資料）

・主な配布物等

外国語人権相談ダイヤル・人権相談所案内リーフレット（10か国）、DV相談窓口多言語チラシ（10か国）、かぞにほんごの会「にほんご教室」案内（8か国）、交通安全教育テキスト（8カ国）、日本年金機構ホームページ・国民年金制度の仕組み（14か国）、NPO法人ブックスタート作成・多言語ブックスタート紹介シート（11か国）

3　多言語情報配信ツールの活用

外国人定住者に対して、暮らしやすい環境の整備を図るため、インターネット上でPDFファイルを10言語で閲覧できる多言語情報配信ツール（カタログポケット）を令和4年度に導入し、活用している。

【対応言語】英語、韓国語、中国語（簡体字・繁体字）、タイ語、ポルトガル語、スペイン語、インドネシア語、ベトナム語、日本語の10言語

【令和5年度配信情報】広報かぞ、ごみの分け方・出し方、給食だより、子育てガイドブック、人権啓発リーフレット

事業名	入札契約管理事業				5311-23
担当課	管理契約課			現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	1,596,000円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	3,312,000円	―
目	01	一般管理費	決　算　額	3,235,345円	―
事業の目的	適正な公共調達の実施のため、地域性に応じ、透明性、競争性、公正性を確保した入札・契約事務の執行を図る。				
事業の概要	・「公共調達改革に関する加須市の取組基本方針」に基づく適正な公共調達の実施 ・適正な公共工事の施工を確保するための業者選定業務の実施 ・電子入札システムの活用による透明性を確保した円滑で効率的な入札契約業務を執行				

事業の実績・成果

市が執行する建設工事等、物品購入等及び公共施設飲料自販機設置の競争入札について、次のとおり実施した。

1　建設工事の入札状況

(1) 一般競争入札

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
成立件数（件）	9	13	20	14	29
金　　額（円）	309,963,500	452,771,000	599,102,900	498,850,000	2,111,021,000
平均落札率（%）	95.83	95.16	95.98	96.25	96.68

※　令和5年度の不成立・低入札価格調査は、共になし。

(2) 指名競争入札

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
成立件数（件）	137	135	176	147	136
金　　額（円）	1,988,906,936	2,166,906,300	2,320,726,829	2,004,940,921	1,269,012,990
平均落札率（%）	95.67	95.91	96.48	95.96	96.32

（注）単価契約については、限度価格ではなく単価を契約金額として加算

※ 令和5年度の不成立は、なし。低入札価格調査は5件発生したが、調査結果を踏まえ全件契約締結

2　建設工事に係る業務委託（土木施設維持管理・設計・調査・測量）の入札状況

指名競争入札

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
成立件数（件）	96	101	99	118	112
金　　額（円）	370,556,982	450,844,750	462,518,951	516,439,054	513,403,652
平均落札率（%）	94.14	94.61	94.32	94.27	95.37

（注）単価契約については、限度価格ではなく単価を契約金額として加算

※ 令和5年度の不成立は、なし。

3　物品購入等入札状況

指名競争入札

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
成立件数（件）	152	134	144	142	120
金　　額（円）	4,105,428,276	600,101,433	1,659,326,516	4,177,150,178	935,873,937
平均落札率（%）	82.03	81.88	84.56	83.45	85.21

（注）単価契約については、落札金額（単価）に予定数量を掛けた総額で換算

※ 令和５年度は、16 件が不成立となった。そのうち、６件は再度入札により契約を締結し、10 件は随意契約により契約締結

4　公共施設飲料自動販売機設置の入札状況

一般競争入札件数 19 件中 12 件成立した。落札金額は計 4,773,100 円、平均落札率は 152.19%となった。不成立となった７件のうち再度入札により１件、随意契約により１件契約を締結し、５件は未設置となった。

事業名		総務管理事業			5311-27
担当課		総務課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	5,216,000円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	5,393,000円	―
目	01	一般管理費	決　算　額	5,142,582円	―
事業の目的		・適正な事務執行に努めることで、総務一般事業の円滑な遂行をする。			
事業の概要		・市民総合賠償保険加入、消耗品の購入等について、財政事情を勘案しながら予算の執行を行う。 ・行政境界事務、自衛隊受託事務等について、効率的・効果的な事務の執行を推進する。 ・県外避難者支援、平和事業、栄典事務について、必要に応じた適切な事務事業を行う。			

事業の実績・成果

1　市民総合賠償補償保険

市が所有、使用、管理する施設の瑕疵や市の業務遂行上の過失に起因する事故の損害賠償金及び市が主催・共催し、市民が参加する行事等で入院・通院を伴う傷害を被った場合の補償金を補てんする保険として、市民総合賠償補償保険に引き続き加入し、万一の事故等の発生に備えた。

保険適用案件：0件

2　自衛官募集事務

自衛隊に対する理解と協力を推進するため、自衛隊家族会等と協力して自衛官を募集した。

(1)自衛官募集案内を広報かぞへ掲載（4月、7月、8月、10月、11月、12月、2月号）計7回

(2)自衛官募集啓発品（使い捨てカイロ）を配布（3月）

3　東日本大震災による県外避難者支援

(1) 広報紙、関連情報紙を希望する県外避難者宅へ郵送（1回／月）

(2) 郵送によるアンケートの実施

令和5年5月に実施した第24回及び令和5年12月に実施した第25回については、アンケートを郵送し、返送してもらう方法で実施することにより、避難者の健康状態等の確認、必要な支援を把握し、市が対応できる案件については各所管課で対応した。（対応例：買い物に困っているということで、おたすけ支援サービス等を案内した）

(3) 加須市被災者支援会議の開催

アンケート結果を踏まえて、令和5年7月に第19回、令和6年2月に第20回加須市被災者支援会議を開催し、避難者住民に係る特例事務への対応状況等の確認や、市の支援状況等について情報を共有した。

(4) 令和5年度東日本大震災犠牲者追悼行事の開催支援

令和6年3月11日に双葉町埼玉自治会主催による「東日本大震災犠牲者追悼行事」が旧騎西高等学校モニュメント前にて開催された。なお、会場使用に係る調整を埼玉県及び埼玉県サッカー協会と行い、支援した。

日　時：令和6年3月11日（月）　午後2時20分～
会　場：旧県立騎西高等学校（SFAフットボールセンター「彩の国KAZOヴィレッジ」）
主　催：双葉町埼玉自治会
内　容：東日本大震災で犠牲になった方の追悼式
参加者：約80人

・　平和事業

令和5年5月3日	加須市民平和祭を開催
令和5年8月7日～8月21日	「平和を考える写真展」を開催
令和5年8月15日	終戦の日に半旗を掲揚

事業名	法務相談事業				5312-02
担当課		総務課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	1,310,000円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	1,310,000円	―
目	01	一般管理費	決　算　額	964,995円	―

事業の目的	法令上の争点を整理し、法的紛争を未然に防止するとともに、発生した訴訟及び審査請求に的確に対応する。
事業の概要	・本事業の定例相談を、毎月1回本庁舎において顧問弁護士と直接相談する。 ・臨時相談は、急を要するときに行うものとする。 ・業務の執行により紛争等が生じたとき、又は生じるおそれがあるときに業務所管課が相談するものとする。 ・行政不服審査法に基づく行政不服審査請求に対応する。

事業の実績・成果

顧問弁護士相談

市役所における定例相談及び電子メールによる臨時相談を行った。

顧問弁護士からの的確な助言等を業務にいかし、問題の発生を未然に防止するとともに、円滑に事務を遂行できた。

【令和5年度の定例相談件数】

総数32件（うち電子メールによる臨時相談7件）

（相談部局の内訳）　（単位：件）

総合政策部	3	健康医療部	1
総務部	7	都市整備部	8
環境安全部	2	上下水道部	1
経済部	2	騎西総合支所	2
こども局	1	生涯学習部	1
福祉部	2	学校教育部	2
		合　計	32

【相談件数の推移】　（単位：件）

年　　度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
相談件数	19	23	32	31	32

事業名	人事管理事業				5313-03
担当課	職員課			現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	50,950,000円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	89,052,804円	―
目	01	一般管理費	決　算　額	83,957,683円	―

事業の目的	・職員一人ひとりの能力を発揮させるため、人材育成事業と組み合わせながら人事管理を行う。 ・職員が健康で安全に働き続けられる職場とするため、健康診断や産業医による健康相談など労働安全衛生対策の充実を図る。
事業の概要	・職員採用試験、職員昇任試験(主幹職・主査職)や人事評価などを実施する。 ・定期健康診断や産業医による健康相談 ・ストレスチェックや産業医による健康相談 ・人事配置・給与支給・服務管理（分限懲戒等） ・会計年度任用職員の任用管理

事業の実績・成果

1　職員昇任試験の実施

(1) 一次試験（筆記・論文試験）：令和5年11月23日
　　二次試験（面接試験）　　：令和6年1月11日・12日

(2) 受験者数及び合格者数の推移　（単位：人）

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
主査職	対象者数	81	69	70	79	80
	受験者数	31	19	16	22	26
	受 験 率	38.3%	27.5%	22.9%	27.8%	32.5%
	合格者数	16	9	10	11	11
主幹職	対象者数	128	132	136	132	129
	受験者数	19	16	16	13	16
	受 験 率	14.8%	12.1%	11.8%	9.8%	12.4%
	合格者数	13	11	11	9	9

2　職員採用試験の実施

(1) 一次試験（教養試験・適性検査・論文・専門試験）　：令和5年9月17日
　　二次試験（面接試験1回目）　　：令和5年10月21日
　　（面接試験2回目）　　：令和5年10月24日・25日・26日
　・ポスターの作成及び市ＨＰやＳＮＳを活用した周知を行い、受験者数の確保に努めた。

(2) 受験者数及び採用者数の推移　（単位：人）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
受験者数	77	128	105	75	73
採用者数	16	24	21	20	14

※採用者数は翌年4月1日現在
※職種別内訳：一般事務11人、社会福祉士2人、建築1人

3　職員表彰の実施

(1) 永年勤続表彰　　勤続30年となった職員を表彰　28人
(2) 功績表彰　　他の職員の模範となり推奨すべき業績のあった職員を表彰　12件(24人)

4　健康月間の実施

7月を健康月間と定め、職員のストレスチェック（受検者数1,236人：受検率97.9%）と労働安全衛生法に基づく職員の定期健康診断（一般健診1,041人：受診率79.0%）を実施した。

5　会計年度任用職員の任用管理

会計年度任用職員の任用管理業務の一部（雇用保険資格取得・喪失手続、社会保険算定基礎届・月額変更届の提出等）を外部委託することで事務の効率化を図った。

事 業 名	人材育成事業				5313-04
担 当 課	職員課			現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	4,856,000 円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	4,758,000 円	―
目	01	一般管理費	決　算　額	3,033,782 円	―
事業の目的	自立した自治体経営を目指すため、加須市職員の目指すべき「職員像」を明らかにし、総合的視点から職員の人材育成を図る。				
事業の概要	・自主研修を実施する。 ・鴻巣市、行田市及び羽生市と共同で実施している「四市共同研修会」や彩の国さいたま人づくり広域連合で行われる各種研修へ計画的に職員を派遣する。 ・自治大学校や市町村アカデミー等への派遣研修を行う。 ・新規採用職員サポーター制度を実施する。				

事業の実績・成果

1　各種研修の実施

職員の能力・資質を伸ばし、市民サービスの向上につなげるため、職員研修実施計画に基づき各種研修を実施した。

(1) 令和５年度　研修実績

○市の自主研修　（単位：人）

新規採用職員研修(前期・後期)	20	職員人権問題研修	473	男女共同参画研修	43
タイムマネジメント研修	504	メンタルヘルス研修（ラインケア）	57	メンタルヘルス研修（セルフケア）	41
ハラスメント研修	537	政策法務研修	21	新任課長研修	7
ＤＸ推進研修（生成ＡＩ利活用）	108	情報セキュリティ研修（e ラーニング研修）	1,770	女性職員のためのモチベーションアップ研修	31
人事評価（評価者）研修	74	子育て支援研修	30	財務会計事務研修	20
安全運転･エコドライブ講習	10				

○四市共同研修　（単位：人）

初級職員研修	22	ＯＪＴ研修	9	法制執務研修	19
政策形成研修	21				

○彩の国さいたま人づくり広域連合への派遣研修　（単位：人）

課長級研修	7	課長補佐級研修	9	主査級研修	13
中級研修（基礎）	14	階層別選択等研修	22	講師養成研修	2
民間企業派遣研修	1				

○その他機関への派遣研修　（単位：人）

自治大学校	4	市町村職員中央研修所（市町村アカデミー）	7	地域活性化センターとの連携協定に基づいた事業	56
内閣府（防災担当）	1	埼玉県	4	地域活性化センター	1
彩の国さいたま人づくり広域連合	1	埼玉県後期高齢者医療広域連合	1	衛生推進者養成講習等	3

(2) 研修人数の推移　（単位：人）

研　　修　　名	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
市の自主研修	2,188	2,297	2,800	2,121	3,746
四市共同研修	77	39	114	49	71
彩の国さいたま人づくり広域連合への派遣研修	77	81	78	76	68
その他機関への派遣研修	130	27	34	51	78
合　　計	2,472	2,444	3,026	2,297	3,963

2　新規採用職員サポーター制度の実施

対象者数：新規採用職員20人

実施期間：令和5年4月～9月

所属長の推薦をもとにサポーターを指名し、所属長の作成した指導案に基づいて、サポーターを中心に各課において新規採用職員へ指導・助言を行った。

事業名		職員福利厚生事業			5313-06
担当課		職員課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	1,520,000円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	1,520,000円	―
目	01	一般管理費	決　算　額	725,708円	―
事業の目的		職員の福利厚生の充実を図るとともに、自立した自治体経営を目指すため、職員間の交流による連携(絆)を深め、組織力を向上させる。			
事業の概要		・加須市役所職員厚生会の活動を支援する。 ・職員用の医薬品を購入し、配備する。			

事業の実績・成果

1　職員厚生会実施事業

（1）親睦共済事業
- お台場バスツアー
- ディズニーツアー
- ボウリング大会
- 宿泊補助金
- 親睦活動補助金
- 新規採用職員・退職者記念写真等

（2）体育事業・教養事業
- クラブ活動補助

【補助金の推移】　（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
市補助金	1,633	0	0	0	706

※参考　令和５年度　会員負担金　3,423,600円（月400円）

2　職員用の常備医薬品を購入し、本庁舎及び各総合支所へ配備した。

事業名	施工等管理事業				5314-03
担当課		管理契約課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	162,000円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	133,000円	―
目	01	一般管理費	決　算　額	121,380円	―
事業の目的		・市が発注する建設工事及び委託に係る契約の適正な履行の確保と給付の完了の確認及び良質な成果品を確保する。 ・受注者の建設意欲を高め、工事の質的向上を図る。			
事業の概要		・市が発注する建設工事及び委託業務の検査 ・監督員及び指定検査員を対象とした研修会の実施 ・優秀建設工事表彰式の実施			

事業の実績・成果

令和5年度の入札による工事142件、委託148件、合計290件。随意契約（50万円以上）による工事159件、委託275件、合計434件の完了検査を実施した。

検査の結果、検査書類等の修正指示109件（入札工事23件、入札委託10件、随意契約工事40件、随意契約委託36件）、再検査0件であり、全て合格となり、適正な公共調達を図ることができた。

1　加須市優秀建設工事表彰式を開催して、市発注工事における優秀な成績の工事に対し、受注者と技術者を表彰し受注者及び技術者の建設意欲を高め、併せて工事の質的向上を図った。

開催日　　令和5年8月21日（月）
会　場　　大利根文化・学習センター「アスタホール」多目的ホール
表彰者　　3者（土木業者2者、電気業者1者）

2　監督員及び指定検査員研修会は、監督員及び指定検査員になった職員を対象に検査調書等の作成資料により、7月28日午前、8月7日午前、2月1日午前の計3回研修会を実施したことにより、検査書類の作成が適正に行われた。

3　検査員研修については、埼玉県行田県土整備事務所の土木工事の検査に臨場し、検査員に必要な検査技術の向上を図った。

開催日　　令和5年10月19日及び令和5年11月8日
参加者　　検査員　各1名

また、一般社団法人日本経営協会主催による「土木工事技術検査の具体的な進め方」についての研修会をオンラインで受講し、完成検査・部分検査に関する技術面・法律面等の検査執行に必要な知識向上を図り、工事検査を適正に行うことができた。

開催日　　令和5年11月16日・17日
参加者　　検査員2名

4　検査員会議を年3回（5月31日、7月28日、2月1日）開催し、兼任検査員との情報交換や優秀建設工事表彰式での役割分担、工事検査における主な視点、年度末に向けての検査実施等について協議し、受注者の技術の向上や指導・育成等を図ることができた。

事 業 名		広報紙等発行事業			5111-01
担 当 課		シティプロモーション課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	24,178,000 円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	23,787,000 円	―
目	02	文書広報費	決　算　額	22,369,759 円	―
事業の目的		市民へ行政に関する必要な情報を提供し、情報の共有化を図る。			
事業の概要		紙面構成の検討、特集記事の企画立案、掲載内容の調整・配置等の編集を行い、広報紙「広報かぞ」を毎月発行する。			

事業の実績・成果

広報紙「広報かぞ」を毎月1日に発行し、市民に積極的な情報提供を行い、情報の共有を図っている。紙面のビジュアル力を高めながら、手に取って読んでもらえる広報紙づくりに取り組んでいる。

広報かぞは、市公式ホームページに加え、10言語で閲覧できる多言語情報発信ツール「カタログポケット」を活用して、外国人住民向けにホームページや専用アプリ等で配信するほか、民間の無料スマートフォンアプリ「マチイロ」、ウェブサイト「マイ広報紙」など、多くのツールでの配信を行っている。

令和5年度は、中学校の生徒が「広報記者」として、取材や写真撮影、執筆、紙面の編集を行う「子ども広報かぞ」を発行した。

1　「広報かぞ」月発行部数及び年間印刷製本費

年　度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
月発行部数（部）	41,400 （5月～4月）	41,400 （5月～4月）	41,600 （5月～4月）	41,600 （5月～4月）	41,600 （5月～4月）
決算額（円）	17,454,816	15,847,920	13,979,674	16,592,110	19,668,558

2　配布

自治協力団体を通じた配布をはじめ、市内の公共施設、コンビニエンスストア、駅、工業団地立地企業や東日本大震災避難者等に配布し、広く情報提供に努めた。

3　子ども広報かぞ

市立中学校の生徒から広報記者を募集し、取材や紙面づくりを通して、市内の児童・生徒に向けてまちの魅力を紹介する広報紙「子ども広報かぞ」を作成・発行した。

広報記者　21人
活動期間　令和5年7月29日（土）～9月9日（土）
発行　・子ども広報かぞVol.1（令和5年10月1日発行）
　担当校：昭和・加須西・北川辺・大利根中学校
　・子ども広報かぞVol.2（令和5年11月1日発行）
　担当校：加須東・加須北・加須平成・騎西中学校
配布方法　・広報かぞ10・11月号の中央4ページとして印刷し、自治協力団体等へ配布
　・Vol.1・Vol.2各号7,500部を個別印刷し、市立小学校4年生から中学生までの全児童、生徒に学校を通じて配布（印刷製本費277,200円）

事 業 名		市民カメラマン事業			5111-02
担 当 課		シティプロモーション課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	27,000 円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	27,000 円	―
目	02	文書広報費	決　算　額	24,400 円	―
事業の目的		市民との協働による広報活動の活性化を図る。			
事業の概要		ボランティアとして活動する意欲がある市民を公募し、市民カメラマンとして市長が委嘱する。 市内で行われるイベント等の撮影を依頼する。 3 年度以上活動した方には、感謝状を贈呈する。			

事業の実績・成果

市民カメラマン事業は、平成 22 年 10 月（加須地域では平成 19 年 4 月）から実施しており、撮影していただいた写真を広報紙、市公式ホームページやＳＮＳへ採用し、市民との協働によるまちづくりにつなげている。

市の魅力を市民カメラマンの写真を通じて紹介するとともに、市民カメラマン活動の周知及びモチベーションのアップを目的として、「市民カメラマン写真展」を開催した。

また、写真展で展示した作品を、ホームページに「市民カメラマン作品集」として公開した。

1　委嘱日

令和 5 年 4 月 11 日（火）

2　委嘱数及び広報紙等掲載件数

年　度	市民カメラマンの人数（人）	広報紙やホームページ等に掲載した件数（件）
令和元年度	6	240
令和 2 年度	5	86
令和 3 年度	5	49
令和 4 年度	8	52
令和 5 年度	7	88

※広報紙等に掲載した件数は、新型コロナウイルス感染症によりイベント等が中止となったこと、広報紙のリニューアルに伴う掲載枠の変更により減少している。

3　市民カメラマン写真展

①　開催期間：令和 6 年 1 月 9 日（火）～22 日（月）
　　ただし、土曜日を除く

②　展示場所：本庁舎 1 階　市民ギャラリー

③　展 示 数：41 点

事業名	加須市ＰＲ・営業推進事業			5112-01
担当課	シティプロモーション課		現　年	前年度からの繰越
款 02	総務費	当初予算額	5,835,000 円	1,339,000 円
項 01	総務管理費	最終予算額	5,883,000 円	1,339,000 円
目 02	文書広報費	決　算　額	5,719,525 円	397,100 円
事業の目的	加須市の魅力や特長、アピールポイント、各種施策を市内外に向けて積極的に情報発信することにより、本市の認知度を上げるシティプロモーションを展開する。			
事業の概要	ＰＲ営業本部会議を開催し、新たなＰＲ方策の検討・事業化に努める。 ＰＲ用品等の作成・活用のほか、様々なＰＲ手段を積極的に導入し、加須市の魅力発信に努める。			

事業の実績・成果

1　加須市ＰＲ営業本部会議の開催
①　開 催 日：令和６年２月２日（金）
②　構　　成：副市長、加須市商工会代表、加須市山岳連盟代表、加須市ＰＴＡ連合会代表、加須市観光大使、株式会社むさしの村代表、道の駅かぞわたらせ代表、道の駅童謡のふる里おおとね代表、加須はなさき公園代表、平成国際大学教授、一般公募（合計 17 名）

2　こいのぼり手ぬぐいの作製（増刷）
①　作製個数：2,500 本　　②　作製費用：1,196,250 円

3　ガイドマップの作製（修正増刷）
①　作製部数：10,000 部　　②　作製費用：1,859,000 円

4　スポーツガイドの作製（修正増刷）
①　作製部数：10,000 部　　②　作製費用：495,000 円

5　暮らしの便利帳の作製（修正増刷）
①　作製部数：5,000 部　　②　作製費用：1,045,000 円

6　名刺台紙の作製（修正増刷）
①　作製部数：500 セット　　②　作製費用：192,500 円

7　高速道路サービスエリアへのリーフレット設置
①　設置場所・期間：蓮田ＳＡ（上り）・令和５年８月の１カ月間　　②　広告料：66,000 円
③　設置冊子（配布数）：るるぶ特別編集 埼玉県加須（690 部）、かぞブランドブック（180 部）

8　テレビ埼玉データ放送サービスの実施
①　提供件数：22 件/年間　　②　使用料：55,000 円×12 月＝660,000 円

9　加須市が新聞、テレビ、ラジオなどで掲載（放送）された件数　　（単位：件）

年　度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
件　数	505	570	611	470	485

【前年度からの繰越事業（繰越明許）】　　397,100 円
・ 前年度からの繰越事業の内容
　ＦＭラジオ放送業務委託（397,100 円）
・ 令和４年度から令和５年度へ繰り越した理由
　コミュニティ放送局「ＦＭわたらせ」の開局が予定より後ろ倒しとなり、令和４年度内での契約が困難となったため繰り越した。

事業名	ホームページ・ＳＮＳ活用事業			5112-02
担当課	シティプロモーション課		現　年	前年度からの繰越
款 02	総務費	当初予算額	4,469,000 円	―
項 01	総務管理費	最終予算額	4,812,000 円	―
目 02	文書広報費	決　算　額	4,539,598 円	―
事業の目的	ホームページやＳＮＳを活用し、世界に向けてタイムリーかつスピーディーに情報を発信し、加須市の認知度を高める。			
事業の概要	見やすく分かりやすいホームページ実現のため、ページの更新状況を把握し、各課に対し更新の働きかけを行う。 また、ＳＮＳで旬な情報や動画をタイムリーかつスピーディーに発信する。			

事業の実績・成果

1　ホームページ

市の情報をタイムリーかつスピーディーに発信するため、随時内容を更新して公開している。

また、公開の際には、情報のカテゴライズや更新内容のチェックを徹底し、利用者の利便性・検索性の向上を図っている。

・ホームページ運営管理諸費用　（単位：円）

年　度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
運営管理諸費用	2,819,493	4,771,663	2,656,500	6,506,500	2,623,500

・ホームページの月平均表示回数　（単位：件）

年　度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
件　数	310,667	541,706	612,632	505,775	555,350

2　ＳＮＳ

市の情報やＰＲ動画等を、市内外に向けて広く発信した。

また、市ライン公式アカウントの機能を拡張し、新しい機能を活用した情報発信を行った。

・ライン機能拡張

公開日：令和５年９月19日（火）

委託料：770,000 円

追加した主な機能：セグメント配信機能、リッチメニューの拡充、かぞホッとメールとの連携、ごみ収集日のお知らせ、子ども通知機能

・各ツールの内訳　（単位：件）

ＳＮＳ	件　名	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
フェイスブック	投稿数	504	280	257	293	311
	フォロワー数	2,432	2,709	2,814	2,888	3,199
エックス（旧ツイッター）	投稿数	644	279	266	292	318
	フォロワー数	4,201	4,873	5,131	5,431	5,753
ユーチューブ	投稿数	142	146	119	87	69
	チャンネル登録数	199	685	907	1,200	1,480
インスタグラム	投稿数	127	172	58	34	37
	フォロワー数	972	1,423	1,770	2,036	2,361
ライン	投稿数	123	119	212	254	555
	友だち数	1,406	3,133	45,923	50,393	52,427

事 業 名	ふるさと写真・動画コンクール事業			5112-03
担 当 課	シティプロモーション課		現　年	前年度からの繰越
款　02	総務費	当初予算額	221,000 円	―
項　01	総務管理費	最終予算額	221,000 円	―
目　02	文書広報費	決　算　額	215,927 円	―
事業の目的	加須市の素晴らしさを再発見し、郷土への愛着を高めてもらうとともに、応募作品を活用し、多くの方に本市の魅力をＰＲする。			
事業の概要	テーマを決定し、応募作品の受付、審査を行い、市民の日に入賞者を表彰する。 写真コンクールは、応募作品をホームページ等で公開する。 動画コンクールは、応募作品をＳＮＳ等で公開する。			

事業の実績・成果

【加須市ふるさと写真コンクール】

「帰ってきた、かぞ暮らし。」をテーマに写真コンクールを開催した。

応募のあった全作品を市公式ホームページに公開し、市内外に向けて広く市の魅力を発信した。

1　応募数の推移

回数 開催年度	第 10 回 令和元年度	第 11 回 令和 2 年度	第 12 回 令和 3 年度	第 13 回 令和 4 年度	第 14 回 令和 5 年度
応募者数（人）	80	52	67	59	59
応募点数（点）	155	79	107	89	98

2　入賞作品巡回展示

展示期間：令和 6 年 1 月 29 日（月）～3 月 23 日（土）

展示場所：市内公共施設 5 箇所

3　主な費用

市長賞　1 人（賞金 30,000 円）

議長賞　1 人（賞金 20,000 円）

優秀賞　3 人（賞金 7,000 円）

入　選　4 人（賞金 3,000 円）

審査員謝金　6,000 円（3,000 円×2 人＝6,000 円）

【加須市ふるさと動画コンクール】

「『かぞ』で見つけた小さな物語」をテーマに動画コンクールを開催した。

応募のあった全作品を市公式ＳＮＳに投稿し、市内外に向けて広く市の魅力を発信した。

1　応募数の推移

回数 開催年度	第 3 回 令和元年度	第 4 回 令和 2 年度	第 5 回 令和 3 年度	第 6 回 令和 4 年度	第 7 回 令和 5 年度
応募点数（点）	12	15	15	18	11

2　主な費用

市長賞　1 人（賞金 30,000 円＋かぞブランド認定品 20,000 円相当）

議長賞　1 人（賞金 20,000 円＋かぞブランド認定品 10,000 円相当）

優秀賞　3 人（賞金 7,000 円＋かぞブランド認定品 3,000 円相当）

入　選　4 人（かぞブランド認定品 2,000 円相当）

事 業 名		全国こいのぼり写真コンクール事業			5112-04
担 当 課		シティプロモーション課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	365,000 円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	365,000 円	―
目	02	文書広報費	決　算　額	327,274 円	―
事業の目的		全国こいのぼり写真コンクールを開催することにより、こいのぼりの素晴らしさを再発見するとともに、全国のこいのぼりの魅力を「こいのぼりのまち　加須」から紹介する。			
事業の概要		隔年で全国こいのぼり写真コンクールを開催する。 全国各地の多くの方から応募していただけるよう、写真雑誌、ホームページやＳＮＳ等を有効活用する。 また、応募された全作品を、ホームページで公開する。			

事業の実績・成果

全国各地で撮影されたこいのぼりをモチーフとした写真コンクールを開催した。

41 都道府県 252 人の方から 408 点の応募があり、こいのぼりによるまちおこしに取り組む加須市を全国にＰＲすることができた。

1　募集期間：令和 5 年 6 月 1 日（木）～6 月 30 日（金）

2　題材　・子どもの健やかな成長を願い、家族の絆を深める「こいのぼり」の写真
　　・「こいのぼり」にちなんだ観光イベントや伝統工芸の写真
　　・その他「こいのぼり」をモチーフにした写真

3　応募数等の推移

回数 開催年度	第 1 回 平成 28 年度	第 2 回 平成 29 年度	第 3 回 令和元年度	第 4 回 令和 3 年度	第 5 回 令和 5 年度
応募者数（人）	226	204	180	295	252
応募点数（点）	468	358	289	441	408
都道府県数	38	39	35	43	41

・第 3 回から隔年開催、市公式ホームページでの画像データ応募に変更
・第 2 回から 1 人 2 点まで応募可に変更（第 1 回 1 人 3 点まで）

4　主な経費
○チラシ作製：3,000 枚　　作製費用：75,900 円
○専門誌「フォトコン 5 月号」広告掲載料：88,000 円
○入賞者への賞金　102,500 円
　市長賞　1 人（30,000 円）
　議長賞　1 人（20,000 円）
　優秀賞　3 人（ 7,000 円）
　入選　　5 人（ 3,000 円）
　佳作　　10 人（副賞　北川辺産こしひかり 5kg　1,650 円）
○審査員謝金　9,000 円
　審査員　2 人（3,000 円×2 回×1 人＋3,000 円×1 回×1 人＝9,000 円）

事 業 名		市長への手紙・メール事業			5121-01
担 当 課		秘書課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	19,000 円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	19,000 円	―
目	02	文書広報費	決　算　額	7,387 円	―
事業の目的		広聴の推進を図るため、市民から直接、手紙・メールによる意見、提案、要望等をいただく。			
事業の概要		手紙については、市内公共施設に投函箱を設置し、メールについては、ホームページによりそれぞれ意見等を伺い、市長が1件1件確認して市長名で回答する。			

事業の実績・成果

「市長への手紙」専用はがき及び投函箱を本庁舎、各総合支所、各地区のコミュニティセンターなどをはじめとする市内の公共施設に設置し、市民等からいただいたご意見等について、市長名で回答している。

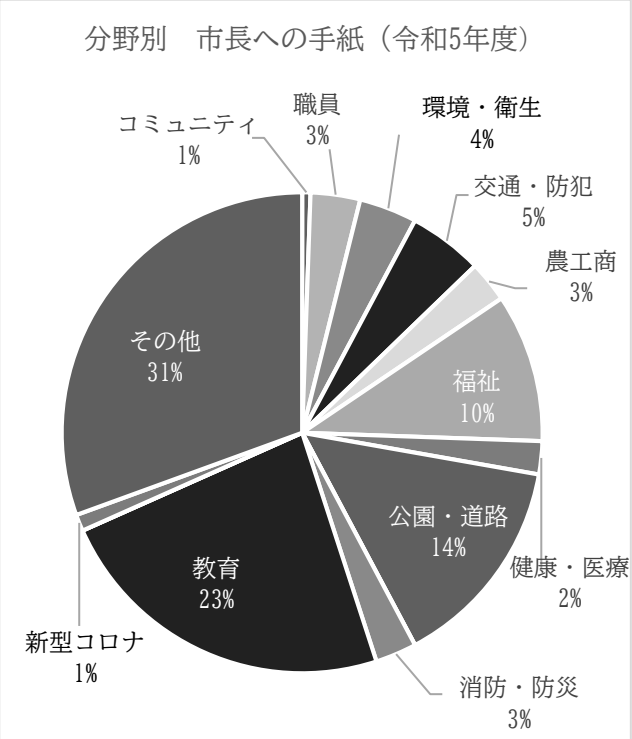
また、加須市公式ホームページ内の「市長へのメール」からいただいたご意見等についても、市長名で回答している。

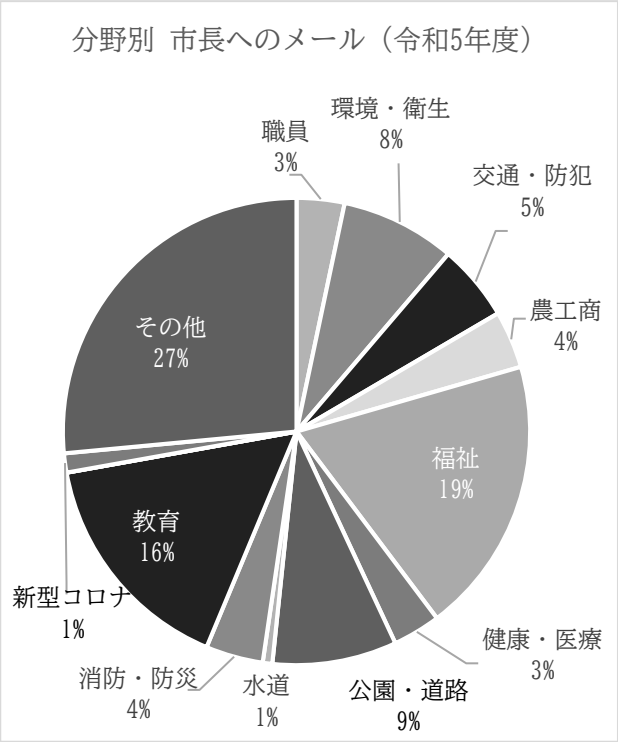
1　市長への手紙通数の推移　（単位：通）

年　度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
通　数	215	232	204	187	180

2　市長へのメール通数の推移　（単位：通）

年　度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
通　数	97	132	117	152	151





事業名	情報公開・個人情報保護事業			5132-01
担当課	総務課		現　年	前年度からの繰越
款 02	総務費	当初予算額	448,000円	―
項 01	総務管理費	最終予算額	448,000円	―
目 02	文書広報費	決　算　額	104,324円	―
事業の目的	透明で開かれた市政運営の推進と行政への市民の信頼の確保を図るとともに、市が保有する個人情報を適切に保護することにより個人の権利利益の保護を図り、もって基本的人権の擁護に資する。			
事業の概要	・加須市情報公開条例及び加須市個人情報の保護に関する法律施行条例に基づく制度を適正に運用する。 ・審議会等の会議の公開及び会議録の公表制度を運用する。			

事業の実績・成果

○行政情報を適切に公表した。
○個人情報を適切に保護した。
○審議会等の会議を適切に公開し、会議録を公表した。

1　情報公開及び個人情報保護関係

(1)情報公開請求・申出受付処理件数　（単位：件）

	受付処理件数	全部公開	一部公開	非公開	取下げ
公開請求等	25	13	8	1	3

【情報公開請求・申出受付処理件数の推移】　（単位：件）

年　　度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
受付処理件数	17	21	24	32	25

(2)個人情報開示請求受付処理件数　（単位：件）

	受付処理件数	全部開示	一部開示	不開示･存否応答拒否	取下げ
開示請求	25	5	16	4	0

【個人情報開示請求受付処理件数の推移】　（単位：件）

年　　度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
受付処理件数	38	32	50	28	25

2　審議会等の公開　（単位：件）

開催件数	公開・一部公開	書面審議	非公開
312	72	10	230

（非公開理由：会議の内容に個人情報が含まれるため）

事業名	文書収発浄書事業				5312-01
担当課		総務課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	84,786,000円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	84,786,000円	―
目	02	文書広報費	決　算　額	74,829,480円	―
事業の目的	・適正な行政サービスを実施するため、本市における印刷、郵送、使送などの事務を円滑に進める。				
事業の概要	・印刷用紙などの関連消耗品の購入、郵送、使送業務、ファックス等の借上げ ・コピー機等の管理をするとともに簡易印刷物については庁内印刷機等を活用する。 ・郵便物等の文書の収発業務及び各総合支所等への使送業務を行う。				

事業の実績・成果

○　自治協力団体への広報紙等の使送業務については、配布物の仕分け・配送をシルバー人材センターへ業務委託を行い、市内4地域で配布物を1日間で配布することにより、市民サービスの向上が図られている。

○　郵便料・コピー用紙購入費については、経費削減のため、電子メールの活用や裏面の再利用、イベント等の広報を可能な限り広報紙へ一元化するなどの取り組みを行い、総合的な経費の削減に努めた。

1　郵便料等の推移

（単位：円）

年　　度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
郵便料	42,743,057	41,952,274	41,391,490	42,164,314	39,381,381

（単位：円）

年　　度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
コピー用紙購入費	11,663,037	12,451,336	12,464,808	11,430,115	14,724,045

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
コピー機 管理台数（台）	14	15	15	15	15
コピー機カウンター 料金(円/年)	4,136,378	4,361,564	4,066,003	4,268,223	3,829,884
コピー機使用枚数 (枚/年)	4,071,125	4,295,774	4,022,904	4,231,170	3,800,124

〔コピー機管理台数内訳〕本庁舎：9台、各総合支所：各2台　計15台

2　ＯＡ機器にかかる費用

【本庁】（総務課）

種　　類	リース料（円）		契約期間		リース会社
	年　額	月　額	開　始	終　了	
電子製版機	26,268	-(再リース)	R5.4.1	R6.3.31	FLCS㈱　関東支店
ファクシミリ	233,640	19,470	R4.10.1	R7.5.31	セキグチシステム販売㈱
紙折機	6,534	-(再リース)	R4.10.1	R5.9.30	㈲アライ
紙折機	―	-(再リース)	R5.10.1	R6.9.30	㈲アライ
電動裁断機	165,000	13,750	R3.2.1	R8.1.31	キヤノンシステムアンドサポート㈱
デジタル印刷機 1号機	262,680	21,890	R4.8.1	R7.7.31	㈲アライ
デジタル印刷機 2号機	179,520	14,960	R5.3.1	R8.2.28	㈲アライ
丁合機	114,840	9,570	R3.2.1	R8.1.31	キヤノンシステムアンドサポート㈱

【騎西総合支所】（地域振興課）

種　　類	リース料（円）		契約期間		リース会社
	年　額	月　額	開　始	終　了	
ポスター・プリンター	76,560	6,380	R2.4.1	R7.3.31	㈱雄飛堂　熊谷支店
印刷機	125,400	10,450	R5.4.1	R6.3.31	㈱雄飛堂　熊谷支店
ファクシミリ	54,100	4,968 4,180	R4.9.1 R5.9.1	R5.8.31 R6.8.31	㈱雄飛堂　熊谷支店
複写機（市民用）	69,208	－(再リース)	R5.7.1	R6.6.30	キヤノンシステムアンドサポート㈱

【北川辺総合支所】（地域振興課）

種　　類	リース料（円）		契約期間		リース会社
	年　額	月　額	開　始	終　了	
印刷機	118,800	9,900	R5.7.1	R6.6.30	㈱雄飛堂　熊谷支店
複写機兼ファクシミリ	20,314	－(再リース)	R5.7.1	R6.6.30	ＮＴＴ・ＴＣリース㈱関東支店
複写機兼ファクシミリ（カラー）	210,443	単価契約	R1.7.1	R6.6.30	キヤノンシステムアンドサポート㈱
複写機（市民用）	105,600	－(再リース)	R5.9.1	R6.8.31	埼北オーエー機器㈱

【大利根総合支所】（地域振興課）

種　　類	リース料（円）		契約期間		リース会社
	年　額	月　額	開　始	終　了	
印刷機	125,400	10,450	R5.4.1	R6.3.31	㈱雄飛堂　熊谷支店
複写機兼ファクシミリ	43,434	－	R5.4.1	R6.3.31	キヤノンシステムアンドサポート㈱
複写機（市民用）	44,280	3,690	R5.4.1	R6.3.31	リコージャパン㈱マーケティング本部　埼玉支社

事業名	例規文書管理事業				5312-03
担当課	総務課			現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	8,769,000円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	8,769,000円	―
目	02	文書広報費	決　算　額	8,516,895円	―
事業の目的	法制執務や法令解釈に関し必要な助言や相談を行い、条例、規則等の制定改廃及び適切な文書管理（公印の管理を含む。）を実施することで円滑な行政運営を図る。				
事業の概要	法制執務及び例規整備に関する相談を実施するとともに、法令関係図書、例規データベース等の法令業務に関する環境を全庁的に整備し、迅速かつ的確に行政立法等に係る業務を実施する。 また、情報公開に対応した文書管理の構築や公印の適正な管理を行う。				

事業の実績・成果

○例規等の審査を適切に実施し、制定改廃が必要な例規への対応を図った。
○ファイリングシステムについて、総務課職員による巡回指導を行い、所管課ごとに課題を発見し、それぞれ運用を改善した。

1　例規等の審査の実施
令和5年度審査件数　　542件
【内訳】条例…43件、規則…47件、訓令…8件、告示・要綱等…444件

2　法制執務・政策法務等関係図書の整備　1,179,354円

3　例規・法令検索システムの適正な運用及び紙製例規集の追録作成
・例規・法令検索システム使用料…1,650,000円
・例規・法令検索システム更新データ作成…1,650,000円
・例規集追録作成…660,000円

4　ファイリング用品等の整備
保存箱、個別フォルダー、フォルダーラベル等の購入…1,884,850円

5　保存期間満了文書の再資源化
廃棄文書の搬出、溶解処理施設までの運搬及び溶解処理（古紙へ再資源化）

年　　度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
処理量（kg）	14,120	16,380	15,680	15,700	14,720
単価（円／kg）	8.10	9.13	16.5	19.8	19.8
委託金額（円）	114,372	149,549	258,720	310,860	291,456

※各総合支所分を含む。

6　ファイリングシステム巡回指導の実施
【対象】各総合支所及び出先機関
【期日】令和5年11月15日～17日

事業名	財政管理事業				5311-24
担当課		財政課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	33,971,000円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	32,833,367円	―
目	03	財政管理費	決　算　額	30,377,943円	―
事業の目的		経済情勢や事業の進捗状況を踏まえ、中・長期的な視点に立ち、持続可能で安定した財政運営を行う。			
事業の概要		・予算編成及び執行に関すること ・財政計画（見直し）及び財政事情の公表に関すること ・その他財政に関すること			

事業の実績・成果

・ 令和4年度決算に係る行政報告書（主要な施策の成果を説明する書類）及び令和6年度一般会計・特別会計予算書（当初予算書）を作成した。

令和4年度決算に係る行政報告書　・・・・　170冊　422,620円
令和6年度一般会計・特別会計予算書　・・・・　230冊　488,290円

・ 令和4年度決算に基づく健全化判断比率（4指標）を公表した。

（単位：%）

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
令和4年度	― (12.03)	― (17.03)	5.1 (25.0)	― (350.0)
令和3年度	― (12.00)	― (17.00)	4.5 (25.0)	― (350.0)

※　実質赤字比率、連結実質赤字比率及び将来負担比率は算出されないため、「―」と表記している。
※　括弧内の数字は、加須市の早期健全化基準である。

・ 令和4年度決算に基づく財務書類（統一的な基準）を作成し、ホームページで公表した。
※　財務書類とは、貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書、注記及び附属明細書である。

事業名	公金納付円滑事業			5252-04
担当課	会計課		現　年	前年度からの繰越
款 02	総務費	当初予算額	15,932,000円	―
項 01	総務管理費	最終予算額	16,482,000円	―
目 04	会計管理費	決　算　額	15,126,819円	―
事業の目的	市民の利便性の向上を図るため、公金納付方法について研究し、納付場所や時間に制約されず公金を納付できる環境を整備する。			
事業の概要	・口座振替での収納を促進するため、関係機関と連携し、市民への周知 ・多岐にわたる窓口で納付された公金の迅速かつ正確な管理 ・コンビニエンスストア納付制度及びスマートフォンによるバーコード決済の適切な運用			

事業の実績・成果

1　公金収納日計処理業務

コンビニエンスストア収納により多様化・複雑化した日計処理業務について、専門的知識を有する事業者に委託することで、正確かつ迅速な処理を行った。

（1）業務内容

金融機関等で収納された市税、料金の納入済通知書の読取、コンビニエンスストア収納データ代行受信、各種システムへの消込データの作成等

（2）経費

令和5年度処理業務委託料　9,760,885円

（単位：円）

会計名	一般	国保	後期高齢	介護
金　額	8,271,627	978,329	224,563	286,366

地方共通納税システム対象税目拡大対応システム改修　550,000円

（3）受託業者

ＡＧＳ株式会社

2　コンビニエンスストア収納代行業務

納付方法を拡充し、市民の利便性の向上を図るため、平成24年度からコンビニエンスストア収納を実施した。また、令和2年6月から、スマートフォン決済アプリ「PayB」で払うキャッシュレス決済を導入し、令和5年4月からは「楽天銀行」「LINEPay」「PayPay」「auPAY」「d払い」「ファミペイ」も利用可能となった。

（1）業務内容

コンビニエンスストアでの市税、料金の収納、収納済データの作成等

（2）経費

令和5年度処理業務委託料　9,069,013円

（単位：円）

会計名	一般	国保	後期高齢	介護
金　額	6,305,192	1,872,051	308,792	582,978

（3）受託業者

りそな決済サービス株式会社

事業名	会計管理事業				5311-25
担当課	会計課			現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	19,097,000円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	19,255,000円	―
目	04	会計管理費	決　算　額	17,612,695円	―
事業の目的	財政の健全化を図るため、法令との整合性、正確性を重視し、多様化する出納事務を円滑に遂行する。 また、公金の確実な管理と効率的な運用を図る。				
事業の概要	現金等の出納・保管及び支出負担行為・支出命令に係る債務の確認を行う。 歳計現金及び各種基金の管理運用を適正に行う。 各課における公金の適正な取扱いを指導する。				

事業の実績・成果

1　歳入歳出事務について、予算及び法令に則した伝票等の審査を行い、適正な出納処理に努めた。

2「公金取扱事務の管理適正化方針」に基づいた現金取扱業務の実地検査

（1）調 査 日　令和5年7月7日、11日、19日、21日、8月2日、3日の6日間

（2）調査対象　本庁・各総合支所　　計51課

各体育館・コミセン・文化学習センター・幼稚園等　　計102施設

（3）調査項目　現金収納手続きについて

現金、はがき、切手、収入印紙及び埼玉県収入証紙の保管について

（4）調査方法　現金取扱業務一覧表に基づき、担当職員からのヒアリング

（5）指導内容　切手等は所在を明らかにし施錠できる金庫等に適正に保管をすること

事業名	公用自転車利用推進事業			4314-04
担当課	総務課		現　年	前年度からの繰越
款 02	総務費	当初予算額	12,000円	―
項 01	総務管理費	最終予算額	12,000円	―
目 05	財産管理費	決　算　額	2,750円	―
事業の目的	・地球温暖化防止等に身近なところから貢献すべく、また、職員の健康増進を図るべく、積極的に公用自転車の利用を推進する。			
事業の概要	・施設に応じた適正な配車を継続し、公用自転車が利用できる体制を維持する。 ・各施設から、片道2キロ未満の移動手段として、公用自転車を利用するよう、職員への周知を徹底する。			

事業の実績・成果

1　公用自転車の配置及び利用

環境への配慮及び職員の健康増進のため、業務上自転車を利用する機会、必要性があると認められる公共施設へ、公共施設から2km未満の移動手段として、公用自転車を配置した。

今後、修理不能となった公用自転車を入れ替え、公用自転車の更なる利用を推進する。

(1)公用自転車配置箇所及び配置台数

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	合計
加須地域 (平成30年度以前68台)	礼羽小、樋遣川小(各1台)、水深小、大桑小(各2台)	礼羽小 (1台)	なし	グリーンファーム加須 (1台) ※1台廃車	加須図書館 (1台) ※1台廃車	75台
騎西地域 (平成30年度以前15台)	騎西中 (1台)	なし	総合支所 (2台)	なし	騎西体育館 (1台) ※1台廃車	18台
北川辺地域 (平成30年度以前14台)	なし	なし	なし	なし	なし	14台
大利根地域 (平成30年度以前10台)	なし	なし	なし	なし	なし	10台
合計 (107台)	7台	1台	2台	0台	0台	117台

(2)公用自転車利用実績

年　　度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
公用自転車利用回数	546	410	307	242	196
2km未満公用車利用回数	304	318	171	215	130
公用自転車利用率(%)	64.5	56.3	64.2	53.0	60.1

※公用自転車利用率＝公用自転車利用回数／（2km未満公用車利用回数＋公用自転車利用回数）

(3)公用自転車ヘルメット設置

令和4年4月27日公布、令和5年4月1日施行の道路交通法の一部改正により、「自転車の運転者は、乗車用ヘルメットをかぶるよう努めなければならない」とされたことから、公用自転車を配置した施設にヘルメットを配布した。

ヘルメット設置数

設置場所	令和４年度
本庁舎	5
騎西総合支所	2
北川辺総合支所	2
大利根総合支所	2
その他公共施設	41
合　　計	52

事 業 名		公共施設等再整備基金事業			5311-10
担 当 課		財政課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	198,000 円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	860,064,956 円	―
目	05	財産管理費	決　算　額	860,064,956 円	―
事業の目的		公共施設等の整備・改修計画に位置づけられたもののほか、今後発生する一般的な公共施設等の建替え又は改修等を目的とした経費に充てる財源として、計画的に基金に積み立てるとともに、適時必要額を活用する。			
事業の概要		今後予定されている公共施設等の整備・改修計画、必要額を把握し、その財源として前年度繰越金の一部を基金へ積み立てる。			

事業の実績・成果

・ 今後の公共施設の改修等を目的とした経費の財源として、前年度繰越金等を活用して積み立てを行った。

また、運用から生じた収益（利子）について、同基金へ積み立てた。

【年度末基金残高の推移】　（単位：円）

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
取り崩し額	619,152,184	609,937,374	469,731,509	474,626,771	387,800,877
積み立て額	167,022,530	701,288,556	1,600,000,000	2,150,000,000	859,997,000
利　　子	2,232,559	261,303	160,525	69,057	67,956
年度末残高	1,771,474,291	1,863,086,776	2,993,515,792	4,668,958,078	5,141,222,157

※　令和５年度は、クリーンセンターの施設修繕、元和小学校校舎増築工事、道路維持管理、交通安全施設整備などの財源として 387,800,877 円取り崩した。

事業名	普通財産管理事業				5314-05
担当課	管理契約課			現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	15,046,000円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	14,987,000円	―
目	05	財産管理費	決　算　額	12,824,558円	―
事業の目的	普通財産の有効活用を図るため、適正な維持管理を推進する。				
事業の概要	・固定資産台帳による市有財産管理及び財産規則等に基づく公表 ・普通財産（土地・建物）の適正管理 ・除草、剪定、消防設備点検、各種修繕、火災保険及び光熱水費の支払いなどの維持管理 ・政教分離が必要な物件への適正な対応				

事業の実績・成果

加須市が所有する普通財産について、除草・樹木剪定等を行い適正な維持管理に努めた。また、用途廃止された法定外公共物等の売払いを実施し、財源確保に努めた。

1 普通財産の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
普通財産（全体）（箇所）	300	311	306	308	316

2 普通財産に係る主な歳出

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
修　繕	箇所数（箇所）	5	4	1	4	1
	総　額（円）	370,600	191,180	18,700	363,044	198,000
除　草	箇所数（箇所）	45	49	50	56	59
	総　額（円）	3,046,127	3,712,770	5,339,576	4,098,378	6,224,659
樹　木剪定等	箇所数（箇所）	3	6	5	9	11
	総　額（円）	871,200	1,069,200	1,595,440	3,093,200	2,826,450
不動産鑑　定	箇所数（箇所）	5	5	9	10	9
	総　額（円）	218,400	264,000	484,000	440,000	396,000
工　事	箇所数（箇所）	0	1	3	1	0
	総　額（円）	0	220,000	909,150	40,535,000	0

3 普通財産に係る主な歳入

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
土地建物貸付収入	件数（件）	44	44	44	38	36
	総額（円）	4,856,264	4,302,301	3,851,977	3,790,901	3,554,854
駐車場貸付収入	件数（件）	67	64	67	66	65
	総額（円）	2,036,000	1,993,000	2,239,036	1,950,000	2,044,000
売払収入（法定外公共物）	件数（件）	7	13	16	16	12
	総額（円）	2,841,603	8,197,156	28,056,233	12,945,797	11,964,892
売払収入（普通財産）	件数（件）	2	2	8	4	2
	総額（円）	167,368,145	7,877,638	63,683,864	17,967,164	37,563,907
諸収入（線下補償等）	件数（件）	1	2	12	6	9
	総額（円）	205,640	231,902	482,677	3,696,092	1,658,034

事業名	普通財産活用推進事業				5314-06
担当課	管理契約課			現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	1,713,000円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	1,612,000円	―
目	05	財産管理費	決　算　額	35,200円	―
事業の目的	健全な財政基盤による自治体経営の実現のため、普通財産の有効活用を推進する。				
事業の概要	未利用普通財産の適正な利活用を計画的に推進するため、「未利用普通財産の利活用基本方針」に基づき、対象となる未利用普通財産の利活用を実施する。				

事業の実績・成果

加須市が所有する普通財産のうち、未利用普通財産及び貸付市有地について公売を実施し、財源確保に努めた。

1　取組実績

(1) 一般競争入札による売却

対象物件　礼羽消防団詰所跡地
所在地：礼羽435番1、地目：宅地、地積：162.40㎡
契約日　令和6年2月9日
売却額　5,400,000円

(2) 公共事業による売却

事業名　一級河川中川 加須市豊野台一丁目地内 社会資本整備総合交付金（河川）工事
該当地　豊野台一丁目317番3、地目：宅地、地積：3,594.28㎡のうち388.47㎡
同317番8、地目：宅地、地積：62.79㎡のうち18.12㎡
同317番9、地目：宅地、地積：1,063.77㎡のうち227.89㎡
契約日　令和5年8月29日
売却額　32,163,907円（内　土地代金：18,463,368円、物件移転料等：13,700,539円）

2　未利用普通財産の利活用実施件数　（単位：件）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利活用実施件数	2	2	8	4	2

事業名	庁舎維持管理事業				5314-08
担当課		総務課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	229,327,000円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	264,625,000円	―
目	05	財産管理費	決　算　額	203,541,617円	―
事業の目的		・施設内の安全性の確保及び施設の長寿命化を図るため、庁舎の故障や不具合の有る箇所の修繕や保全のための点検・改修を実施する。			
事業の概要		・庁内の総合管理体制を整備し、施設の長寿命化のため、修繕箇所に優先順位をつけ、効率的に修繕を行う。 ・空気調和設備の温度設定や使用時間の徹底など、経常経費の削減に努める。 ・庁舎における禁煙を徹底する。			

事業の実績・成果

庁舎については、設備を点検し、故障や不具合があった場合、効率的な修繕等を行うことにより、施設を適正に維持管理した。（令和３年度から、各総合支所で各健康福祉センターの維持管理を実施）

1　庁舎管理委託

（1）本庁舎　　：庁舎総合管理、電話交換設備保守委託、駐車場除草等　101,609,622円
（2）騎西総合支所　：庁舎総合管理、電話交換設備保守委託、整枝・剪定等　10,248,772円
（3）北川辺総合支所：庁舎管理、整枝・剪定、除草等　8,054,848円
（4）大利根総合支所：庁舎管理、電話交換設備保守委託、除草、剪定等　6,802,585円

2　修繕費

【本庁舎】修繕工事一覧表（総務課）

修　繕　工　事　名	施工業者又は件数等	費　用
加須市役所本庁舎ELV機械室空調設備修繕	㈱大熊電気工事	643,000円
加須市役所本庁舎４階議場水銀灯設備修繕	㈱大熊電気工事	715,000円
その他修繕（50万円未満）	20件	1,886,332円
合　　計	22件	3,244,332円

【騎西総合支所】修繕工事一覧表（地域振興課）

修　繕　工　事　名	施工業者又は件数等	費　用
その他修繕（50万円未満）	2件	504,900円

【北川辺総合支所】修繕工事一覧表（地域振興課）

修　繕　工　事　名	施工業者又は件数等	費　用
北川辺健康福祉センター自動ドア修繕	ナブコシステム㈱	695,200円
その他修繕（50万円未満）	5件	525,800円
合　　計	6件	1,221,000円

【大利根総合支所】修繕工事一覧表（地域振興課）

修　繕　工　事　名	施工業者又は件数等	費　用
その他修繕（50万円未満）	3件	224,257円

3　電気料金、使用量・使用量増減率の推移

(1)電気料金を削減するため、平成24年度から特定規模電気事業者（ＰＰＳ）を活用し、令和４年度末現在、77の公共施設においてＰＰＳから供給を受けていたが、長引く原油等高騰の影響により、入札が不調となったため、急遽、受け入れ可能小売電気事業者と74の公共施設・１年契約をした。

(2)電気使用量を削減するため、蛍光灯の間引き、昼休みの電気消灯等を行い、節電に努めた。
（平成26年度比：101.1%）

〔参考〕第２次加須市節電行動プランにおける目標：平成26年度電気使用量（1,239,716kwh）

施設	項　　目	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
本庁舎	電気料金(円)	16,942,227	14,927,001	16,672,373	23,127,153	23,116,016
	電気使用量(kwh)	830,554	885,562	880,221	838,018	828,438
	使用量増減率(%)※	2.9	6.6	▲0.6	▲4.8	▲1.1
騎西総合支所	電気料金(円)	3,355,591	3,111,038	3,745,928	4,850,256	5,722,584
	電気使用量(kwh)	135,858	153,060	158,978	149,534	156,605
	使用量増減率(%)※	▲1.2	12.7	3.9	▲5.9	4.7
北川辺総合支所	電気料金(円)	2,068,351	1,799,533	3,037,060	4,173,157	5,137,115
	電気使用量(kwh)	96,216	101,222	143,679	105,481	141,199
	使用量増減率(%)※	▲1.6	5.2	41.9	▲26.6	33.9
大利根総合支所	電気料金(円)	2,151,561	1,896,793	2,663,567	3,744,245	4,794,022
	電気使用量(kwh)	99,159	103,924	121,549	124,252	135,788
	使用量増減率(%)※	3.2	4.8	17.0	2.2	9.3
計	電気料金(円)	24,517,730	21,734,365	26,118,928	35,894,811	38,769,737
	電気使用量(kwh)	1,161,787	1,243,768	1,304,427	1,217,285	1,262,030
	使用量増減率(%)※	2.0	7.1	4.9	▲6.7	3.7

※前年度の電気使用量と比較した増減率（%）

4　光熱水費等維持管理費の推移

【本庁舎】（総務課）

年　　度		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
電　話　料　（円）		5,125,229	5,714,365	6,410,272	6,648,793	6,075,288
水道料	使用量(㎥)	5,673	5,682	6,492	6,609	6,595
	支払額(円)	1,514,768	1,636,294	1,875,644	1,909,918	1,905,557
下 水 道 使 用 料（円）		781,867	844,574	969,984	988,100	985,934
A重油（冷暖房用）	購入量(ℓ)	55,000	64,000	65,100	68,000	74,000
	支払額(円)	3,820,485	3,765,960	5,380,320	6,341,720	7,734,747
	平均単価(円)	69.5	58.8	80.1	93.3	104.5

【騎西総合支所】（地域振興課）

年　　度		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
電　話　料　（円）		664,522	716,842	752,834	663,037	709,459
水道料	使用量(㎥)	1,074	1,002	1,028	1,040	1,039
	支払額(円)	269,025	263,380	276,580	280,672	280,166
下 水 道 使 用 料（円）		118,481	119,522	129,792	132,753	132,330

【北川辺総合支所】（地域振興課）

年　　度		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
電　話　料　（円）		851,766	864,323	893,843	831,433	813,694
水道料	使用量(㎥)	503	515	670	662	558
	支払額(円)	140,774	144,894	229,442	225,823	206,562

【大利根総合支所】（地域振興課）

年　　度		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
電　話　料　（円）		826,574	821,213	956,917	924,292	808,251
水道料	使用量(㎥)	408	423	845	635	955
	支払額(円)	95,100	99,270	175,296	140,085	207,713

【新型コロナウイルス感染症に係る対応】　　426,478 円

・庁舎内での感染拡大防止のため、消耗品を購入し、感染予防対策を講じた。
その結果、特に感染拡大もなく、通常開庁することができた。

No	品　　名	数　量	費　用
1	ハンドソープ（詰替用）	228 個	121,393 円
2	手指消毒アルコール（詰替用）	24 本	87,285 円
3	便座クリーン（詰替用）	33 個	217,800 円
合　計			426,478 円

【翌年度への繰越事業（繰越明許）】　　44,550,000 円

1　翌年度への繰越事業の内容

(1)令和 5 年度 加須市役所冷温水発生機オーバーホール【令和 5 年 9 月補正】　　38,390,000 円

(2)令和 5 年度 加須市役所本庁舎冷却塔等更新工事設計業務委託【令和 5 年 12 月補正】6,160,000 円

2　令和 5 年度から令和 6 年度へ繰り越す理由

(1)庁舎を開庁しながらの修繕であり、冷暖房の稼働していない時季の作業及び部品の調達に時間がかかるため。

(2)空気調和設備の冷却塔及び自動制御機器更新の設計委託については、概ね 8 か月を要し、業務を年度内に完了できないため。

事業名	車両管理事業				5314-09
担当課		総務課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	18,629,000円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	23,363,000円	―
目	05	財産管理費	決　算　額	14,714,820円	―
事業の目的	・定期的な点検整備により安全性を確保するため、総括的配車管理により、保有する車を効率的に利用する。				
事業の概要	・環境基準に合った車を適切に整備するとともに、修繕等では対応しきれない車を把握し、廃車に伴う買替えを行う。 ・庁内のネットワークを利用し、車両の利用状況の把握や管理を徹底する。 ・公用自動車の毎月の利用状況を報告書等で確認し、組織に応じた適正な配車体制を図る。 ・電気自動車やハイブリッド車への買替えを促進する。				

事業の実績・成果

温室効果ガス削減のため、車両買い替え時に低公害車への切り替えを進め、市全体で 8 台を入れ替えた。

低公害車車両の割合：令和 5 年度末の低公害車　149 台／保有車 235 台＝63.4%

1　共用車維持管理費用

(1) 燃料費

【本庁舎】令和 5 年度管理台数　21 台（総務課）

年　度		令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
ガソリン	購入量（ℓ）	13,211	10,552	9,944	11,652	10,785
	支払額（円）	1,964,987	1,472,268	1,629,501	2,030,644	1,915,913
	平均単価（円）	149	140	164	174	178
軽油	購入量（ℓ）	3,744	477	463	1,298	0
	支払額（円）	467,240	55,960	68,256	194,771	0
	平均単価（円）	125	117	147	150	－

※軽油は、市所有中型バスを運行しなかったため、購入なし。

【騎西総合支所】令和 5 年度管理台数　5 台（地域振興課）

年　度		令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
ガソリン	購入量（ℓ）	1,520	1,096	1,461	1,475	1,767
	支払額（円）	229,509	152,533	237,706	256,010	314,172
	平均単価（円）	151	139	163	174	178

【北川辺総合支所】令和 5 年度管理台数　11 台（地域振興課）

年　度		令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
ガソリン	購入量（ℓ）	5,879	4,175	4,789	4,243	4,373
	支払額（円）	884,433	573,271	702,804	713,140	766,276
	平均単価（円）	150	137	147	168	175
軽油	購入量（ℓ）	597	453	462	234	354
	支払額（円）	76,421	51,706	63,401	34,341	54,152
	平均単価（円）	128	114	137	147	153

【大利根総合支所】令和５年度管理台数　10 台（地域振興課）

年　　度		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
ガソリン	購 入 量（ℓ）	3,483	3,074	2,760	2,659	3,228
	支 払 額（円）	524,960	434,644	468,822	466,301	574,528
	平均単価（円）	151	141	170	175	178
軽油	購 入 量（ℓ）	242	115	176	175	162
	支 払 額（円）	30,600	12,947	24,206	26,086	24,422
	平均単価（円）	126	113	138	149	151

＊車両管理事業全体の燃料費は、3,649,463 円

（2）修繕料　　2,877,363 円（車検費用、車両修繕費用）

（3）保険料　　1,306,487 円（任意保険料、自賠責保険料）

2　バス運転業務

【総務課職員運転】

年　　度		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
市所有中型バス	運行日数（日）	101	3	2	28	0
	走行距離（km）	10,011	323	183	3,898	0
レンタカーバス	運行日数（日）	3	0	0	2	1
	走行距離（km）	108,173	0	0	63,800	32,670

※　市所有中型バスは、車両の老朽化に伴う修繕費の増加及び運行日数の減少等を総合的に判断し、令和５年 10 月に売却したため、運行なし。なお、イベント等はレンタカーバスや民間バスを利用。

【バス運行民間委託】

○ 委託件数：12 件　　委託料支払額：920,700 円

3　ドライブレコーダーの設置

交通事故発生時における原因究明に役立てるとともに、防犯カメラとして地域防犯に寄与するため、重要度や使用頻度等に応じてドライブレコーダーを設置した。

年　度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	合計
既存車（台）	0	48	9	5	2	64
リース車（台）	1	0	0	1	0	2
新車（台）	2	3	0	5	8	18
再利用（台）	－	▲4	▲1	2	1	▲2
年　度　別	3	47	8	13	11	82
累積設置率						38.3%

※　令和２年度に設置した機器の再利用４台のうち、１台は市所有中型バスの売却による減、２台は令和４年度に、１台は令和５年度に既存車へ付替え。

※　令和３年度に設置した機器の再利用１台は、既存車の廃車による減。

※　再利用とは、車両入替時に他既存車へ付替えした台数。

4　市長車運転業務委託

市長車の運転手を安定的に確保し、安全かつ効率的に運行するため、令和５年 11 月から市長車の運行業務を委託した。

○ 市長車運行管理業務委託（単価）【令和５年９月補正】

委託期間：令和５年 11 月１日から令和６年３月 31 日

総支払額：2,963,510 円

事 業 名		財政調整基金・市債管理基金事業			5311-11
担 当 課		財政課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	1,024,000 円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	2,368,876,677 円	―
目	06	財政調整基金費	決　算　額	2,368,875,687 円	―
事業の目的		災害復旧、市債の繰上償還、その他財源の不足を生じた時のために基金を積み立てるとともに、計画的に必要額を活用する。			
事業の概要		預金利子を一般会計に収入した後、基金へ積み立てる。また、必要に応じて基金を取り崩し、一般会計に繰り入れる。			

事業の実績・成果

・財政調整基金及び市債管理基金の管理を行い、将来の財源不足に備えるため積み立てを行った。
　また、運用から生じた収益（利子）について、同基金へ積み立てた。

【年度末基金残高の推移】

1　財政調整基金　（単位：円）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
取り崩し額	27,039,000	908,741	19,127,244	0	0
積み立て額	125,000,000	100,000	100,000	100,000	2,368,103,000
利子及び配当金	1,190,707	1,204,926	863,263	784,089	768,677
年度末残高	2,744,793,497	2,745,189,682	2,727,025,701	2,727,909,790	5,096,781,467
うち有価証券	885,300	885,300	885,300	885,300	885,300
うち債券	200,000,000	300,000,000	300,000,000	300,000,000	300,000,000

※ 令和 5 年度は、取組が完了・終了した事業及び不用額が一定程度見込まれる事業について、歳出予算の減額補正を行い、それにより生じた財源等を活用して財政調整基金に積み立てを行った。

2　市債管理基金　（単位：円）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
取り崩し額	38,346,000	100,000,000	227,000,000	0	0
積み立て額	0	0	0	0	0
利　　子	344,151	849,918	19,109	3,072	4,010
年度末残高	463,462,870	364,312,788	137,331,897	137,334,969	137,338,979

事 業 名		公共交通バリアフリー化事業			1165-03
担 当 課		政策調整課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	31,000 円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	0 円	―
目	07	企画費	決　算　額	0 円	―
事業の目的		年齢や障害の有無に関わらず、誰もが公共交通を利用できるよう、ユニバーサルデザインの考え方に基づき、公共交通のバリアフリー化を促進する。			
事業の概要		公共交通事業者に対し、駅舎等バリアフリー化を要望するとともに、バリアフリー化の改修を支援し、公共交通のバリアフリー化を図る。			

事業の実績・成果

東武鉄道株式会社に対し、埼玉県を通じて駅舎等のバリアフリー化の要望活動を実施した。

なお、埼玉県や鉄道事業者との打合せを検討したが、実施を見送ったため、予算（普通旅費）の執行はなかった。

○埼玉県を通じての鉄道整備要望（令和 5 年 10 月　県交通政策課とりまとめ）

要望先	要望内容
東武鉄道㈱	柳生駅へのエレベーター、エスカレーターの設置
東武鉄道㈱	柳生駅への多機能トイレの設置

※鉄道整備要望の中からバリアフリー化関連を抜粋

事 業 名		総合教育会議運営事業			2211-33
担 当 課		政策調整課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	24,000 円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	24,000 円	―
目	07	企画費	決　算　額	12,000 円	―
事業の目的		地域の教育の課題やあるべき姿を共有し、より一層民意を反映した教育行政を推進するため、総合教育会議を適切に運営する。			
事業の概要		市長と教育委員会により構成する総合教育会議を開催し、以下の事項を協議・調整する。 ①加須市人づくりプランの進行管理 ②教育の条件整備など重点的に講ずべき施策 ③児童・生徒等の生命・身体の保護等緊急の場合に講ずべき措置			

事業の実績・成果

○設置の経緯

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、平成 27 年 4 月 1 日から、全ての地方公共団体に市長と教育委員会で構成される「総合教育会議」の設置が義務付けられた。

本会議は、地域の教育の課題やあるべき姿を共有し、より一層民意を反映した教育行政の推進を図ることを目的とし、令和 5 年度は以下のとおり会議を開催した。

○開催回数　　2 回（令和 5 年 8 月 18 日、令和 6 年 2 月 2 日）

○構成員　　市長、教育長及び教育委員

○令和 5 年度の協議事項

・加須市立幼稚園再編計画の策定について
・小学校水泳指導民間委託について
・外国籍児童の日本語指導について
・小中学校のあり方意見交換会(幼稚園・小中学校評議員)について

事 業 名		渡良瀬遊水地活用推進事業			4212-05
担 当 課		環境政策課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	148,000 円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	148,000 円	―
目	07	企画費	決　算　額	52,272 円	―
事業の目的		地域の振興と活性化を図るため、ラムサール条約湿地として登録された渡良瀬遊水地のワイズユース（賢明な利用）を推進する。			
事業の概要		渡良瀬遊水地利活用推進計画を推進し、環境を保全しながら観光拠点としての活用を図る。			

事業の実績・成果

1　渡良瀬遊水地利活用庁内推進委員会の開催（意見照会による代替え開催）

渡良瀬遊水地利活用庁内推進委員会を令和 6 年 3 月 21 日に開催予定であったが、同日発生した地震の影響により開催が中止となったため、代わりに「加須市渡良瀬遊水地利活用推進計画」における 令和４年度の進行管理等の意見照会を行った。

・委員数 16 人

2　渡良瀬遊水地ボランティアガイド養成講座の開催

栃木市、板倉町との共催による「渡良瀬遊水地ボランティアガイド養成講座」を令和 6 年 4 月から 12 月までの毎月第 4 土曜日に開催した（全 9 回　修了者 15 名）。

広報かぞ 3 月号で、令和 6 年度に実施するボランティアガイド養成講座の募集を行った。

3　渡良瀬遊水地ロゴマークの活用

渡良瀬遊水地の価値や魅力を高め、親しみを深めてもらうために、渡良瀬遊水地保全・利活用協議会で作成した、渡良瀬遊水地ロゴマークをイベントの周知等で活用した。

渡良瀬遊水地ロゴマーク

4　「渡良瀬遊水地ヨシ焼き連絡会」

連絡会会員（栃木市、小山市、野木町、加須市、古河市、板倉町）及び事務局である（一財）渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団と調整を行い、令和 6 年 3 月 3 日（日）にヨシ焼きを実施した。

事業名	渡良瀬遊水地まつり開催事業			4212-06
担当課	地域振興課（北川辺）		現　年	前年度からの繰越
款 02	総務費	当初予算額	6,200,000 円	―
項 01	総務管理費	最終予算額	6,200,000 円	―
目 07	企画費	決　算　額	5,913,288 円	―
事業の目的	ラムサール条約の理念である、湿地の「賢明な利用（ワイズユース）」の考え方に基づき、渡良瀬遊水地の広大な自然の保全・活用を推進する。			
事業の概要	渡良瀬遊水地のラムサール条約への登録を記念し、渡良瀬遊水地まつりを開催する。開催にあたっては、渡良瀬遊水地の歴史や環境、役割等について、展示・体験を通じてその魅力を充分に発揮できるものとする。			

事業の実績・成果

1　開催日　令和５年10月１日（日）

2　内　容

【ステージ関連】

・オープニングセレモニー
・ステージ発表
　加須市立北川辺西小学校、
　開智未来高等学校吹奏楽部、
　開智未来中学・高等学校ダンス部
・トークショー
・サイクリングヨガ

ステージ発表

【環境・治水学習関連】

・環境おもしろクイズ
・クビアカツヤカミキリに関する展示
・野鳥観察会（2回実施）
・利根川上流河川事務所パネル展示
・災害対策車両展示
・ヨット＆カヌー体験

ヨット＆カヌー体験

【サイクリング関連】

・レンタサイクル
　クロスバイク･電動アシスト自転車　各10台
・子供向けストライダーレース　参加者34人
・サイクリング団体＆企業PRブース（10社）
・こどもの交通安全学習＆ＶＲ体験会

【その他】

・運営ボランティア
　市内中学生４人、高校生３人
・キャンプ用品等展示・体験
・模擬店（34団体、売上1,577,560円）
・遊水地隣接市町観光PRブース
　（小山市、栃木市、板倉町、加須市）
・道の駅との連携
・ＦＭわたらせによる事前周知及び当日の中継
・渡良瀬遊水地及び加須の偉人に関するパネル展示
・パトカー、白バイ、指揮車の展示
・交通安全母の会による啓発活動
・消防車両、救急車両の展示
・防火啓発活動
・自衛隊車両の展示
・マキタ工具体験
・熱気球係留体験（当日、強風のため中止）

パトカー、白バイ、指揮車の展示

3　観客数の推移　（単位：人）

年　度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
観客数	約4,500	コロナのため中止	コロナのため中止	約8,000	約6,000

事 業 名		地域市民活動促進事業			5131-03
担 当 課		市民協働推進課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	5,805,000 円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	5,213,000 円	―
目	07	企画費	決　算　額	5,145,190 円	―
事業の目的		協働によるまちづくりを推進するために、市民の自主的・主体的な活動を支援する。			
事業の概要		・市民の自主的、主体的な地域市民活動への参加を促進し、協働によるまちづくりを推進する。 ・「まちづくりネットワーク・かぞ」との協働運営に基づき、市民活動ステーションを拠点とした市民活動への参加促進を図る。 ・地域市民活動支援補助金を活用し、団体の育成及び自立支援を行う。			

事業の実績・成果

各地域で自主的に活動している市民活動団体に対し、人材育成や団体の成長に合わせた助成、情報の提供等を支援することにより、各種市民活動団体の自立促進を図った。

■地域市民活動支援補助金　　878,000 円

《はじめよう部門》　（単位:円）

団　体　名	補助金額	概　　要
コミュニティハウス三俣	188,000	＜子育て支援＞ こどもたちが孤立しがちな学校の長期休業中に、食事や学習支援を行うことで、地域のこどもたちに居場所を与え、地域ぐるみで関わりを持つことによるコミュニミュニティの向上とこどもたちの健全な育成に寄与した。

《そだてよう部門》　（単位:円）

団　体　名	補助金額	概　　要
下總皖一を歌う合唱団	180,000	＜芸術文化の発展＞ 埼玉県及び加須市の偉人「下總皖一」の音楽を演奏することで、地域の住民、次世代に広く感動を伝え、地域の文化芸術の発展に寄与した。
特定非営利活動法人たすけあいワーカーズきらきら館	210,000	＜まちづくり支援＞ 地域コミュニティ事業として、「ほっとするスペース」で楽しく過ごせるイベントを開催し、住み慣れた場所で安心して自分らしく暮らせる環境づくりを行うことで、地域活性化に寄与した。

《いっしょに取り組もう部門》　（単位:円）

団　体　名	補助金額	概　　要
一般社団法人すくすく広場	300,000	＜子育て支援＞ こども食堂、あそび場、学びの場を提供し、食事や学習支援を行うことで、地域のこどもたちに居場所を与え、こどもたちの健全な育成に寄与した。

■まちづくり連携組織補助金　　3,931,463 円

（単位:円）

団　体　名	補助金額	概　　要
まちづくりネットワーク・かぞ	3,931,463	・まちづくり活動支援事業（総会、モデル事業支援、まちづくりフォーラム in かぞ 2024 開催等） ・情報受発信及びスキルアップ事業（まちネット通信発行、まちづくり学習会、まちづくり視察研修の開催等） ・市民活動ステーションの管理運営（市民活動団体支援、情報交換・交流事業等）

■市民活動ステーション管理運営費（消耗品費、電話料、郵便料 等）　316,027 円

■市民活動フェア経費（会場借上料）　19,700 円
第 11 回市民活動フェア
開催日：令和 6 年 3 月 8 日（金）～10 日（日）
開催会場：市民総合会館 3 階多目的ホール

事 業 名		協働推進事業			5131-04
担 当 課		市民協働推進課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	124,000 円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	81,000 円	―
目	07	企画費	決　算　額	50,722 円	―
事業の目的		将来にわたり自助・共助の精神が根づいた自立したまちをつくるため、市民、団体、企業と行政との協働を推進する。			
事業の概要		加須市協働によるまちづくり推進条例に基づく各取組 ・協働による主体的な活動を後押しする新しいまちづくり市民会議の運営を支援する。 ・庁内の連携を図り市民等との協働を進めるため、協働によるまちづくり推進員を設置する。 ・各課事務事業の協働の推進に係る啓発を行う。			

事業の実績・成果

〇協働による事務事業の推進
・各課における協働による事務事業の状況を把握するため、調査を実施した。

〇加須市協働によるまちづくり推進条例に基づく庁内の協働体制づくりの推進
・各課に協働によるまちづくり推進員（計 54 名）を配置した。
・協働によるまちづくり推進員を対象とした研修会を開催した。
開催日：令和 5 年 10 月 25 日（水）
対象：協働によるまちづくり推進員（計 54 名）
テーマ：「協働 基本のキ」　～客観的データに基づく地域の現状分析～
講師：一般財団法人地域活性化センター 企画・人材育成グループ 人口・地域経済研究室　平林 拓海氏ほか

〇まちづくり市民会議の開催
・「加須市『若者』まちづくり市民会議（かぞのイイトコ見つけ隊）」として、高校生（15 歳以上）から 39 歳までの若者世代を対象としてメンバーを募集し、計 8 名のメンバーで市民会議を発足した。（令和 6 年 3 月末日現在メンバー数：8 名）
・合計 8 回のミーティングのほか、市内の様々なスポットやお店、イベント等を取材し、ＳＮＳを活用した情報発信を継続的に行い、メンバーによる自主的・主体的な活動を支援した。
・ＳＮＳ（インスタグラム）による情報発信件数：18 件（令和 6 年 3 月末日現在）

事業名	夢・未来応援事業				5131-14
担当課	市民協働推進課			現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	2,135,000円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	2,116,000円	―
目	07	企画費	決　算　額	489,977円	―
事業の目的	加須市の未来を担う若者たちの夢を叶えるための挑戦を市民とともに応援することにより、市全体の活気を盛り上げ、もって元気都市かぞの実現を目指す。				
事業の概要	夢を叶えるために応募してきた若者たち（市内の中学生～20歳以下）の挑戦を、一定条件の中で審査し、対象者に夢チャレンジ応援助成金（上限20万円）の支給や応援者との接点を作るなど、全市を挙げて応援する。3年以内に最終成果報告を広報紙やHPに掲載する。				

事業の実績・成果

○事業周知（7月）
・広報紙による周知や校長会において各中学校へのPRを行うほか、市内各中学校へPRチラシを配布
・市内及び近隣の高等学校、公共施設などにポスターを掲示

○挑戦者募集期間（8月1日～9月29日）
・市HP、公式ツイッター、フェイスブック、テレビ埼玉のデータ放送にて募集開始を周知した。

○一次審査：担当及び関係部課長等による書類審査（10月28日）
・応募者：6人
・一次審査通過者：6人

○二次審査：公開プレゼンテーション
・日　時：12月3日（日）10時00分～
・場　所：不動岡コミュニティセンター　会議室1,2,3

・審査員：副市長、教育長
　　石塚　幸子　氏（加須市観光大使）
　　会場審査員21人
・採用決定者：6人

○夢・未来応援事業チャレンジャーとして6名への支援を決定

① ミュージカル女優になりたい
・挑　　戦　　者：高校2年生
・理　　由：小学2年生の頃から約10年ほどミュージカルをしてきて、表現することの楽しさや、おもしろさ、観てくださる方々に喜んでもらえる演技、歌、ダンスを追求することが自分の生きがいだと感じているから。
・今頑張っていること：加須市のミュージカルかぞに参加し、週に2回の歌のレッスンに参加している。
・これからチャレンジしたいこと：プロのボイストレーナーの方に教わりたい。

② ラグビーで埼玉パナソニックワイルドナイツのメンバーになりたい
・挑　　戦　　者：中学1年生
・理　　由：父の影響で小学4年生からラグビーを始め、現在は江東ラグビークラブと埼玉パナソニックワイルドナイツユースに所属している。将来は埼玉パナソニックワイルドナイツに入るか、ニュージーランドに移住し、オールブラックスに入れるように頑張りたい。
・今頑張っていること：毎日ランニングを3km、パス練習、柔軟運動を行い、金曜日はパナソニックワイルドナイツユース練習、土日は江東ラグビークラブ・パナソニックワイルドユースで練習や試合を行っている。
・これからチャレンジしたいこと：天然芝の上でナイター練習ができるグラウンド環境で練習がしたい。

③ 陸上選手になりたい
・挑　　戦　　者：中学1年生
・理　　由：小学校3年生から加須ジュニア陸上クラブに所属し、活動をしていた。たくさんの大会や記録会に出場するようになって陸上の楽しさを感じるようになり、負けた時の悔しさや勝った時の嬉しさを味わい、もっと強くなりたいと思った。
・今頑張っていること：学校の部活動、週3回のクラブチームの練習や毎日の自主練習を頑張っている。
・これからチャレンジしたいこと：陸上競技場で、日本のトップ選手と一緒に練習をしたい。

④ イラストを仕事にしたい
・挑　　戦　　者：中学2年生
・理　　由：イラストを描くのが好きで、将来イラストでお仕事ができたらと思った。
・今頑張っていること：イラストを沢山描いたり、アニメーションを作ったり、画力を上げるために苦手な身体や手の練習などをしている。
・これからチャレンジしたいこと：インターネットで依頼を受け、依頼主の満足のいくものを作り、アニメ会社に入社し、アニメを作りたいと思っている。

⑤ アナウンサーになりたい
・挑　　戦　　者：大学2年生
・理　　由：小学生の頃、東日本大震災の際に、被災者に寄り添いながらも、多くの人に自分の言葉で何かを伝えようとしているアナウンサーの姿に強く心を動かされたのから。
・今頑張っていること：フジテレビのアナウンススクールと日本テレビのスクールに通っている。スクールでのリポートや原稿読みの実習、災害報道についての講義などを通して、自分の言葉で今の状況をいかに上手く伝えられるか、人に寄り添い安心させられる話し方ができるかを必死に模索している。
・これからチャレンジしたいこと：加須市で開催されるイベントで司会をしたい。人前に立ち、話したりすることに慣れ、どんな状況でも対応できる柔軟性を身につけたい。

⑥ F1ドライバーになりたい
・挑　　戦　　者：高校2年生
・理　　由：小さい頃からスポーツカーが好きで、プロドライバーになりたいと思った。
・今頑張っていること：月に2回の練習を大事にしながら取り組んでいる。毎回必ず目標を決めて練習に臨んでいる。
・これからチャレンジしたいこと：様々なレースで実績を残し、ホンダの鈴鹿レーシングスクールに通いたい。

○応援支援金の支給　477,235円
・バスプロ：技術向上のための部品代等
・ミュージカル女優・アーティスト：レッスン費、楽曲制作費等
・F1ドライバー：レース出場に係るタイヤ代
・科捜研の研究員:科捜研の勉強や学習に必要な参考書等
・ラグビー選手：留学に係る交通費

○「夢の応援者（サポーター)」からの支援（令和5年度実績0件）

○市からの支援（令和5年度実績1件）
・令和5年度チャレンジャー（うち5名)：FMわたらせ「おかえり！わたらせ」内「かぞトピ！」にて、チャレンジャーの自己PRと支援募集の周知を行った。

事 業 名		家族・地域の絆推進運動事業			5133-01
担 当 課		市民協働推進課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	242,000 円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	242,000 円	―
目	07	企画費	決　算　額	34,910 円	―
事業の目的		市民一人ひとりが家族や地域のつながりを深め、市民相互の信頼関係やコミュニティ意識を高めることにより、地域力の向上を図るとともに、「協働」のまちづくりをさらに深化させる。			
事業の概要		絆運動の６つの柱（夢・安心・安全・快適・活力・いきいき）のそれぞれの視点から運動の推進を図る。 ・基本運動 あいさつ運動、えがお運動、おもいやり運動の励行 ・基本行動 市に関わりのあるすべての団体が、「絆」マーク、文言、冠を活用し、運動の展開に努める。			

事業の実績・成果

・これまでの事業の検証と今後の在り方を見直すとともに、新たな事業展開の手法等を検討するため、令和５年度においては具体的な事業展開を行わなかった。

事 業 名		居住ＵＩＪターン促進事業			5213-01
担 当 課		建築開発課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	3,219,000 円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	3,219,000 円	―
目	07	企画費	決　算　額	1,985,187 円	―
事業の目的		「絆でつくる緑あふれる安心安全・元気な田園都市　加須」の実現を目指し、居住ＵＩＪターンに取り組み、市外からの移住や市内に住む親族との同居・近居を促進・支援して定住人口を確保する。 また、親族との同居・近居は、親族間での生活支援等（子育て・介護・経済）が可能となることから、相互の安心・安全な生活の確保と本市の活性化を実現する。			
事業の概要		平成28年度から市外からの転入者及び市内で親族との同居･近居をしようとする者を定住コンシェルジュがサポートし、住宅開発する際の開発許可申請手数料等の免除、引越費用の一部助成、加須産米の贈呈、さらに、令和２年度から移住に関するオンライン相談、移住体験見学会を拡充し、現在６つの事業を展開している。			

事業の実績・成果

１ 定住コンシェルジュを配置し、市外からの転入者及び市内で親族との同居・近居をしようとする者に対して、適切なアドバイスを行った。

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
受付件数（件）	132	134	82	109	63

２ 住宅開発する際の開発許可申請手数料等の免除を行った。（市内に親族がいて、条件に合致する方が対象）

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
対象件数（件）	43	42	44	42	40
手数料免除金額（円）	657,700	623,040	728,620	606,540	617,700

３ 市内に自己用住宅を取得して転入する中学生以下の子と同居する親子に引越し費用の一部助成を行った。【市民課】

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
助成件数（件）	46	47	45	53	53
助成金額（円）	445,000	566,000	439,000	578,000	571,000

４ 市内に転入する中学生以下の子と同居する親子に、中学生以下の子１人につき 10kg の加須産米引換券の贈呈を行った。【市民課】

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
贈呈件数（世帯）	315	296	257	319	272
贈呈量（kg）	940	870	738	912	4,020
引換量（kg）	572	590	534	590	2,588
決算（円）	241,080	248,240	215,320	223,540	1,062,940

５ 居住ＵＩＪターンを促進するため、移住イベントに出展し移住相談・ＰＲを実施した。【市民協働推進課】

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
出展回数（回）	－	－	0	3	3

事 業 名		コミュニティバス運行事業			5241-01
担 当 課		政策調整課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	133,829,000 円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	133,798,000 円	―
目	07	企画費	決　算　額	127,870,601 円	―
事業の目的		高齢者等、交通弱者の病院・公共施設等への移動手段を確保し、公共交通の維持・充実を図るため、コミュニティバスを運行する。（実施主体：加須市コミュニティバス円滑運行協議会）			
事業の概要		令和３年度に策定した「加須市地域公共交通計画」に基づき、市全域（栗橋駅西口を含む）を運行エリアとして、デマンド型乗合タクシー、シャトルバス、循環バスの３つの運行方式によるコミュニティバスを運行するとともに、より市民に利用しやすいコミュニティバスとなるよう随時運行改善を実施する。			

事業の実績・成果

病院・公共施設等への移動手段の確保や、公共交通不便地域の解消を図るため、デマンド型乗合タクシー、シャトルバス、循環バスの３つの運行方式でコミュニティバス「かぞ絆号」を運行した。

○コミュニティバス「かぞ絆号」の１日平均利用者数　（単位：人）

区　分		令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
デマンド型乗合タクシー	北エリア	6.4	6.3	7.6	8.3
	中エリア	47.1	54.9	61.5	69.4
	南エリア	31.3	34.3	37.6	44.7
	小　計	84.7	95.5	106.6	122.4
シャトルバス	新古河駅西口発	6.3	6.0	7.3	7.1
	プラザきさい発（※）	4.9	5.2	7.4	7.6
	小　計	11.2	11.2	14.7	14.8
循環バス	西循環	10.1	15.1	15.8	13.9
	東循環	44.2	49.2	55.1	61.4
	小　計	54.3	64.3	70.9	75.3
合　計		150.2	171.0	192.2	212.5

端数処理の都合により小計が一致しない箇所がある。

（※）シャトルバスのプラザきさい発は、令和４年１月から加須駅南口発、令和４年６月から済生会加須病院発

事 業 名		路線バス・タクシー維持促進事業			5242-01
担 当 課		政策調整課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	10,213,000 円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	10,200,000 円	―
目	07	企画費	決　算　額	10,198,323 円	―
事業の目的		市民が安全、便利、快適に移動できるよう民間路線バス・タクシーの維持・継続を図る。			
事業の概要		民間路線バス、タクシーの維持・継続に向けて事業者等との協議を実施する。 路線バス東鷲宮－豊野コミセン線、東武鷲宮駅までの乗入れを実施し、新たな需要の創出を図り、路線の継続に向けた支援を実施する。			

事業の実績・成果

民間路線バス（東鷲宮駅西口～豊野コミュニティセンター線）について、補助金を交付し、路線の維持・充実を図った。

○民間路線バス（東鷲宮駅西口～豊野コミュニティセンター線）への補助及び路線の充実

・朝日自動車株式会社が運行する路線バス「東鷲宮駅西口～豊野コミュニティセンター線」について、運行費用の一部について、補助を実施し、路線の継続を図った。

・川口コミュニティセンターと豊野コミュニティセンターに路線バス利用促進ポスターを掲示し、利用促進を図った。

（年間延べ利用者数）　（単位：人）

令和４年度	令和５年度	増減数
163,733	156,569	▲7,164

事 業 名		鉄道輸送力増強等促進事業			5243-01
担 当 課		政策調整課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	75,000 円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	29,000 円	―
目	07	企画費	決　算　額	27,281 円	―
事業の目的		市民が安全、便利、快適に移動できるよう、鉄道の維持・充実を図るため、鉄道の輸送力増強等を促進する。			
事業の概要		東武伊勢崎線・日光線輸送力増強等、久喜駅での伊勢崎線と東北本線との相互直通運転、地下鉄７号線延伸、東北新幹線久喜駅設置など、鉄道の輸送力増強等に関する要望活動及び交通施策の調査・研究を行う。			

事業の実績・成果

交通政策関連協議会等に参画し、要望活動を実施した。

○埼玉県を通じての鉄道整備要望（令和５年10月　県交通政策課取りまとめ）

○東武伊勢崎線輸送力増強推進協議会

・令和５年11月15日　東武鉄道株式会社に対して、陳情活動を対面で実施し、「東武伊勢崎線輸送力改善に関する陳情書」を提出した。

○地下鉄７号線建設誘致期成同盟会

・令和５年11月15日　埼玉県知事及び埼玉県議会議長並びに関係する県議会議員に対して、要望活動を対面で実施し、「埼玉高速鉄道線の建設促進及び延伸誘致に関する要望書」を提出した。

・令和５年11月21日　財務副大臣及び国土交通大臣をはじめとする政務三役並びに関係する国会議員に対して、要望活動を対面で実施し、「埼玉高速鉄道線の建設促進及び延伸誘致に関する要望書」を提出した。

○東北新幹線久喜駅設置促進期成同盟会

・令和５年10月25日　東日本旅客鉄道株式会社大宮支社及び埼玉県に対して「東北新幹線久喜駅設置に関する陳情書」を郵送で提出した。

事業名	マイナンバー活用事業				5251-05
担当課		業務改善課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	13,383,000円	－
項	01	総務管理費	最終予算額	13,383,000円	－
目	07	企画費	決　算　額	13,270,242円	－
事業の目的	市民の利便性の向上と行政の効率化を図るため、マイナンバー制度の利活用を推進する。				
事業の概要	・申請時等の事務手続きの簡素化のため、申請時等の添付書類の削減を図るとともに、マイナンバー及びマイナンバーカードの利活用を推進する。 ・情報提供ネットワークシステムを介した情報連携を円滑かつ継続的に行うため、必要に応じて関係システムの改修を行う。				

事業の実績・成果

1　マイナンバーカードの機能拡充の推進

【マイナンバーカードの活用が可能な行政サービス】

・平成29年3月住民票の写し、印鑑登録証明書等のコンビニ交付を開始
・平成29年11月マイナポータルに係る子育てワンストップサービス（ぴったりサービス）を開始
・令和元年11月マイナポータルに係る介護ワンストップサービス（ぴったりサービス）を開始
・令和2年3月図書館の貸出カードへ公的個人認証（JPKI）シリアル方式を導入
・令和3年10月マイナンバーカードの健康保険証利用の本格運用開始
・令和4年3月マイナンバーカードの公金受取口座の登録開始
・令和5年2月マイナポータルに係る引越しワンストップサービスを開始
・令和6年3月マイナポータルに係る被災者支援サービス(罹災証明書・被災証明書の発行申請)を開始

2　特定個人情報保護評価の実施

公的給付の支給等の迅速かつ確実な実施のための預貯金口座の登録等に関する法律による特定公的給付の支給などに伴い、新たに評価を実施した（基礎項目評価書5事務）。

3　特定個人情報保護評価書の見直し

公表している評価書の記載事項を実態に照らして、必要な修正を行った（重点項目評価書3事務、基礎項目評価書20事務）。

4　マイナポイント事業の推進

マイナンバーカードを活用した消費活性化策である国のマイナポイント事業について、令和4年度に引き続き、本庁舎及び各総合支所に支援窓口を設置し、マイナンバーカード取得者に対して、マイナポイントの申込支援等を行うとともに、ホームページをはじめとする各種の広報媒体を通じ、市民に対して事業内容の説明・周知を行った。

マイナポイント第2弾

①マイナンバーカード新規取得者等（最大5,000円相当のポイント付与）
・ 実施期間：令和4年1月1日から令和5年9月30日まで
・ 支援件数：9,060件（令和5年4月1日～令和5年9月30日）

②健康保険証利用登録（7,500円相当のポイント付与）
・ 実施期間：令和4年6月30日から令和5年9月30日まで
・ 支援件数：7,421件（令和5年4月1日～令和5年9月30日）

③公金受取口座登録（7,500円相当のポイント付与）
・ 実施期間：令和4年6月30日から令和5年9月30日まで
・ 支援件数：6,895件（令和5年4月1日～令和5年9月30日）

5　公金受取口座の活用

公金受取口座を活用した給付を実施し、市民の利便性の向上と行政の効率化を図った。

6　関係システムの整備

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に対応するため、関係システムの整備を実施し、平成29年11月13日より情報連携を開始している。

・特定個人情報の提供の求め等に係る電子計算機設置等関連事務委任交付金　　3,937,000円
（自治体中間サーバ・プラットフォームASPサービスに係る負担金）

令和5年6月の情報提供ネットワークシステムにおける「特定個人情報データ標準レイアウト」の改版に対応するため、運営主体が示す改版仕様を踏まえた住民情報システムの改修を実施した。

・特定個人情報データ標準レイアウト改版に要する経費　　693,000円
（対象業務：団体内統合宛名）

事業名		総合振興計画進行管理事業			5311-02
担当課		政策調整課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	132,000円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	39,000円	―
目	07	企画費	決　算　額	39,000円	―
事業の目的		計画的な行政運営を推進し、本市の将来都市像である「絆でつくる　緑あふれる　安心安全・元気な田園都市　加須」を実現するため、総合振興計画（まち・ひと・しごと創生総合戦略を含む。）の進捗を管理する。			
事業の概要		各施策の実現に向け、各事業及びKPIの進捗状況を把握し、助言・指導等を行う。 ・計画期間（令和3年度～令和12年度） ・前期基本計画（令和3年度～令和7年度）			

事業の実績・成果

1　第2次加須市総合振興計画の取組結果

計画的な行政運営を推進し、本市の将来都市像である「絆でつくる　緑あふれる　安心安全・元気な田園都市　加須」の実現を目指し、まち・ひと・しごと創生総合戦略を包含した第2次加須市総合振興計画に位置付けたKPI（重要業績評価指標）149本について、令和4年度の取組結果を加須市総合振興計画推進本部及び加須市総合振興計画推進懇話会へ報告するとともに、進捗の遅れ等の見られる項目の取組を推進した。

令和4年度については、KPI（重要業績評価指標）149本中、98本（65.8%）が「目標を達成・概ね達成」と評価された（下表参照）。

なお、令和4年度にKPI（重要業績評価指標）の「出前市長室に参加した人数」及び「市政についての話し合いに参加した人数」を「タウンミーティングに参加した人数」として再編し、全150本から全149本となった。

［令和4年度取組結果（評価区分ごとの項目数等）］

区　分	取組項目数	割　合
1　目標を達成	57（50）	38.3%（33.3%）
2　概ね達成	41（53）	27.5%（35.3%）
3　やや遅れている	34（27）	22.8%（18.0%）
4　大幅に遅れている	14（17）	9.4%（11.3%）
5　評価対象外	3（3）	2.0%（2.0%）

※（　）内：令和3年度取組結果である。

2　加須市総合振興計画推進本部の開催

令和5年7月に総合振興計画推進本部を開催し、第2次加須市総合振興計画に位置付けたKPI（重要業績評価指標）の進捗状況を確認するとともに、取組を実施するに当たり、生じた課題等について議論し解決を図った。

3　加須市総合振興計画推進懇話会の開催
　令和５年８月に懇話会を開催し、様々な分野の視点から、加須市総合振興計画に位置付けた取組の結果等について意見や提言をいただいた。

4　取組結果等の公表
　令和４年度における取組結果等について、広報かぞ（12 月号 NO.165）及びホームページにて公表した。

事業名		行政経営プラン進行管理事業			5311-04
担当課		業務改善課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	54,000 円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	39,000 円	―
目	07	企画費	決　算　額	39,000 円	―
事業の目的		「市民との協働による未来につなげる自治体経営」を実現するため、「第３次加須市行政経営プラン」に定める事項を着実に実行する。			
事業の概要		取組状況を定期的に把握し、進捗を的確に管理するため、加須市行政経営本部会議において協議を行うとともに、加須市行政経営懇話会に報告し、意見及び助言等を受け、様々な視点からの評価や見直しを行う。 計画期間（令和３年度～令和７年度）			

事業の実績・成果

1　行政経営プランの取組結果
　「市民との協働による未来につなげる自治体経営」の実現を目指し、第３次加須市行政経営プラン（計画期間：令和３年度から令和７年度まで（計画期間：５年間））に掲げる取組項目の全 133 項目について、令和４年度の取組結果を加須市行政経営本部会議及び加須市行政経営懇話会へ報告するとともに、進捗の遅れ等の見られる項目の取組を推進した。
　令和４年度については、再掲９項目を除いた 124 項目中、86 項目（69.4%）が「目標を達成・概ね達成」と評価された（下表参照）。
　なお、令和４年度に取組項目の「市政についての話し合いの開催」及び「出前市長室の推進」を「市長と語るタウンミーティングの実施」として再編し、全 134 項目から全 133 項目となった。

［令和４年度取組結果（評価区分ごとの項目数等）］

区　分	取組項目数	割　合
1　目標を達成	47（47）	37.9%（37.6%）
2　概ね達成	39（43）	31.5%（34.4%）
3　やや遅れている	23（19）	18.5%（15.2%）
4　大幅に遅れている	15（16）	12.1%（12.8%）

※（　）内：令和３年度取組結果である。

2　加須市行政経営本部会議の開催
　令和５年７月に本部会議を開催し、行政経営プランの各取組の進捗状況を確認するとともに、取組を実施するに当たり、生じた課題等について議論し解決を図った。

3　加須市行政経営懇話会の開催
　令和５年８月に懇話会を開催し、市民の立場と経営の視点から、行政経営プラン取組結果等について意見や提言をいただいた。

4　取組結果等の公表
　令和４年度における取組結果等について、広報かぞ（12 月号 NO.165）及びホームページにて公表した。

事業名	行財政改革推進事業				5311-06
担当課		業務改善課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	111,000円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	102,000円	―
目	07	企画費	決　算　額	97,350円	―
事業の目的		市民に質の高い行政サービスを提供していくため、持続可能で安定的な行財政基盤を確立する。			
事業の概要		効果的で効率的な自治体運営を推進するため、加須やぐるまマネジメントサイクルによる行政評価を行い、不断の改善と見直しを進めるとともに、新たな行政課題への対応を図る。			

事業の実績・成果

1　有料広告の取組

民間企業等との協働により、市の新たな財源の確保や歳出削減、市民サービスの向上や地域経済の活性化を図ることを目的に、有料広告の取組を実施した。

令和5年度に広告料収入又は無償提供があったものは、5件の媒体で、収入額及び削減額の合計は、2,661千円であった。

(1)広告料収入を得たもの

No.	名　称	収入額	備　考
1	市ホームページバナー広告	620,000円	・8/15枠掲載（月額10,000円/1枠）
2	循環バス車内広告	24,000円	・2/5枠掲載（月額1,000円/1枠） ・収入の1/2を手数料として車両所有事業者へ支払う。(12,000円)
3	広告付受付番号自動発券機システム	462,000円	・本庁舎及び各総合支所に設置する行政情報・広告放映モニターで広告放映し、広告料の一部を納入
合　計		1,106,000円	

(2)現物の無償提供を受けたものと削減効果額

No.	名　称	削減効果額	備　考
1	市民課等窓口用封筒	815,100円	・角2窓なし封筒18,000枚・角6窓なし封筒60,000枚
2	広告付受付番号自動発券機システム	740,000円	・受付番号自動発券機を無償提供
合　計		1,555,100円	

2　令和5年度 若手職員によるプロジェクトチームの取組

・目　的 ： 若手職員の育成及び組織の活性化

・構成員 ： 男性3名、女性2名、合計5名

・研究テーマ：”さ・あ・き・み・に”五感で伝える15周年 ～”加須”を読める人1億2000万人への挑戦～

加須市民にとっては身近だが、「身近にある実は凄い」既存資源を中心に五感をフル活用して加須の魅力をＰＲし、加須市の認知度を大きく広める取組をテーマとして検討を行い、6本の提案が事業化された。

3　職員提案制度に基づく事務改善事例の活用

本市の市政に関する改善を行うことを奨励し、もって職員の意欲の向上及び考える職員の育成並びに組織の活性化を図ることを目的として、毎年、各課が所掌する事務又は事業で、効果的に見直した事務改善の事例を改善事例集として取りまとめた。

・改善報告数：82 件(全 54 課所室)

また、他課から報告された事務改善事例を自課の事務改善へ取り入れることにより、全庁的に改善効果を高める取組を行った。

・改善報告事例　活用済（一部活用を含む）：71 事務

4　行政手続等における押印の見直し

市民の負担軽減と利便性の向上を図るため、行政手続等における押印の見直しを引き続き進めた。

・押印を廃止した行政手続等の例

軽自動車税課税台帳抹消申立書、市町村交通災害共済見舞金請求書兼決定書、水洗便所改造等資金償還期限延長等申請書　など

・行政手続等における押印の見直し結果

		総　数（①+②）			①　市の規定に基づくもの			②　国、県等の規定に基づくもの		
			廃止	継続		廃止	継続		廃止	継続
市民向け行政手続	押印有申請書等の数	1,767	1,450	317	1,397	1,113	284	370	337	33
	割合（%）	100%	82%	18%	79%	80%	20%	21%	91%	9%
市役所内部手続	押印有申請書等の数	514	449	65	329	276	53	185	173	12
	割合（%）	100%	87%	13%	64%	84%	16%	36%	94%	6%
合　計	押印有申請書等の数	2,281	1,899	382	1,726	1,389	337	555	510	45
	割合（%）	100%	83%	17%	76%	80%	20%	24%	92%	8%

事業名	分権推進事業				5311-07
担当課	政策調整課			現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	2,000円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	0円	―
目	07	企画費	決　算　額	0円	―
事業の目的	計画的な行政運営を推進するため、本市が地域の実情に即した行政を展開できるよう、地方分権を推進する。				
事業の概要	県と移譲を受ける事務について調整する。				

事業の実績・成果

埼玉県権限移譲方針に基づき、移譲対象事務について受入れの検討を実施した。

なお、令和5年度は埼玉県との意見交換会がオンライン形式で実施されたため、予算（普通旅費）の執行はなかった。

○移譲事務の状況　（単位：事務）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
全体の移譲対象事務数	175	164	164	164	164
本市への移譲対象事務数	112	110	110	110	110
移譲済み事務数	84	84	84	84	84
受入率（%）	75.0	76.4	76.4	76.4	76.4

事業名	個人版ふるさと納税促進事業			5311-17
担当課	政策調整課		現　年	前年度からの繰越
款 02	総務費	当初予算額	74,771,000円	―
項 01	総務管理費	最終予算額	201,598,000円	―
目 07	企画費	決　算　額	178,524,795円	―
事業の目的	計画的な財政運営を推進するため、加須市を愛し、応援しようとする個人または団体から広く寄附金を募り、歳入の確保を図るとともに、寄附者の加須市に対する思いを具現化する。			
事業の概要	寄附獲得に向け、ホームページやポータルサイトを活用し、ふるさと納税制度及び市の特産品、市の魅力をＰＲする。 市の魅力アップにつながる返礼品の充実を図る。 一定額以上の寄附者に対し、返礼品を贈呈する。 寄附金を基金に積み立て、各種事業の財源とする。			

事業の実績・成果

ふるさと納税（ふるさとづくり寄附金）で加須市に貢献したい、応援したいという個人や団体から広く寄附金を募った。市ホームページ及びふるさと納税ポータルサイトへの掲載を行った。一般社団法人埼玉レディースベースボールに事務の一部を委託した。

○寄附金の実績

	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
個人	2,844件	43,747,776円	12,814件	113,359,196円	29,079件	299,174,915円
団体	8件	3,308,285円	10件	1,253,234円	14件	2,512,968円
合計	2,852件	47,056,061円	12,824件	114,612,430円	29,093件	301,687,883円

（※令和5年度の個人10件、団体13件は加須市民からの寄附）

○ふるさと納税に要した経費等

歳入	ふるさと納税のうち個人分（A）	299,174,915円
歳出	報償品費（送料含む）	113,652,327円
	手数料、消耗品費、委託費、印刷製本費、郵便料	64,872,468円
	合計（B）	178,524,795円
費用負担割合（B/A）		59.7%

（※募集に係る費用以外も含む。）

○ふるさと納税の寄附金の内訳

寄附金の内訳	件数	金額
豊かな自然と快適な環境のまちづくりに関する事業	4,297件	43,778,019円
芸術文化の振興に関する事業	430件	4,479,000円
健康づくりの推進に関する事業	582件	6,621,500円
まちおこしに関する事業	1,031件	10,040,000円
スポーツの振興に関する事業	529件	5,385,000円
子育て支援に関する事業	15,736件	163,280,458円
地域医療の充実に関する事業	1,149件	11,545,125円
地域における保健福祉活動を推進する安全なまちづくりに関する事業	575件	6,550,781円
教育が充実した豊かなまちづくりに関する事業	820件	9,581,000円
特に使途を希望しない	3,947件	40,427,000円
合計	29,096件	301,687,883円

（※使途を複数希望している場合、それぞれ1件として集計）

事 業 名		企業版ふるさと納税促進事業			5311-18
担 当 課		政策調整課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	1,140,000 円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	1,038,000 円	―
目	07	企画費	決　算　額	339,538 円	―
事業の目的		加須市を応援する企業から広く寄附金を募り、女子野球を基軸としたスポーツによる地域活性化をはじめ、地方創生の取組の推進を図る。			
事業の概要		企業訪問及び寄附獲得の業務支援委託やマッチング支援サービス業者等と連携して、加須市の取組及び魅力を企業へＰＲすることにより、地域再生計画に位置付けた寄附活用事業への寄附を募る。 寄附金を基金に積み立て、各種事業の財源とする。			

事業の実績・成果

「埼玉西武ライオンズ・レディース」の運営法人である「一般社団法人埼玉レディースベースボール」との連携協定に基づき、女子野球を基軸としたスポーツによる地域活性化の推進を図るため、令和3年度から企業版ふるさと納税制度の活用を開始した。

○加須市まち・ひと・しごと創生推進計画（地域再生計画）
・計画期間：令和3年4月1日から令和7年3月31日まで
・令和3年3月31日に内閣府から認定を受けた。
＊企業版ふるさと納税は、地方公共団体において「地域再生計画」を作成し、計画に位置付けた事業に寄附をした企業に対して、税額控除が適用される仕組み（平成28年の地域再生法の一部改正及び平成28年度税制改正により創設）

○マッチングサービスの活用
・寄附金の更なる獲得のために、企業紹介に関する契約を締結

締結日	契約先
令和4年11月18日	㈱企業版ふるさと納税マッチングサポート
令和5年8月1日	㈱地域デザインラボさいたま
令和6年2月21日	㈱カルティブ及び㈱新朝プレス
令和6年2月21日	㈱ＪＴＢ

○企業版ふるさと納税の寄附金の実績と内訳

寄附金の内訳	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
女子野球でつながる“ひと”も“まち”も元気プロジェクト	5件	4,100,000円	10件	5,400,000円	4件	2,600,000円
安心安全でいきいきと暮らせるまちづくり事業	0件	0円	1件	1,000,000円	1件	100,000円
魅力と活力を生む産業のまちづくり事業	0件	0円	0件	0円	0件	0円
未来へつなぐ人を育むまちづくり事業	0件	0円	1件	400,000円	0件	0円
豊かな自然と快適な環境のまちづくり事業	0件	0円	1件	100,000円	0件	0円
協働による持続可能なまちづくり事業	0件	0円	0件	0円	1件	500,000円
合計	5件	4,100,000円	13件	6,900,000円	6件	3,200,000円

事 業 名		水と緑と文化のまちづくり基金事業			5311-19
担 当 課		政策調整課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	125,515,000 円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	336,405,000 円	―
目	07	企画費	決　算　額	298,383,296 円	―
事業の目的		加須市を愛し、応援しようとする個人または団体からの寄附金を本市のまちづくりに要する経費の財源として基金に積み立て活用を図る。			
事業の概要		加須市を愛し、応援しようとする個人または団体からの寄附金を基金に積み立て、適正な管理及び活用を図る。			

事業の実績・成果

基金運用から生じた利益（利子）及び寄附金について、基金へ積み立てた。

【基金残高の推移（令和6年3月末）】（単位：円）

		令和５年度
前年度末高		225,898,372
積立額		298,383,296
	（内 利子）	4,194
	（内 寄附金）	298,379,102
取崩額		43,252,000
年度末残高		481,029,668

【基金の活用】（単位：円）

寄附金の内訳	活用内容	金額
豊かな自然と快適な環境のまちづくりに関する事業	除草、剪定作業	23,992,000
	「浮野の里」田堀浚渫工事	4,620,000
芸術文化の振興に関する事業	加須市郷土かるた印刷	1,925,000
	偉人パネル作成	497,000
	斎藤与里美術品修復	1,540,000
健康づくりの推進に関する事業	ピンクリボンライトアップ演出用照明器具借上料	175,000
	健康マイレージ記念品	508,000
	筋力アップトレーニング実施	356,000
	成人歯科検診委託料	967,000
まちおこしに関する事業	田んぼDE 運動会実施	150,000
	サイクリングマップ（日本語・英語）の作成	862,000
	渡良瀬遊水地まつり実行委員会補助金	1,250,000
スポーツの振興に関する事業	ウォーキングコース案内看板設置工事	95,000
	女子野球タウン事業イベント関連費	1,017,000
子育て支援に関する事業	団体運営費補助金（子ども食堂・フードパントリー）	2,300,000
	年齢拡大分の扶助費（子育て支援医療費支給）	1,962,000
地域医療の充実に関する事業	休日小児科診療委託料	1,036,000

事業名	政策調整管理事業				5311-26
担当課	政策調整課			現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	749,000円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	680,000円	―
目	07	企画費	決　算　額	666,632円	―
事業の目的	計画的な行政運営を推進し、本市の将来都市像を実現するため、行政施策の総合調整等を実施する。				
事業の概要	行政施策の企画、調査・研究、総合調整を行う。				

事業の実績・成果

○政策会議：21回実施(17件)

○国・県への要望状況(市長会)

	国への要望（毎年2月頃）	県への要望（毎年7月頃）
令和元年度	○利根川及び渡良瀬川の整備促進について	①利根保健医療圏における周産期医療施設等整備の充実について ②農業振興地域整備計画の変更の要件緩和について ③一般国道125号バイパスの早期整備（4車線化）と主要県道の整備について
令和2年度	○都市計画法改正に伴う開発許可制度の見直しについて	①介護人材の確保・定着について ②利根川新橋の整備について ③農業振興地域整備計画の変更の要件緩和について
令和3年度	○普通交付税における地域デジタル社会推進費に係る地方交付税措置について	①一級中川、一級河川青毛堀川及び稲荷木落排水路の整備促進について ②介護保険の調整交付金の交付割合を介護給付費の5%とすることについて ③利根川新橋の建設について
令和4年度	○子育て支援医療費助成制度の創設について	①一級河川青毛堀川、一級河川中川及び稲荷木落排水路の整備促進について ②利根川新橋の建設について ③介護人材の確保・定着について
令和5年度	○学校給食費の無償化について	①一級河川中川及び稲荷木落排水路の整備促進について ②こどもの医療費助成費用に対する県補助の拡大について ③学校給食費の無償化について

事 業 名		公共施設等総合管理計画進行管理事業			5314-02
担 当 課		政策調整課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	59,000 円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	53,000 円	―
目	07	企画費	決　算　額	52,800 円	―
事業の目的		市民サービスの向上と安定的な財政運営を図りながら、公共施設等の総合的な管理を推進する。			
事業の概要		加須市公共施設等総合管理計画に定める基本方針に基づき、庁内検討組織（公共施設等総合管理計画推進本部及び分科会）において、今後の行政サービスのあり方と各施設のあり方を一体的に検討する。 計画期間：令和 4 年度～令和 37 年度			

事業の実績・成果

令和 4 年 3 月に策定（令和 4 年 6 月公表）した、「加須市公共施設等総合管理計画（試案）改訂版」及び「加須市公共施設等個別施設計画」に基づき、公共施設の庁内検討組織（公共施設等総合管理計画推進本部）において、今後の施設のあり方を検討した。

事 業 名		公平委員会運営事業			5312-05
担 当 課		公平委員会		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	397,000 円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	352,000 円	―
目	08	公平委員会費	決　算　額	267,973 円	―
事業の目的		地方公務員法に基づき職員の勤務条件に関する措置の要求、不利益処分に関する審査請求の審査及び苦情処理を行う。			
事業の概要		地方公務員法に基づき、職員の給与、勤務時間等の勤務条件に関する措置の要求を審査、判定し必要な措置をとり、また、不利益な処分の審査請求に対する裁決をする。その他、措置要求又は審査請求に至らない軽微な苦情処理を行う。 全国公平委員会連合会、同関東支部及び埼玉県公平委員会連合会との連絡調整を行い、また同総会・研究会に出席する。			

事業の実績・成果

・公平委員会業務を円滑に実施したほか、研修会を開催したことにより委員及び職員の更なる知識の習得が図られた。

1　公平委員会運営状況
- 公平委員会の開催：3 回（職員の処分状況についての報告等）
- 職員の苦情相談：なし
- 勤務条件に関する措置要求：なし
- 不利益処分に関する審査請求：なし

2　加須市公平委員会研修会
開催日：令和 6 年 1 月 25 日（木）　14 時～15 時
会　場：加須市役所 4 階　本会議場
講　師：加須市公平委員会事務職員、加須市総務部職員課担当職員
内　容：加須市における人事評価の実施方法及び活用方法の概要について
人事評価制度における勤務条件に関する措置の要求事例について
育児・介護休業法の改正の概要について

参加者：加須市公平委員会委員・事務職員
広域利根斎場組合公平委員会委員・事務職員
埼玉東部消防組合公平委員会委員・事務職員

事 業 名	自治協力団体活動促進事業			5131-01
担 当 課	市民協働推進課		現　年	前年度からの繰越
款　02	総務費	当初予算額	128,241,000 円	―
項　01	総務管理費	最終予算額	126,603,000 円	―
目　09	自治振興費	決　算　額	125,935,432 円	―
事業の目的	市民と行政の協働によりまちづくりを進めていくため、協働のパートナーである自治協力団体の運営の円滑化を図り、地域の自治を促進する。			
事業の概要	・自治協力団体及び自治協力団体間の連絡調整機関である自治協力団体連合会の機能を支援する。 ・各自治協力団体の運営基盤を支援する。			

事業の実績・成果

○自治協力団体間の連絡調整機関の支援

自治協力団体（自治会・区等）間の連絡調整機関である加須市自治協力団体連合会及び各支部の運営を支援した。

1　自治協力団体連合会への助成

各自治協力団体間の連絡調整機関としての連合会へ運営費を助成することにより、円滑な運営が図られた。

［自治協力団体連合会への補助金交付状況］　（単位：円）

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
補助金交付額	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000

2　自治協力団体代表者（会長・区長等）研修事業への助成

連合会が実施している自治協力団体代表者研修の参加費の一部を助成することにより、全体研修及び各支部研修で会員の意識高揚が図られたほか、会員相互の活発な交流が行われた。

（1）　連合会全体研修

［連合会の自治協力団体代表者研修事業への参加人数及び補助金交付状況］　（単位：人、円）

		令和元年度		令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	
参加人数	交付額	128	109,952	実施なし	実施なし	実施なし	63	200,000

（2）　連合会各支部研修（3,000 円/人）

［自治協力団体代表者研修事業への参加人数及び補助金交付状況］　（単位：人、円）

		令和元年度		令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	
参加人数	交付額	130	390,000	実施なし	実施なし	実施なし	100	300,000

［令和５年度各支部の参加人数］

・加須　37 人　・騎西　33 人　・北川辺　6 人　・大利根　24 人

○自治協力団体の支援

1　自治協力団体運営への助成

各自治協力団体へ世帯数等の算出根拠に基づいた補助金を交付することにより、団体運営の円滑化が図られた。

［自治協力団体への補助金交付状況］　（単位：円）

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
補助金交付額	106,649,680	106,898,440	106,951,760	106,644,800	106,506,280

２　自治協力団体集会施設整備事業への助成

自治協力団体が運営する集会所の修繕費等の一部補助を行うことにより、集会施設の適正な維持管理が図られた。

■新築整備事業・・・新築：補助率 7/10・800 万円限度

［自治協力団体集会施設整備事業（新築整備）への補助金交付状況］　（単位：件、円）

		令和元年度		令和２年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度	
件数	交付額	0	0	1	8,000,000	0	0	0	0	0	0

■修繕、附帯施設整備・・・修繕：補助率 1/2・100 万円限度、附帯施設：補助率 1/2・50 万円限度

［自治協力団体集会施設整備事業（修繕、附帯施設整備）への補助金交付状況］　（単位：件、円）

		令和元年度		令和２年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度	
件数	交付額	31	6,340,000	30	4,620,000	23	6,186,000	24	7,743,000	26	6,714,000

３　自治協力団体集会施設運営への助成

自治協力団体の運営する集会所の運営費の一部補助を行うことにより、集会施設の円滑な運営管理が図られた。

自治会単位：補助率 7/10・7 万円限度、連絡班単位：補助率 7/10・3 万 5,000 円限度

［自治協力団体集会施設運営への補助金交付状況］　（単位：件、円）

		令和元年度		令和２年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度	
件数	交付額	236	9,033,000	235	9,031,000	235	7,918,000	235	8,529,000	235	8,776,675

４　自治協力団体集会施設敷地等借上への助成

自治協力団体の運営する集会所の敷地借上料の補助を行うことにより、集会施設の円滑な維持管理が図られた。

［自治協力団体集会施設敷地等借上への補助金交付状況］　（単位：件、円）

		令和元年度		令和２年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度	
件数	交付額	55	2,315,677	55	2,218,677	55	2,218,677	53	2,132,677	53	2,132,677

○その他（市政に関する情報提供・自治協力団体要望受付等）

自治協力団体を支援し、連絡調整を密にすることにより、市政運営への協力等が得られた。

事 業 名	コミュニティ推進事業				5133-02
担 当 課		市民協働推進課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	9,112,000 円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	9,112,000 円	―
目	09	自治振興費	決　算　額	7,826,196 円	―
事業の目的		協働によるまちづくりを推進するため、地域コミュニティの活性化を図る。			
事業の概要		・全市的及び各地域のコミュニティづくりを推進する。 ・(一財) 自治総合センターが実施する「コミュニティ助成事業」を活用し、コミュニティ活動を支援する。			

事業の実績・成果

○コミュニティ助成事業

コミュニティの健全な発展と宝くじの普及広報を目的とした（一財）自治総合センターコミュニティ助成金を活用し、地域コミュニティ活動団体に補助を行うことにより、コミュニティ活動の充実を図った。

（単位：円）

団体名	助成金額	概　要
加須市高畑町内会	2,200,000	高畑会館備品の購入 （テント、エアコン、テーブル、椅子等）
加須市大桑第三区	1,400,000	南篠崎集会所備品の購入 （ゼミテーブル、折りたたみ椅子、プロジェクター）
加須市油井ケ島区自治会	1,800,000	油井ケ島上耕地集会所備品の購入 （こども神輿）

○加須市コミュニティ協議会への助成

市コミュニティ協議会並びに各地域コミュニティ協議会に補助を行うことにより、コミュニティ活動事業の推進を図った。

（単位：円）

名　称	補助金額	概　要
加須市コミュニティ協議会	400,000	広報紙の作成・発行、家族・地域の絆推進運動への協力
加須地域コミュニティづくり推進協議会	525,000	コミュニティ助成事業、家族・地域の絆推進運動への協力、コミュニティ活動支援
騎西地域コミュニティ協議会	525,000	花いっぱい運動、コミ協備品の貸出し
北川辺地域コミュニティ協議会	439,838	美化推進運動、花いっぱい運動、リサイクル運動の推進
大利根地域コミュニティ協議会	525,000	ごみなし運動、各地区コミュニティ協議会への助成
合　計	2,414,838	

※北川辺地域コミュニティ協議会において、一部事業が実施できなかったため補助額を精算した。

事 業 名		市民まつり開催事業			5133-08
担 当 課		観光振興課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	12,270,000 円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	12,270,000 円	―
目	09	自治振興費	決　算　額	9,485,791 円	―
事業の目的		多くの市民参加による、市民の手づくりイベントとして市民まつりを開催し、コミュニティーの醸成を図り、ふるさとづくりを推進する。			
事業の概要		４つの各地域市民まつりを開催する。また、各地域、各種団体の相互交流を図るための催し物を実施する。			

事業の実績・成果

1　加須地域市民まつり

市民相互の親睦を深めるとともに、交通事故のない明るく住みよい地域社会を築くことを目的に、第43回加須地域市民まつりを計画したが、雨天により中止とした。

（1）計画概要

ア　日　　程　　令和5年10月15日（日）

イ　参加予定団体数　　102団体

ウ　内　　容

①　式　典

②　催　物　　各種団体発表、各種団体模擬店

（2）経　費（実行委員会）

収入合計　6,250,032円 － 支出合計　3,899,658円

差引残額　＝ 2,350,374円

※準備等に要した経費を支出し、残金は市へ返還

2　騎西銀杏祭

騎西銀杏祭を開催し、多くの地域住民が交流と親睦を図ることにより、ふるさと意識の高揚とコミュニティの振興を促進した。

（1）開催概要

ア　開 催 日　　令和5年11月5日（日）

イ　参加団体数　　62団体

ウ　内　　容

①　各種団体活動発表及び模擬店、各種団体ステージ発表

②　ソーランふぇすた、熱気球搭乗体験

エ　来場者数　　約9,000人

騎西銀杏祭の様子

（2）経　費（実行委員会）

収入合計　3,271,006円 － 支出合計　3,092,929円

差引残額　＝ 178,077円　　※残金は市へ返還

３　北川辺ふるさと秋まつり

「北川辺ふるさと秋まつり」を開催し、北川辺地域の地域コミュニティの推進と伝統文化及び健康福祉の振興、並びに産業経済の総合的な発展を図ることができた。

（１）開催概要

ア　開 催 日　　令和５年10月29日（日）

イ　参加団体数　　67団体

ウ　内　　容

①オープニングセレモニー

②産業祭（模擬店、アトラクション、抽選会　ほか）

③健康福祉まつり（簡易健康測定　ほか）

④いきいき文化祭（展示・体験・ステージ発表）

エ　来場者数　　約5,300人

（２）経　費（実行委員会）

収入合計　2,000,000円 － 支出合計　1,841,748円

差引残額　＝ 158,252円　　※残金は市へ返還

産業祭

健康福祉まつり

４　童謡のふる里おおとね市民まつり

地域コミュニティの推進、伝統文化の振興及び産業経済の総合的な発展を図り、市民が主役となり大利根地域の秋のイベントを実施することで、協働のまちづくりのさらなる進展を図ることができた。

（１）開催概要

ア　開 催 日　　令和５年11月12日（日）

イ　参加団体数　　43団体

ウ　内　　容

①　式典

②　各まつり部会模擬店・活動展示

③　啓発活動・行政参加

④　ステージ発表

エ　来場者数　　約4,500人

（２）経　費（実行委員会）

収入合計　1,770,003円 － 支出合計1,672,497円

差引残額　＝ 97,506円　　※残金は市へ返還

事業名	行政デジタル化推進事業			5251-03
担当課	業務改善課		現　年	前年度からの繰越
款 02	総務費	当初予算額	10,941,000円	－
項 01	総務管理費	最終予算額	10,941,000円	－
目 10	電算管理費	決　算　額	10,108,719円	－
事業の目的	デジタル技術を活用することで、市民の利便性や行政サービスの向上、効果的で効率的な行政運営を図り、デジタルで喜びや笑顔あふれるスマートなまちづくりを推進する。			
事業の概要	・電子申請サービスにより、行政手続等のオンライン化を推進する。 ・AI・RPAの導入により、効率的な業務遂行体制を整備する。 ・その他行政デジタル化に関すること（キャッシュレス決済の導入など）。			

事業の実績・成果

1　電子申請サービスの提供（委託料等　662,582円）

市民の利便性向上を図るため、申請や届出等の一部の手続きがインターネット（オンライン）で行える「電子申請サービス」を、埼玉県内の市町村が共同により提供している。

市のイベントや講習会への参加申込み等手続のオンライン化を推進するとともに、利用拡大に向けて、広報紙、ホームページ等により周知を図った。

・電子申請対象手続数：　86件

《主な手続き》

粗大ごみ収集申込、水道使用開始・休止等届、犬の登録申請・死亡届、講習会・セミナー申込　等

2　議事録作成支援システムの運用（委託料　506,000円）

加須市行政経営プランの取組項目である「議事録などの公表の推進」による市政の透明性の確保と速やかな議事録の公表、加えて業務の効率化による職員の負担軽減を図るため、音声認識による議事録作成支援システムを運用した。

・システム利用件数：　424件

3　AI・RPAの活用（利用料　1,452,000円）

AI：人工知能。人間の言葉の理解や認識、推論などの知的行動をコンピュータに行わせる技術。
AI-OCR：印刷された文字や手書き文字を読みとり、テキストデータへと変換する技術。
ＲＰＡ：定型業務を機械に自動実行させる技術。

・特定健診勧奨対象者抽出、議事録作成支援、デマンド型乗合タクシー最適配車、がん検診結果入力、口座振替依頼書処理、人事異動に関する自己申告書入力、入札資格審査入力票処理、窓口アンケート結果入力、転入転出者アンケート結果入力及び畜犬業務処理にAI・RPAを活用した。
・AI・RPAに係る理解醸成や利用促進を図るため、職員(情報化責任者等)を対象に説明会を開催した。
・ChatGPTに代表される生成ＡＩについて、市民サービスの向上や行政事務の効率化に向けた利用を検討するため、ガイドライン等一定のルールに基づいて試行運用を実施した。（令和6年4月1日から全庁的な業務利用を開始）

試行期間	試行準備：令和5年12月 試行運用：令和6年1月4日から2月21日まで 研修開催：令和6年1月30日（計3回） 検証評価：令和6年3月
対象ツール	① ChatGPT（OpenAI社）、② Copilot（Microsoft社） ※すべて無償版
参加職員数	128名
試行実績	総利用回数　1,068回

4　キャッシュレス決済の導入（委託料等　7,488,137 円）

市民の利便性と行政サービスの向上を図るため、窓口及びオンライン手続（電子申請サービス）に係る証明書発行手数料等について、支払いのキャッシュレス化に対応した。

	窓口	オンライン（電子申請）
対象	■利用できる窓口：5 ヵ所 本庁舎（市民課、税務課） 各総合支所（市民税務担当） ■対象の手数料：31 種類 住民票の写し、戸籍謄本、印鑑登録証明書　等	■対象手続：17 手続 オンライン（電子申請）で取り扱う全ての支払いが対象 住民票の写し請求、納税証明交付申請、犬の新規登録、粗大ごみ戸別収集の予約申込み　等
決済手段	クレジットカード、電子マネー、コード決済　等	
種類	30 種類	15 種類

事業名		情報基盤管理事業			5251-07
担当課		業務改善課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	353,515,000 円	－
項	01	総務管理費	最終予算額	353,515,000 円	－
目	10	電算管理費	決　算　額	346,955,368 円	－
事業の目的		安心で快適な市民サービスを安定的に提供していくため、信頼性の高い情報基盤を確立する。			
事業の概要		・住民情報システム及び庁内ネットワーク等について、稼働監視やメンテナンス等の適正な運用管理を行う。 ・国の示す「情報システム強靭性向上モデル」を基準とした情報セキュリティ対策を確実に実施する。			

事業の実績・成果

1　住民情報システム運用管理

市民に関する情報（住民記録、税、福祉等）を総合的かつ一元的に管理し、窓口サービスや行政事務を行うための基盤である「住民情報システム」の円滑な運用を行った。

(1) システム構成：クラウド型

(2) 住民情報システム取扱業務：　26 業務

1	住民記録	2	印鑑登録	3	住登外・宛名管理
4	個人住民税	5	住民税申告支援	6	法人住民税
7	固定資産税	8	軽自動車税	9	収納・滞納管理
10	国民健康保険	11	国民年金	12	後期高齢者医療
13	介護保険	14	子ども子育て支援	15	学童保育
16	児童手当	17	児童扶養手当	18	遺児手当
19	乳幼児医療	20	ひとり親家庭等医療	21	重度心身障害者医療
22	障害者福祉	23	就学	24	選挙管理
25	健康管理	26	コンビニ交付		

(3) 運用管理費　82,858,954 円（業務改善課予算措置分）

〔 委託料　33,978,034 円、使用料等　48,880,920 円 〕

2　自治体情報システム標準化

住民記録や税、福祉など国が定めた20業務について、令和7年度までにガバメントクラウド（国が構築したクラウド環境）等へ国の定める標準仕様に適合した標準準拠システムを構築し、利用することが義務付けられている。

標準準拠システムへの円滑な移行に向けて、プロジェクトチームを設置し共通理解を深めるとともに、準備作業として、標準仕様との比較分析、文字データの変換（文字同定）を行った。

(1) 対象20業務　　※地方公共団体情報システム標準化基本方針に記載されている順序

1	児童手当	2	子ども・子育て支援	3	住民基本台帳
4	戸籍の附票	5	印鑑登録	6	選挙人名簿管理
7	固定資産税	8	個人住民税	9	法人住民税
10	軽自動車税	11	戸籍	12	就学
13	健康管理	14	児童扶養手当	15	生活保護
16	障害者福祉	17	介護保険	18	国民健康保険
19	後期高齢者医療	20	国民年金		

(2) 標準化対応経費　委託料27,500,000円（業務改善課予算措置分）

※特定財源：デジタル基盤改革支援補助金による全額補助

3　庁内ネットワーク運用管理

各種の情報システムの動作基盤である「マイナンバー利用事務系」「ＬGWAN接続系」「インターネット接続系」の三系統のネットワークについて、円滑な運用を行った。

(1) 構成機器

①マイナンバー利用事務系

サーバ：6台、パソコン：248台、プリンタ：43台

②ＬGWAN接続系

サーバ：25台、パソコン：834台、プリンタ：133台

③インターネット接続系

サーバ：8台、パソコン：2台、プリンタ：30台

(2) 主な機能

①マイナンバー利用事務系

住民情報	家屋評価	生活保護
農地台帳管理	畜犬管理	空家管理

②ＬGWAN接続系

グループウェア	ＬGWANメール	電子申請
財務会計	コンテンツ管理	公共施設予約管理

③インターネット接続系

インターネット閲覧	インターネットメール	メール原本保管
ファイル交換	オンライン会議	ＳＮＳ配信

(3) 接続拠点：93拠点　（以下は、主な接続拠点）

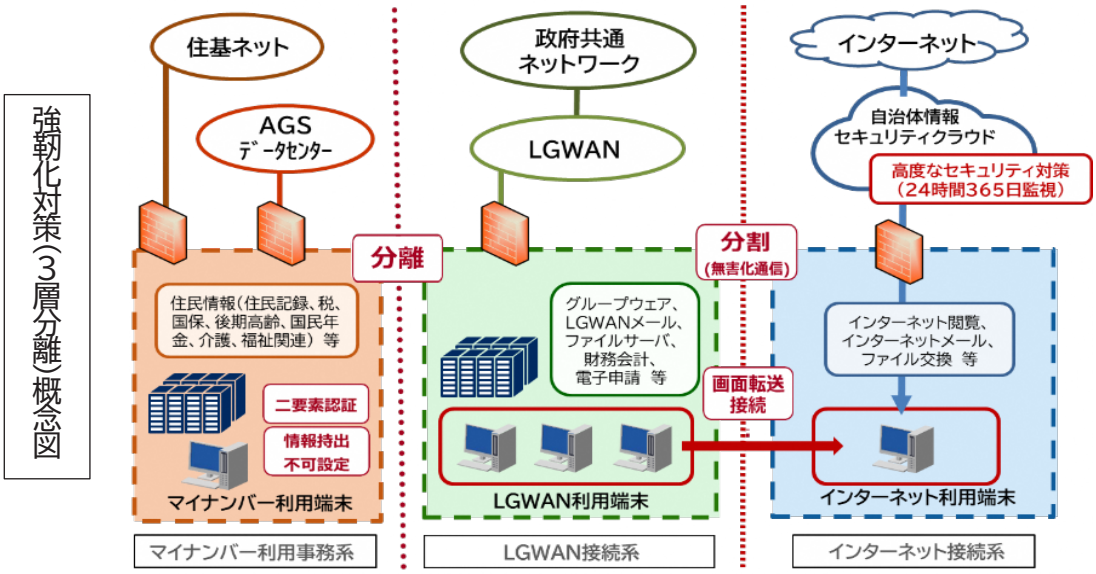
総合支所（3箇所）	文化・学習ｾﾝﾀｰ（4箇所）	体育館（4箇所）
図書館（4箇所）	ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ（13箇所）	小中学校（30箇所）
市民総合会館	保育所（6箇所）	幼稚園（8箇所）

(4) 運用管理費　199,785,284円

〔 委託料　40,742,504円、借上料　159,042,780円 〕

4　情報セキュリティ対策

平成 29 年 6 月に完了した情報システム強靭化対策を踏まえ、人的及び技術的セキュリティ対策の実施により、本市の保有する情報資産の適正な管理を行った。



(1) 人的セキュリティ

・情報セキュリティ研修の実施

最新のセキュリティ技術や個人情報の取扱いに関する知識の修得を目的としたリモートラーニングによる情報セキュリティ研修を実施し、延べ 1,770 名が受講した。

(2) 技術的セキュリティ

・コンピュータウイルス対策の実施

埼玉県情報セキュリティクラウドを介したインターネット利用等を行うことにより、コンピュータウイルス等外部からの脅威に対する低減を図っている。

コンピュータウイルス検出件数：　21 件（年間）

※ 直近 5 年間（平成 30 年～令和 4 年度）平均検出件数：　25 件

新型コロナウイルス感染症に係る対応を実施した（巻末参照）。

事業名	人権施策実施計画進行管理事業			2511-02
担当課	人権・男女共同参画課		現　年	前年度からの繰越
款 02	総務費	当初予算額	136,000円	―
項 01	総務管理費	最終予算額	136,000円	―
目 11	人権推進費	決　算　額	54,278円	―
事業の目的	「第3次加須市人権施策実施計画」に基づき、各種人権関連施策を総合的・計画的に推進することにより、「差別や偏見のない人権尊重社会の実現」を目指す。			
事業の概要	関係各課や人権施策推進審議会等と連携して、「第2次加須市人権施策実施計画」の進行状況の確認・精査を行い、「第3次加須市人権施策実施計画」の実効性の確保に活かす。 ○第2次加須市人権施策実施計画　【計画期間】平成30年度～令和4年度 ○第3次加須市人権施策実施計画　【計画期間】令和5年度～令和9年度			

事業の実績・成果

○第2次加須市人権施策実施計画に基づく各種事業の進行管理

人権施策推進審議会を開催し、第2次加須市人権施策実施計画に基づき各種施策の実施状況を確認し精査した。

◇審議会の開催状況

開催日・場所	議事内容	出席人数
令和5年7月25日（火） 加須市役所4階　議場	・第2次加須市人権施策実施計画に基づく各種施策の令和4年度事業実施状況について	13名

◇各種施策の令和４年度実施状況

基本目標	事業数	取組に対する評価（%）			
		1	2	3	4
あらゆる場や対象をとらえた人権教育・人権啓発の推進	30	20事業	4事業	4事業	2事業
		66.7%	13.3%	13.3%	6.7%
相談・支援の推進	38	19事業	10事業	8事業	1事業
		50.0%	26.3%	21.1%	2.6%
市民、ＮＰＯ、企業等と協働した地域づくり	10	8事業	0事業	2事業	0事業
		80%	0%	20.0%	0%
その他	4	3事業	0事業	1事業	0事業
		75.0%	0%	25.0%	0%
合　　計	82	50事業	14事業	15事業	3事業
		61.0%	17.1%	18.3%	3.6%

※令和4年度評価基準

1 …目標を達成（実績値が目標値の100%以上に達し、当該年度の目標を達成した）
2 …概ね達成（実績値が目標値の80%以上に達した）
3 …やや遅れている（実績値が目標値の80%未満となった）
4 …大幅に遅れている（実績値が目標値の50%未満となった）

事業名	人権推進事業			2511-03
担当課	人権・男女共同参画課		現　年	前年度からの繰越
款 02	総務費	当初予算額	6,421,000円	―
項 01	総務管理費	最終予算額	6,421,000円	―
目 11	人権推進費	決　算　額	5,913,345円	―
事業の目的	市民一人ひとりが豊かな人権感覚を身につけ、お互いの違いを認め、お互いを思いやり、お互いの人権を尊重しあえる社会となるよう市民との協働による「差別や偏見のない人権尊重社会」の実現をめざす。			
事業の概要	人権問題講演会、人権問題指導者研修会等の研修機会を設けるとともに、人権週間や市民まつり等の機会に人権啓発活動を実施する。さらに同和問題相談員の設置、関係機関・関係部署等と連携した同和問題・女性やこども・高齢者・障がい者などの人権に係わる相談会などを実施する。			

事業の実績・成果

○人権研修会及び人権講演会等の開催（共催：生涯学習課・産業振興課）

同和問題をはじめとする様々な差別の解消に向けて、参加者の各人権課題の理解と認識を深めるため、人権問題指導者研修会や人権問題講演会等を開催した。

（単位：人）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
参加者数	1,650	312	1,503	875	1,713

○人権擁護委員による人権相談事業等（共催：市民相談室・いきいき健康長寿課）

年間を通し、月1回、人権擁護委員による女性やこども、高齢者、障がい者、就労問題、同和問題などの人権問題の解消に向けた相談会を開催した。

また、ホームページ、広報かぞ、市民まつり及び人権啓発展で人権相談事業についての周知を行った。

（単位：件）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
相談件数	0	0	0	1	0

○同和問題相談員による相談事業

年間を通し、同和問題相談員による市民の同和問題に関する相談や、地域住民の生活相談に対応し、必要に応じて関係行政機関と連携を保ちながら助言や指導を行い、市民との信頼関係を築くとともに、生活環境の向上、市民の自立意識の醸成を図った。

（単位：件）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
相談件数	111	86	70	69	72

○同和問題に取り組む民間運動団体への補助金交付

同和問題解消を目指す民間運動団体3団体に対し、補助金の交付を行い、同和問題の早期解決を目指す人権教育・啓発事業を官民が連携して行い、差別意識の解消や人権尊重意識の高揚に資することができた。また、補助金額については、運動団体の活動内容を精査した。

◇「同和問題に取り組む民間運動団体」への補助金交付状況　（単位：千円）

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
部落解放同盟埼玉県連合会 加須支部	1,747	1,687	1,668	1,793	1,793
部落解放同盟埼玉県連合会 騎西支部	496	462	425	400	400
部落解放同盟埼玉県連合会 大利根支部	329	305	294		
北埼・埼葛「同和対策」運動連合会 加須市協議会	1,116	1,062	1,048	1,048	1,048
合　　計	3,688	3,516	3,435	3,241	3,241

※部落解放同盟埼玉県連合会大利根支部は、令和４年度より加須支部と統合した。

○北埼玉地区人権フェスティバルの開催（共催：羽生市・行田市）

加須市・羽生市・行田市の３市共催で、行田市を会場として「第20回北埼玉地区人権フェスティバル」を実施し、北埼玉地域住民の人権意識、人権感覚の高揚に資することができた。

開 催 日　令和５年10月21日（土）
場　　所　行田市教育文化センター「みらい」
参加人数　550人
開催内容　・オープニングセレモニー（「埼玉県立行田特別支援学校の有志」による民舞の披露）
・３市の児童・生徒による人権作文の発表
・行田市南河原保育園の園児によるテーマソングの継承および「世界中のこどもたちが」の合唱、「ハイパーおはら節」のお遊戯の披露
・人権講演会「男らしさ、女らしさより自分らしさが社会を変える～LGBT・男性・女性とは～」講師：ブルボンヌ氏
・各種人権啓発作品等の展示（11万５千羽の人権折り鶴「未来へ」、北埼玉地区３市の児童・生徒が作製した人権ポスター・人権標語、北埼玉地区３市の児童が育成した人権の花、集会所・隣保館作品、障がい者福祉サービス事業所作成参加記念品、人権啓発パネル等）

オープニングセレモニー

人権講演会

○「人権啓発リーフレット」の作成・配布

様々な人権課題、市内小・中学生による人権啓発ポスター及び人権標語の入賞作品を掲載したリーフレットを作成し、ホームページに掲載するとともに、市内各公共施設等に配架し、人権に関する意識の高揚を図った。

事業名	田ケ谷総合センター管理運営事業			2511-05
担当課	人権・男女共同参画課		現　年	前年度からの繰越
款 02	総務費	当初予算額	7,585,000円	―
項 01	総務管理費	最終予算額	7,585,000円	―
目 11	人権推進費	決　算　額	6,727,034円	―
事業の目的	田ケ谷総合センターを誰もが安心して、安全に利用できるよう管理するとともに、設置目的である人権問題の解決と住民の教養の向上、健康の増進及び地域の交流を促進する。			
事業の概要	田ケ谷総合センターの適正な維持管理として、センターの設備や躯体等の保守点検業務をはじめ、修繕、清掃、夜間管理等の業務委託を行う。 また、ソフト事業として教養文化講座や人権啓発展等を行う。			

事業の実績・成果

○施設の維持管理

田ケ谷総合センターを市民が安全かつ快適に利用できるよう施設の維持管理を行った。

・職員の配置（会計年度任用職員館長1名・会計年度任用職員2名）
・各種点検の実施（防火対象物、消防用設備、自家用電気工作物保安管理、建築設備、自動ドア等）
・管理業務の委託（夜間等管理業務、清掃業務、樹木剪定業務）
・備品購入（図書12冊）
・修繕（非常用照明修繕）

○教養文化講座開催

感染対策に配慮した上で教養文化講座を開催し、地域の文化力の向上や地域交流の促進、差別意識の解消に資することができた。（※子ども映画会については開催中止）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
開催回数（回）	75	中止	28	57	58
参加人数（人）	1,026	中止	249	559	533

○血圧計の設置

平成30年7月26日に血圧計を設置し、随時、血圧の測定を可能にした。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用人数（人）	107	40	28	41	41

○田ケ谷総合センターの来館者数

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
来館者数（人）	14,558	3,666	3,855	5,076	9,260

※来館者数のうち、会議室等利用者の集計方法：利用実人数

事 業 名		加須市住宅新築資金等貸付事業			2512-05
担 当 課		人権・男女共同参画課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	2,000 円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	2,000 円	―
目	11	人権推進費	決　算　額	1,840 円	―
事業の目的		旧特別措置法のもと、平成８年度まで、対象地区の住民で、住宅の新築若しくは不良住宅の改修又は住宅の用に供する土地の取得をする者に対し、必要な資金の貸付を行い、同和地区の環境の整備改善を図るとともに公共の福祉に寄与した。			
事業の概要		住宅新築資金等貸付金の債務者からの貸付金の収納事務を行う。 現在は貸付業務は廃止され、貸付金の徴収業務を実施している。			

事業の実績・成果

○旧同和対策事業特別措置法等に基づく住宅新築資金貸付金の債務者に対し、貸付金の収納業務を行い、下記のとおり収納することができた。

◇未償還貸付金の状況（令和５年度末現在）

未償還金額（円）	件数（件）	人数（人）
22,560,197	9	7

◇収納状況（令和５年度末現在）

種別		調定額(円)	収納額(円)	未収額(円)	収納率(%)
内訳	元金	20,833,093	323,162	20,509,931	1.6
	利子	2,175,104	124,838	2,050,266	5.7
合計		23,008,197	448,000	22,560,197	1.9

事 業 名		環境基本計画進行管理事業			4111-02
担 当 課		環境政策課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	115,000 円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	114,000 円	―
目	12	公害対策費	決　算　額	38,800 円	―
事業の目的		豊かな自然と快適な環境のまちづくりを推進するため、加須市環境基本計画に掲げた施策を計画的に推進する。			
事業の概要		環境審議会での助言・提言等を踏まえ、環境施策に係る報告書の「加須市の環境」を発行し、進行管理を行う。また、報告書を市民に公表し、意見を環境行政に反映させる。 ・計画期間：R3 年度～R12 年度			

事業の実績・成果

1　加須市環境基本計画に基づく進行管理

加須市環境基本計画及び環境関連計画に基づき、環境関連施策の進捗状況の把握、点検・評価を行い、令和 4 年度の施策事業実績をまとめ、環境審議会に報告した。

環境審議会での助言・提言等を踏まえ、「加須市の環境 令和 5 年度版（令和 4 年度実績）」の発行・公表及び施策事業の適切な運用を図った。

・環境審議会（設置根拠：加須市環境基本条例第 22 条）
委員数：15 人
開催日： 第 1 回加須市環境審議会 令和 5 年 8 月 18 日（金）

事業名	環境学習推進事業				4111-03
担当課		環境政策課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	147,000円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	147,000円	―
目	12	公害対策費	決　算　額	110,336円	―
事業の目的		市民及び事業者全てのエコライフの実現を図るため、環境に配慮したライフスタイルへの転換や環境保全のための主体的な活動が自発的に行われるよう推進する。			
事業の概要		広報紙やホームページ等を活用した環境情報の提供や環境フォーラム、水辺環境の利活用を図る自然観察会を開催する。			

事業の実績・成果

1　環境フォーラムの開催

市民等の環境問題への理解を深め、環境に配慮したライフスタイルへの転換や、環境保全のための主体的な活動が自発的に行われるよう環境情報を提供する機会や場の提供・充実を図るため、環境フォーラムを開催。

・環境フォーラム　令和5年11月25日(土)　参加者183人

2　自然観察会の開催

貴重な自然環境や美しい歴史的景観を形成している「浮野の里（加須地域）」「風の里公園（騎西地域）」「オニバス自生地（北川辺地域）」「お花が池（大利根地域）」にて、自然観察会や職員による生きもの調査を実施し、自然に親しむとともに、生物の生態や生息環境などの学習、生物多様性への意識の向上が図られた。

【加須地域】

浮野の里昆虫観察会及び水生生物観察会　令和5年7月25日（火）参加者8人（水生生物観察会）
令和5年7月26日（水）参加者7人（昆虫観察会）

【騎西地域】

風の里公園自然観察会　令和5年9月26日（火）参加者30人

【北川辺地域】

オニバス自生地自然観察会　令和5年8月12日（土）参加者20人

【大利根地域】

お花が池自然観察会　令和5年6月27日（火）参加者41人
令和5年7月4日　（火）参加者39人

3　加須市環境学習出前講座の開催

加須市では、令和5年3月に「加須市ゼロカーボンシティ宣言」を表明した。これに伴い、ゼロカーボンシティの構築に向けた取組を推進するためには、一人ひとりが環境問題への理解を深め、学校、家庭、職場、地域など日常生活の様々な場面において自分にできることから取り組んでいくことが大切であることから加須市環境学習出前講座（20講座）を令和5年12月より実施し、身近な環境問題への理解の促進と意識啓発が図られた。

・地球温暖化防止講座（入門編）　令和6年1月18日（木）参加者34人

事 業 名		「加須市の環境」発行事業			4112-07
担 当 課		環境政策課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	22,000 円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	22,000 円	―
目	12	公害対策費	決　算　額	22,000 円	―
事業の目的		環境行政への関心を深めてもらうとともに、市民・事業者との協働による環境への取組を促進するため、環境関連施策の実績を公表する。			
事業の概要		「加須市の環境」を発行し、市民・事業者に周知する。			

事業の実績・成果

1　「加須市の環境」の編集・発行

令和４年度における環境基本計画及び環境関連計画に掲げる施策の実績をまとめた「加須市の環境 令和５年度版（令和４年度実績）」を発行・公表し、事業の点検・評価に活用した。

(1)内　容　・総括
・環境の保全及び創造に関し講じた施策の概要
・環境関連計画の概要と成果
・資料

(2)発　行　　令和５年９月

(3)部　数　　110 部

事 業 名		生物多様性推進事業			4211-03
担 当 課		環境政策課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	82,000 円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	82,000 円	―
目	12	公害対策費	決　算　額	70,000 円	―
事業の目的		点在する貴重な水辺環境を保全するため、多様な生物が生息できる水の郷を創造する。			
事業の概要		自然観察会等を通した、生物多様性の重要性についての意識啓発を行う。 コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラムやラムサール条約登録湿地関係市町村会議への参加による、県域を越えた市町村間の交流や意見交換を行う。			

事業の実績・成果

1　生物基礎調査兼自然観察会の開催

貴重な自然環境や美しい歴史的景観を形成している「浮野の里（加須地域）」「風の里公園（騎西地域）」「オニバス自生地（北川辺地域）」「お花が池（大利根地域）」にて、自然観察会を開催し、その中で生物基礎調査を実施し、生物多様性かぞ戦略に活用する基礎データを収集した。

また、埼玉県環境科学国際センター、埼玉県川の国アドバイザー、埼玉県生態系保護協会加須支部と連携し、講師としてより詳しい説明等行っていただくことで、参加者は生物多様性の大切さと市内の自然環境の現状を体感した。

2　「コウノトリ･トキの舞う関東自治体フォーラム」

・コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラムに参画した。

・渡良瀬遊水地内で令和 5 年 4 月 6 日に誕生した 2 羽の愛称が、6 月 11 日に「小白」（メス）、「千歳」（メス）に決定した。

3　「ラムサール条約登録湿地関係市町村会議」

渡良瀬遊水地の関係市町（栃木市、小山市、野木町、古河市、板倉町）と連携し、ラムサール条約登録湿地関係市町村会議で運営しているホームページにて、渡良瀬遊水地のイベント情報や保全活動等の PR ページを掲載し、周知を図った。

事業名	鳥獣対策推進事業				4211-08
担当課	環境政策課		現　年		前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	8,886,000円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	9,947,689円	―
目	12	公害対策費	決　算　額	9,752,856円	―
事業の目的	鳥獣による生活環境や農林水産業、生態系への被害を防止するため、鳥獣の保護及び狩猟、管理の適正化を図る。				
事業の概要	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律に基づく有害鳥獣捕獲許可等の事務や、埼玉県アライグマ防除実施計画に基づく特定外来生物であるアライグマの捕獲を実施する。				

事業の実績・成果

1　アライグマの防除対策

・アライグマ捕獲器5基の購入

・アライグマの被害防止のため、捕獲器によりアライグマ等424件を捕獲した。

（加須地域：218件、騎西地域：67件、北川辺地域：41件、大利根地域：98件）

・捕獲後の対応　個体検査を実施し、埼玉県アライグマ防除実施計画に基づき県へ報告した。

【アライグマ等捕獲件数の推移】　（単位：件）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
捕獲件数	85	171	214	268	424

2　令和5年度加須市有害鳥獣駆除補助金

加須猟友会による有害鳥獣の駆除

(1) 駆除実施日　令和5年11月23日、12月24日、令和6年1月21日、2月4日、合計4日間

(2) 捕獲内訳　カラス23羽、ムクドリ77羽、キジバト56羽、ヒヨドリ46羽、カワウ7羽

(3) 捕獲場所　特定猟具使用禁止区域（銃）を除く加須市内全域

3　クビアカツヤカミキリの防除対策

・クビアカツヤカミキリによる被害が確認できた樹木への薬剤の注入及び成虫の捕殺を行った。

・広報紙等により市民への情報提供を行った。

4　イノシシの防除対策

(1)イノシシ防除対策に係る消耗品購入

・イノシシ撃退におい札等

(2)加須猟友会への駆除業務委託

・委託内容：イノシシの捕獲・駆除、箱わなの設置・管理

(3)イノシシ捕獲用備品購入

・購入備品：箱わな4基、電気止め刺し等

(4)その他

・チラシや防災無線による注意喚起

・定期的なパトロール

・県や警察署、加須猟友会と連携した現場対応

事業名	屋敷林等保全事業				4213-01
担当課		環境政策課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	1,054,000 円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	1,054,000 円	―
目	12	公害対策費	決　算　額	908,394 円	―
事業の目的		豊かな自然環境の保全のため、市内に残る貴重な屋敷林や樹木の保全・保護を図る。			
事業の概要		市内に点在する貴重な屋敷林や樹木を指定し、奨励金（樹林 10 円/㎡、樹木 3,000 円/本）を交付することで、貴重な緑の保全を図る。また、指定屋敷林の募集を継続して行い、保全樹林面積の増加を図る。			

事業の実績・成果

1　指定及び奨励金交付

市内の屋敷林等の身近な緑を末永く保全するため、市内に点在する貴重な屋敷林・樹林や樹木の中で要件を満たすものを保存樹林等として指定し、管理者に 1 ㎡当たり 10 円又は 1 本当たり 3,000 円の奨励金を交付した。

【屋敷林等保全奨励金】

奨励金交付箇所：99 箇所（樹林 24 箇所 91,717.5 ㎡、樹木 75 本）

2　指定屋敷林等の指定状況

(1) 保存樹林　（単位：箇所）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
指定箇所	26	26	25	25	24

(2) 保存樹木　（単位：本）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
指定本数	75	76	76	75	75

事業名	省資源・省エネルギー促進事業			4311-03
担当課	環境政策課		現　年	前年度からの繰越
款 02	総務費	当初予算額	41,000円	―
項 01	総務管理費	最終予算額	39,864円	―
目 12	公害対策費	決　算　額	30,763円	―
事業の目的	地球温暖化を防止するため、市・市民・事業者の各主体が省資源・省エネルギーを推進する。			
事業の概要	節電社会の構築に向け市・市民・事業者が一体となった節電行動を推進するため、エコライフDAYチェックシート・節電コンテスト・グリーン購入等の意識啓発及び実践のための取組みを実施する。			

事業の実績・成果

1　エコライフＤＡＹ＆ＷＥＥＫ埼玉への参加促進

家庭からの二酸化炭素排出削減を目的とした「エコライフＤＡＹ・ＷＥＥＫ埼玉」への参加を促し、エコライフへの意識の向上と取組の促進を図った（年2回実施）。

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	参加人数（人）	二酸化炭素削減量（kg）	参加人数（人）	二酸化炭素削減量（kg）	参加人数（人）	二酸化炭素削減量（kg）	参加人数（人）	二酸化炭素削減量（kg）	参加人数（人）	二酸化炭素削減量（kg）
夏	12,182	10,017	7,796	5,354	8,053	6,472	7,722	5,850	1,591	6,340
冬	10,088	8,883	11,654	9,642	8,644	7,052	4,929	5,722	2,554	11,195
計	22,270	18,900	19,450	14,996	16,697	13,524	12,651	11,572	4,145	17,535
対前年増減率（%）	3.7	6.3	▲12.7	▲20.7	▲14.2	▲9.8	▲24.2	▲14.4	▲67.2	51.5

※ペーパレス化の推進を図るため、令和5年度より新たに県が開設した「エコライフＤＡＹ＆ＷＥＥＫ埼玉特設サイト」による参加を基本とし、取組を実施

2　ゼロカーボン川柳の実施

(1)目　　的　市民の「ゼロカーボン」に対する意識啓発や一人ひとりが身近にできる二酸化炭素排出量削減の取組の促進

(2)募集項目　「ゼロカーボン」に関する川柳

(3)応募対象者　市内在住者、在学者・在勤者
（個人、学校・クラス単位・グループ・サークル単位）

(4)発　　表　「第10回加須市環境フォーラム（令和5年11月25日）」内で表彰、作品の掲示

(5)応募作品数　82作品（最優秀賞：1作品、優秀賞：1作品、佳作：5作品）

3　グリーン購入の推進

加須市役所地球温暖化防止実行計画（事務事業編）に位置付けられた「温室効果ガスの排出の抑制に配慮した取組」として、「環境配慮型事務用品の購入の推進」を掲げ、「加須市グリーン購入推進方針（平成25年3月策定）」に基づき、職員によるグリーン購入の取組みを実施した。

また、国が定める「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」の改定や本市におけるグリーン購入の調達実績等を踏まえ、令和6年3月に「加須市グリーン購入推進方針」を改定し、併せて、調達担当者向けの調達手引きとして、新たに「加須市グリーン購入ガイドライン」を策定した。

対象品目：国が定める対象品目のうち、本市が特に重点的にグリーン購入を推進する品目（加須市グリーン購入対象品目）として14分野150品目を設定

事業名	環境にやさしい自動車利用促進事業			4313-01
担当課	環境政策課		現　年	前年度からの繰越
款 02	総務費	当初予算額	837,000円	―
項 01	総務管理費	最終予算額	652,786円	―
目 12	公害対策費	決　算　額	606,802円	―
事業の目的	化石燃料の使用量や排出ガスの削減を図り、低炭素社会を実現するため、電気自動車などの環境にやさしい自動車の利用を促進する。			
事業の概要	電気自動車用充電設備の利用促進を図るとともに電気自動車等のエコカーの普及を促進する。また、アイドリングストップ、エコドライブ、カーシェアリングの普及啓発を進める。			

事業の実績・成果

1　電気自動車用急速充電器の利用促進及び利用状況

(1) 設置施設

・加須市役所南側駐車場（平成24年3月30日供用開始）
利用時間：午前8時30分～午後5時15分（土、日、祝日、年末年始を除く）

・道の駅童謡のふる里おおとね（平成26年3月30日供用開始）
利用時間：午前9時30分～午後5時（第1・第3水、年始を除く）

(2) 使用料

500円/回（1回30分以内）

(3) 利用状況　（単位：回）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
加須市役所南側駐車場	4	32	32	1	0※
道の駅童謡のふる里おおとね	12	14	12	20	50
合　　計	16	46	44	21	50

※加須市役所南側駐車場に設置の設備については、故障により復旧困難のため利用停止（令和4年10月）

2　電気自動車用充電設備のインフラ整備等の促進に向けた連携協定

電気自動車の利用促進を図るため、電気自動車用充電設備のインフラ整備を軸としたゼロカーボンシティの実現及び災害等に対する地域のレジリエンスの強化に関する連携・協力を目的に民間事業者と連携協定を締結した（令和6年3月8日）。

(1) 連携及び協力事項

・公共施設等へのEV用充電設備の設置及び管理運営に関すること。
・EVの普及促進に関すること。
・災害等に対する地域のレジリエンスの強化に関すること。
・ゼロカーボンシティの実現に関する市民、地域の事業者への啓発等に関すること。
・その他「ゼロカーボンシティ」の実現に資する取組に関すること。

(2) 設備設置予定施設

・道の駅、本庁舎、各総合支所、体育館、図書館、文化・学習施設　等

(3) 設置設備

・急速充電器（50kW）：　道の駅
・普通充電器（6kW）　：　道の駅以外

事 業 名		グリーンカーテン促進事業			4315-02
担 当 課		環境政策課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	11,000 円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	11,000 円	―
目	12	公害対策費	決　算　額	10,000 円	―
事業の目的		消費電力の削減を図るため、夏のエアコン等の使用を抑制する。			
事業の概要		市民の節電意識を高め CO2 を削減するため、グリーンカーテンコンテストを開催し、市内におけるグリーンカーテンの普及啓発を行う。			

事業の実績・成果

1　夏のエアコン等の使用を抑制するため、グリーンカーテンの設置を促進し、節電意識の啓発を図った。

2　市民の節電意識を高めるとともに、CO2 を削減するため、グリーンカーテンコンテストを開催し、市内におけるグリーンカーテンの普及啓発を行い、優秀な作品 5 点を選出し、賞状と記念品を贈呈した。

3　グリーンカーテンコンテスト応募数　（単位：件）

令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
24	18	13	16	13

事業名	浄化槽転換促進事業				4423-01
担当課	環境政策課			現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	38,281,000円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	8,136,000円	―
目	12	公害対策費	決　算　額	8,117,000円	―
事業の目的	生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図る。				
事業の概要	合併処理浄化槽への転換を促進するため、転換を実施する者に補助金を交付する。 また、合併処理浄化槽への転換について普及啓発を実施する。				

事業の実績・成果

1　合併処理浄化槽設置整備補助金

河川等の水質浄化を図り、より良い環境づくりを目指して、単独処理浄化槽又は汲取り便槽から合併処理浄化槽へ転換する市民に対して補助金を交付した。（補助金の対象となる区域は、加須市生活排水処理施設整備計画における浄化槽整備区域である。）

令和5年度補助金交付額　8,092,000円

（内訳）

・合併処理浄化槽への転換に伴う設置費補助　6,192,000円（15基分）
・汲み取り方式の便槽または単独処理浄化槽の処分費補助　700,000円（14基分）
・合併処理浄化槽への配管費補助　1,200,000円（15基分）

（単位：基）

年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
施工業者／人槽	市内業者	市外業者	市内業者	市外業者	市内業者	市外業者	市内業者	市外業者	市内業者	市外業者
5人槽	3	13	1	0	1	5	0	5	1	5
7人槽	8	16	7	6	3	6	6	7	3	5
10人槽	1	3	0	0	0	1	0	0	0	1
合計（市内外別）	12	32	8	6	4	12	6	12	4	11
総合計	44		14		16		18		15	

2　浄化槽等の設置基数の状況（令和5年度末）※工業専用地域及び集中浄化槽を除く　（単位：基）

区域／排水処理	浄化槽整備区域	公共下水道整備区域	流域下水道整備区域	農業集落排水整備区域	市内全域
合併処理浄化槽	9,016	1,915	615	575	12,121
単独処理浄化槽	6,610	3,514	467	841	11,432
汲み取り便槽	1,600	695	159	333	2,787
合計	17,226	6,124	1,241	1,749	26,340

事業名	水質浄化促進事業			4424-01
担当課	環境政策課		現　年	前年度からの繰越
款 02	総務費	当初予算額	386,000円	―
項 01	総務管理費	最終予算額	386,000円	―
目 12	公害対策費	決　算　額	287,907円	―
事業の目的	きれいな水の再生のため、市内の公共用水域の水質改善を図る。			
事業の概要	河川浄化対策協議会や市民との協働による河川の浄化活動・清掃活動を支援し市民による浄化活動を促進する。 さらに、河川浄化の啓発活動を実施するとともに、冬期試験通水を実施する。			

事業の実績・成果

1　加須市河川浄化対策協議会加須支部補助金

(1) 加須地域内8河川等の水質簡易測定及び清掃の実施

（午の堀川、中川、新槐堀川、会の川、六郷堀、青毛堀川、五ヶ村落、南方用水）

例年、夏季と冬季に水質簡易測定及び清掃を実施していたが、令和5年度は新型コロナウイルス感染症や季節性インフルエンザ等の感染防止のため、実施しなかった。

(2) 会の川清掃活動

11月に会の川清掃活動を実施し、市民との協働による河川の浄化に努めた。

実施日　令和5年11月15日（火）

(3) 協議会だよりの発行

例年、年2回協議会だよりを発行していたが、令和5年度においても、新型コロナウイルス感染症や季節性インフルエンザ等の感染防止の影響により協議会としての活動が少なかったため、発行しなかった。

2　加須市大利根地域河川浄化対策協議会補助金

大利根地域一斉清掃を実施し、市民との協働による河川の浄化に努めた。

実施日　令和5年7月23日（日）、令和5年12月17日（日）、令和6年3月10日（日）

3　利根大堰左岸に係る冬期通水推進連絡会負担金

利根大堰左岸に係る幹線水路に冬期通水を行うことにより農業用水の高度利用と水辺空間及び多面的機能の向上を図った。

4　冬期試験通水

(1) 通水期間　令和5年10月1日から令和6年3月31日まで

(2) 利根合口農業水利協議会及び関係市町、土地改良区で利根大堰に係わる冬期試験通水要望活動を行った。

5　冬期試験通水に係る水質測定

市内を流れる南方用水路、会の川等の各水路に通水を行い、水質測定を実施した。

・測定結果(河川ごとの平均値)　（単位：mg/ℓ）

河川名	測定項目	通水前（夏）	通水後（冬）
南方用水路	BOD	1.1	5.9
会の川	BOD	1.05	4.05
四ヶ村用水	BOD	0.9	3.7
新川用水	BOD	0.95	4.2
島中領用水路	BOD	0.6	2.2

※環境基準は5mg/ℓ以下

事 業 名		公害未然防止事業			4431-01
担 当 課		環境政策課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	1,792,000 円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	1,774,000 円	―
目	12	公害対策費	決　算　額	852,036 円	―
事業の目的		市民が良好な生活環境のもとで、健康で快適に暮らすことができるまちづくりを推進する。			
事業の概要		市民からの大気汚染（野外焼却）、水質汚濁、騒音、振動、悪臭等の苦情への対応や防止対策の助言、指導を行う。 また、工場や事業所からの騒音・振動等特定施設の届出等の受理や騒音・振動規制の指導助言を行うとともに、野外焼却の禁止など市民への意識啓発を実施する。			

事業の実績・成果

1　苦情への対応

市民等から公害苦情の相談があった場合、 現場に急行し、苦情相談者から発生時期（時間帯）や発生場所、原因者、被害の程度、要望等を聴取・調査した上で、原因究明のため現地確認や発生原因者からの事情聴取を行い、解決策として公害防止、改善対策を検討し、発生原因者へ解決に向けた助言や指導を行うとともに苦情相談者へ対応に係る説明を実施した。

【苦情件数の推移】

（単位：件）

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
大気汚染 （　）内、野焼き件数	26 (25)	44 (44)	15 (15)	21 (21)	20 (19)
水質汚濁	7	6	4	7	5
騒　音	22	17	23	16	12
振　動	2	2	1	0	4
悪　臭	14	10	16	15	15
合　計	71	79	59	59	56

事業名	監視測定事業			4432-01
担当課	環境政策課		現　年	前年度からの繰越
款　02	総務費	当初予算額	6,036,000円	―
項　01	総務管理費	最終予算額	6,036,000円	―
目　12	公害対策費	決　算　額	5,786,000円	―

事業の目的	市民が良好な生活環境のもとで健康で快適に暮らすことのできるまちづくりを推進するため、定点及び周期的な環境測定を実施する。
事業の概要	大気中のダイオキシン類や二酸化窒素、二酸化硫黄、河川等の水質、自動車交通騒音測定等の環境測定を継続的に実施するとともに測定結果を市民に公表する。 また、光化学スモッグ注意報の発令・解除情報及びPM2.5の注意喚起情報の提供を行う。

事業の実績・成果

1　河川等水質検査業務

・市内河川等のうち、50地点の水質検査を夏期（9月）、冬期（2月）に実施した。

（単位：mg/ℓ(pH除く)）

	pH（水素イオン濃度）		SS（浮遊物質量）		BOD（生物化学的酸素要求量）	
	夏期	冬期	夏期	冬期	夏期	冬期
最小値	6.6	6.9	2	3	0.6	2.1
最大値	8.9	9.1	55	71	4.1	7,5
基準超過地点数	1	2	2	1	0	15

コイ、フナが生息できる「きれいな川」はBOD5 mg/ℓ以下である。

加須市の北川辺地域を除く河川は、中川の水質環境基準のC類型を参照し、基準値はpH：6.5～8.5、SS：50 mg/ℓ以下、BOD：5 mg/ℓ以下に、北川辺地域の河川は、渡良瀬川の水質環境基準のB類型を参照し、基準値はpH：6.5～8.5、SS：25 mg/ℓ以下、BOD：3mg/ℓ以下、大腸菌群数：1,000CFU/100mL以下にしている。

2　ダイオキシン類環境測定業務　（単位：pg-TEQ/m^3）

測定地点	大気中のダイオキシン類濃度		
	夏季（8/8～8/15）	冬季（1/5～1/12）	平　均
消防団第8分団（下樋遣川）	0.0075	0.021	0.014
騎西総合支所（騎西）	0.0072	0.023	0.015
北川辺分署（麦倉）	0.0082	0.017	0.013
大利根総合支所（北下新井）	0.015	0.038	0.027

大気環境基準は、年平均0.6pg-TEQ/m^3である。

3　大気測定業務

・7月から3月にかけて測定を実施し、1地点につき1箇月ごとに8回試料採取した。

(1) 大気中の二酸化硫黄濃度測定結果　（単位：ppm）

測定地点	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
三俣小学校（北小浜）	0.0010	0.0009	0.0010	0.0009	0.0009
騎西小学校（騎西）	0.0009	0.0009	0.0008	0.0010	0.0009
道の駅かぞわたらせ（小野袋）	0.0029	0.0017	0.0018	0.0020	0.0016
大利根総合支所（北下新井）	0.0011	0.0009	0.0011	0.0010	0.0010

数値は、1時間平均値。

二酸化硫黄環境基準は、1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。

(2) 大気中の二酸化窒素濃度測定結果　　(単位：ppm)

測　定　地　点	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
三俣小学校（北小浜）	0.0037	0.0034	0.0037	0.0032	0.0031
騎西小学校（騎西）	0.0049	0.0052	0.0048	0.0045	0.0045
道の駅かぞわたらせ（小野袋）	0.0190	0.0140	0.0140	0.0150	0.010
大利根総合支所（北下新井）	0.0054	0.0055	0.0052	0.0044	0.0055

数値は、1時間平均値。

二酸化窒素環境基準は、1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。

4　自動車交通騒音測定業務　　(単位：dB(A))

測定地点	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
県道加須幸手線（睦町）	69.1 63.8	71.7 66.1	65.2 64.6	58.5 58.5	62.0 57.9
東北縦貫自動車道（下谷）	66.0 63.2	67.0 64.4	66.6 64.6	68.7 64.9	64.7 60.8
県道加須停車場線（中央二丁目）	60.2 51.9	58.8 49.2	57.7 46.7	56.2 49.5	61.5 53.3
一般国道122号（下崎）	75.5 73.7	72.8 73.9	73.1 70.6	72.6 69.6	72.6 70.1
県道佐野古河線（小野袋）	67.2 65.3	66.1 64.6	66.5 64.1	66.5 64.1	64.5 63.8
県道羽生栗橋線（北下新井）	69.8 64.8	70.6 64.7	69.3 64.8	57.0 56.5	65.5 60.0

上段は昼間（6時～22時）平均、下段は夜間（22時～6時）平均。

道路に面する地域に係る環境基準は、昼間は70dB以下、夜間は65dB以下である。

道路管理者又は関係行政機関の長に意見を述べることができる要請限度は、昼間は75dB、夜間は65dBである。

5　自動車交通騒音測定面的評価業務

・調査期日　令和5年12月15日 ～ 令和6年3月15日

・調査路線及び地点　県阿佐間幸手線（間口　外　地内）

路線名	調査区間		距離（km）
	始点	終点	
阿佐間幸手線	砂原北大桑線	加須市・久喜市　境	2.5

・調査内容

①道路交通騒音・交通条件、②沿道条件、③面的評価

調査路線	時間区分	調査結果（dB）	環境基準（dB）	評価対象戸数（戸）	昼夜ともに基準達成戸数（戸）	環境基準達成率
阿佐間幸手線	昼間	69	70	71	71	100.0%
	夜間	65	65			

6　光化学スモッグ等に関する情報の提供

・光化学スモッグ注意報等の発令時に、防災行政無線等により市内全域に注意喚起した。

令和5年度　光化学スモッグ予報5件、光化学スモッグ注意報2件

・埼玉県内のPM2.5の測定値を市のホームページにより情報提供を行った。

令和5年度　PM2.5注意喚起0件

事業名	放射能測定事業				4432-02
担当課	環境政策課			現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	1,036,000円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	1,036,000円	―
目	12	公害対策費	決　算　額	902,000円	―
事業の目的	東京電力福島第一原子力発電所での事故の発生に伴い放出された放射性物質について適切な対応を図ることで市民の安心、安全の確保を図る。また、万が一の有事の際の環境的視点からも重要なデータとなることから測定を実施する。				
事業の概要	定期的な空間放射線量の測定及び市民からの申請による放射線量の出張測定を実施し、その結果を公表する。				

事業の実績・成果

1　空間放射線量の定点測定

・測定期間　令和5年4月1日～令和6年3月31日まで：毎月第1月曜日の午前9時

・測定箇所　加須小学校、大越小学校、騎西中学校、北川辺中学校、大利根中学校

・測定器　　Mr.GammaA2700

・測定結果　（単位：μSv/h）

測定箇所	最低値	最高値
本庁舎	0.024	0.063
加須小学校	0.035	0.057
大越小学校	0.030	0.038
騎西中学校	0.033	0.039
北川辺中学校	0.030	0.049
大利根中学校	0.042	0.065

2　「周辺より高線量を示すおそれのある箇所」の測定

学校やこどもが利用する主な施設の局所的に放射線量が高いと思われる箇所の空間放射線量の測定を実施した。

・測定箇所　小中学校・幼稚園、市立保育所、児童館など及び主な都市公園の合計69施設

・測定期間及び測定箇所、測定結果　（単位：μSv/h）

測定回数	測定期間	測定箇所	最低値	最高値
第38回測定	令和5年8月21日～25日	69	0.021	0.081
第39回測定	令和6年2月13日～16日	69	0.022	0.084

3　職員による出張測定（空間放射線量測定）

・実績（令和5年度実施なし）

4　焼却灰等の放射能測定の実施

加須及び大利根クリーンセンターにおいて、放射性ヨウ素及び放射性セシウムの濃度測定を焼却灰（主灰）を年2回、飛灰等を年12回実施した結果、放射性ヨウ素については不検出、放射性セシウムについては基準値（8,000Bq/kg）超過はなかった。

5　広報活動

・市ＨＰで測定結果を公表した。

事 業 名		環境保全推進事業			4433-01
担 当 課		環境政策課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	68,000 円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	68,000 円	―
目	12	公害対策費	決　算　額	62,096 円	―
事業の目的		豊かな自然と良好な生活環境を将来にわたり確保する。			
事業の概要		環境保全条例に基づく土地の埋め立ての規制・指導や空き地の雑草などの適正管理の指導を実施する。 既存の残土の堆積地や新たな違法、無許可埋立ての防止を図るため、関係機関と連携したパトロールを実施する。 環境配慮事業者への指導や協定の締結を行う。			

事業の実績・成果

1　巡回パトロールの実施

環境保全のため、不法投棄及び違反埋立ての監視を目的とした県との合同パトロールを実施した。

＜県下一斉合同監視パトロール＞
実施日：令和 5 年 10 月 13 日
参　加：（県）東部環境管理事務所　廃棄物・残土対策担当
　　（市）環境政策課、資源リサイクル課

2　空き地の雑草等の適正管理の指導件数

雑草の繁茂等、適正管理の成されていない空き地の所有者に対し、改善するよう文書指導等を行い、空き地の適正管理を図った。

（単位：件）

令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
75	106	120	87	92

3　埼玉県緑化推進委員会会費

緑化の推進を目的として、緑の募金活動を実施した。

4　環境配慮事業の協定締結

敷地面積 3,000 ㎡以上　建築面積 1,000 ㎡以上の製造業、加工修理業に係る工場の新設
令和 5 年度　該当なし

事 業 名		ムクドリ対策事業			4433-05
担 当 課		環境政策課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	9,000 円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	0 円	―
目	12	公害対策費	決　算　額	0 円	―
事業の目的		良好な生活環境を確保するため、ムクドリ被害の抑制・軽減を図る。			
事業の概要		ムクドリが嫌がる音声を飛来する群れやねぐらに向けて流したり、拍子木等による追い払いやムクドリの糞で汚れた道路の清掃を地元自治協力団体との協働により実施する。			

事業の実績・成果

1　ムクドリの鳴き声による騒音対策

(1) 実施日等

令和5年8月28日（月）～9月1日（金）　※8月30日時点でムクドリがいなくなったため、8月31日、9月1日は中止。

参加延べ人数68人

(2) 実施場所

花崎駅北口周辺

(3) 実施内容

拍子木の打ち鳴らしや、ディストレスコール（ムクドリが嫌がるとされている鳴き声）を拡声器で流しながら公用車で巡回し、追払いを実施した。

(4) 協力団体等

自治協力団体（花崎北第一区町内会、花崎北第二区町内会、花崎北第三区町内会、ライオンズガーデン花崎町内会）及び関係課（道路公園課）

2　ムクドリの糞害対策（花崎駅北口周辺）

例年、花崎駅北口ロータリー周辺の糞害対策として、歩道等の路面清掃を地元自治協力団体と協働し、高圧洗浄機やデッキブラシにより実施しているが、令和5年度は汚れが目立たなかったため、現場確認及び自治協力団体との協議により中止した。

3　次年度以降の対策

全国的に抜本的な対処法が確立していないため、令和6年度以降についても、地元自治協力団体と協議のうえ、引き続き追払い等を実施する方針で決定した。

事 業 名		交通安全計画進行管理事業			1321-02
担 当 課		交通防犯課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	256,000 円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	256,000 円	―
目	13	交通安全対策費	決　算　額	139,600 円	―
事業の目的		本市における交通安全に関する施策を総合的かつ計画的な推進を図るため、交通安全対策基本法に基づく加須市交通安全計画の進行を管理する。			
事業の概要		加須市交通安全対策協議会を開催し、交通安全対策の推進体制の強化を図るとともに、交通安全計画の進行を管理する。 計画期間：令和 3 年度～令和 7 年度			

事業の実績・成果

第 2 次交通安全計画に係る令和 4 年度の各取組の実績確認（照会）を行うとともに、交通安全計画庁内推進委員会及び交通安全対策協議会を開催し、進捗状況等の報告等を行った。

また、交通安全対策協議会において各季の交通安全運動等に係る実施要綱（案）及び実施計画書（案）の協議を行った。

〇交通安全計画庁内推進委員会

開　催　日　令和 5 年 8 月 25 日（書面会議）

〇交通安全対策協議会

第 1 回

開　催　日　令和 5 年 4 月 12 日

出席委員数　8 名

内　　容　・春の全国交通安全運動加須市実施要綱（案）及び実施計画書（案）について

第 2 回

開　催　日　令和 5 年 6 月 27 日

出席委員数　9 名

内　　容　・夏の交通事故防止運動加須市実施要綱（案）及び実施計画書（案）について

第 3 回

開　催　日　令和 5 年 9 月 5 日（書面会議）

内　　容　・秋の全国交通安全運動加須市実施要綱（案）及び実施計画書（案）について

・交通安全計画の令和 4 年度取組結果について

第 4 回

開　催　日　令和 5 年 11 月 17 日（書面会議）

内　　容　・冬の交通事故防止運動加須市実施要綱（案）及び実施計画書（案）について

第 5 回

開　催　日　令和 6 年 3 月 15 日

出席委員数　7 名

内　　容　・春の全国交通安全運動加須市実施要綱（案）及び実施計画書（案）について

事業名	交通安全団体活動支援事業			1321-03
担当課	交通防犯課		現　年	前年度からの繰越
款 02	総務費	当初予算額	23,973,000円	―
項 01	総務管理費	最終予算額	23,958,000円	―
目 13	交通安全対策費	決　算　額	18,409,034円	―
事業の目的	市民が交通事故に遭うことなく、安全で安心して生活を送れるようにするため、交通安全活動を行う団体を支援する。			
事業の概要	・交通指導員協議会、交通安全母の会、交通安全協会等の円滑な活動を支援するため、補助金を交付するほか、交通指導員の報酬等の支給及び制服の貸与をする。			

事業の実績・成果

1　加須市交通指導員協議会

・活動内容

市民が安全で安心して生活できるようにするために、朝の学童指導をはじめ、薄暮時街頭指導のほか、市のイベントや交通安全キャンペーン、こども自転車運転免許事業への協力など、交通道徳の普及・高揚・啓発に努めた。

(1)朝の学童指導及び薄暮時街頭指導

(2)こども自転車運転免許事業への協力

(3)春・秋の全国交通安全運動及び夏・冬の交通事故防止運動への参加　　ほか

・加須市交通指導員設置条例施行規則の改正（令和5年12月改正）

委嘱条件：定年を67歳未満から69歳未満に拡大

ただし、69歳以上の者であっても1期に限り再任可

2　加須市交通安全母の会

・活動内容

交通安全母の会は、「交通安全は家庭から」をモットーに、こどもと高齢者の交通事故を防止するための各種交通安全啓発事業を実施し、交通事故のない、明るく住み良い地域社会づくりに寄与した。

(1)春・秋の全国交通安全運動及び夏・冬の交通事故防止運動への参加

(2)広報紙「加須市交通安全母の会だより」を発行

(3)各支部での交通安全啓発活動の実施

・小学校新入学児童に啓発品を配布（全支部）

・歩道橋に横断幕を設置し車両運転者等への啓発を実施（騎西支部）

(4)こども自転車運転免許事業への協力

(5)新入学児童の交通安全教室の開催

3　加須交通安全協会

・活動内容

交通道徳の普及高揚と交通事故の防止を目的に、広報活動や啓発活動、道路反射鏡の点検及び清掃活動、交通関係功労者・団体・優良運転者の表彰、埼玉県交通安全協会の交通安全活動に関する協力、こども自転車運転免許事業への協力等を行った。

4　交通安全団体への補助

交通安全団体に対して補助金を交付し、交通道徳の普及・高揚・啓発を促進することにより、市内の交通安全を図った。

・加須市交通指導員協議会補助金　　625,000円

・加須市交通安全母の会補助金　　953,000円

・加須交通安全協会補助金　　2,243,000円

事業名	交通安全啓発事業			1321-04
担当課	交通防犯課		現　年	前年度からの繰越
款 02	総務費	当初予算額	1,585,000円	―
項 01	総務管理費	最終予算額	1,585,000円	―
目 13	交通安全対策費	決　算　額	1,303,294円	―
事業の目的	市民が交通事故に遭うことなく、安全で安心して生活が送れるようにするため、交通安全活動を推進する。			
事業の概要	・各種交通安全運動期間に交通安全の啓発を行う。 ・参加･実践型高齢者交通安全教室、こども自転車運転免許事業、中学生対象の交通安全教室を実施する。 ・敬老会等各地域のイベントにおける交通安全啓発を実施する。 ・ヘルメット着用に向けた普及・啓発を実施する。			

事業の実績・成果

1　加須市内の交通事故年別推移

	人身事故			物損事故
	件　数(件)	死　者　数(人)	傷者数(人)	件　数(件)
令和元年	300	5	359	2,308
令和2年	240	2	305	2,045
令和3年	264	2	339	2,010
令和4年	271	4	344	2,317
令和5年	250	8	314	2,363

加須警察署調べ（捜査状況等により数値の変動あり）

2　こども自転車運転免許事業の実施

加須警察署や教育委員会、市内交通関係団体等と連携・協力し、市立全小学校4年生を対象に、安全講習、学科試験、実技試験を実施した。この事業により、交通ルールをはじめ、自転車の安全な乗り方などを指導し、こどもの自転車の交通事故防止を図った。

3　中学生交通安全講習会の実施

中学生自らが自転車に乗る際の交通ルールの習得を行うことによって、自転車乗車等に対する安全意識やマナーを学び、交通安全意識を高め、交通事故に遭わない、起こさないように心掛けてもらうことを目的に、市立全中学校1年生を対象とした交通安全講習会を実施した。

4　参加・実践型高齢者交通安全教室

埼北自動車学校及び加須警察署の協力・指導のもと、参加・実践型の高齢者交通安全教室を年4回開催し、加須市内の老人クラブ連合会・シルバー人材センター・グランドゴルフ協会会員の参加者が、加齢に伴う反射能力、身体能力の認識の衰えを確認することにより、高齢者の交通事故防止を図った。

5　各種交通安全啓発活動

春、秋の全国交通安全運動及び夏、冬の交通事故防止運動等で、交通安全を呼びかける啓発品を配布し、交通事故防止を促した。

交通弱者であるこどもや高齢者の交通事故防止を図るため、新入学児童には交通安全教育教本を配布し、また、敬老会の際には高齢者交通安全啓発チラシを配布した。

事業名	交通安全施設整備事業			1322-01
担当課	交通防犯課		現　年	前年度からの繰越
款 02	総務費	当初予算額	31,879,000円	―
項 01	総務管理費	最終予算額	31,570,200円	―
目 13	交通安全対策費	決　算　額	30,260,626円	―
事業の目的	市民が交通事故に遭わないようにするため、交通安全施設の整備を図る。 また、交通事故の防止を図るため、緊急に通行の安全を確保する必要性の高い危険箇所について緊急対策としての局部的かつ応急的な工事を実施する。			
事業の概要	・自治協力団体の要望等があった箇所について市基準に基づき道路反射鏡や路面標示等の交通安全施設工事を実施する。また施設の修繕、維持管理を実施する。 ・事故多発箇所及び死亡事故発生箇所については、警察、行田県土、庁内関係各課で構成されている加須市道路交通環境安全推進連絡会議に諮り、交通安全対策を実施する。			

事業の実績・成果

交通安全上危険な箇所や交通事故多発地点について交通安全施設等(道路反射鏡、路面標示等)を整備することにより、交通安全の注意を喚起し、交通事故防止を図った。

1　道路反射鏡新設
　14基、　3,308,800円
2　道路反射鏡修繕
　40基、　4,371,400円
3　路面表示等設置
　24箇所、9,974,800円
4　道路照明灯修繕
　33基、　1,239,710円

【交通安全施設の整備状況】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
道路反射鏡新設（基）	23	17	29	14	14
道路反射鏡修繕（基）	107	83	61	69	40
路面標示等設置（箇所）	53	34	45	22	24
道路照明灯修繕（基）	57	61	31	31	33

○加須市道路反射鏡清掃等活動費補助金　　740,350円
補助対象団体　　加須交通安全協会（年3回実施）
趣　　旨　　市内に設置された道路反射鏡を常に良好な状態に保つことにより、市内の交通安全を図るため、道路反射鏡の点検及び清掃活動を行う加須交通安全協会に対し、加須市道路反射鏡清掃等活動費補助金交付要綱に基づき、活動費補助金を交付した。

事 業 名		放置自転車対策事業			1322-02
担 当 課		交通防犯課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	1,260,000 円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	1,565,800 円	―
目	13	交通安全対策費	決　算　額	1,481,283 円	―
事業の目的		通行の安全と良好な生活環境を保持するため、加須駅、花崎駅、柳生駅、新古河駅周辺の自転車放置整理区域内における放置自転車の対策を行う。			
事業の概要		・自転車放置整理区域内の放置自転車の指導、整理及び引渡し業務の委託を行う。 ・放置自転車の撤去、運搬、処分業務の委託を行う。 ・花崎駅北口西有料自転車駐車場運営業務を行う。(月：1,200 円、2 段ラック式：374 台) ・自転車駐車場の指導、整理業務の委託を行う。			

事業の実績・成果

歩行者の安全な通行の確保と良好な生活環境の保持を図った。

1　放置自転車監視・指導・整理・引渡し業務委託（加須駅・花崎駅）　801,181 円
（毎週月、水、金曜日、午前 7 時～8 時、4 名立哨）

2　放置自転車撤去・移送業務委託（加須駅・花崎駅）　0円
（撤去　5 回・8 台　※台数が少なかったため職員による撤去を行った。）

3　花崎駅北口西自転車駐車場（有料）監視・指導・整理業務委託　151,987円
（毎週月、水、金曜日、午前 7 時～8 時、1 名立哨）

4　放置自転車売却処分　売却処分 47 台　売却代金　517 円

5　有料自転車駐車場利用状況　利用者 220 人　使用料　2,218,800 円

6　放置自転車監視・指導業務委託（柳生駅）　113,629円
（隔週月、水、金曜日及び火、木、土曜日、1 名立哨）
（立哨時間：月～金曜日 午前 7 時～8 時、土曜日 午前 8 時～9 時）

【放置自転車撤去・処分台数の推移】　（単位：台）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
撤 去 台 数	74	55	27	13	38
売却処分台数	138	80	44	52	47

【花崎駅北口西自転車駐車場(有料)の利用状況】

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
使用料（円）	2,415,600	1,923,600	2,004,000	2,162,400	2,218,800
利用者数（人）	245	199	206	216	220

事 業 名		交通遺児支援事業			2113-12
担 当 課		子育て支援課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	219,000 円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	219,000 円	―
目	13	交通安全対策費	決　算　額	80,985 円	―

事業の目的	交通遺児を養育している方への経済的支援を行い、交通遺児世帯の生活の安定を図る。 ※　交通遺児とは、交通事故で死亡又は重い障害を負った保護者に養育されている小学生及び中学生
事業の概要	交通遺児を養育している保護者の申請により、図書カードを支給する。 ・対象者調査（小・中学校へ依頼） ・支給時期：12 月 ・支給額：小学生 10,000 円、中学生 20,000 円 ・支給方法：郵送（簡易書留） ・基準日：9 月 1 日

事業の実績・成果

広報紙で案内するとともに、市内の小・中学校の協力を得て対象となる方を把握することによって、対象者を事業の利用につなげることができた。

また、加須市交通遺児支援基金を活用して、交通遺児支援金（図書カード）を支給することによって、交通遺児の健全な育成と交通遺児を養育する保護者の支援をすることができた。

1　事業内容

支援金（図書カード）の支給

小学生　1 人当たり 10,000 円分

中学生　1 人当たり 20,000 円分

2　対象児童数及び支給額の推移

（単位：人、円）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
小学生	0	2	1	1	1
中学生	7	5	4	1	2
支給額	140,000	120,000	90,000	30,000	50,000

事業名	消費者自立・支援事業				1174-01
担当課		市民相談室		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	5,295,000円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	5,295,000円	―
目	14	市民生活費	決　算　額	4,361,043円	―

事業の目的	消費者の権利の尊重及びその自立の支援を推進し、安全で安心した消費生活の確保及び向上を図る。
事業の概要	消費生活センターに専門職である消費生活相談員を配置し、消費生活トラブル等の相談を市民から受け、助言やあっせんを行うとともに、消費者の自立を支援する。なお、本庁舎へ相談に来られない方には、予約制により、相談員が総合支所へ出張する体制を整えている。 また、消費者団体くらしの会の自主的な消費者活動を支援する。

事業の実績・成果

1　消費生活講座等

新型コロナウイルス感染症の影響により、消費者団体との共催による消費生活講座等を実施できなかった。

・消費者団体「加須市くらしの会」への補助金

消費生活の改善・向上を図るとともに、生産者・販売者・消費者相互の意思疎通を図り、地域社会の円滑な発展に資するため、268,000円を交付し、消費生活に対する意識向上に繋がった。

会員数：230人

2　消費者被害を未然に防ぐ啓発活動

消費者被害を広く市民に周知し、悪質商法等の被害を未然に防ぐ啓発に努めた。

・市広報紙等に事例及び対策を掲載

・加須市在住の埼玉県消費者被害防止サポーターとの協働による敬老会で消費者被害防止啓発ウェットティッシュ配布による啓発活動

消費者被害防止啓発クリアホルダー　165,880円
消費者被害防止啓発リーフレット　42,900円
消費者被害防止啓発ウェットティッシュ　244,860円

3　加須市高齢者等虐待及び消費者被害防止ネットワーク会議

高齢者、障がい者及び認知症等により判断能力が不十分となった方の消費者被害を防止するため、加須市高齢者等虐待及び消費者被害防止ネットワーク会議を活用し、関係機関との連携により消費者被害救済に努めた。

4　消費生活相談

本庁舎では月曜日から金曜日に消費生活相談員が市民の様々な消費生活に係る相談を受け、適切な助言及びあっせん等を行い、消費者の悩みや不安解消に努めた。

・消費生活相談員報酬　2,933,894円

消費生活相談の取引形態別相談件数　（単位：件）

区分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
苦情相談件数	店舗購入	163	105	60	53	81
	訪問販売	88	71	71	62	86
	マルチ販売	3	2	4	0	2
	電話勧誘販売	43	32	31	25	43
	通信販売	167	217	125	159	197
	ﾈｶﾞﾃｨﾌﾞｵﾌﾟｼｮﾝ	7	7	1	2	0
	訪問購入	5	4	6	4	9
	その他無店舗販売	4	1	1	0	0
	不明無関係	240	153	132	174	180
小　計		720	592	431	479	598
問い合わせ件数		16	61	49	27	32
合　計		736	653	480	506	630

5　消費生活相談弁護士

消費生活相談員が法律等の改正や相談内容の複雑化等に対処するため、月1回、弁護士からの助言を受け、相談への適切な助言及びあっせんを行った。

・弁護士謝金　　360,000円

消費生活相談弁護士への相談件数　（単位：件）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
相談件数	58	70	59	44	57

事 業 名		消費者教育推進事業			1174-03
担 当 課		市民相談室		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	230,000 円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	230,000 円	―
目	14	市民生活費	決　算　額	0 円	―
事業の目的		消費者が自らの利益の擁護及び増進のため、自主的かつ合理的に行動することができるよう、その自立を支援するため消費生活に関する教育を行う。			
事業の概要		市立全中学校 8 校で小学 6 年生と当該保護者及び中学 3 年生を対象とした消費者教育、高齢者を対象とした講座、高齢者を見守る民生委員及び高齢者相談センター職員等を対象とした消費生活レベルアップ講座を実施する。			

事業の実績・成果

1　若年者対象消費生活講座の開催

・市立中学校 8 校の 3 年生を対象とし、消費生活相談員等が講師を務め、携帯電話のトラブル事例やインターネットに潜む危険性などの講話を行うとともに、啓発品としてクリアホルダーを配付し、消費者トラブルの未然防止を図るとともに消費者問題に対する意識の醸成を図ることができた。

対象：市立中学校 8 校のうち 7 校 3 年生、教職員　　778 人

経費：講師謝金については、埼玉県が全額負担

・市立小学校 22 校の 6 年生及び当該保護者を対象に啓発品としてリーフレットを配付し、消費者トラブルの未然防止を図るとともに消費者問題に対する意識の醸成を図ることができた。

2　民生委員対象消費生活講座の開催

・民生委員等を対象とし、消費生活相談員が講師を務め、高齢者に多い消費者トラブルの事例や見守るポイントなどの講話を行い、消費者トラブルの未然防止や消費者問題に対する関心を高めることができた。

参加人数：民生委員等　6 講座　　105 人

3　市民対象消費生活講座の開催

・市民を対象とし、消費生活相談員が講師を務め、消費者の被害事例や対策などの講話を行い、消費者トラブルに対する関心を高めることができた。

参加人数：市民　3 講座　　46 人

4　高齢者対象消費生活講座の開催

・近年、高齢者を狙った悪質商法、詐欺的商法の被害が増加し、社会的にも関心が高まっている。こうした消費者トラブルの防止のため、地域の高齢者の交流・情報交換の場ともなっている「高齢者ふれあいサロン」にて、高齢者を対象にした消費生活講座を実施し、消費者被害を身近な危険として捉えてもらうと共に、消費生活センターの紹介等を行い、相談しやすい雰囲気作りの醸成を図る。

参加人数：市民　28 講座　　233 人

事 業 名		定額減税調整給付事業			1174-10
担 当 課		税務課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	0 円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	1,005,474,000 円	―
目	14	市民生活費	決　算　額	0 円	―
事業の目的		低所得者支援及び定額減税を補足する給付として市民の負担軽減を図る。			
事業の概要		市民の生活の下支えのため、個人ごとの状況に応じた減税及び給付を行う。			

事業の実績・成果

【翌年度への繰越事業（繰越明許）】　1,005,474,000 円

・ 翌年度への繰越事業の内容

定額減税しきれない納税者に対する定額減税補足給付金の支給（1,005,474,000 円）

・ 令和 5 年度から令和 6 年度へ繰り越す理由

令和 6 年度個人住民税課税事務を踏まえた給付を行う必要があることから、令和 5 年度内に事業が終了しないため。

事 業 名		防犯のまちづくり推進計画進行管理事業			1311-02
担 当 課		交通防犯課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	69,000 円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	69,000 円	―
目	14	市民生活費	決　算　額	0 円	―
事業の目的		市民が犯罪に巻き込まれることなく安全で安心して生活を送ることができる犯罪のない地域社会を実現するため、防犯のまちづくり推進計画の進行を管理する。			
事業の概要		加須市みんなでつくる防犯のまちづくり推進協議会を開催し、推進体制の強化を図るとともに、計画の進行管理を行う。 第 3 次計画期間：令和 4 年度～令和 8 年度			

事業の実績・成果

第 3 次みんなでつくる防犯のまちづくり推進計画の推進を図り、進行管理を行った。

〇みんなでつくる防犯のまちづくり推進計画庁内推進委員会

令和 5 年度　未開催

〇みんなでつくる防犯のまちづくり推進協議会

令和 5 年度　未開催

事業名	防犯啓発事業				1311-03
担当課	交通防犯課			現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	5,165,000円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	5,165,000円	―
目	14	市民生活費	決　算　額	5,161,716円	―

事業の目的	市民が犯罪に巻き込まれることなく、安全で安心して生活が送れるようにするため、「自分たちの地域は自分たちで守る」という防犯意識を高揚する。
事業の概要	・犯罪発生状況や防犯情報等をホームページや広報紙に掲載するとともに、防災行政無線での呼びかけ、さらに「かぞホッとメール」にて配信し、防犯意識の高揚を図る。 ・暴力団排除条例に基づいて、啓発活動を行う。 ・加須市地域安全・暴力排除推進大会を開催する。

事業の実績・成果

1　加須市内の犯罪発生件数の推移　（単位：件）

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
刑法犯総数	614	556	616	575	646
侵入盗計	61	84	89	63	61
街頭犯罪計	153	126	169	113	166

※侵入盗：空き巣・忍び込み・事務所荒しなど
※街頭犯罪：自転車盗・車上狙い・ひったくり・自販機ねらいなど

2　防犯情報の提供
・毎月、広報紙及びホームページに犯罪発生件数と犯罪の防止方法等を掲載
・「かぞホッとメール」及び防災行政無線による犯罪及び防犯に関する情報の提供

3　加須市防犯協会・加須市暴力排除推進協議会への補助
地域防犯活動を効果的に推進するとともに、全市民の防犯思想の高揚を図り、もって犯罪のない明るい社会の構築に寄与することを目的とする加須市防犯協会と、徹底した暴力排除活動を展開し、暴力のない明るく住みよいまちづくりを推進することを目的とする加須市暴力排除推進協議会に補助金を交付し、市民の防犯意識の高揚に努めた。
・加須市防犯協会補助金　4,823,000円
・加須市暴力排除推進協議会補助金　336,000円

4　加須市地域安全・暴力排除推進大会の開催
令和5年度は、加須市地域安全・暴力排除推進大会は開催せず、令和5年11月10日付けで表彰状を手渡ししました。
暴力排除ポスターカレンダーを3,100部作成し、市内公共施設、加須市商工会や自治協力団体等に配布し、啓発を行った。

事 業 名		自主防犯活動組織育成・支援事業			1312-01
担 当 課		交通防犯課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	649,000 円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	649,000 円	―
目	14	市民生活費	決　算　額	177,000 円	―
事業の目的		市民が犯罪に巻き込まれることなく、安全で安心して生活が送れるようにするため、防犯組織の体制を整備する。			
事業の概要		・地域防犯力を強化するため、自主防犯組織の結成及び活動を支援する。 ・自主防犯組織への支援として、補助金を交付する。（設立:上限 50,000 円、ﾊﾟﾄﾛｰﾙ経費：1 年目 2/3・上限 30,000 円、2 年目以降 1/2・上限 15,000 円）			

事業の実績・成果

1　自主防犯組織設立の促進

新たに自主防犯組織の設立について検討している自治協力団体に対して、随時アドバイス等を行い、組織の促進に努めた。

○自主防犯組織数の推移　（単位：団体）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
組織数	137	139	145	145	146

2　自主防犯組織活動費補助金の交付

自主防犯組織に対して補助金を交付し、地域における自主防犯意識の向上や組織活動の活性化を促進した。

○令和 5 年度 補助金交付団体数：13 団体
○令和 5 年度 補助金交付金額：158,700 円

事業名	かぞホッとメール配信事業			1312-05
担当課	交通防犯課		現　年	前年度からの繰越
款 02	総務費	当初予算額	1,945,000円	―
項 01	総務管理費	最終予算額	1,945,000円	―
目 14	市民生活費	決　算　額	1,943,700円	―
事業の目的	携帯電話やパソコンのメール機能を利用して行政情報の提供を行い、市民との情報の共有化を図る。			
事業の概要	安全安心情報、子育て情報、イベント情報、就業支援情報、幼稚園・小・中学校・保育園からの情報、職員の緊急招集等のメール配信を行う。 また、市HPや広報紙に利用案内を掲載するとともに、市転入者にチラシを配布する。			

事業の実績・成果

こどもたちをはじめ、市民の皆さんが犯罪に巻き込まれない安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、登録者の携帯電話やパソコンに、電子メールにて安全安心情報(犯罪情報など)を配信し、こどもたちを犯罪から守る、犯罪対策などとして実施した。

また、子育て情報・イベント情報・就業支援情報を各担当課からそれぞれ配信した。

さらに、市報に年2回、かぞホッとメールの広報記事を掲載し、また、転入者へ広報チラシを配布するなど周知に努めた。

○メール配信サービス事業の登録者数・情報配信数

【メール配信サービス事業の登録者数】　(単位：人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
安全安心情報	6,954	7,722	7,544	7,467	7,189
子育て情報	2,362	2,577	2,709	2,835	1,799
イベント情報	2,216	2,315	2,374	2,423	1,527
就業支援情報	700	739	765	784	502
職員緊急招集	679	669	749	735	729
小学校(幼稚園含)	9,231	9,411	9,426	9,119	6,609
中学校	3,924	4,318	3,872	3,798	3,108
保育所	420	577	613	634	582
延べ登録者数	26,486	28,328	28,052	27,795	22,045
実登録者数	16,208	17,891	17,979	18,097	16,096

【メール配信サービス事業の情報配信数】　(単位：件)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
安全安心情報	284	350	297	298	345
子育て情報	487	119	171	281	310
イベント情報	66	0	2	8	18
就業支援情報	9	9	10	9	11
合計数	846	478	480	596	684

事 業 名		防犯施設維持管理事業			1313-01
担 当 課		交通防犯課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	58,152,000 円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	58,151,000 円	―
目	14	市民生活費	決　算　額	55,692,944 円	―
事業の目的		防犯環境の向上を図るため、犯罪が発生しにくい環境づくりを進める。			
事業の概要		・防犯上必要な箇所に順次、環境負荷の少ない LED 防犯灯を設置する。 ・LED 防犯灯の修繕、維持管理を実施する。 ・防犯カメラの設置及び維持管理 ・防犯カメラ設置費補助事業の実施			

事業の実績・成果

自治協力団体等から要望があった箇所や緊急対策などによる防犯灯の設置及び既設防犯灯の適切な維持管理を実施した。

1　防犯灯新設
・自治協力団体等から要望があった箇所や緊急対策などによる防犯灯の設置
63 基、1,822,348 円

2　防犯灯修繕
・既設防犯灯の維持管理（故障等対応）
331 基、7,753,685 円

【防犯灯の整備状況】　（単位：基）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
防犯灯新設	117	54	203	70	63
防犯灯修繕	685	952	554	133	331

3　防犯カメラ更新工事
・不具合のある防犯カメラの更新工事
2 基、1,133,000 円

4　交通防犯施設（防犯灯・道路照明灯・道路反射鏡）管理システム
（5 年長期継続契約　令和 2 年 2 月～）
（1）交通防犯施設管理システム保守管理委託　572,000 円
（2）交通防犯施設管理システム賃貸借　534,600 円

5　電気料　43,682,474 円

【電気料の推移】　（単位：円）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
電気料金	36,791,643	33,426,953	36,827,846	45,341,863	43,682,474

事 業 名		空家等対策計画進行管理事業			1314-02
担 当 課		交通防犯課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	101,000 円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	101,000 円	―
目	14	市民生活費	決　算　額	0 円	―
事業の目的		本市が取り組むべき空家等に関する対策を総合的かつ計画的に実施するため、空家等対策の推進に関する特別措置法に基づく第 2 次加須市空家等対策計画の進行を管理する。			
事業の概要		加須市空家等対策協議会を開催し、空家等対策の推進体制の強化を図るとともに、空家等対策計画の進行管理を行う。 計画期間：令和 3 年度～令和 7 年度			

事業の実績・成果

第 2 次空家等対策計画に基づき、空家等対策に対する基本方針等の取組を推進した。

〇空家等対策協議会
令和 5 年度　未開催
（空き家等対策の推進に関する特別措置法の一部を改正する法律が成立した後にガイドラインや指針等を踏まえて開催する予定）

事 業 名		空家等実態調査把握事業			1314-03
担 当 課		交通防犯課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	779,000 円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	779,000 円	―
目	14	市民生活費	決　算　額	732,532 円	―
事業の目的		実効性のある空家対策の推進を行うため、市内に存在する空家等について把握し、最新の空家等の情報を管理する。			
事業の概要		・空家等の実態調査を行い、空家の状況を把握する。 ・使用状況や意向確認をするためのアンケート調査を実施する。 ・空家データベースによる情報の一元管理を行う。			

事業の実績・成果

令和 5 年 5 月　　令和 4 年 12 月 1 日を基準として行った空家等実態調査（第 8 回）で、新たな空家等の可能性がある家屋（53 戸）のうち、賃貸・売却用の物件や既に利活用されていたもの等（13 戸）を除く、40 戸の所有者等に対して、利用状況や今後の利活用の意向等の確認を行った。

令和 5 年 12 月　　自治協力団体と連携し、令和 5 年 12 月 1 日を基準として、市内全域の空家等実態調査（第 9 回）を実施した。
利用状況及び実施調査の結果を反映した令和 5 年 12 月 1 日時点での空家等の数は、752 戸（前年調査比 1 戸増）であった。

通　　年　　空家等管理システムに登録された空家等の情報の更新

事 業 名		空家等解消対策事業			1314-04
担 当 課		交通防犯課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	171,000 円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	171,000 円	―
目	14	市民生活費	決　算　額	0 円	―
事業の目的		周囲への生活環境に悪影響を及ぼす管理不全な空家や活用可能でありながら放置されている空家を解消する。			
事業の概要		・特定空家等に対する行政指導等を実施する。 ・管理不全な空家等の所有者に対する適正管理指導を実施する。 ・空家バンク等による空家の活用促進を図る。 ・空家等所有者を特定するための確認調査を行う。			

事業の実績・成果

令和 5 年 8 月　適切な相続対策の必要性等、空家の発生予防のための相続おしかけ講座が行われた。
・高齢者学級（樋遣川）　参加者 9 名

令和 5 年 6･7 月　令和 4 年 12 月 1 日を基準日として行った空家等実態調査（第 8 回）における「問題あり」空家（特定空家等含む）62 戸及び早期対応等が必要な「やや問題あり」空家 113 戸に対し、時期も踏まえて指導書（特定空家等）及び適正管理のお願い（特定空家等を除く）の文書を送付（一部訪問等）した。
※なお、送付にあたっては、管理・活用のためのリーフレットや空家バンクの案内、啓発チラシ等を同封した。

→ 令和 6 年 3 月までに取壊しも含め改善等が行われた空家が 12 戸あった。

通　　年
・空家に関する情報や制度などの周知・啓発
・周辺住民や空家等所有者等からの相談等の対応
・空家バンクの運用 <登録等の状況>
通算物件登録数 10 件（前年度比±0）、通算利用登録数 35 件（前年度比＋1）
令和 5 年度　成約件数 1 件（前年度比＋1）、相談件数 14 件
・空家バンク以外による利活用等の状況
所有者等から売却・賃貸等したいとの相談を受け、関係団体と連携して対応した結果、令和 6 年 3 月までに 18 件が利活用等されたほか、進行中のものが 18 件あった。

令和 5 年 10 月　・空家等対策において協定を締結している「公益社団法人全日本不動産協会埼玉県本部県北支部」と連携し実施している各分野の専門家に無料で相談できる相談会
相談者 5 名（うち、具体的な空家相談 1 名）

事 業 名		交通災害共済事業			1324-02
担 当 課		交通防犯課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	694,000 円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	694,000 円	―
目	14	市民生活費	決　算　額	537,908 円	―
事業の目的		交通事故被害者支援のため、埼玉県総合事務組合が運営する市町村交通災害共済を活用し、交通事故により災害を受けた方又はその遺族を救済する。			
事業の概要		・埼玉県市町村総合事務組合による交通災害共済への加入を促進する。 ・交通事故で災害を受けた加入者又はその遺族に対し共済見舞金を支給する。			

事業の実績・成果

交通安全意識の高揚を図るとともに、交通事故により災害を受けた方を救済するため、自治協力団体の協力を得て、交通災害共済への加入を促進した。

また、日常生活に困窮している方の経済的負担の軽減を図るため、交通災害共済加入費の一部を助成した。

1　加入者数（加入費：一律 500 円）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
件数（人）	12,706	13,077	9,073	8,190	7,748
加入率（%）	11.3	11.6	8.1	7.3	6.9

2　見舞金支払状況

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
件数（人）	91	51	73	54	41
金額（円）	5,846,000	2,984,000	6,697,000	2,939,000	2,880,000

3　日常生活に困窮している方に対する助成状況（助成額　300 円／1 人）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
件数（人）	101	97	81	87	102
金額（円）	30,300	29,100	24,300	26,100	30,600

事 業 名		市民相談事業			2512-01
担 当 課		市民相談室		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	3,504,000 円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	3,504,000 円	―
目	14	市民生活費	決　算　額	3,441,259 円	―
事業の目的		市民が抱える様々な問題について解決を図り、安心して生活が送れるよう支援する。			
事業の概要		市民相談は本庁舎で毎日、合同相談は市民プラザかぞで月１回、弁護士法律相談は本庁舎で月２回、各総合支所で各々月１回開催する。			

事業の実績・成果

1　市民相談

本庁舎では月曜日から金曜日に、家庭や日常生活上における心配ごと、トラブル等に関する相談、行政への相談等を受け、助言や情報提供等を行い、市民の悩み解消と諸問題の早期解決に努めた。

市民相談の相談項目別件数　（単位：件）

区　　分	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
行政への要望・照会等	22	33	38	61	28
土地・建物（借地・売買）	25	21	12	13	25
金銭貸借・保証	6	1	1	8	15
交通事故	1	3	1	2	5
離婚・婚約不履行	8	14	8	4	8
相続・贈与・遺言	30	16	28	34	38
家庭問題	27	38	20	28	27
近隣関係	29	27	29	32	42
労　　働	13	5	1	4	5
その他	73	61	66	72	65
合　　計	234	219	204	258	258

2　弁護士法律相談

身近なところで法律相談が受けられるよう、予約制で無料の弁護士法律相談を、本庁舎においては月２回、騎西・北川辺・大利根総合支所においては各々月１回開催し、適切な助言等を行った。

また、予約については、庁内ネットワークにより情報の共有を図り、本庁舎・各総合支所のいずれからでも予約を可能としている。

・弁護士謝金　3,330,000 円　（内訳）　1,800,000 円　本庁舎
540,000 円　騎西総合支所
450,000 円　北川辺総合支所
540,000 円　大利根総合支所

弁護士法律相談の相談項目別件数　（単位：件）

区　　分	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
不動産	35	39	49	39	27
借地借家	19	16	16	9	15
金銭貸借	32	26	29	32	38
損害賠償	15	8	21	18	14
交通事故	8	8	9	6	7
供　託	0	0	0	1	0
商　事	0	1	4	0	1
離　婚	67	69	59	56	61
相　続	100	95	82	94	88
贈　与	1	1	0	1	2
遺　言	2	4	3	8	8
家庭問題	19	26	27	26	23
行政･労働･公害･刑事	13	18	11	12	12
その他	93	78	70	93	93
合　計	404	389	380	395	389

３　合同相談

行政相談委員、司法書士、税理士、不動産相談員、行政書士の協力により、市民プラザかぞにおいて、月１回無料合同相談所を開設し、問題の解決に向けた適切な助言等を行った。

また、人権相談（人権・男女共同参画課）及び公認心理師による「こころの相談」（いきいき健康長寿課）も併せて実施した。

・合同相談会場（市民プラザ）借上料　　28,400 円

合同相談の相談項目別件数　（単位：件）

区　　分	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
行政相談	3	2	0	1	3
不動産	42	15	21	17	27
税	30	20	20	33	25
近隣問題	1	1	1	1	12
離婚等	4	1	2	1	6
相続登記等	78	25	30	51	79
家庭問題	2	0	0	3	10
こころ	11	5	7	12	17
その他	12	6	7	3	8
合　計	183	75	88	122	191

※人権擁護委員・同和問題相談員及び公認心理師（または臨床心理士）の相談件数も含む。

事業名	コミュニティセンター管理運営事業			5133-04
担当課	市民協働推進課		現　年	前年度からの繰越
款 02	総務費	当初予算額	109,329,000円	―
項 01	総務管理費	最終予算額	111,804,000円	―
目 15	コミュニティセンター費	決　算　額	105,497,146円	―

事業の目的	地域で集えるコミュニティ活動の拠点として、多くの市民が利用できるよう、施設の適正な管理運営を行う。
事業の概要	・市内全19コミュニティセンター（加須、不動岡、三俣、礼羽、大桑、川口、花崎、南篠崎、水深、樋遣川、志多見、大越、騎西、種足、鴻茎、高柳、北川辺、原道、豊野）の適正な管理運営を行う。 ・各施設の貸出業務を行う。

事業の実績・成果

地域のコミュニティ活動の推進を図るため、様々な活動に利用できるよう各コミュニティセンターの適切な管理・運営を行った。

1　コミュニティセンター別利用者数・実稼働率の推移

（上段：利用者数（人）/中段：利用件数（件）/下段：実稼働率（%））

施設名＼年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
加　須	12,879	5,678	7,332	13,055	17,022
	1,009	642	825	1,358	1,336
	28.6	21.1	23.4	36.7	36.0
不動岡	29,151	17,865	21,694	24,053	26,086
	3,955	2,555	3,011	4,780	4,425
	49.8	37.4	37.9	57.5	53.0
三　俣	15,073	6,244	7,689	10,732	12,585
	1,442	856	1,059	2,686	3,145
	40.9	28.2	30.0	41.5	48.5
礼　羽	9,903	3,653	4,602	6,486	7,543
	840	408	519	676	718
	－	－	－	24.4	25.8
大　桑	10,314	3,793	5,037	5,941	7,756
	944	464	584	719	773
	－	－	－	25.9	27.8
川　口	17,373	7,169	9,792	15,897	14,254
	1,833	1,009	1,240	1,671	1,743
	65.9	43.1	44.7	60.3	62.7
花　崎	41,308	16,303	27,870	30,809	35,395
	4,276	2,611	3,019	3,793	4,161
	57.7	41.8	40.8	51.3	56.1
南篠崎	17,865	9,163	11,307	13,343	15,772
	1,175	758	1,004	1,042	1,139
	13.6	10.4	11.7	12.1	13.3
水　深	10,701	1,739	2,663	3,795	5,250
	674	256	264	397	546
	－	－	－	10.7	14.7
樋遣川	9,519	2,999	4,232	6,200	7,443
	766	366	538	694	817
	－	－	－	18.8	22.0

施設名＼年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
志多見	6,367	3,134	3,762	4,770	6,558
	624	364	442	591	844
	－	－	－	12.8	18.2
大　越	6,801	1,732	2,516	3,886	5,174
	528	246	321	465	578
	－	－	－	10.1	12.5
騎　西	16,628	8,637	8,878	12,125	13,868
	1,387	1,717	2,190	1,724	1,474
	21.4	31.5	33.9	26.7	22.7
種　足	1,199	171	695	863	942
	87	21	81	92	102
	4.0	1.1	3.7	4.2	4.6
鴻　茎	2,458	1,350	1,669	2,297	2,211
	534	357	451	492	428
	16.2	12.8	13.7	15.0	13.0
高　柳	5,206	2,315	2,735	2,997	3,073
	890	558	695	651	592
	20.3	15.0	15.9	14.9	13.5
北川辺	－	－	1,637	12,807	14,222
	－	－	283	1,881	2,250
	－	－	31.4	35.9	40.6
原　道	14,853	8,132	9,152	11,290	10,817
	2,981	2,707	1,546	1,818	1,625
	46.0	41.9	23.9	32.9	29.3
豊　野	10,981	2,843	3,384	4,573	4,406
	1,427	433	544	817	704
	22.1	6.7	8.4	14.9	12.7

＊北川辺コミュニティセンターについては、令和４年２月１日開館

＊礼羽・大桑・水深・樋遣川・志多見・大越コミュニティセンターについては、令和４年４月１日から公民館からコミュニティセンターへ移行。

（※参考として、令和元年度から令和３年度までの利用者数は、令和３年度行政報告書公民館管理運営事業より公民館延べ利用者数及び延べ利用団体数を引用。）

＊実稼働率…年間総利用件数を、開館日数に部屋数と利用区分数３を掛けた数値で、除した割合。

２　各施設の主な修繕費の内容

加　須…　869,000円（排煙窓修繕、非常用照明器具修繕、屋外雨水管詰り修繕 等）
三　俣…　277,911円（屋外照明修繕 等）
礼　羽…　488,620円（外部非常解散塗装等修繕、誘導灯設備修繕 等）
大　桑…　290,180円（外部非常解散塗装等修繕 等）
川　口…　555,000円（正面出入口外部側自動ドア修繕、非常用照明器具修繕、排煙窓修繕 等）
花　崎…1,507,000円（ＰＡＳ交換修繕、児童室トップライトガラス交換修繕、非常用照明器具交換等）
水　深…　355,740円（外部非常解散塗装等修繕 等）
樋遣川…　522,170円（外部非常解散塗装等修繕、和室入口床修繕 等）
志多見…　230,240円（駐輪場修繕、浄化槽ブロアポンプ用コンセント修繕 等）
大　越…　566,500円（外部非常解散塗装等修繕、誘導灯設備及びガス検知器修繕 等）
北川辺…　358,600円（防火シャッター危害防止装置取付修繕、防火扉潜戸修繕 等）
原　道…　156,805円（和室畳修繕）

事 業 名		コミュニティセンター整備事業			5133-05
担 当 課		市民協働推進課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	624,000 円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	3,589,000 円	―
目	15	コミュニティセンター費	決　算　額	3,489,200 円	―
事業の目的		地域で集えるコミュニティ活動の拠点として、施設の改修整備を行う。			
事業の概要		総合的なコミュニティセンターの修繕計画を立て、施設の改修を行う。			

事業の実績・成果

地域の集えるコミュニティ活動の拠点として、各コミュニティ施設の現状を把握しながら、修繕等を行った。

1　川口地区の公共下水道供用開始に伴い、下水道枡を設置し公共下水道への接続工事を行った。

2　公共施設の緊急点検に伴い、下記の修繕工事を行った。

	契　約　件　名	契約金額
1	令和５年度 川口コミュニティセンター下水道切替工事	618,200 円
2	令和５年度 南篠崎コミュニティセンター敷地北側ブロック塀切詰工事【R5.12 補】	253,000 円
	令和５年度 志多見コミュニティセンター屋上防水保護材部分補修工事【R5.12 補】	2,090,000 円
	令和５年度 北川辺コミュニティセンター屋上防水保護材修繕工事【R5.12 補】	528,000 円

事 業 名		市民総合会館管理運営事業			5133-03
担 当 課		市民協働推進課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	113,036,000 円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	114,273,000 円	―
目	16	市民総合会館費	決　算　額	108,101,483 円	―
事業の目的		コミュニティ活動の拠点施設として、多くの市民が利用できるよう、施設の適正な管理運営を行う。			
事業の概要		・多くの市民が安全安心に施設を利用できるよう、適正な管理運営を行う。 ・施設の貸出業務を行う。			

事業の実績・成果

市民相互の交流、市民活動及び学習活動の拠点施設として、多くの市民が利用できるよう施設の適正な管理運営を行った。

■　利用者数等の推移

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
利用者数（人）	178,822	67,716	98,155	123,791	137,254
うち市民交流プラザ利用者数	120,508	38,396	52,277	75,908	89,334
利用件数（件）	9,614	5,469	6,867	8,730	8,914
実稼働率（%）	42.9	29.34	31.07	39.37	40.07
使用料（円）	8,002,600	4,505,850	7,814,050	8,457,800	9,182,350

事 業 名		市民平和祭開催事業			3311-03
担 当 課		観光振興課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	31,105,000 円	―
項	01	総務管理費	最終予算額	28,121,000 円	―
目	17	諸費	決　算　額	27,728,261 円	―
事業の目的		平和の尊さを再認識し、市民の平和意識の高揚を図るとともに、交流人口の拡大に努め、地域の活性化を図る。			
事業の概要		安全で安心できる平和な暮らしを願う「加須市民平和祭」を開催し、そのメインイベントとして「世界一のジャンボこいのぼり（全長 100m、重さ 330kg）の遊泳」を実施する。			

事業の実績・成果

４年ぶりにコロナ禍以前の規模で開催した。開催直前に加須市を特集したテレビ番組が放映されたこともあり、会場には県内外から多くの方々が訪れた。

（ジャンボこいのぼり遊泳の様子）

１　開催概要

（１）開催日　令和５年５月３日（水・祝）

（２）参加団体数

・歓迎・式典・アトラクション　12 団体
・地域交流ブース　12 団体
・商工農販売ブース　21 店
・フリーマーケット　16 団体
・対岸イベント出店数　10 店
・指導機関　3 団体

（３）実施内容

〈メイン会場〉

・第一部 10 時～　平和式典（式辞、祝辞、平和都市宣言、平和作文、市民合唱）
・第二部 11 時～　観光大使の委嘱式 3 組
・ジャンボこいのぼり遊泳　（1 回目 11 時 30 分～・2 回目 13 時 30 分～）
・ステージ発表　市内各地域の団体・さくら市の団体など
・青年会議所イベント広場　こいのぼり相撲大会開催

〈対岸会場〉（合の川河川防災ステーション）

・北川辺 Dream プロジェクトドリーム広場
・模擬店（10 店舗）
・演奏等（北川辺中学校吹奏学部、開智未来中学・高等学校吹奏学部及びダンス部）

２　観客数の推移

（単位：人）

項　目	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
観客数	中　止	中　止	中　止	10,000	66,000

事業名	県収入証紙等売捌事業			5252-07
担当課	会計課		現　年	前年度からの繰越
款 02	総務費	当初予算額	37,969,000円	―
項 01	総務管理費	最終予算額	13,264,000円	―
目 17	諸費	決　算　額	13,258,094円	―
事業の目的	市民の利便性の向上を図るため、パスポートの申請等に必要な県収入証紙の売り捌き、郵便切手類・収入印紙の販売を行う。			
事業の概要	会計課・各総合支所の窓口で県収入証紙・郵便切手類・収入印紙の販売を行う。 県収入証紙：1円、5円、10円、20円、50円、100円、200円、300円、400円、500円、600円、700円、800円、900円、1千円、2千円、5千円、1万円 は　が　き：63円、126円 切　　手：2円、10円、63円、84円、94円、100円、120円、140円 収入印紙：100円、200円、500円、2千円、4千円、5千円、1万円 レターパック：プラス、ライト			

事業の実績・成果

1　埼玉県収入証紙

市民等による申請や手数料納付に数量、券種不足により支障を来すことがないよう適切な管理を行った。また、令和5年12月28日をもって販売終了となった。

（1）年度別実績

【売捌金額（歳入）】　（単位：円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
売捌金額	12,780,950	16,297,700	18,814,590	11,053,770	9,335,910

【買受金額（歳出）】　（単位：円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
買受金額	15,088,429	31,079,186	19,117,503	9,607,145	968,104

（2）令和5年12月28日在庫数

	1円	5円	10円	20円	50円	100円	200円	300円	400円
枚数（枚）	29	17	436	429	530	1,006	1,049	599	551
金額（円）	29	85	4,360	8,580	26,500	100,600	209,800	179,700	220,400
	500円	600円	700円	800円	900円	1千円	2千円	5千円	1万円
枚数（枚）	359	492	759	611	469	348	172	766	800
金額（円）	179,500	295,200	531,300	488,800	422,100	348,000	344,000	3,830,000	8,000,000
							合　計	15,188,954円	

2　郵便切手類

郵便切手類の販売に当たっては、数量、券種不足により支障を来すことがないよう適正な管理運営を行った。

（1）年度別実績

【販売手数料（歳入）】　507,474 円

【販売金額（歳入）】　（単位：円）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
印　紙	27,854,300	3,488,700	4,029,300	10,041,900	20,121,000
切　手	165,843	150,391	337,463	776,738	1,245,392
はがき	146,734	131,922	139,293	347,445	357,525
レターパック				871,220	252,550
合　計	28,166,877	3,771,013	4,506,056	12,037,303	21,976,467

【買受金額（歳出）】　（単位：円）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
印　紙	24,310,000	11,915,000	3,340,000	12,200,000	10,790,000
切　手	161,270	357,400	322,980	881,480	1,126,015
はがき	148,777	136,080	138,600	348,075	366,975
レターパック				1,309,500	0
合　計	24,620,047	12,408,480	3,801,580	14,739,055	12,282,990

（2）令和 5 年度末在庫数

・収入印紙

	100 円	200 円	500 円	2,000 円
枚数（枚）	487	224	430	305
金額（円）	48,700	44,800	215,000	610,000
	4,000 円	5,000 円	10,000 円	合　計
枚数（枚）	154	139	119	1,858
金額（円）	616,000	695,000	1,190,000	3,419,500

・切　手

	2 円	10 円	50 円	63 円	84 円
枚数（枚）	218	419	12	200	1,351
金額（円）	436	4,190	600	12,600	113,484
	94 円	100 円	120 円	140 円	合　計
枚数（枚）	518	198	178	50	3,144
金額（円）	48,692	19,800	21,360	7,000	228,162

・はがき

	63 円	126 円	合　計
枚数（枚）	240	6	246
金額（円）	15,120	756	15,876

・レターパック

	レターパックライト 370 円	レターパックプラス 520 円	合　計
枚数（枚）	396	70	466
金額（円）	146,520	36,400	182,920

事 業 名		固定資産評価審査委員会運営事業			5312-06
担 当 課		固定資産評価審査委員会		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	218,000 円	―
項	02	徴税費	最終予算額	155,000 円	―
目	01	税務総務費	決　算　額	19,711 円	―
事業の目的		地方税法に基づき、固定資産課税台帳に登録された価格（評価額）に対する審査申出の審査を行う。			
事業の概要		地方税法に基づき、３人の委員で構成される委員会で、主に固定資産課税台帳に登録された価格に関する不服審査の申出を受け、調査その他事実審査を行い、決定する。 また、行田市、羽生市固定資産評価審査委員会との研究会を開催する。			

事業の実績・成果

・令和５年度は、新たな審査申出はなかった。
・令和３年度基準の審査申出件数：０件
・過年度継続審査件数：０件
・固定資産評価審査委員会の開催：１回
・行田市及び羽生市固定資産評価審査委員会と合同開催の研究会への参加
開催日：令和５年11月20日（月）
会　場：市民プラザ　４階404会議室Ａ・Ｂ
講　師：羽生市企画財務部税務課担当職員
内　容：「固定資産税制度について」

事業名	市県民税賦課事業				5311-12
担当課	税務課			現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	38,600,000円	―
項	02	徴税費	最終予算額	40,709,000円	―
目	02	賦課徴収費	決　算　額	33,883,158円	―
事業の目的	計画的な財政運営を図るため、納税者等からの申告内容に関し、関係法令に基づいて、公平かつ適正な賦課決定を行い、税収の確保を図る。				
事業の概要	個人及び法人の課税客体を適切に把握し、公平かつ適正な賦課決定を行う。 また、未申告者の申告を促すとともに、扶養の確認等を行い、課税の公平性を確保する。				

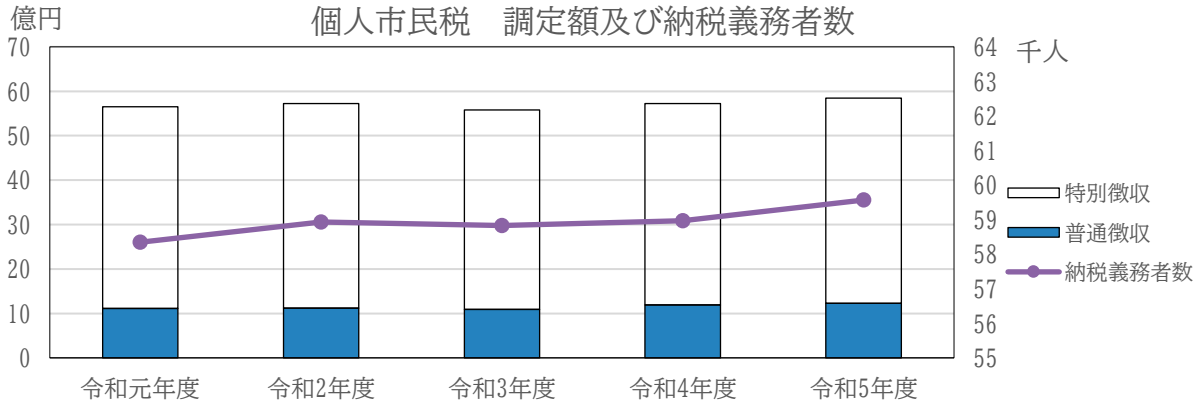
事業の実績・成果

個人及び法人市民税の申告書等に基づき、適正な課税を行った。

申告会場を本庁舎ギャラリーからパストラルかぞに移転した。また、郵送による申告書提出の勧奨や電子申告の推進を実施した。

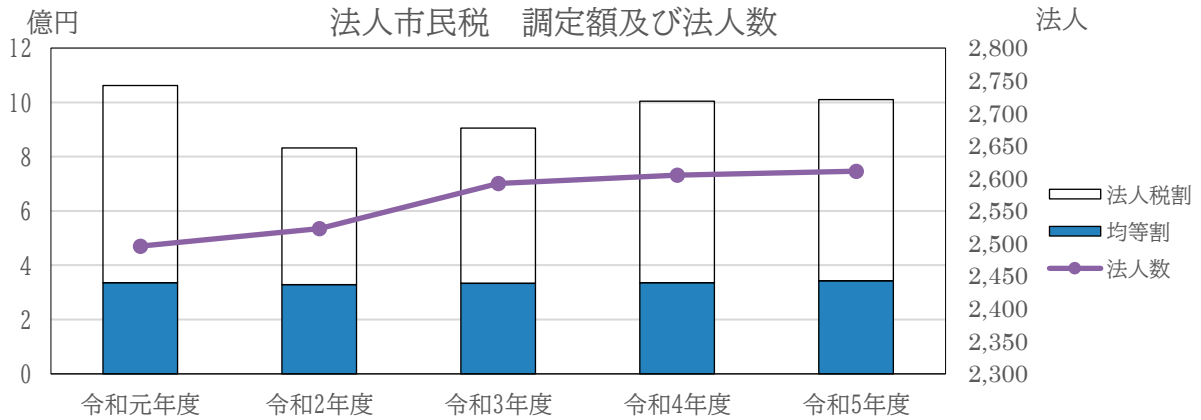
1　個人市民税　調定額及び納税義務者数　（単位：円、人）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
普通徴収	1,115,441,683	1,122,810,810	1,093,149,604	1,194,946,870	1,229,306,820
特別徴収	4,534,676,122	4,601,287,274	4,484,809,119	4,530,270,773	4,615,666,670
合計	5,650,117,805	5,724,098,084	5,577,958,723	5,725,217,643	5,844,973,490
納税義務者数	58,346	58,927	58,828	58,967	59,566



2　法人市民税　調定額及び法人数　（単位：円、法人）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
均等割	335,503,600	328,940,700	333,625,500	336,225,500	342,377,600
法人税割	726,525,400	503,101,700	571,559,500	668,476,600	667,876,800
合計	1,062,029,000	832,042,400	905,185,000	1,004,702,100	1,010,254,400
法人数	2,496	2,523	2,592	2,605	2,611



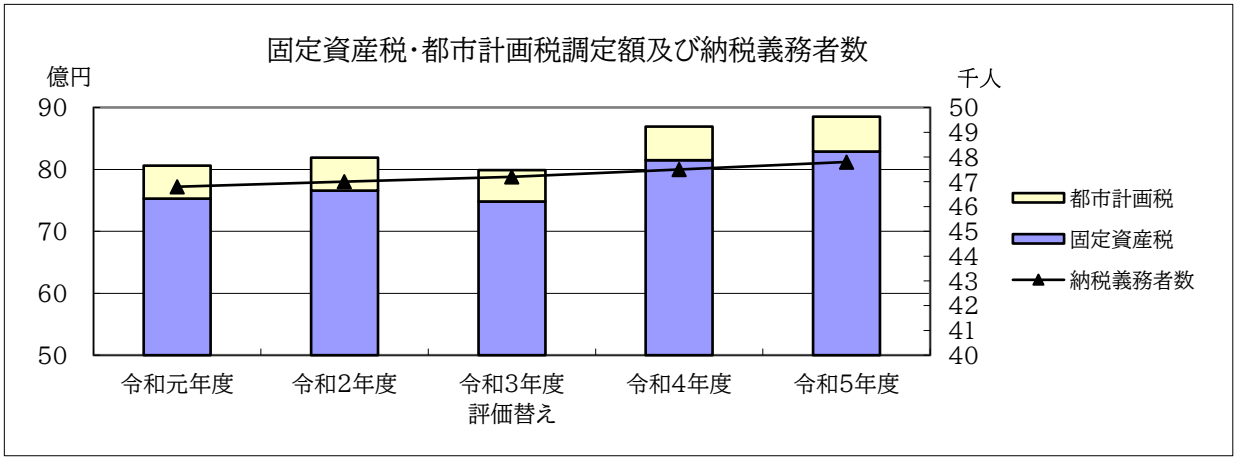
事業名	固定資産税賦課事業				5311-13
担当課	税務課			現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	52,629,000円	―
項	02	徴税費	最終予算額	52,538,000円	―
目	02	賦課徴収費	決　算　額	50,888,515円	―
事業の目的	計画的な財政運営を図るため、課税客体の正確な把握に努め、適正で公平な評価を行うとともに、関係法令に基づき、賦課・決定を行い、税収の確保を図る。				
事業の概要	賦課期日（1月1日）現在における固定資産に対し、固定資産評価基準に基づき、適正に評価を行い、所有者に固定資産税・都市計画税を賦課する。				

事業の実績・成果

・令和6年度評価替えにむけて、評価額を適正な均衡のとれた価格に見直すため、状況類似地域の新設、路線価の調整、時点修正の適用をし、適正な評価を実施した。
・固定資産評価基準（総務省告示）に基づき、令和6年基準土地評価事務取扱要領及び令和6年基準家屋評価事務取扱要領を作成した。
・土地及び家屋の現況調査を実施し、適正な評価及び課税を実施した。

1　固定資産税・都市計画税の調定額の推移　（単位：円、人）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
固定資産税	7,534,995,200	7,657,519,900	7,480,285,000	8,155,160,900	8,287,943,800
都市計画税	532,073,700	532,532,700	513,748,100	542,539,800	555,540,500
合　　計	8,067,068,900	8,190,052,600	7,994,033,100	8,697,700,700	8,843,484,300
納税義務者数	46,760	47,039	47,226	47,588	47,808



2　土地（宅地）の状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
評価額（百万円）	354,657	354,985	367,950	367,709	367,485
総　筆　数（筆）	84,425	85,487	87,052	87,856	89,231
総 地 積（千㎡）	25,067	25,237	25,671	25,773	26,036
平均価格（円／㎡）	14,148	14,066	14,333	14,267	14,115

3　家屋の状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
評価額（百万円）	272,365	277,039	269,694	301,278	313,158
総　　数（棟）	63,900	64,189	64,435	64,839	65,177
うち、木造（棟）	52,797	52,997	53,117	53,363	53,567
うち、木造以外（棟）	11,103	11,192	11,318	11,476	11,610

事業名	軽自動車税賦課事業			5311-14
担当課	税務課		現　年	前年度からの繰越
款 02	総務費	当初予算額	5,660,000円	―
項 02	徴税費	最終予算額	5,215,000円	―
目 02	賦課徴収費	決　算　額	5,058,615円	―
事業の目的	計画的な財政運営を図るため、課税客体の正確な把握に努めるとともに、関係法令に基づき賦課を行い、税収の確保を図る。 また、こいのぼりナンバーの普及により、加須市のＰＲに資する。			
事業の概要	原付、小型特殊自動車のナンバー登録及び廃車を行い、４輪等の軽自動車と併せて、軽自動車税の賦課決定を行う。 また、市のＰＲのため、こいのぼりナンバーの普及促進を図る。			

事業の実績・成果

窓口で受け付ける原動機付自転車や小型特殊の軽自動車税申告書及び廃車申告書並びに市町村軽自動車税事務協議会からのデータに基づき、適正な課税を行った。

また、広報紙、ホームページへの掲載により、こいのぼりナンバーの普及に努めた。

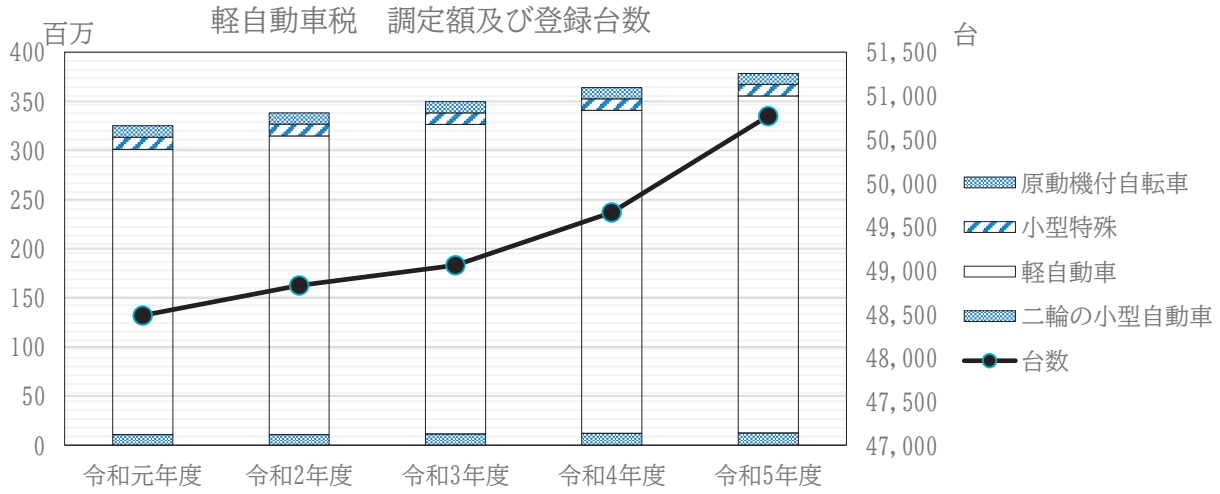
1　軽自動車税（種別割）　課税台数　（単位：台）

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
原動機付自転車	5,605	5,433	5,349	5,360	5,320
小型特殊	4,585	4,521	4,431	4,426	4,341
軽自動車	36,535	37,071	37,404	37,893	39,059
二輪の小型自動車	1,761	1,802	1,877	1,985	2,049
合計	48,486	48,827	49,061	49,664	50,769

※令和５年度から特定小型原動機付自転車のナンバー交付を開始した。（令和５年度交付枚数：10台）

2　軽自動車税（種別割）　調定額　（単位：円）

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
原動機付自転車	11,709,300	11,389,300	11,236,500	11,269,200	11,243,000
小型特殊	12,187,000	12,040,400	11,848,900	11,904,400	11,767,900
軽自動車	290,607,200	303,989,700	315,109,200	328,775,200	343,023,000
二輪の小型自動車	10,566,000	10,812,000	11,262,000	11,862,000	12,288,000
合計	325,069,500	338,231,400	349,456,600	363,810,800	378,321,900



3　こいのぼりナンバーの交付枚数

令和５年度の交付枚数　574枚

【導入（平成23年４月）から令和６年３月末までの交付枚数 11,194枚】

事業名	税務管理事業			5311-15
担当課	税務課		現　年	前年度からの繰越
款 02	総務費	当初予算額	74,418,000円	―
項 02	徴税費	最終予算額	100,399,000円	―
目 02	賦課徴収費	決　算　額	96,941,826円	―

事業の目的	地方税法及び関係法令に基づく、適正、公正かつ迅速な窓口業務を行うことにより、市民サービスの向上を図る。 また、計画的な財政運営を図るため、納税者からの申告内容に関し、関係法令に基づいて、公平かつ適正な賦課決定を行い、税収の確保を図る。
事業の概要	過年度申告等に基づき、市税の還付を行う。また、各種税証明の交付や市たばこ税賦課決定、税務協力団体との連携及び支援を行う。 〇各種税証明の交付 ・本庁、各総合支所 ・市民サービスセンター ・コンビニエンスストア(コンビニ交付) ・郵便請求 ・オンライン申請

事業の実績・成果

1　証明書等交付枚数　（単位：枚）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
全　体	24,159	22,117	26,258	25,717	21,960
日曜開庁（内数）	1,275	1,117	1,743	1,469	1,534
市民サービスセンター（内数）	445	323	384	404	330

2　税収入過誤納返還金及び税収入過誤納還付換算金　（単位：円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
返還金	56,152,394	85,981,325	50,086,103	53,727,778	79,988,921
還付加算金	1,005,300	1,596,700	431,400	344,500	393,900

3　市たばこ税　調定額及び課税標準本数　（単位：円、本）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
調定額	732,015,355	735,247,792	778,857,423	832,192,045	834,465,230
課税標準本数	129,259,394	131,832,772	129,920,730	127,013,442	127,360,387

4　税務協力団体

団体名	目　的	補助金額
青色申告会	青色申告制度の趣旨徹底と資質向上のため円滑な行政の推進を図るとともに、小規模事業者の経営改善と合理化を推進する。	145,000円
（社）行田法人会	法人の税務行政の円滑化と緊密な連携及び企業の合理化を推進する。	500,000円
農業青色申告会	青色申告制度の趣旨徹底と資質向上のための諸事業を積極的に遂行し、円滑な税務行政の推進を図るとともに、農業経営改善と合理化を推進する。	100,000円 各地域　25,000円

事業名	収納事業			5311-16
担当課	収納課		現　年	前年度からの繰越
款 02	総務費	当初予算額	26,875,000円	—
項 02	徴税費	最終予算額	24,219,000円	—
目 02	賦課徴収費	決　算　額	19,779,952円	—
事業の目的	将来にわたって持続可能な自立した自治体運営を確立するため、市税等の市民負担の公平性及び自主財源の確保を図る。			
事業の概要	・納期限、徴収緩和措置、口座振替及びコンビニ納付の周知徹底を図る。 ・納付や納税相談の機会を充実する。 ・督促状に加えて、電話・文書・臨宅等による効果的な納税催告を行う。 ・財産調査に基づき滞納処分または徴収緩和を適正かつ積極的に行う。 ・各種料金等を含めた債権管理の適正化を図る。			

事業の実績・成果

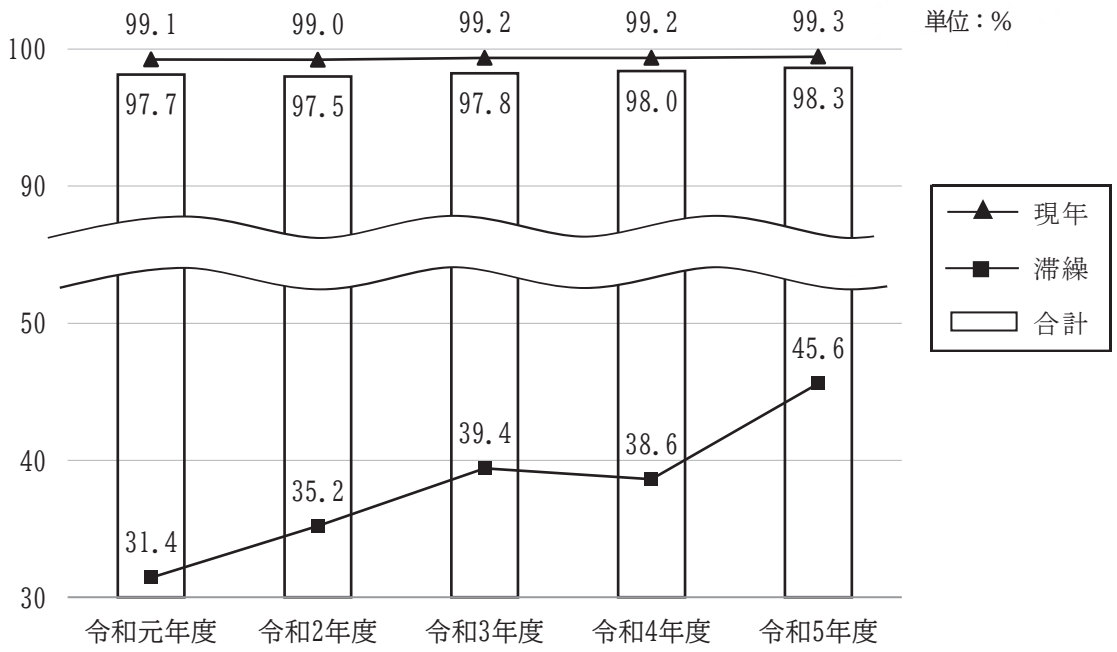
・市税及び国民健康保険税について、広報紙やホームページ、納税ポスター等による納期限の周知及び口座振替促進強化月間の設定やコンビニ納付の利用案内などにより、納期内納付の促進を図った。
・滞納者には、督促状に加え、早い段階から文書や電話、臨宅等による効果的な納税催告を行うとともに、日曜日の納税相談窓口を活用して早期納付を促した。
・令和4年12月に導入した預貯金等照会電子化サービスを活用して滞納者の財産調査を徹底し、メリハリのある滞納整理（財産ありの場合は滞納処分、財産なしの場合は徴収緩和措置）を行ったことにより、収納率が市税で0.3ポイント、国民健康保険税で1.3ポイント増加した。

市税の収納率　（単位：%）

年度／項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
現年	99.1	99.0	99.2	99.2	99.3
滞繰	31.4	35.2	39.4	38.6	45.6
合計	97.7	97.5	97.8	98.0	98.3

※市税：市民税、軽自動車税、固定資産税・都市計画税、市たばこ税

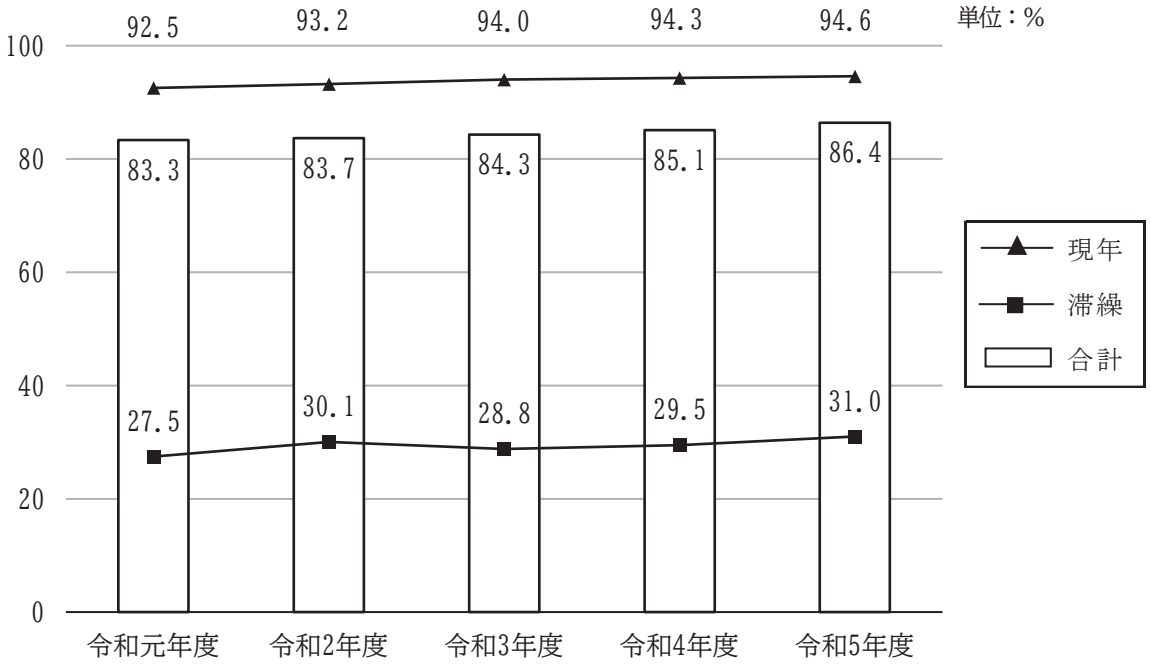
市税の収納率の推移



国民健康保険税の収納率　（単位：%）

年度 項目	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
現年	92.5	93.2	94.0	94.3	94.6
滞繰	27.5	30.1	28.8	29.5	31.2
合計	83.3	83.7	84.3	85.1	86.4

国民健康保険税の収納率の推移



事業名	マイナンバーカード交付等事業			5251-04
担当課	市民課		現　年	前年度からの繰越
款 02	総務費	当初予算額	45,968,000円	―
項 03	戸籍住民基本台帳費	最終予算額	40,521,000円	―
目 01	戸籍住民基本台帳費	決　算　額	31,693,002円	―
事業の目的	社会保障・税番号制度の実施に伴い、より多くの市民に制度の趣旨を理解してもらうとともに、マイナンバーカードを交付することにより、各種手続き等に係る市民負担の軽減を図る。			
事業の概要	マイナンバーの付番・通知及び希望者からの申請によるマイナンバーカードの交付に関する事務を行う。			

事業の実績・成果

マイナンバーカード交付臨時窓口を本庁舎1階に設置し、交付体制の拡充を行った。

また、発行から5回目の誕生日を迎えた方に対して、マイナンバーカードの再発行及び電子証明書の更新を行った。

マイナンバーカード交付の事前予約制について、本庁の平日業務時間内は廃止し、平日時間外および日曜日のみ事前予約制とした。

市内に事業所を置く企業や団体向けのマイナンバーカード出張申請サポートを実施したほか、ホームページの掲載やチラシの配布など広報を行った。

1　マイナンバーカード納品・交付状況

地方公共団体情報システム機構からのマイナンバーカード納品状況　（単位：枚）

	本庁舎	騎西総合支所	北川辺総合支所	大利根総合支所	合　計
平成27年度	4,674	1,312	900	961	7,847
平成28年度	1,957	530	241	426	3,154
平成29年度	1,326	356	195	271	2,148
平成30年度	1,227	291	151	228	1,897
令和元年度	1,788	450	197	313	2,748
令和2年度	8,946	1,845	840	1,766	13,397
令和3年度	7,383	2,306	1,225	1,436	12,350
令和4年度	21,465	5,984	3,523	4,330	35,302
令和5年度	4,676	1,376	766	1,140	7,958
合　計	53,442	14,450	8,038	10,871	86,801

※年度末納品カード枚数86,801枚は、令和5年1月1日現在人口比77.4%

マイナンバーカード交付状況　（単位：枚）

	本庁舎	騎西総合支所	北川辺総合支所	大利根総合支所	合　計
平成27年度	976	399	466	421	2,262
平成28年度	4,189	1,104	503	671	6,467
平成29年度	1,507	475	235	352	2,569
平成30年度	1,282	325	161	268	2,036
令和元年度	1,571	404	173	262	2,410
令和2年度	7,054	1,539	776	1,488	10,857
令和3年度	8,292	2,266	1,158	1,615	13,331
令和4年度	17,174	4,978	2,957	3,563	28,672
令和5年度	8,915	2,487	1,336	2,020	14,758
合　計	50,960	13,977	7,765	10,660	83,362

※年度末カード交付枚数83,362枚は、令和5年1月1日現在人口比74.3%

事業名	市民サービスセンター事業			5252-01
担当課	市民課		現　年	前年度からの繰越
款 02	総務費	当初予算額	7,486,000 円	―
項 03	戸籍住民基本台帳費	最終予算額	7,486,000 円	―
目 01	戸籍住民基本台帳費	決　算　額	6,339,432 円	―

事業の目的	高齢化の現状や今後さらに進展する高齢化社会を踏まえ、市民が自転車や徒歩でも容易に行ける地域の身近なコミュニティセンター等で行政窓口サービスを提供し、利便性の向上を図る。
事業の概要	10 箇所のコミュニティセンター等に開設した市民サービスセンター、本庁窓口（市民課・税務課）及び各総合支所（市民税務担当）との連携を図りながら、住民票の写しや市税証明書等の交付業務を行う。

事業の実績・成果

市内 10 箇所のコミュニティセンター及び田ケ谷総合センターに開設した市民サービスセンターで証明書交付を行い、市民サービスの向上及び利便性が図られた。

○市民サービスセンター

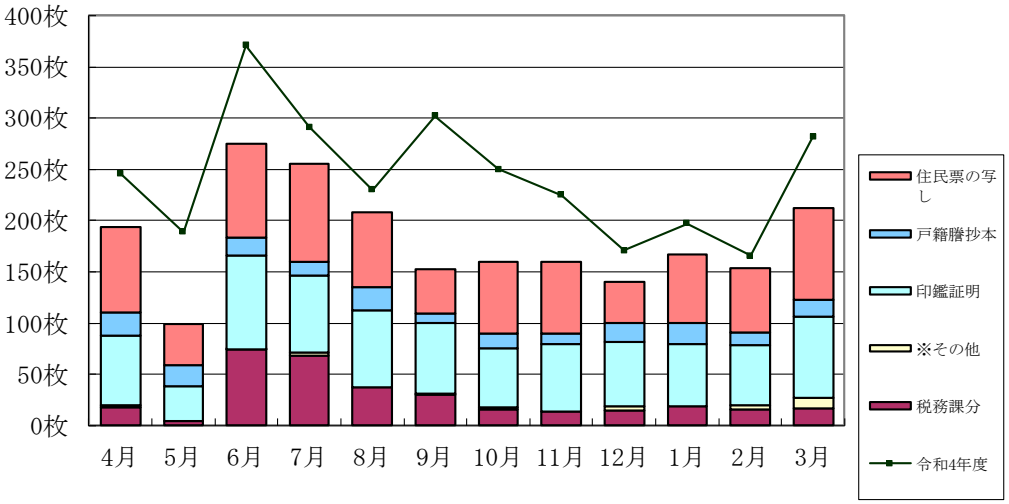
・開設日（加須地域のサービスセンター）：火曜日、土曜日、祝日及び年末年始以外の毎日
午前 8 時 30 分～午後 5 時

・開設日（田ケ谷サービスセンター）　：水曜日、土曜日、祝日及び年末年始以外の毎日
午前 8 時 30 分～午後 5 時

・業務内容：住民票の写し、戸籍謄抄本、印鑑登録証明書、市税の証明（税務課）等の交付

・設置場所：加須ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ、不動岡ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ、三俣ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ、礼羽ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ、大桑ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ、水深ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ、樋遣川ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ、志多見ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ、大越ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ、田ケ谷総合ｾﾝﾀｰ

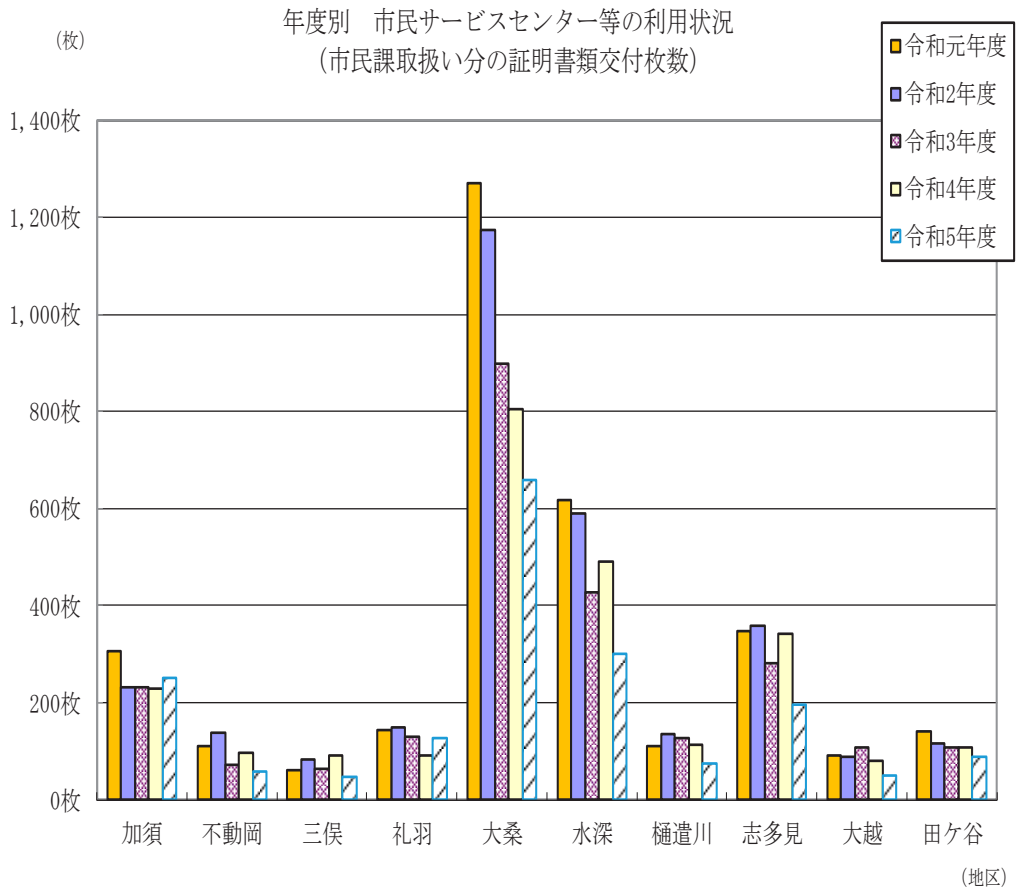
市民サービスセンターの利用状況（令和5年4月1日～令和6年3月31日）
（戸籍謄抄本等の証明書交付枚数）



（単位：枚）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
住民票の写し	84	40	92	95	73	44	70	70	40	67	63	89	827
戸籍謄抄本	22	20	17	14	22	9	14	10	18	20	12	17	195
印鑑証明	68	34	91	75	75	69	58	66	63	61	59	79	798
※その他	2	0	1	3	0	1	2	0	4	0	4	10	27
税務課分	18	5	74	68	38	30	16	14	15	19	16	17	330
合　計	194	99	275	255	208	153	160	160	140	167	154	212	2,177
令和4年度	246	189	371	291	230	302	250	225	171	197	166	282	2,920

※その他･･･戸籍の附票、住民票記載事項証明



（単位：枚）

	加須	不動岡	三俣	礼羽	大桑	水深	樋遣川	志多見	大越	田ケ谷	合計
令和元年度	306	111	61	143	1,270	617	110	348	91	140	3,197
令和2年度	231	138	82	150	1,175	591	135	358	89	115	3,064
令和3年度	231	71	63	131	899	428	127	282	107	108	2,447
令和4年度	228	96	92	92	804	490	113	341	80	107	2,443
令和5年度	250	58	46	128	658	300	74	196	49	88	1,847

事業名	戸籍住民基本台帳事業			5252-02
担当課	市民課		現　年	前年度からの繰越
款 02	総務費	当初予算額	27,269,000円	—
項 03	戸籍住民基本台帳費	最終予算額	39,765,000円	—
目 01	戸籍住民基本台帳費	決　算　額	20,559,939円	—
事業の目的	市民の社会活動全般の基礎となる居住関係や身分関係等を公証するための自治事務・法定受託事務（住民基本台帳・印鑑登録・戸籍）を中心とした諸業務を適切かつ総合的・円滑に行う。			
事業の概要	各種電算処理システムの管理を行い、申請による証明書発行事務、届出の受付審査及び住民基本台帳、戸籍等の記載や適正な管理を行う。			

事業の実績・成果

1　戸籍・住民基本台帳業務やその他関連する各種業務の正確かつ適正な事務処理を行い、市民への行政窓口サービスを行った。

・戸籍謄抄本、住民票の写し、印鑑登録証明書等各種諸証明書類の申請受付及び交付業務

令和5年度　戸籍住民基本台帳手数料　（単位：円）

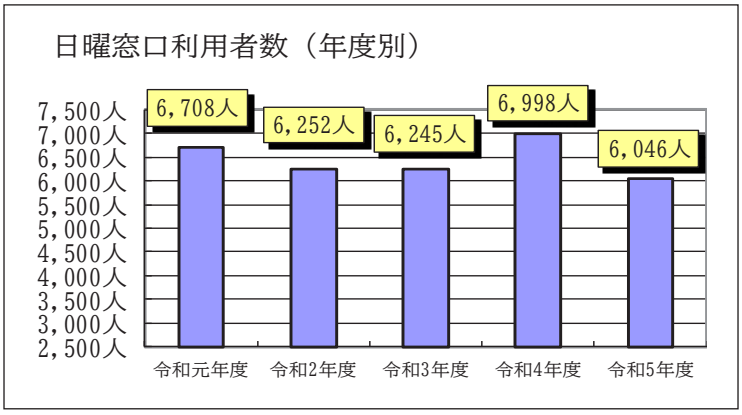
項目	本庁舎	騎西総合支所	北川辺総合支所	大利根総合支所	合　計
臨時運行許可	397,500	187,500	75,000	226,500	886,500
戸籍謄抄本等	11,603,450	1,772,200	1,209,950	1,304,000	15,889,600
住民票の写し等	6,470,550	739,650	437,700	582,300	8,230,200
印鑑証明書等	4,065,800	588,500	338,250	463,450	5,456,000
合　計	22,537,300	3,287,850	2,060,900	2,576,250	30,462,300

※市民サービスセンター及びコンビニ交付を本庁舎に含む

2　都合により平日に来庁できない市民に対して、日曜日に証明書等の発行窓口を開設し、利便性の向上を図った。（本庁舎は平成17年度から、各総合支所は平成22年3月28日から本格運用）

(1) 開 設 日：毎週日曜日（年末年始除く）午前8時30分～午後5時

(2) 業務内容：戸籍謄抄本、住民票の写し、印鑑登録証明書等の交付、印鑑登録業務、戸籍届出書の預かり業務

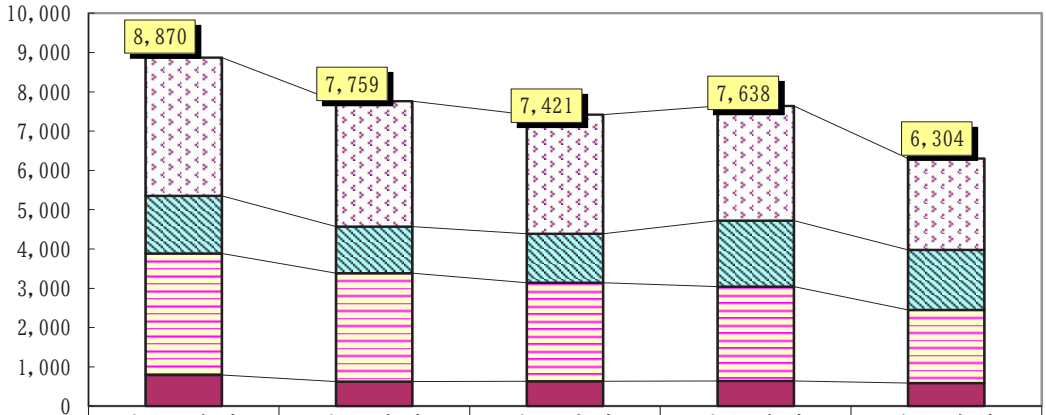


（単位：日）

	開庁日数
令和元年度	51
令和2年度	51
令和3年度	51
令和4年度	50
令和5年度	51

日曜窓口利用状況（年度別）
※戸籍謄抄本等の発行枚数

（単位：枚）



	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
住民票の写し	3,519	3,185	3,033	2,916	2,327
戸籍謄抄本等	1,465	1,190	1,245	1,677	1,526
印鑑証明書	3,089	2,755	2,506	2,403	1,864
その他 ※	797	629	637	642	587
合　計	8,870	7,759	7,421	7,638	6,304

※その他…戸籍の附票、住民票記載事項証明等

【翌年度への繰越事業（繰越明許）】　18,150,000 円

・翌年度への繰越事業の内容
　戸籍情報システム及び戸籍の附票システム改修委託（かな振り対応）　8,580,000 円
　住民記録システム改修委託（かな振り対応）　9,570,000 円

・令和 5 年度から令和 6 年度へ繰り越す理由
　令和 5 年度国庫補助対象事業となったため、当初予算及び令和 6 年 2 月補正予算で計上したが、年度内の事業完了が困難となったため。

事業名	旅券発給事業			5252-03
担当課	市民課		現　年	前年度からの繰越
款 02	総務費	当初予算額	4,398,000円	—
項 03	戸籍住民基本台帳費	最終予算額	4,398,000円	—
目 01	戸籍住民基本台帳費	決　算　額	4,309,636円	—
事業の目的	一般旅券の申請受理等を本市で行うことにより、市民の利便性の向上を図る。			
事業の概要	埼玉県と連携し、一般旅券の申請（記載事項変更・増補を含む）受理及び発給を行う。			

事業の実績・成果

権限移譲により平成24年6月1日から本庁舎市民課窓口において旅券発給事務を開始

1　申請　　月曜日～金曜日（祝日及び年末年始を除く）　午前9時～午後4時30分
　　交付　　月曜日～金曜日（祝日及び年末年始を除く）　午前9時～午後4時30分
　　日曜日　午前9時～午後4時30分

2　市民課窓口における一般旅券申請件数　（単位:件）

	10年	5年	訂正	増補	記載事項変更	残存有効期間同一	合計
令和元年度	1,298	1,048	0	1	30	－	2,377
令和2年度	147	56	0	2	5	－	210
令和3年度	187	59	0	0	4	－	250
令和4年度	495	292	0	2	13	－	802
令和5年度	955	682	0	－	－	22	1,659

※令和5年3月27日から旅券の増補、記載事項変更旅券は廃止され、代わりに現在所持する旅券と同一の有効期限の旅券を新たに作成する「残存有効期間同一旅券」の申請が開始された。

3　市民課窓口における一般旅券交付件数　（単位:件）

	月曜日～金曜日	日曜日	合計
令和元年度	1,781	637	2,418
令和2年度	194	43	237
令和3年度	200	45	245
令和4年度	623	142	765
令和5年度	1,339	378	1,717

（参考）県パスポートセンターにおける一般旅券申請件数　上段：申請件数（件）　下段：構成比率（%）

期間＼申請場所	市民課窓口	県パスポートセンター					合計
		大宮	川越	春日部	熊谷市	川口市	
令和2年1月～12月	605	59	1	22	0	1	688
	87.94	8.58	0.14	3.20	0	0.14	100.00
令和3年1月～12月	227	18	0	5	0	0	250
	90.80	7.20	0	2.00	0	0	100.00
令和4年1月～12月	542	48	3	22	0	1	616
	87.99	7.79	0.49	3.57	0	0.16	100.00
令和5年1月～12月	1,597	169	3	91	4	0	1.864
	85.68	9.07	0.16	4.88	0.21	0	100.00

事業名	住民票等コンビニ交付事業			5252-06
担当課	市民課		現　年	前年度からの繰越
款 02	総務費	当初予算額	7,862,000円	―
項 03	戸籍住民基本台帳費	最終予算額	7,862,000円	―
目 01	戸籍住民基本台帳費	決　算　額	7,647,957円	―
事業の目的	市民の身近な場所で、休日や時間外にも証明書を取得できる利便性の高いコンビニ交付サービスを実施することにより、市民サービスの向上を図る。			
事業の概要	マイナンバーカードを利用して、各種証明書をコンビニエンスストア等に設置されているキオスク端末から交付する。 証明書（住民票の写し、印鑑登録証明書、所得・課税（非課税）証明書）1枚当たり交付手数料　各150円 ※窓口及びコンビニ共同額			

事業の実績・成果

住民票等のコンビニ交付の周知を図るため、推進チラシを作成し、本庁舎及び各総合支所窓口における配布、各公共施設への設置、コンビニエンスストアへのポスター掲示、行政モニター放映、広報紙・ホームページへの掲載等を行った。

また、コンビニ交付サービスの利用促進を図るために作成したキオスク端末の操作手順書を、マイナンバーカード交付時に配布した。

コンビニ交付証明書交付状況　（単位：枚）

	住民票	印鑑証明	税証明	合計
平成28年度	52	55	7	114
平成29年度	746	753	96	1,595
平成30年度	1,250	1,208	126	2,584
令和元年度	1,854	1,645	178	3,677
令和2年度	2,901	2,437	345	5,683
令和3年度	4,845	3,715	607	9,167
令和4年度	7,311	5,532	886	13,729
令和5年度	11,483	9,216	1,314	22,013
合計	30,442	24,561	3,559	58,562

※平成29年3月1日からコンビニ交付サービスの運用開始

事 業 名		選挙管理委員会運営事業			5131-05
担 当 課		選挙管理委員会		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	2,263,000 円	―
項	04	選挙費	最終予算額	2,249,000 円	―
目	01	選挙管理委員会費	決　算　額	2,063,457 円	―
事業の目的		政治への市民参加の主たる制度である「選挙」を管理する選挙管理委員会の適正な運営を図る。			
事業の概要		選挙管理委員会は、4 人の委員により構成される機関であり、次の事務を行う。 ・各選挙の管理及び執行 ・選挙人名簿等の調製 ・選挙についての啓発宣伝等 ・全国団体等の会議・研究会等への参加 ・その他選挙に関連する事務			

事業の実績・成果

・選挙人名簿の定時登録（定時、選挙時）や裁判員候補者予定者等の名簿の調製のほか、各種選挙（県議会議員一般選挙・市議会議員一般選挙・県知事選挙）を適正に管理執行するため、選挙管理委員会を合計 14 回開催した。

○選挙人名簿登録者の推移（各年度 9 月定時登録数）　（単位：人）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
男	47,646	47,545	47,398	47,251	47,182
女	47,741	47,624	47,474	47,317	47,332
合計	95,387	95,169	94,872	94,568	94,514

事業名	選挙啓発事業				5131-09
担当課	選挙管理委員会			現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	244,000円	―
項	04	選挙費	最終予算額	244,000円	―
目	02	選挙啓発費	決　算　額	239,363円	―
事業の目的	明るくきれいで正しい選挙が行われるようにするため、あらゆる機会を通して有権者の選挙に関する意識の向上を図る。				
事業の概要	・小学生、中学生及び高校生からポスター、標語及び書道(書道の募集は小学生及び中学生のみ）コンクールへの作品を募集し、その作品展示等を行う。 ・学校に対して選挙備品（投票箱・記載台）の貸出しを実施する。 ・「新有権者の証」の送付。 ・選挙出前講座(講義･模擬投票)の実施。 ・選挙啓発冊子等を二十歳の集いにおいて配布する。				

事業の実績・成果

1　明るい選挙啓発コンクールの実施

これからの未来を担う小・中学生の選挙に対する関心を高めるとともに、有権者に対する明るい選挙の推進を図るため、教育委員会と連携して、全国規模の「明るい選挙啓発ポスターコンクール」への参加のほか、加須市独自の「標語コンクール」及び「書道コンクール」を行った。

令和5年度コンクールの優秀作品展示会は、行田市、羽生市、加須市の3市合同により実施した。

○コンクールの応募状況　（単位：作品数）

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
ポスター	259	103	158	173	115
標語	2,280	2,023	2,212	1,660	1,941
書道	941	845	635	574	452
合　　計	3,480	2,971	3,005	2,407	2,508

○優秀作品展示

展示期間	展示会場	展示物
1月4日(木)～1月17日(水)※1	加須市役所　1階市民ギャラリー	ポスター・標語（標語は加須市会場のみ展示）
1月19日(金)～1月31日(水)※2	行田市教育文化センター「みらい」1階　談話コーナー	
2月5日(月)～2月13日(火)	羽生市民プラザ　２階ギャラリー	
1月22日(月)～1月30日(火)	加須市役所　1階市民ギャラリー	書道

※1　本庁舎閉館の土曜日及び祝日を除く。

※2　施設休館の月曜日を除く

2　選挙出前講座の実施

「加須市選挙出前講座実施要綱」等に基づき、市内の中学校、高等学校、特別支援学校、大学及び障害者福祉サービス事業所を対象として、次の2校について選挙に関する講座や模擬投票などを実施した。

○選挙出前講座実施状況

開催日	学校名等	受講者数(人)
12月15日(金)	花咲徳栄高等学校（1学年）	505
2月19日(月)	騎西特別支援学校（高等部1学年）	23

3　「新有権者の証」の送付

18歳を迎え選挙人名簿に登録された方を対象に、選挙人名簿に登録されたことをお知らせするとともに、選挙への関心を持っていただくことを目的に「新有権者の証」を送付した。

○令和5年度新有権者の証発送人数　　886人

事 業 名	県議会議員選挙執行事業				99111-00
担 当 課	選挙管理委員会			現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	34,249,000 円	―
項	04	選挙費	最終予算額	25,544,000 円	―
目	03	県議会議員選挙費	決　算　額	25,537,486 円	―
事業の目的	民主主義の基本である選挙のうち、県議会議員選挙に関する事務の適正な執行を図る。				
事業の概要	入場券の作成・発送、ポスター掲示場の設置、選挙事務従事者の配置、期日前投票・当日投票、開票、選挙長事務等選挙に関する一連の事務を行う。 選挙期日　令和５年４月９日				

事業の実績・成果

・令和５年４月９日執行の埼玉県議会議員一般選挙（統一地方選挙）について、適正に管理執行した。
投票事務及び開票事務は、新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら適正に行った。

○投票状況

	（前回）令和元年	令和５年
当日有権者数（人）	94,421	93,362
投票者数（人）	35,070	30,311
投票率（%）	37.14	32.49
（参考）県平均投票率（%）	35.52	34.92

○開票時間等

	（前回）令和元年	令和５年
加須市開票区（分）	76	110
候補者数（定数）（人）	3（2）	3（2）

○執行経費　（単位：円）

	（前回）令和元年	令和５年
事業費決算額	21,519,074	25,537,486
（参考）前年度事業費決算額	（平成30年）13,337,744	（令和４年）12,474,605
（参考）合計事業費決算額	34,856,818	38,012,091

新型コロナウイルス感染症に係る対応を実施した（巻末参照）。

事 業 名	市議会議員選挙執行事業				99111-00
担 当 課	選挙管理委員会		現　年		前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	101,830,000 円	―
項	04	選挙費	最終予算額	77,954,000 円	―
目	04	市議会議員選挙費	決　算　額	77,940,729 円	―
事業の目的	民主主義の基本である選挙のうち、市議会議員選挙に関する事務の適正な執行を図る。				
事業の概要	入場券の作成・発送、ポスター掲示場の設置、選挙事務従事者の配置、期日前投票・当日投票、開票、選挙長事務等選挙に関する一連の事務を行う。 選挙期日　令和5年4月23日				

事業の実績・成果

・令和5年4月23日執行の加須市議会議員一般選挙（統一地方選挙）について、適正に管理執行した。
投票事務及び開票事務は、新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら適正に行った。

○投票状況

	（前回）令和元年	令和5年
当日有権者数（人）	94,351	93,268
投票者数（人）	42,737	37,531
投票率（%）	45.30	40.24

○開票時間等

	（前回）令和元年	令和5年
開票時間（分）	187	151
候補者数（定数）（人）	30（28）	29（25）

○執行経費　（単位：円）

	（前回）令和元年	令和5年
事業費決算額	73,339,028	77,940,729
（参考）前年度事業費決算額	（平成30年）1,552,452	（令和4年）1,302,696
（参考）合計事業費決算額	74,891,480	79,243,425

事業名	県知事選挙執行事業				99111-01
担当課	選挙管理委員会			現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	55,449,000円	―
項	04	選挙費	最終予算額	41,566,000円	―
目	05	県知事選挙費	決　算　額	41,555,930円	―
事業の目的	民主主義の基本である選挙のうち、市議会議員選挙に関する事務の適正な執行を図る。				
事業の概要	入場券の作成・発送、ポスター掲示場の設置、選挙事務従事者の配置、期日前投票・当日投票、開票事務等選挙に関する一連の事務を行う。 選挙期日　令和5年8月6日				

事業の実績・成果

・令和5年8月6日執行の埼玉県知事選挙について、適正に管理執行した。
　投票事務及び開票事務は、新型コロナウイルス感染症に配慮しつつ適正に行った。

○投票状況

	（前回）令和元年	令和5年
当日有権者数（人）	94,423	93,515
投票者数（人）	29,493	21,249
投票率（%）	31.23	22.72
（参考）県平均投票率	32.31	23.76

○開票時間等

	（前回）令和元年	令和5年
加須市開票区（分）	76	70
候補者数（人）	5	3

○執行経費

	（前回）令和元年	令和5年
事業費決算額（円）	36,045,443	41,555,930

事業名	統計管理事業				5312-10
担当課		政策調整課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	47,000円	―
項	05	統計調査費	最終予算額	29,000円	―
目	01	統計調査総務費	決　算　額	25,936円	―
事業の目的	適正な行政サービスを実現するため、国や地方自治体における政策決定の基礎資料となる統計調査を実施する。				
事業の概要	統計に係る各種行事に参加するとともに、統計調査員の確保等に取り組む。 また、市の統計情報をまとめた統計書「DATABOOKかぞ」を発行する。				

事業の実績・成果

予定されていた全ての会議、研修会等に参加し、構成市町との情報交換を行い、令和5年度に実施した各種統計調査の円滑な実施に努めた。

また、市の統計情報をまとめた統計書「DATABOOKかぞ」を発行した。

○統計研究会北部ブロック研究会

会議名	年月日	場　　所
第1回研究会	令和5年7月14日	行田市古代蓮会館研修・工作室
第2回研究会	－	書面開催

○埼玉県連合会役員会

会議名	年月日	場　　所
役員会	－	書面開催

○埼玉県連合会定例研究会

会議名	年月日	場　　所
定例研究会	－	書面開催

○県民手帳販売数

（単位：冊）

年度	販売冊数	納品冊数
令和元年度	418	425
令和2年度	383	425
令和3年度	369	425
令和4年度	355	370
令和5年度	340	380

○令和4年度版統計書「DATABOOKかぞ」の発行（令和5年12月発行）

・加須市の人口、経済、社会、教育等の統計資料を官公庁や民間団体等から収集し全18章に収録

・加須市ホームページに掲載

・令和5年度頒布数0件（1冊500円）

事 業 名		学校基本調査事業			99111-00
担 当 課		政策調整課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	30,000 円	―
項	05	統計調査費	最終予算額	30,000 円	―
目	02	統計調査費	決　算　額	1,358 円	―
事業の目的		学校に対する基本的事項について調査し、学校教育行政上の基礎資料を得る。			
事業の概要		市内小中学校他について、学校教育課で調査し、回答する。 調査期日：毎年5月1日			

事業の実績・成果

文部科学省所管の基幹統計調査である学校基本調査を実施した。

【調査目的】
学校教育行政に必要な学校に関する基本的事項を明らかにする。（教育委員会による調査）

【基準日】
毎年5月1日現在

【主な利用例】
・学校教育全般にわたる諸施策策定上の基礎資料
・県及び市町村に交付する地方交付税算定の基礎資料

【主な内容】
〇対　　象　　市内の幼稚園、小学校及び中学校
〇調査内容　　学校数、在学者数、教職員数、学校建物・土地面積、卒業後の状況等

事 業 名		経済センサス調査事業			99111-00
担 当 課		政策調整課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	13,000 円	―
項	05	統計調査費	最終予算額	13,000 円	―
目	02	統計調査費	決　算　額	12,278 円	―
事業の目的		我が国の全産業分野における事業所及び企業の経済活動の実態を全国及び地域別に明らかにするとともに、事業所及び企業を調査対象とする各種統計調査の精度向上に資する母集団情報を得る。			
事業の概要		調査員が調査票を配布、回収し、内容審査を行うほか、オンラインによる調査も実施する。			

事業の実績・成果

令和８年度の活動調査を円滑に行うため、調査区の管理及び乙調査を実施した。

【調査目的】
国内の全産業分野における事業所の実態を把握し、各種行政施策その他の基礎資料を得る。

【基準日】
・調査区管理　令和５年６月１日現在
・乙調査　　令和５年６月１日現在

【主な利用例】
・公正な行政運営を行うための利用
　地方消費税、中小企業振興のための補助金の分配　等
・国民や企業の活動を支えるための利用
　県民経済計算、市民経済計算や地域産業関連表の基礎資料・地域の経済活動に関する統計の整備　等

【主な内容】
○対象
　調査区管理　調査時において、国内全ての民営事業所及び企業
　　（国及び地方公共団体の事業所、大使館等の外国公務に属する事業所及び農家を除く。）
　乙調査　　国及び地方公共団体の事業所

○調査内容
　調査区管理　調査区地図の修正
　乙調査　　名称、所在地、活動状況

事 業 名		住宅土地統計調査事業			99111-00
担 当 課		政策調整課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	6,725,000 円	―
項	05	統計調査費	最終予算額	6,166,000 円	―
目	02	統計調査費	決　算　額	6,136,304 円	―
事業の目的		我が国における住宅及び住宅以外で人が居住する建物に関する実態や保有状況等を調査し、その現状と推移を全国及び地域別に明らかにすることにより、住生活関連施策の基礎資料を得ることを目的として5年に1度実施する。			
事業の概要		調査員が調査票を配布、回収し、内容審査を行うほか、オンラインによる調査も実施する。			

事業の実績・成果

円滑な調査実施及び統計の正確性を確保するため、説明会の開催や調査票の内容審査を行った。

【調査目的】

我が国における住宅及び住宅以外で人が居住する建物に関する実態並びに現住居以外の住宅及び土地の保有状況その他の住宅等に居住している世帯に関する実態を調査し、その現状と推移を全国及び地方別に明らかにすることにより、住宅・土地関連諸施策の基礎資料を得る。

【基準日】

令和5年10月1日現在

【主な利用例】

・住生活関連諸施策に関する企画・立案のための基礎資料
・国民経済計算における家賃の推計のための基礎データ
・行政機関及び民間研究機関などによる分析資料
・暮らしと住まいに関する計画や施策などの基礎資料

【主な内容】

〇対　　象　指定された調査区内の住戸のうち、総務大臣が定める方法で選ばれた住戸
〇調査内容　世帯に関する事項（世帯主の氏名、種類、構成、年間収入）
　　住宅に関する事項（居住室数及び広さ、所有関係、床面積など）
　　建物に関する事項（建て方、構造、階数など）

【令和5年度事務】

〇調査準備
・調査員及び指導員の推薦
・調査員及び指導員事務打合せ会の開催
・各種県照会、調査員の問合せに対する回答

〇本調査
・調査員による調査
・調査員及び市民からの問合せ対応
・調査票の内容審査
・調査票等の県進達

事 業 名		農林業センサス調査事業			99111-00
担 当 課		政策調整課		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	42,000 円	―
項	05	統計調査費	最終予算額	10,000 円	―
目	02	統計調査費	決　算　額	3,940 円	―
事業の目的		農林業、農山村の基本構造の実態とその動向を総合的に把握し、各種農林業施策の検討及び各種農林統計調査の母集団整備のためのデータを得る。			
事業の概要		調査員が調査票を配布、回収し、内容審査を行うほか、オンラインによる調査も実施する。			

事業の実績・成果

2025 年農林業センサスについて、調査区の境界を明確にし、調査の円滑な実施と結果精度の向上を目的として調査区の修正報告を行った。

【令和 5 年度事務】
〇調査区設定
・調査区の内容審査
・修正の県進達

事 業 名		監査委員運営事業			5312-04
担 当 課		監査委員		現　年	前年度からの繰越
款	02	総務費	当初予算額	1,834,000 円	―
項	06	監査委員費	最終予算額	1,787,000 円	―
目	01	監査委員費	決　算　額	1,580,921 円	―
事業の目的		地方自治法に基づき、市の財務に係る事務の執行等について監査等を実施し、その結果を公表することで民主的かつ効率的な行政執行を確保し、もって住民の福祉の増進と地方自治の本旨の実現に寄与する。			
事業の概要		定期監査、財政援助団体等監査、例月出納検査、決算審査、基金の運用状況審査、健全化判断比率等審査の実施。 また、全国、関東、県都市監査委員会及び県東部都市監査委員会との連絡調整を行い、また同総会・研修会に参加する。			

事業の実績・成果

・関係法令、加須市監査基準及び監査計画に基づき、各種監査等を実施し、その適法性、効率性、妥当性、有効性等の検証を行った。また、その結果を市議会及び市長等に報告し、併せて市ホームページ等を通して公表した。

1　監査等実施一覧（単位：日）

種類		対象等	実施日数
例月出納検査		一般会計、特別会計、企業会計等	12
決算審査		一般会計、特別会計、企業会計等	13
財政健全化等審査		一般会計、特別会計、企業会計等	1
定期監査	各部署	総合政策部、総務部、環境安全部、経済部、こども局、健康医療部、都市整備部、生涯学習部、学校教育部、大利根総合支所	8
	小・中学校	加須小学校、大越小学校、花崎北小学校、加須南小学校、種足小学校、大利根東中学校、加須東中学校、加須平成中学校	5
財政援助団体等監査		であいサポートｉ、株式会社かぞ農業公社、社会福祉法人加須市社会福祉協議会、道の駅かぞわたらせ（ウム・ヴェルト株式会社）、道の駅童謡のふる里おおとね（株式会社米米倶楽部）	2

事 業 名		国民健康保険組合支援事業			1111-29
担 当 課		国保年金課		現年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	622,000 円	―
項	01	社会福祉費	最終予算額	622,000 円	―
目	01	社会福祉総務費	決　算　額	575,750 円	―
事業の目的		埼玉土建・埼玉県建設国民健康保険組合組合員の病気を予防するため、両組合を支援し、国民皆保険制度の維持に努める。			
事業の概要		埼玉土建・埼玉県建設国民健康保険組合に対し、運営費及び事業費の一部を助成する。 ・助成額　組合員一人当たり 250 円			

事業の実績・成果

・　埼玉土建及び埼玉県建設国民健康保険組合が実施する健康保持、増進事業について、事業費の一部を助成し、健康づくりを支援した。

加入者数（4 月 1 日現在）　（単位：人）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
埼玉土建国民健康保険組合加須支部	1,660	1,635	1,691	1,730	1,642
建設埼玉北埼地区本部	665	685	683	656	661
計	2,325	2,320	2,374	2,386	2,303

補助金交付額　（単位：円）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
埼玉土建国民健康保険組合加須支部	415,000	408,750	422,750	432,500	410,500
建設埼玉北埼地区本部	166,250	171,250	170,750	164,000	165,250
計	581,250	580,000	593,500	596,500	575,750

事 業 名		国民健康保険事業特別会計繰出事業			1134-07
担 当 課		国保年金課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	1,134,473,000 円	―
項	01	社会福祉費	最終予算額	1,140,783,000 円	―
目	01	社会福祉総務費	決　算　額	964,761,924 円	―
事業の目的		国民健康保険の健全運営を図るため、被保険者の保険給付と負担とのバランスを確保しながら、特定健康診査の実施、生活習慣病予防等の保健事業を実施することにより、医療に頼らない健康な身体づくりを推進し、医療費の抑制に努める。			
事業の概要		一般会計からの繰出金をもって国民健康保険事業の収支の均衡を図る。			

事業の実績・成果

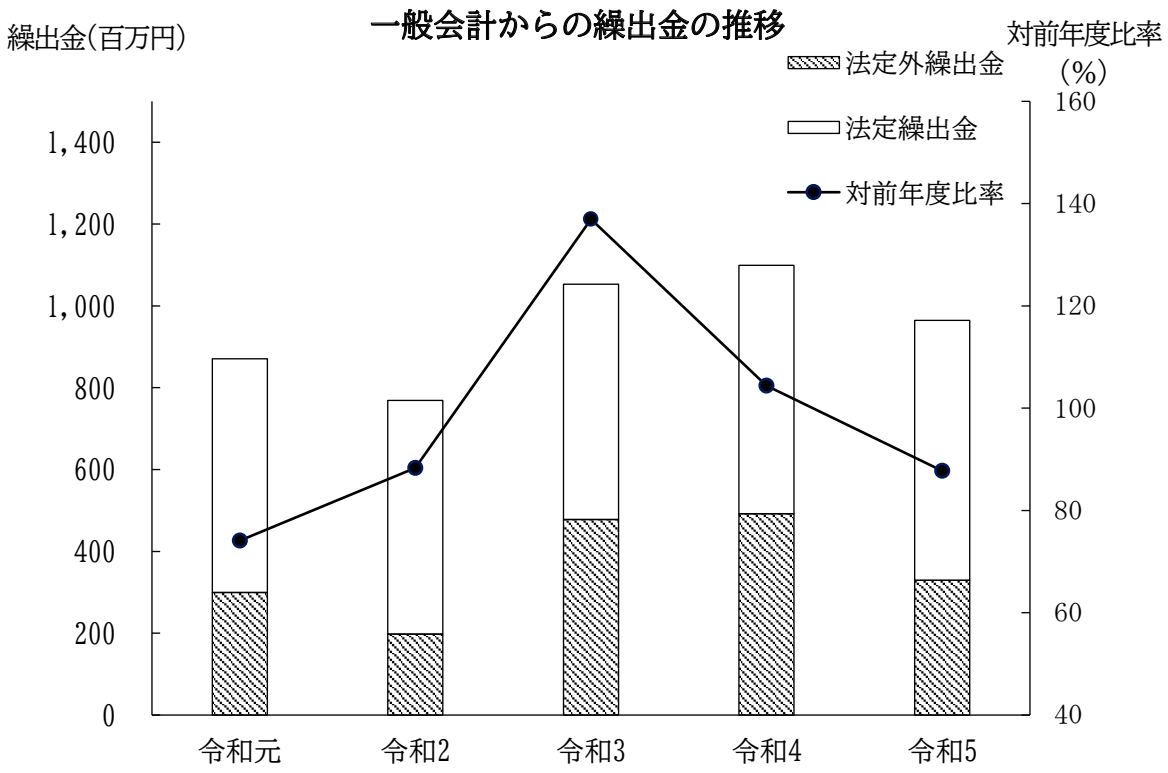
・　国民健康保険加入者の一人当たり医療費は、高齢化や医療技術の高度化等により増加傾向にある。

このような中、被保険者の保険給付と保険税負担のバランスに配慮しながら、埼玉県国民健康保険運営方針における令和 9 年度からの保険税水準の準統一に向け、標準保険税率を目標に毎年度、保険税率の見直しを行うこととしている。

一般会計からの繰出金については、令和 5 年度は、対前年度▲134,561 千円、12.2%の減となった。

一般会計からの繰出金の推移　（単位：千円）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
繰　出　金　額	870,654	769,071	1,053,293	1,099,323	964,762
うち法定外繰出金	299,660	198,000	478,000	492,400	329,500
対前年度比率(%)	74.1	88.3	137.0	104.4	87.8



事 業 名		地域福祉計画進行管理事業			1161-02
担 当 課		地域福祉課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	47,000 円	―
項	01	社会福祉費	最終予算額	47,000 円	―
目	01	社会福祉総務費	決　算　額	39,000 円	―
事業の目的		市民、市、民間事業者等がそれぞれの立場で、地域の福祉分野で果たす役割を明確化し、地域福祉推進に向けた方向性を示す計画の進行管理を行う。			
事業の概要		「加須市地域福祉計画（第３次）・地域福祉活動計画（第２次）」の進行状況を管理する。 また、地域福祉計画推進等懇話会を開催し、懇話会委員に報告する。 計画期間：R4～R8			

事業の実績・成果

・加須市地域福祉計画推進等懇話会を開催し、関係各課が行っている福祉関連事業の進捗状況を報告し、「加須市地域福祉計画(第３次)・地域福祉活動計画（第２次)」の進行管理について、書面による協議を行った。

○地域福祉計画推進等懇話会の構成員（計 14 名）

高齢者施設関係者（多賀谷寿光園施設長）
障害者施設関係者（あけぼの園所長）
加須市自治協力団体連合会副会長
かぞ地域女性会連合会常任理事
加須地区保護司会会長
加須医師会会長
学識経験者（社会福祉法人理事、NPO 法人スーパーバイザー）
児童施設関係者（社会福祉法人愛の泉）
加須市社会福祉協議会副会長
加須市民生委員・児童委員協議会会長
加須市老人クラブ連合会会長
埼玉県加須保健所所長
久喜人権擁護委員協議会加須部会部会長
加須市ＰＴＡ連合会副会長

○議題等

加須市地域福祉計画の進捗状況について

事 業 名		社会福祉管理事業			1161-06
担 当 課		地域福祉課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	455,000 円	―
項	01	社会福祉費	最終予算額	455,000 円	―
目	01	社会福祉総務費	決　算　額	233,584 円	―
事業の目的		社会福祉関係事業を実施するにあたり、共通する管理費をまとめることで各事業を円滑に実施する。			
事業の概要		地域福祉課及び各総合支所福祉健康担当の経常的な管理費を支出する。			

事業の実績・成果

・社会福祉関係事業を円滑に実施するための諸費用について支出した。

事業名	戦没者遺族支援事業			1161-07
担当課	地域福祉課		現　年	前年度からの繰越
款 03	民生費	当初予算額	520,000円	―
項 01	社会福祉費	最終予算額	520,000円	―
目 01	社会福祉総務費	決　算　額	520,000円	―
事業の目的	戦没者や遺族の苦しみ悲しみを忘れることなく、恒久平和を市民とともに願う。			
事業の概要	加須市遺族連合会の活動推進のために活動費を助成する。 また、市民とともに戦没者の冥福を祈り、恒久平和を願うため、戦没者追悼式を3年ごとに開催する。 このほか、5年に一度、戦没者等の遺族への特別弔慰金交付事務を行う。			

事業の実績・成果

○加須市遺族連合会への補助

加須市遺族連合会の活動推進を図るため補助金を交付し、全国・埼玉県戦没者追悼式参列、英霊顕彰事業参加、地区慰霊祭開催等に充てられた。

（1）補助金額の推移　（単位：円）

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
520,000	520,000	520,000	520,000	520,000

（2）会員数　498人（令和6年3月31日現在）

○第11回戦没者等の遺族に対する特別弔慰金交付事務

（1）支給対象者

戦没者等の死亡当時の遺族で、優先順位の高い遺族1名（令和2年4月1日（基準日）において、恩給法による公務扶助料や戦傷病者戦没者遺族等援護法による遺族年金等を受ける方がいない場合）

（2）受付件数【請求期限：令和5年3月31日】　（単位：件）

	加須地域	騎西地域	北川辺地域	大利根地域	合計
受付件数	382	139	61	84	666

※令和5年度中の受付　0件

（3）国債受領件数（令和6年3月31日現在）　661件

※市が国債を受領した後、請求者に交付

○　市内戦没者　2,125人（平成28年確認）

（加須 975人、騎西 541人、北川辺 296人、大利根 313人）

事業名	更生保護活動支援事業			1161-09
担当課	地域福祉課		現　年	前年度からの繰越
款 03	民生費	当初予算額	1,180,000円	―
項 01	社会福祉費	最終予算額	1,180,000円	―
目 01	社会福祉総務費	決　算　額	1,180,000円	―
事業の目的	更生保護団体等の活動を支援し、犯罪や非行のない明るい地域社会を目指す。			
事業の概要	更生保護観察協会への負担金を通して、保護司会及び更生保護女性会へ活動費を助成し、各更生保護団体等の活動を支援する。			

事業の実績・成果

更生保護観察協会への負担金を通し、地域における犯罪予防活動や、犯罪や非行をした人の更生保護活動を支援した。

〇更生保護活動団体

・加須地区保護司会(令和6年3月31日現在　36人：定数37人)　　助成金　1,020,000円
・加須地区更生保護女性会(令和6年3月31日現在　会員228人)　　助成金　　62,000円

〇社会を明るくする運動

“社会を明るくする運動”はすべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築くための全国的な運動（主唱：法務省）で、加須地区保護司会及び加須地区更生保護女性会が実施委員会を組織し、7月の強調月間に合わせてキャンペーン等を実施し、更生保護の趣旨普及に努める活動を行っている。

・街頭キャンペーン

啓発グッズとチラシを公共施設等に配備し啓発活動を行った。また、教育委員会（各中学校）の協力をいただき、人生の節目となる中学3年生を対象に啓発グッズ・資料等配布した。今後も継続的に犯罪防止・非行防止の意識高揚を図っていく。

・講話と音楽の集い

中学3年生とその保護者を中心に、非行防止について考えるきっかけとして、「薬物乱用の根絶を目指して」をテーマに埼玉県警察本部による講話と、埼玉県立不動岡高校吹奏楽部によるミニコンサートを実施した。

〇更生保護サポートセンター　（平成31年2月22日　開所）

・運営日：毎週　月曜日・金曜日（休館日は除く）、第1、第3日曜日
　午前10時から午後4時まで
・場　所：市民プラザかぞ　1階　ボランティア室
・内　容：「更生保護サポートセンター」は、保護司・保護司会が地域の関係機関・団体と連携しながら地域で更生保護活動を行うための拠点として開所。罪を犯した人や非行少年等の立ち直りを助ける保護司の処遇活動に対する支援や、地域や関係機関等と連携をして更生保護活動を行う場として活用している。
・主な活動内容（令和5年度）　　※令和5年度の開所日数　112日間

活動内容	回数
保護観察者等との面接	3回
さいたま保護観察所主任保護観察官との処遇協議	0回
自主研修・情報交換・事務処理等	112回
その他	1回

事業名	社会福祉協議会助成事業			1162-01
担当課	地域福祉課		現　年	前年度からの繰越
款 03	民生費	当初予算額	139,263,000 円	―
項 01	社会福祉費	最終予算額	126,320,000 円	―
目 01	社会福祉総務費	決　算　額	121,697,000 円	―
事業の目的	市民参加による地域福祉活動、社会福祉に関する情報の提供、福祉教育やボランティア活動の振興等を推進する。			
事業の概要	高齢者や障がい者の在宅支援、ボランティアセンターの運営、福祉教育の支援、小地域福祉活動など多岐の福祉サービス事業を展開し、地域福祉を推進する中心的な役割を担っている社会福祉協議会への支援			

事業の実績・成果

地域福祉活動の中心的な役割を担い、各種の地域福祉活動を行う社会福祉協議会の活動を支援し、もって加須市の地域福祉の充実を図るため、補助金を交付した。

1　人件費補助

社会福祉協議会の法人運営事業に要する人件費（時間外勤務手当を除く）を補助

◆補　助　金　額　　116,697,000 円（補助対象人件費執行済額　　116,970,321 円）

◆補助対象職員数　　（単位：人）

	常務理事兼事務局長	支所長（再任用・嘱託）	正職員	会計年度職員	計
本所・加須支所	1	0	11	4	16
騎　西　支　所	0	1	1	2	4
北 川 辺 支 所	0	1	0	2	3
大 利 根 支 所	0	1	0	2	3
計	1	3	12	10	26

2　事務費補助

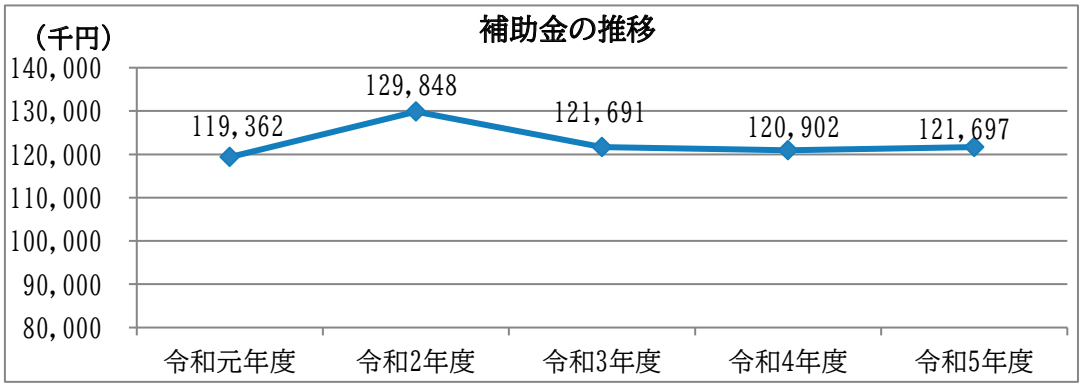
事務所の維持費及び事務局活動における事務費（上限 500 万円）を補助

◆補　助　金　額　　5,000,000 円（補助対象事務費支出済額　8,070,426 円）

◆補助対象経費　　事務所維持にかかる消耗品費、光熱水費、通信運搬費、賃借料等

3　補助金総額の推移　　（単位：円）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
金額	119,362,000	129,848,000	121,691,000	120,902,000	121,697,000



事 業 名		民生委員・児童委員活動推進事業			1162-02
担 当 課		地域福祉課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	27,683,000 円	―
項	01	社会福祉費	最終予算額	27,683,000 円	―
目	01	社会福祉総務費	決　算　額	27,126,178 円	―
事業の目的		民生委員・児童委員活動により、地域福祉の充実を図る。			
事業の概要		民生委員・児童委員の行う調査、要援護者等への相談支援活動が円滑に行えるよう支援する。			

事業の実績・成果

こどもから高齢者まで、日常の生活や様々な福祉に関する相談や行政機関の業務などへの協力。

1　民生委員・児童委員数　243 名（主任児童委員を含む）（4 名欠員）※R6.3.31 現在
　単位民児協数　12 地区
　専門部会　7 部会（生活福祉、高齢者福祉、児童福祉、障がい者福祉、広報、男女共同参画推進、総務）

2　分野別相談・支援件数
（1）高齢者に関すること　2,127 件
（2）障がい者に関すること　106 件
（3）こどもに関すること　112 件
（4）その他　349 件
合計 2,694 件（活動日数 30,192 日）

3　高齢者世帯訪問　延 48,126 回訪問

4　各種研修への参加、共同募金、ひとり暮らし高齢者地域交流事業、敬老会、歳末たすけあい運動等の各種行事に対する参加協力、ボランティア活動、学校や地域行事への参加協力など

事業名	地域福祉基金活用事業				1162-03
担当課		地域福祉課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	1,420,000円	―
項	01	社会福祉費	最終予算額	1,420,000円	―
目	01	社会福祉総務費	決　算　額	1,420,000円	―
事業の目的	在宅福祉の推進等、地域における保健福祉活動の推進および地域事業の適正な運営を図る。				
事業の概要	地域福祉基金の運用果実を地域福祉団体(加須市社会福祉協議会等)が行う地域福祉活動の支援（補助）に充てる。				

事業の実績・成果

「地域福祉基金」の運用から生じた収益（利子）を地域福祉団体(加須市社会福祉協議会)へ助成した。
助成を受けた社会福祉協議会が民生委員によるひとり暮らし高齢者見守り事業等を支援した。

●助成額の推移　（単位：円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
助成額	1,908,000	1,926,000	1,906,654	1,876,000	1,420,000

※助成額は、地域福祉基金の積立預金の利率により変動

◆加須市社会福祉協議会の事業概要

1　ひとり暮らし高齢者見守り事業（補助金 340,000円、社協負担 1,484,000円）
65歳以上のひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯において見守りの必要度基準を満たした方を対象に見守りと乳酸飲料の配達を兼ねて業者が週1回訪問した。
延訪問回数　加須地域 10,172回、騎西地域 858回、北川辺地域 559回、大利根地域 569回

2　ボランティア保険加入促進事業（補助金 214,000円、社協負担 52,350円）
登録ボランティア等の活動中の事故等を補償するため、活動保険への加入の促進を行った。
【通年】・年間保険料　1口　A350円・天災A500円
・加入者総数　1,978人（うち、事業対象加入者 761人）

3　ひとり親子のつどい事業（補助金 68,000円、社協負担 43,974円）
ひとり親世帯を対象に親子間の絆を深める一助として、外出支援を実施した。
・実施日　令和5年12月16日（土）・参加者数　27人(9家族)

4　こどもフェスタ事業（補助金 104,000円、社協負担 35,350円）
こどものすこやかな成長と良好な親子関係の構築を図るため、親子の絆をテーマにしたイベントを市内在住のこどもと保護者を対象に開催した。
・実施日　令和5年11月5日（日）

5　障がい児者のつどい事業（補助金 184,000円、社協負担 61,378円）
障がい児者とその家族を対象に、外出支援を実施した。
・実施日　令和5年11月19日（日）　・参加者数　36人（15家族）

6　視覚障がい者交流事業（補助金 10,000円、社協負担 5,749円）
視覚障がい者とその家族を対象とした朗読会と交流会を実施した。
朗読会＆交流会　・実施日　令和5年10月20日（金）　・参加者数　11人

7　社会福祉推進大会開催事業（補助金 500,000円、社協負担 155,863円）
福祉に対する興味・関心を深め、福祉の増進に資することを目的に実施した。
・実施日　令和6年2月17日（土）　・参加者数759人

事 業 名		地域福祉基金積立事業			1162-04
担 当 課		地域福祉課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	4,500,000 円	―
項	01	社会福祉費	最終予算額	6,600,000 円	―
目	01	社会福祉総務費	決　算　額	6,567,419 円	―
事業の目的		地域における保健福祉活動の推進を図る。			
事業の概要		福祉のための寄附金を受け入れ、地域福祉基金へ積立てる。			

事業の実績・成果

「地域福祉基金」の管理を行い、社会福祉のために寄附された寄附金の積み立てを行った。

1　寄附金額の推移（積立額）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
寄付金額（円）	660,627	10,627,683	2,271,776	2,642,287	6,208,781
件数（件）	36	52	157	272	550

※地域福祉基金の果実のうち、当初見込み額を超過する分 358,638 円についても、基金への積立を行った。

2　基金残高

（1）現　　金

104,306,933 円（令和 6 年 3 月 31 日現在）

（2）債権額面

200,000,000 円（愛知県令和 5 年度第 14 回公募公債（10 年）令和 5 年 12 月 28 日購入）
100,000,000 円（福島県平成 27 年度第 1 回公募公債（10 年）平成 27 年 11 月 27 日購入）
100,000,000 円（東日本高速道路株式会社第 91 回社債（10 年）令和 4 年 1 月 31 日購入）

3　地域福祉基金利子積立て

地域福祉基金利子は、原則、地域福祉基金活用事業の財源としている。

事業名	社会福祉法人指導監査等事務事業			1164-02
担当課	地域福祉課		現　年	前年度からの繰越
款 03	民生費	当初予算額	79,000円	―
項 01	社会福祉費	最終予算額	79,000円	―
目 01	社会福祉総務費	決　算　額	5,720円	―
事業の目的	健全な福祉サービスを確保し、もってすべての市民が豊かに生活できる地域福祉の推進に資する。			
事業の概要	社会福祉法人の設立認可・定款変更認可・指導監査・現況報告書等の受付・現況報告書や財務諸表の公開などを行う。			

事業の実績・成果

社会福祉法人の定款変更の認可や現況報告書の受付、指導監査等を行った。

○ 定款変更認可件数　（単位：件）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
定款変更認可件数	10	4	0	4	5

○ 指導監査実施件数　（単位：件）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
児童養護施設	0	1	0	1	0
保育所	2	4	4	2	4
障害者福祉施設	3	0	0	3	0
老人福祉施設	0	2	0	0	3
社会福祉協議会	0	1	0	0	1
計	5	8	4	6	8

事業名	指定介護保険サービス事業所指定・指導監査等事務事業			1164-03
担当課	地域福祉課		現　年	前年度からの繰越
款 03	民生費	当初予算額	43,000円	―
項 01	社会福祉費	最終予算額	43,000円	―
目 01	社会福祉総務費	決　算　額	5,660円	―
事業の目的	適切かつ良好な介護保険サービスを確保し、もって長寿社会を支えるための高齢者支援の推進に資する。			
事業の概要	指定介護保険サービス（地域密着型サービス、介護予防・生活支援サービス、居宅介護支援、介護予防支援）事業所に係る指定、各種届出の受付を行うとともに、指導監査を実施し、運営状況の確認を行う。			

事業の実績・成果

指定介護保険サービス事業所に係る指定、各種届出の受付、指導監査等を行った。

○ 指定、各種届出受理件数　（単位：件）

	新規指定	指定更新	廃止・休止	再開	変更
居宅介護支援事業所	2	1	1	0	49
介護予防支援事業所	2	1	0	0	11
地域密着型サービス事業所	4	6	7	0	41
介護予防･生活支援サービス事業所	6	22	16	0	114
計	14	30	24	0	215

※ 年度内に申請書及び届出書を受理した件数

○ 年度末現在指定事業所数　（単位：件）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
居宅介護支援事業所	27	28	27	29	30
介護予防支援事業所	6	6	6	6	6
地域密着型サービス事業所	42	45	48	41	36
（市内事業所）	(24)	(25)	(27)	(24)	(23)
（市外事業所）	(18)	(20)	(21)	(17)	(13)
介護予防･生活支援サービス事業所	82	84	85	88	78
（市内事業所）	(44)	(46)	(45)	(46)	(43)
（市外事業所）	(38)	(38)	(40)	(42)	(35)
計	157	163	166	164	150

○ 指導監査実施件数　（単位：件）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
居宅介護支援事業所	4	3	4	3	4
介護予防支援事業所	0	0	0	0	3
地域密着型サービス事業所	4	5	4	3	4
介護予防･生活支援サービス事業所	8	0	0	0	0
計	16	8	8	6	11

※ 介護予防・生活支援サービス事業所への指導監査は、従来から県との同行で実施していたが、令和2年度から新型コロナウイルス感染症の予防対策のため県との同行は中止となり、県が単独で指導監査を実施したため実施件数が0となった。

事 業 名	生活困窮者自立相談支援事業				1172-01
担 当 課		生活福祉課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	12,594,000 円	―
項	01	社会福祉費	最終予算額	13,214,000 円	―
目	01	社会福祉総務費	決　算　額	12,907,457 円	―
事業の目的	・生活保護に至る前の段階の生活困窮者に対し、就労、福祉、住まいの確保等、包括的に支援し、自立促進を図る。				
事業の概要	・生活困窮者に対し、面談や訪問を行っているほか、支援プランを作成し、適切なサービスにつなげるなどして自立した生活が送れるよう支援する。				

事業の実績・成果

1　事業の実績

（1）新規面接相談件数

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
新規面接相談件数	416 件	227 件	224 件

（2）相談内容（多い項目）

① 収入・生活費（家計）について
② 仕事探し・就職について
③ 家賃・ローンについて
④ 病気・健康・障害について

（3）面接相談後の支援状況

面接相談後の支援状況内訳	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
支援プランを作成し、支援した件数	11 件	7 件	27 件
支援プランを作成せず短期間で支援した件数	68 件	52 件	52 件
相談面接のみ（助言、他制度へのつなぎ等で終了）	337 件	168 件	145 件

（4）支援終結件数（生活困窮課題が解決した件数）

支援終結件数内訳	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
支援プラン作成後、支援終結した件数	3 件	3 件	13 件
支援プランを作成せず短期間で支援し終結した件数	68 件	52 件	52 件

（5）支援終結理由（多い項目）

支援終結理由内訳	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
他制度の利用提案	43 件	33 件	36 件
就労につながった	20 件	7 件	10 件
生活保護を申請	8 件	15 件	19 件

2　事業の成果

生活保護に至る前の困窮者に対し、就労支援、家計相談、関係機関との調整等など包括的に支援し、課題が複雑化・深刻化する前に自立の促進を図ることができた。

事 業 名	生活困窮者住居確保給付事業			1172-02
担 当 課	生活福祉課		現　年	前年度からの繰越
款　03	民生費	当初予算額	6,570,000 円	―
項　01	社会福祉費	最終予算額	9,367,000 円	―
目　01	社会福祉総務費	決　算　額	5,160,800 円	―
事業の目的	・経済的に困窮し、住居を失った又は失うおそれのある方に対し、住居及び就労機会の確保を目的に家賃相当額を支援する。			
事業の概要	・離職や廃業又は休業等により収入が減少し、住居を失った又は失うおそれのある方に対し、住居確保給付金を原則 3 か月間（一定の条件により 3 か月間の延長及び再延長が可能）支給し、就労支援を実施する。			

事業の実績・成果

1　事業の実績

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
申請件数（件）	4	61	26	20	16
決定件数（件）	4	61	26	20	16
廃止件数（件）	2	37	12	11	11
支給額（円）	816,000	12,229,300	7,553,900	5,151,100	2,363,900

2　令和 4 年度実績に伴う国への返還金
国庫支出金返還金　2,796,900 円

3　事業の成果
就職活動を支えるため家賃相当額を有期で給付し、就労支援や相談支援により、就職につなげることができた。

事 業 名	生活困窮者学習支援事業			1172-03
担 当 課	生活福祉課		現　年	前年度からの繰越
款　03	民生費	当初予算額	5,999,000 円	―
項　01	社会福祉費	最終予算額	5,999,000 円	―
目　01	社会福祉総務費	決　算　額	5,998,300 円	―
事業の目的	・貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、生活保護に至る前の段階の生活困窮者の自立促進を図る。			
事業の概要	・生活保護受給世帯の中学生、高校生全学年及び就学援助受給世帯の中学 3 年生を対象に学習支援等を実施する。 ・定員 24 名。			

事業の実績・成果

1　事業の実績

参加者内訳	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
中　学　生	29 人 中学 1 年生:1 人 中学 2 年生:1 人 中学 3 年生:27 人 生活保護世帯 4 人、就学援助世帯 25 人	18 人 中学 1 年生:1 人 中学 2 年生:0 人 中学 3 年生:17 人 生活保護世帯 2 人、就学援助世帯 16 人	20 人 中学 1 年生:0 人 中学 2 年生:1 人 中学 3 年生:19 人 生活保護世帯 3 人、就学援助世帯 17 人
高　校　生	1 人 高校 3 年生:1 人	0 人	1 人 高校 1 年生:1 人

進　路	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
中学卒業後の進路	高校進学 26 人	高校進学 17 人	高校進学 18 人
高校 3 年生の人数、進路	1 人 就職　1 人	0 人	0 人

2　事業の効果

生活困窮世帯の中学 3 年生に対し、学習支援教室、進路相談、居場所の提供を実施し、進学への興味や将来への自立を促すための事業展開により、高校進学合格率は約 95 パーセントの高水準にあり、「貧困の連鎖」の防止に取り組むことができた。

また、令和元年度から生活保護世帯に限り、中学 1 年生及び 2 年生までに対象を拡大し、早期に支援することによる将来像の確立、自立への取り組みを強化した。

事 業 名		新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業			1172-06
担 当 課		生活福祉課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	0 円	―
項	01	社会福祉費	最終予算額	68,000 円	―
目	01	社会福祉総務費	決　算　額	68,000 円	―
事業の目的		・コロナ禍における生活困窮者の就労自立を支援するため、自立支援金を支給する。			
事業の概要		・総合支援資金の借入額が限度額に達するなどにより、貸付を利用できない世帯に対し、自立支援金を原則 3 か月（一定の条件により 3 か月の再支給が可能）支給し、就労支援を実施する。 （支給額） ・単身世帯　60,000 円 ・2 人世帯　80,000 円 ・3 人以上世帯　100,000 円			
事業の実績・成果					
○令和 4 年度実績に伴う国への返還金 国庫支出金返還金　68,000 円					

事 業 名		住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業			1172-07
担 当 課		生活福祉課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	0 円	―
項	01	社会福祉費	最終予算額	10,221,000 円	―
目	01	社会福祉総務費	決　算　額	10,220,050 円	―
事業の目的		・新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、様々な困難に直面した方々が速やかに生活・暮らしの支援を受けられるよう、住民税非課税世帯（プッシュ型）及び家計急変世帯（申請型）に対して、1 世帯当たり 10 万円の現金を給付する。			
事業の概要		基準日　令和 3 年 12 月 10 日及び 令和 4 年 6 月 1 日 給付額　1 世帯 10 万円 対　象　①令和 3 年度及び 令和 4 年度住民税非課税世帯 ②家計急変世帯 申請期限　令和 4 年 9 月 30 日			
事業の実績・成果					
○令和 4 年度実績に伴う国への返還金 国庫支出金返還金　10,220,050 円					

事業名	住民税非課税世帯等に対する電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業			1172-08
担当課	生活福祉課		現　年	前年度からの繰越
款 03	民生費	当初予算額	0円	—
項 01	社会福祉費	最終予算額	39,619,000円	—
目 01	社会福祉総務費	決　算　額	39,618,324円	—
事業の目的	・電力やガスなどのエネルギー価格の上昇や食料品の値上げが続いている中、特に家計への影響が大きい方の生活や暮らしを支援するために、令和４年度分の住民税非課税世帯（プッシュ型）及び家計急変世帯に対して、１世帯当たり５万円の現金を給付する。			
事業の概要	基準日　令和４年９月30日 給付額　１世帯５万円 対象　①令和４年度住民税非課税世帯 ②家計急変世帯 申請期限　令和５年１月31日			
事業の実績・成果				
○令和４年度実績に伴う国への返還金 国庫支出金返還金　39,618,324円				

事業名	低所得世帯に対する電力・ガス・食料品等価格高騰支援給付金給付事業			1172-09
担当課	生活福祉課		現　年	前年度からの繰越
款 03	民生費	当初予算額	0円	—
項 01	社会福祉費	最終予算額	296,897,000円	—
目 01	社会福祉総務費	決　算　額	288,662,540円	—
事業の目的	・物価高の影響を受けている家計への負担感が大きい低所得世帯の生活を支援するために、令和５年度分の非課税世帯（プッシュ型）及び家計急変世帯に対して、１世帯当たり３万円の現金を給付する。			
事業の概要	基準日　令和５年６月１日 給付額　１世帯３万円 対象　①令和５年度住民税非課税世帯 ②家計急変世帯 申請期限　令和５年10月31日			
事業の実績・成果				
物価高騰に係る対応（生活者支援）を実施した（巻末参照）。				

事 業 名		低所得世帯に対する物価高騰対応支援給付金給付事業			1172-10
担 当 課		生活福祉課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	0 円	―
項	01	社会福祉費	最終予算額	1,207,271,000 円	―
目	01	社会福祉総務費	決　算　額	835,622,377 円	―
事業の目的		・物価高騰の影響を受けている低所得世帯の生活を支援するために、令和 5 年度分の非課税世帯及び均等割のみ課税世帯に対して、現金を給付する。			
事業の概要		基準日　令和 5 年 12 月 1 日 給付額　①非課税世帯（家計急変世帯含む）7 万円/世帯 ②非課税世帯こども加算　5 万円/児童 ③均等割のみ課税世帯　10 万円/世帯 ④均等割のみ課税世帯こども加算　5 万円/児童 申請期限　非課税世帯分（家計急変世帯分含む）　令和 6 年 4 月 30 日 均等割のみ課税世帯分、こども加算分　令和 6 年 5 月 31 日			

事業の実績・成果

物価高騰に係る対応（生活者支援）を実施した（巻末参照）。

【翌年度への繰越事業（繰越明許）】371,648,623 円

事 業 名		中国残留邦人等支援事業			1173-04
担 当 課		生活福祉課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	9,317,000 円	―
項	01	社会福祉費	最終予算額	10,813,000 円	―
目	01	社会福祉総務費	決　算　額	7,028,920 円	―
事業の目的		中国残留邦人等の老後の生活の安定を図る。			
事業の概要		永住帰国した中国残留邦人等で一定の要件を満たす者に対して、安定した生活が送れるよう、生活支援給付、住宅支援給付、医療支援給付等の支援を実施する。 なお、中国残留邦人等の置かれている事情に鑑み、懇切丁寧に実施する。			

事業の実績・成果

○扶助費　5,010,935 円
生活支援給付金　1,765,471 円（ 3/ 4　国庫負担金）
住宅支援給付金　513,600 円（ 3/ 4　国庫負担金）
医療支援給付金　2,217,348 円（ 3/ 4　国庫負担金）
介護支援給付費　124,012 円（ 3/ 4　国庫負担金）
活動支援費　390,504 円（10/10　国庫負担金）

・事業費の推移　（単位：円、世帯）

	管理費	扶助費	精算に伴う返還金	計	歳入対象	対象世帯数
令和元年度	472,420	5,615,944	230,000	6,318,364	4,311,620	2
令和 2 年度	483,719	4,899,226	56,000	5,438,945	3,674,419	2
令和 3 年度	473,510	4,398,705	400,000	5,272,215	3,310,528	2
令和 4 年度	479,423	6,002,519	354,000	6,835,942	4,551,023	2
令和 5 年度	2,017,985	4,745,645	265,290	7,028,920	3,855,827	2

事 業 名		行旅病人及び行旅死亡人取扱事業			1173-05
担 当 課		生活福祉課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	286,000 円	―
項	01	社会福祉費	最終予算額	286,000 円	―
目	01	社会福祉総務費	決　算　額	0 円	―
事業の目的		人権及び人としての尊厳を確保する。			
事業の概要		旅行中に病気等で加須市内で倒れ、入院治療を要する状態に陥ったが療養の方法がなく、かつ、救護者のない者の救護や、旅行中に加須市内で死亡し引取者のない者（身元不明者を含む。）の葬祭等を実施する。			

事業の実績・成果

加須市管内において行旅死亡人の取り扱いが発生した場合、公告等の手続き及び葬祭を執り行うが、令和 5 年度において取り扱いがなかった。

〇行旅病人・行旅死亡人の取扱状況　（単位：件）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
行 旅 病 人	0	0	0	0	0
行旅死亡人	0	2	1	0	0

事 業 名		あけぼの園管理運営事業			1152-07
担 当 課		障がい者福祉課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	9,172,000 円	―
項	01	社会福祉費	最終予算額	9,672,000 円	―
目	02	障害者福祉費	決　算　額	9,623,000 円	―
事業の目的		障がい者の自立及び社会参加の促進を図る。			
事業の概要		在宅障がい者に対し通所により生産活動等の機会を提供するとともに、就労指導、生活指導等を行い自立および社会参加を促すため、あけぼの園の管理運営を行う。 ・指定管理者 加須市社会福祉協議会 ・指定管理期間 令和 4～8 年度			

事業の実績・成果

・ あけぼの園の適正かつ効率的な運営のため、指定管理者として加須市社会福祉協議会に管理運営を委託（令和 4 年度～令和 8 年度）するとともに、入所を希望する障がい者について、入所の要否の判定のため委員会を開催した。

また、施設修繕として、屋根防水改修工事を行った他、樹木の伐採（運搬、処分を含む）を委託して行った。

・令和 6 年 3 月現在の入所者数 45 名（生活介護 22 名、就労継続支援Ｂ型 23 名）
・あけぼの園への入所を希望する障がい者について、入所の要否の判定のため委員会を開催した開催回数 3 回
・あけぼの園指定管理委託料　7,500,000 円
・施設修繕（屋根防水改修工事）　1,628,000 円
・樹木伐採（運搬、処分を含む）　495,000 円

事 業 名	障害（児）者生活サポート事業			1152-11
担 当 課	障がい者福祉課		現　年	前年度からの繰越
款　03	民生費	当初予算額	24,030,000 円	―
項　01	社会福祉費	最終予算額	24,030,000 円	―
目　02	障害者福祉費	決　算　額	19,446,100 円	―
事業の目的	障がい（児）者の日常生活への支援及び介護者の負担軽減を図る。			
事業の概要	障がい者およびその家族の介護依頼に対してサービスを提供する民間サービス団体の運営に要する経費を補助する。 ・1 時間当り利用者負担額　平成 28 年度まで 500 円、平成 29 年度 650 円、平成 30 年度 850 円、令和元年度以降 950 円（障がい児は生計中心者の所得税額により減免あり） ・民間サービス団体への運営経費補助　1 時間当り 2,850 円と自己負担額の差額			

事業の実績・成果

・障がい（児）者やその家族の多様化するニーズに応えるため、身近な場所で迅速・柔軟なサービスを提供する民間団体に運営費を補助し、福祉の向上及び介護者の負担軽減を図った。
・サービス内容は、一時預かり、送迎サービス、外出援助、派遣による介護サービス等。

利用状況の推移

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
登録者数（人）	963	1,000	944	956	962
利用者数（人）	417	359	372	402	339
利用件数（件）	12,629	10,221	11,791	11,361	10,924
利用時間数（時間）	11,678	8,396	10,145	10,746	9,752
運営補助額（千円）	23,628	18,974	20,460	21,524	19,417

事 業 名	心身障害者生活ホーム事業			1152-12
担 当 課	障がい者福祉課		現　年	前年度からの繰越
款　03	民生費	当初予算額	898,000 円	―
項　01	社会福祉費	最終予算額	901,000 円	―
目　02	障害者福祉費	決　算　額	900,360 円	―
事業の目的	心身障がい者に生活ホームを利用させることで社会的自立の助長を図る。			
事業の概要	市内に住所を有し、自立した生活を望みながらも家庭環境または住宅事情等の理由により、社会的自立が阻害されている身体障がい者または知的障がい者に対して、住宅を提供するとともに、夜間を中心に生活面の指導・援助を行う。 ・施設には、運営費を補助する。 ・運営費補助単価…日額 2,460 円			

事業の実績・成果

・心身障がい者が自立した生活をするための生活ホームの運営費等を補助し、心身障がい者の社会的自立の助長を図った。

事業運営費補助額 1 人 1 日 2,460 円

（単位：人、円）

施設名	利用者実人数	月当たり延利用者数	事業運営費補助
生活ホーム小川（市外）	1	12	900,360

事業運営費補助額の推移

（単位：円）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
補助額	929,640	901,550	01,550	897,900	900,360

事業名	重度心身障害者医療費支給事業			1152-18
担当課	障がい者福祉課		現　年	前年度からの繰越
款 03	民生費	当初予算額	208,025,000 円	220,000 円
項 01	社会福祉費	最終予算額	208,025,000 円	220,000 円
目 02	障害者福祉費	決　算　額	199,370,099 円	220,000 円
事業の目的	重度心身障がい者（児）やその家庭の経済的負担を軽減し、重度心身障がい者（児）の福祉の増進を図る。			
事業の概要	対象者から請求される医療保険制度の一部負担金および入院食事療養費標準負担額（18歳年度末まで）を助成する。 ○受給資格　身体障害者手帳1～3級、療育手帳マルA・A・B、精神障害者手帳1級、後期高齢者医療制度の障害認定者（65歳以上で新たに該当障害になった場合は、平成27年1月から対象外）			

事業の実績・成果

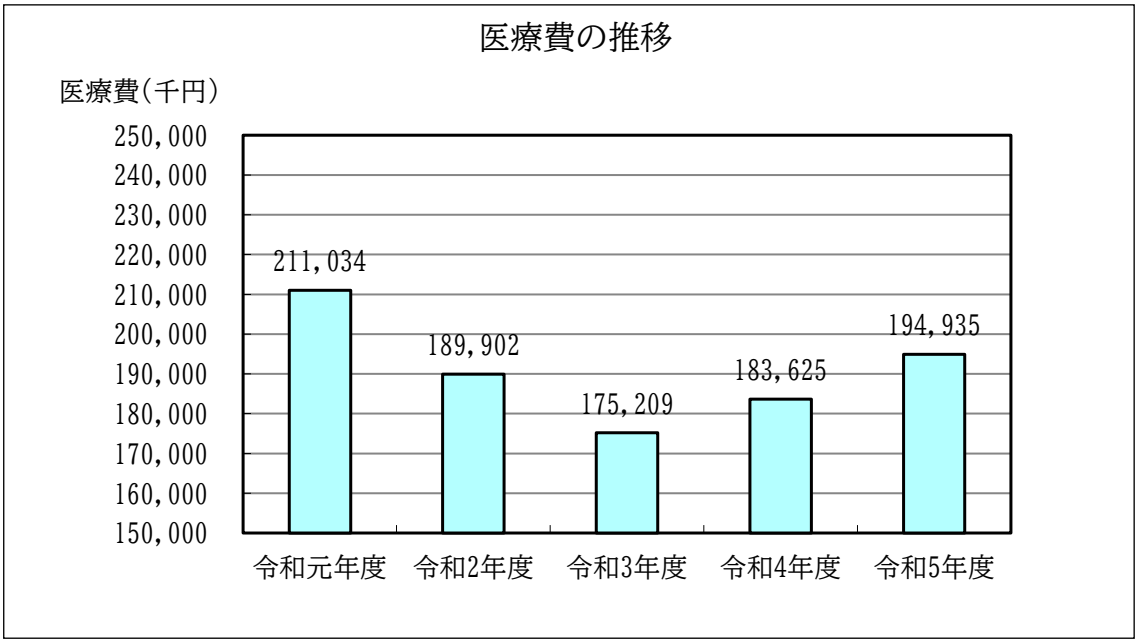
・重度心身障がい者（児）に医療費一部負担金等を助成することにより、重度心身障がい者（児）の保健の向上に寄与し、福祉の増進を図った。

また、令和5年7月から入院食事療養費標準負担額の助成対象を15歳年度までから18歳年度末までに拡大した。

令和6年3月現在の受給者数　2,218人

医療費の推移　（単位：円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
医療費	211,034,125	189,901,923	175,209,325	183,625,056	194,935,246



【前年度からの繰越事業（繰越明許）】　220,000円

・前年度からの繰越事業の内容

令和5年度住民情報システム食事療養費年齢拡大対応委託（220,000円）

・令和4年度から令和5年度へ繰り越した理由

システム改修等の必要な手続に時間を要し、年度内の完了が困難であるため。

事 業 名		在宅障害者おむつ支給事業			1152-19
担 当 課		障がい者福祉課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	4,536,000 円	―
項	01	社会福祉費	最終予算額	4,536,000 円	―
目	02	障害者福祉費	決　算　額	4,141,476 円	―
事業の目的		在宅の重度心身障がい者及び介護者の経済的負担の軽減を図るとともに障がい者への福祉の充実を図る。			
事業の概要		委託業者が対象者宅へ紙おむつを配布。1 ヵ月あたり 6,300 円を限度。 対象は、総合支援法の日常生活用具の紙おむつの対象とならない者で、下肢又は体幹 1～2 級、療育手帳マル A～A の者。（入院中・入所中・介護保険対象者・住民税課税者・新規で 65 歳以上を除く）			

事業の実績・成果

・在宅の重度心身障がい者（児）に対し、紙おむつ等を給付することにより、本人及び介護者の経済的負担の軽減と福祉の増進を図った。

支給対象者　　61 人
延べ支給件数　688 件

事業費の推移　（単位：円）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
支給額	3,608,466	3,725,342	3,959,312	3,893,278	4,141,476

事 業 名	特別障害者手当等支給事業			1152-20
担 当 課	障がい者福祉課		現　年	前年度からの繰越
款　03	民生費	当初予算額	65,610,000 円	―
項　01	社会福祉費	最終予算額	65,610,000 円	―
目　02	障害者福祉費	決　算　額	56,414,560 円	―
事業の目的	重度障がい（児）者の介護者等の経済的・精神的負担の軽減を図る。			
事業の概要	・特別障害者手当 月額 27,980 円…20 歳以上で身体または精神の重度の障害で常時特別の介護を要する者 ・障害児福祉手当 月額 15,220 円…20 歳未満で身体 1 級の一部と 2 級の一部、知的○A相当、精神や血液疾患等で他の障害と同程度の者 ・経過的福祉手当 月額 15,220 円…制度改正前(S61.4)20 歳以上の福祉手当受給者で特障手当、障害年金の非受給者			

事業の実績・成果

・心身に著しく重度の障害があるため、日常生活において常時特別な介護を必要とする者であって施設に入所されていない等の条件を満たす者に対して、手当を支給することにより、介護等の精神的・経済的負担の軽減を図った。なお、支給は 3 ヶ月毎に行った。

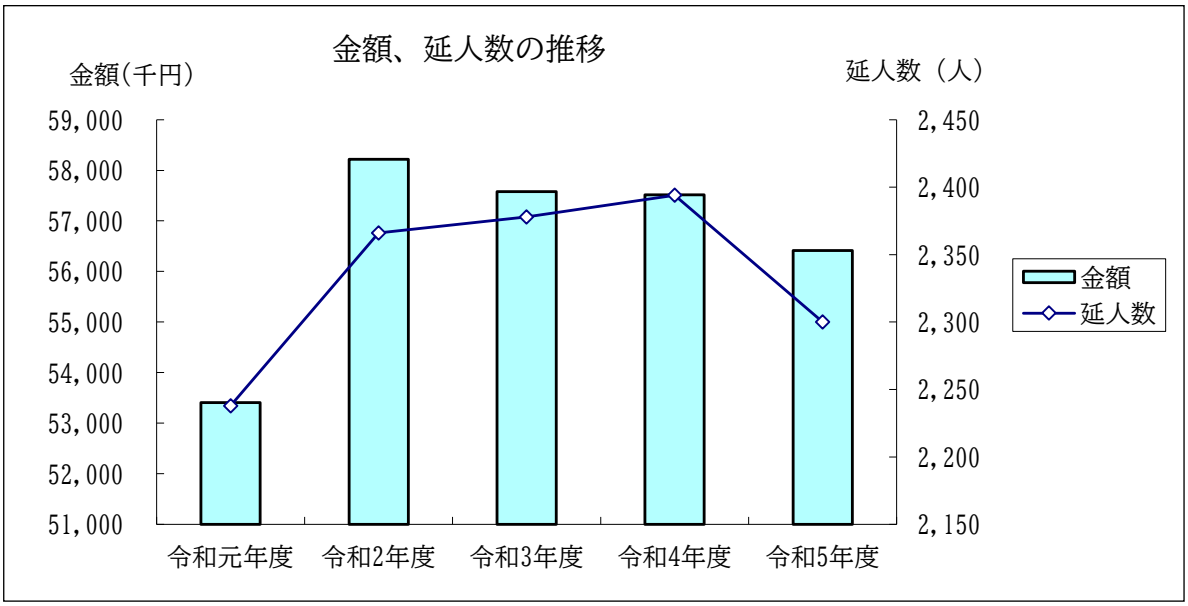
・令和 6 年 3 月 31 日現在受給資格者数 特別障害者手当 150 人、障害児福祉手当 53 人、福祉手当 1 人
　◎所得制限による支給停止者数　特別障害者手当　6 人、障害児福祉手当　3 人、福祉手当 1 人

支払月	5 月期	8 月期	11 月期	2 月期	合計
金額（円）	14,150,260	14,077,800	14,032,140	14,154,360	56,414,560
延人数（人）	587	572	569	572	2,300

※5 月期に 2 月・3 月分の随時払いを含む。(延人数：随時 6 人)
※8 月期に 5 月・6 月分の随時払いを含む。(延人数：随時 8 人)
※11 月期に 8 月・9 月・10 月の随時払いを含む。（延人数：随時 16 人）
※2 月期に 11 月・12 月・1 月･2 月の随時払いを含む。(延人数：随時 8 人)

・金額、延人数の推移

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
金額（円）	53,405,890	58,218,430	57,581,240	57,517,540	56,414,560
延人数（人）	2,238	2,366	2,378	2,394	2,300



事 業 名		在宅重度心身障害者手当支給事業			1152-21
担 当 課		障がい者福祉課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	53,599,000 円	―
項	01	社会福祉費	最終予算額	53,587,000 円	―
目	02	障害者福祉費	決　算　額	50,873,342 円	―
事業の目的		在宅の重度心身障害者の経済的、精神的負担の軽減を図る。			
事業の概要		身障手帳 1、2 級・療育手帳マルA、A所持者・精神手帳 1 級所持者または超重症心身障害児で市町村民税非課税の者（施設入所者、特別障害者手当等受給者、65 歳以上の新規手帳取得者は除く）に対し、手当を支給する。 ・20 歳以上　月額 5,000 円 ・20 歳未満　月額 7,000 円 ※20 歳未満の 2,000 円増額分については、市独自で上乗せしている。			

事業の実績・成果

・加須市在宅重度心身障害者手当支給条例に基づき、在宅重度心身障がい者（児）に在宅重度心身障害者手当を支給することにより、障がい者（児）の経済的、精神的負担の軽減を図った。

年 2 回（9 月、3 月）支給した。
在宅重度心身障害者手当（令和 6 年 3 月支給　20 歳未満　58 人、20 歳以上　762 人）

支払月	9 月期	3 月期	合計
金額（円）	25,337,000	25,310,000	50,647,000
延人数（人）	4,937	4,926	9,863

金額・延人数の推移

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
金額（円）	55,847,000	53,534,000	51,610,000	50,447,000	50,647,000
延人数（人）	11,114	10,398	10,039	9,853	9,863

事 業 名		重度視覚障害者介助手当支給事業			1152-22
担 当 課		障がい者福祉課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	960,000 円	―
項	01	社会福祉費	最終予算額	972,000 円	―
目	02	障害者福祉費	決　算　額	972,000 円	―
事業の目的		介助者に対し経済的負担や精神的負担の軽減を図る。			
事業の概要		身体障害者手帳 1 級～2 級の在宅の視覚障がい者と同居し生活を共にしている介助者に、年額 12,000 円を支給する。			

事業の実績・成果

・在宅の重度視覚障がい者の日常生活における介助者に対し、介助手当を支給することにより、経済的負担の軽減を図った。

支給額　年額　12,000 円

支給額、支給者数の推移

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
支給額（円）	852,000	924,000	936,000	1,020,000	972,000
支給者数（人）	71	77	78	85	81

事 業 名		在宅重症心身障がい児の家族に対するレスパイトケア事業			1153-02
担 当 課		障がい者福祉課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	1,680,000 円	―
項	01	社会福祉費	最終予算額	1,680,000 円	―
目	02	障害者福祉費	決　算　額	890,000 円	―
事業の目的		医療的ケアを必要とする在宅の重症心身障がい児を介助する家族の精神的、身体的負担の軽減を図る。			
事業の概要		短期入所事業や日中一時支援事業で対象障がい児を受け入れる事業者に対し、予算の範囲内において助成金を交付する。 ・短期入所事業：超重症心身障がい児 1 人につき 1 日当たり　20,000 円、重症心身障がい児 1 人につき 1 日当たり　10,000 円 ・日中一時支援事業：重症心身障害児 1 人につき 1 日当たり　20,000 円			

事業の実績・成果

・医療的ケアを必要とする在宅重症心身障がい児を介助する家族の精神的、身体的負担を軽減するために、短期入所事業や日中一時支援事業で対象児を受けいれた事業所に対して助成金を交付。
　令和元年度から超重症心身障がい児から、重症心身障がい児へ対象が拡大された。

【利用延べ人数】　（単位：人）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
短期入所事業	198	191	165	124	89
日中一時支援事業	0	0	0	0	0

事 業 名		身体障がい者等はり・きゅう・マッサージ券給付事業			1154-02
担 当 課		障がい者福祉課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	114,000 円	―
項	01	社会福祉費	最終予算額	114,000 円	―
目	02	障害者福祉費	決　算　額	54,000 円	―
事業の目的		身体障害者等の機能低下予防を図るとともに、視覚障害者の就業及び経済的自立を推進する。			
事業の概要		保険適用外のはり、きゅう、マッサージ、あん摩、指圧の施術費の一部を助成券で支給する。 ・身体障害者手帳の所持者で肢体障害 1 級～6 級該当者 ・介護認定者で要支援 1 以上の方 ※入院中や施設入所中の方は対象外			

事業の実績・成果

・身体障害者等の機能低下予防と、視覚障害者の就業支援・経済的自立支援のため、はり、きゅう、マッサージ、あん摩、指圧の施術費の一部を助成券で支給した。

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
申請者数（人）	20	44	60	71	74
交付枚数（枚）	30	74	113	135	145
利用枚数（枚）	10	19	23	32	27

※令和元年度事業開始

事 業 名		障害者福祉団体支援事業			1155-02
担 当 課		障がい者福祉課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	601,000 円	―
項	01	社会福祉費	最終予算額	601,000 円	―
目	02	障害者福祉費	決　算　額	415,000 円	―
事業の目的		各障害者福祉団体の助成を図り、社会福祉活動の推進、福祉の増進を図る。			
事業の概要		各障害者福祉団体活動推進のために活動費を助成する。 【助成団体】 加須市身体障害者福祉会、埼玉県視覚障害者福祉協会加須支部、加須手をつなぐ親の会、加須市聴覚障害者協会			

事業の実績・成果

・障害者福祉関係団体の活動の推進、福祉の増進を図るため、関係団体へ活動費の補助を行った。

補助金額の推移　（単位：千円）

団体名	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
加須市身体障害者福祉会	280	280	280	280	280
大利根身体障害者福祉会	186	67	186	77	―
埼玉県視覚障害者福祉協会加須支部	40	0	0	0	40
加須手をつなぐ親の会	55	55	55	55	55
加須市聴覚障害者協会	40	40	40	40	40
合　　計	601	442	561	452	415

※埼玉県視覚障害者福祉協会加須支部は、令和 2 年度から令和 4 年度まで新型コロナによる活動自粛のため補助金申請なし

※大利根身体障害者福祉会は令和 4 年度末に解散

（単位：円）

団体名	助成金額	会員数・実施事業
加須市身体障害者福祉会	280,000	会員 117 人、通常総会、役員会、グラウンド・ゴルフ大会、県外研修
埼玉県視覚障害者福祉協会加須支部	40,000	会員 6 人、定期総会・懇親会の開催、研修旅行への参加、視覚障害者交流大会への参加、視覚障害者のスポーツ振興事業への参加
加須手をつなぐ親の会	55,000	会員 13 人、定例会の開催、研修会への参加
加須市聴覚障害者協会	40,000	会員 22 人、各種手話講座へ講師派遣、手話奉仕員要請講習会への講師派遣、上映会、役員会

事 業 名		重度身体障害者居宅改善整備事業			1156-01
担 当 課		障がい者福祉課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	360,000 円	―
項	01	社会福祉費	最終予算額	360,000 円	―
目	02	障害者福祉費	決　算　額	240,000 円	―
事業の目的		重度身体障がい者の居宅の一部を障害に応じて使いやすく改造することで、重度身体障がい者の日常生活における利便を図る。			
事業の概要		重度の身体障がい者が日常生活において直接利用する浴室、洗面所、庭など屋内外の改造整備費に対して補助金を交付する。 ・一般世帯限度額…24 万円 ・生活保護世帯限度額…36 万円			

事業の実績・成果

・重度身体障がい者の家庭内での自立を促進するため、申請に基づき、居宅改善整備費を助成する。

申請件数　1 件
補助金額　240,000 円

重度身体障害者居宅改善整備事業利用状況の推移

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
利用者数（人）	0	0	0	0	1
補助金額（円）	0	0	0	0	240,000

事 業 名		障がい者福祉管理事業			1156-02
担 当 課		障がい者福祉課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	2,267,000 円	―
項	01	社会福祉費	最終予算額	2,536,000 円	―
目	02	障害者福祉費	決　算　額	2,236,624 円	―
事業の目的		障害福祉関連事業を実施するにあたり、共通する管理費をまとめることで各事業を円滑に実施する。			
事業の概要		障がい者福祉に係る情報を適切に処理し、各事業の円滑かつ効果的な実施を図る。 障がい者福祉課及び総合支所福祉健康担当（障害福祉担当）の経常的な管理費を支出する。			

事業の実績・成果

・障害福祉関連事業を円滑に実施するための、各総合支所福祉健康担当も含め諸費用について支出した。

物価高騰に係る対応（事業者支援）を実施した（巻末参照）。

事 業 名		障害者計画及び障害福祉計画策定事業			1151-01
担 当 課		障がい者福祉課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	1,909,000 円	―
項	01	社会福祉費	最終予算額	1,909,000 円	―
目	03	自立支援給付費	決　算　額	1,440,500 円	―
事業の目的		お互いに尊重し合い自分らしく輝けるまちを目指す。			
事業の概要		障害者計画は、各種障害者福祉施策の方向性を定める。障害福祉計画は、各種障害福祉サービス及び地域生活支援事業の数値目標を定める。障害児福祉計画は、障害児支援に係る提供体制の推進を定める。			

事業の実績・成果

・計画期間を令和 6 年度から令和 8 年度までの 3 か年とする「加須市障害者計画及び障害福祉計画（第 7 期）加須市障害児福祉計画（第 3 期）」を策定した。
・計画策定業務委託料　3,360,500 円のうち、2 年目の業務分（計画書作成分）1,416,500 円を支出した。

〇障がい者施策推進懇話会
・学識経験者、障がい者団体関係者、社会福祉団体関係者等からなる「加須市障がい者施策推進懇話会」を 2 回開催し、計画策定にあたり実施するアンケート調査の内容や数値目標を定めた計画案について協議を行った。
　・開催日　第 1 回：令和 5 年 8 月 9 日、第 2 回：令和 5 年 12 月 20 日
　・出席者　第 1 回：12 名（うち報奨金対象者 9 名）、第 2 回：11 名（うち報奨金対象者 8 名）
　・懇話会委員謝金　第 1 回：27,000 円、第 2 回：24,000 円
　　※第 1 回の謝金は、障害者計画及び障害者福祉計画進行管理事業で支出。

事 業 名		障害者計画及び障害福祉計画進行管理事業			1151-02
担 当 課		障がい者福祉課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	96,000 円	―
項	01	社会福祉費	最終予算額	96,000 円	―
目	03	自立支援給付費	決　算　額	27,000 円	―
事業の目的		お互いに尊重し合い自分らしく輝けるまちを目指す。			
事業の概要		障がい者施策推進懇話会にて、計画の進行管理を行う。			

事業の実績・成果

・障がい者施策推進懇話会にて障害者計画及び障害福祉計画（第6期）障害児福祉計画（第2期）（令和3年度～令和5年度）の進捗状況について説明・報告した。
　令和5年8月9日開催、出席者　12名（うち報奨金対象者9名）
　　懇話会委員謝金　27,000 円

事 業 名		障がい者訪問サービス事業			1152-02
担 当 課		障がい者福祉課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	267,281,000 円	―
項	01	社会福祉費	最終予算額	282,364,000 円	―
目	03	自立支援給付費	決　算　額	261,729,133 円	―
事業の目的		障がい者（児）が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障がい者訪問サービスに係る給付その他の支援を行い、もって障がい者（児）の福祉の増進を図る。			
事業の概要		・障害者総合支援法に基づく「居宅介護」、「重度訪問介護」、「同行援護」「行動援護」及び「重度障害者等包括支援」の障害支援区分に応じたサービスの提供を行う。			

事業の実績・成果

・障害施策を 3 障害（身体・知的・精神）一元化し、障がい者が居宅において自立した日常生活または社会生活を営めるよう、その者の状況や置かれている環境に応じて必要なサービスを支援した。

1　介護給付費　　246,636,732 円

区　　分	延件数（件）	金額（円）
居宅介護	1,308	131,923,503
重度訪問介護	30	29,156,857
行動援護	970	83,976,354
同行援護	23	1,580,018

2　国返還金　　9,869,563 円

3　県返還金　　5,222,838 円

事 業 名		障がい者日中活動サービス事業			1152-03
担 当 課		障がい者福祉課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	1,398,243,000 円	―
項	01	社会福祉費	最終予算額	1,451,005,000 円	―
目	03	自立支援給付費	決　算　額	1,435,691,371 円	―
事業の目的		障がい者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障がい者日中活動系サービスに係る給付その他の支援を行い、もって障がい者の福祉の増進を図る。			
事業の概要		障害者総合支援法に基づく、「生活介護」、「自立訓練（機能訓練・生活訓練）」、「宿泊型自立訓練」、「就労移行支援」、「就労継続支援（A型・B型）」、「就労定着支援」、「療養介護」及び「短期入所（福祉型・医療型）」の障害支援区分に応じたサービスの提供を行う。			

事業の実績・成果

・障がい者（身体・知的・精神）が日中活動できる場を提供し、創作活動・生産活動の機会の提供及び就労に必要な知識・能力の向上等の必要な支援を行った。

1　介護給付費・訓練等給付費　　1,427,172,982 円

区　　分		延件数（件）	金額（円）
介護給付費		3,840	951,010,089
	療養介護	114	32,200,020
	生活介護	3,404	877,936,308
	短期入所	322	40,873,761
訓練等給付費		3,558	476,162,893
	宿泊型自立訓練	12	4,525,100
	自立生活援助	0	0
	自立訓練（機能訓練）	1	18,835
	自立訓練（生活訓練）	112	17,243,154
	就労移行支援	374	74,023,207
	就労継続支援A型	352	60,577,674
	就労継続支援B型	2,618	317,077,832
	就労定着支援	89	2,697,091

2　療養介護医療費　　8,518,389 円（115 件）

事 業 名		障がい者居住サービス事業			1152-04
担 当 課		障がい者福祉課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	671,874,000 円	―
項	01	社会福祉費	最終予算額	754,599,000 円	―
目	03	自立支援給付費	決　算　額	750,367,853 円	―
事業の目的		障がい者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービスに係る給付その他の支援を行い、もって障がい者の福祉の増進を図る。			
事業の概要		施設に入所する障がい者や共同生活を営むのに支障のない障がい者につき、主として夜間において共同生活を営むべき住居において相談、入浴、排せつまたは食事の介護その他の日常生活上の援助を行う。			

事業の実績・成果

・主として夜間に障害者支援施設及び共同生活援助（グループホーム）において入浴や食事等の日常生活上の支援を行った。

1　補助金

・共同生活援助等事業費補助金　0 円

共同生活援助（グループホーム）への運営費に対し、補助金を交付することにより福祉の向上を図るものであるが、申請・該当がなかった。

2　介護給付費・訓練等給付費　　750,367,853 円

区　　分	延件数（件）	金額（円）
介護給付費	1,355	206,801,130
施設入所支援	1,355	206,801,130
訓練等給付費	2,441	543,566,723
共同生活援助	2,441	543,566,723

事業名	障がい者相談管理事業			1152-05
担当課	障がい者福祉課		現　年	前年度からの繰越
款 03	民生費	当初予算額	35,969,000円	―
項 01	社会福祉費	最終予算額	40,296,000円	―
目 03	自立支援給付費	決　算　額	38,819,878円	―
事業の目的	障がい者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障害福祉サービス等に係る相談支援や給付費等の適正な管理を行い、もって障がい者及び障がい児の福祉の増進を図る。			
事業の概要	障害者総合支援法に基づく「計画相談支援」、「地域移行支援・地域定着支援」のサービスの提供を行う。また、障害福祉サービス等に係る審査支払を行う。			

事業の実績・成果

・障害福祉サービスを受給する際に、心身の状況、環境、サービス利用の意向等から利用するサービス種類と内容を勘案した計画相談を実施し、計画内容が適切かを確認するモニタリングを行い実態に沿ったサービスの支給を行った。
・事業所からの障害福祉サービスの請求内容及び療養介護医療費の審査を埼玉県国保連合会へ委託し、適正な支払い事務を行った。
・同一世帯に障害福祉サービス等の利用者が複数いる場合等については、世帯の負担を軽減する観点から償還払い方式により対象となる世帯の利用者負担の軽減を行った。

1　審査支払手数料　　2,453,815円

区　　分	件数（件）	金額（円）
障害福祉サービス等	13,881	1,665,720
障害児給付費等	6,517	782,040
療養介護医療費		6,055

2　計画相談支援給付費　　1,788件　　26,740,601円

3　高額福祉サービス費　　51件　　421,014円

事業名	補装具費支給事業				1152-13
担当課	障がい者福祉課			現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	20,418,000円	―
項	01	社会福祉費	最終予算額	20,418,000円	―
目	03	自立支援給付費	決　算　額	19,609,048円	―
事業の目的	身体障がい（児）者の失われた身体機能を補完又は代替する用具を支給することで、身体障がい（児）者の社会生活や日常生活の能率向上を図る。				
事業の概要	身体障がい者（児）や難病患者が補装具を購入・修理する、または貸与を受ける際の費用を助成する。自己負担は基準額の1割、月額上限37,200円、市民税非課税世帯は自己負担なし。 身体障害者手帳非対象の18歳未満の軽中度難聴児の補聴器購入の自己負担は基準額の3分の1。				

事業の実績・成果

・身体障がい者(児)や難病患者に対し、補装具の購入・修理費等を助成し、家庭内及び社会復帰の促進を図った（自己負担額は、基準額の原則1割。対象者・基準額・耐用年数等の基準がある)。

補装具別内訳

	購入		修理	
	決定件数（件）	助成金額（円）	決定件数（件）	助成金額（円）
義肢	3	2,380,851	4	488,666
装具	50	2,913,625	3	34,461
座位保持装置	7	5,357,366	6	352,768
視覚障害者安全つえ	9	40,091	0	0
義眼・眼鏡	7	279,715	0	0
補聴器・人工内耳	35	2,706,693	25	332,570
車椅子	7	1,974,268	13	1,104,877
電動車椅子	0	0	5	574,280
その他	5	552,257	2	3,960
合計	123	16,204,866	58	2,891,582

補装具費支給費（扶助費）の推移　（単位:円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
扶助費	18,959,450	11,886,124	14,583,939	19,909,123	19,096,448

・18歳未満の軽度・中等度の難聴児に対し、言語習得・教育等における健全な発達支援を目的に補聴器等の購入・修理費を助成（助成額は基準額の3分の2。基準額・耐用年数等の基準がある)。

難聴児補聴器購入助成費の推移　（単位:円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
件数	2	4	2	4	6
助成費	221,000	296,000	148,000	864,000	506,000

事業名	北埼玉地区障害支援区分審査会共同設置事業			1152-16
担当課	障がい者福祉課		現　年	前年度からの繰越
款 03	民生費	当初予算額	1,921,000円	―
項 01	社会福祉費	最終予算額	1,921,000円	―
目 03	自立支援給付費	決　算　額	1,559,800円	―
事業の目的	障がい者の支援の度合いに応じたサービスが利用できるように審査会を経ることで基準の透明化・明確化を図る。			
事業の概要	・介護給付を新規申請する者等の障害支援区分の審査を行う。 ・審査会は共同設置（行田市・加須市・羽生市）とする。 ・加須市が事務局である。 ・審査会委員は合計15人。			

事業の実績・成果

・障害者総合支援法第15条の規定により審査会の設置が義務付けられたが、北埼玉地区3市で北埼玉地区障害支援区分審査会を共同設置し審査を行うことにより、単独で設置するよりも経費の削減が図れるとともに、公平性も保つことができている。

・事務局　　加須市
・審査会開催回数　24回
・審査件数　　558件（うち加須市分261件）

・各市負担金割合
負担金は、人口割、身障・療育・精神手帳所持者割、判定者数割の合計で算出した。

（単位：円）

市　名	負担金額
行田市	489,387
加須市	714,389
羽生市	356,024
合　計	1,559,800

・審査会開催回数・件数、事業額の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
審査会開催回数（回）	24	24	26	24	24
審査件数（件）	479	454	617	542	558
事業額（円）	1,589,360	1,533,920	1,755,400	1,502,000	1,559,800

事 業 名		自立支援医療費支給事業			1152-17
担 当 課		障がい者福祉課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	140,128,000 円	―
項	01	社会福祉費	最終予算額	158,447,000 円	―
目	03	自立支援給付費	決　算　額	142,422,846 円	―
事業の目的		身体上の障害を軽減したり、機能を回復することができるような医療にかかる医療費を助成することで、身体障がい者（児）の社会生活や日常生活の能率向上を図る。			
事業の概要		日常生活能力や機能を回復・改善するための医療を受ける際の費用を一部助成する。自己負担は医療費の1割、所得により自己負担上限額あり。18歳以上の身体障害者手帳所持者を対象とする更生医療、18歳未満の身体に障害のある児童を対象とする育成医療に分類。			

事業の実績・成果

・身体障がい者(児)に対し、必要な医療費を助成し、職業その他日常生活の能率向上及び自立した社会復帰の促進を図った。

（支給認定件数）更生医療　157件（レセプト数　1,719件）
育成医療　46件（レセプト数　108件）

事業費の推移　（単位：円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
更生医療	132,152,771	125,495,785	119,259,588	111,362,049	121,506,879
育成医療	2,856,005	1,787,597	3,342,302	2,382,124	2,502,721
合　　計	135,008,776	127,283,382	122,601,890	113,744,173	124,009,600

・国返還金　12,404,028円
県返還金　5,913,957円

事 業 名		障がい児発達支援事業			1153-01
担 当 課		障がい者福祉課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	527,199,000 円	―
項	01	社会福祉費	最終予算額	589,353,000 円	―
目	03	自立支援給付費	決　算　額	567,587,831 円	―
事業の目的		障がい児が日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要なサービスに係る給付、その他の支援を行い、障がい児の福祉の増進を図る。			
事業の概要		障がい児が必要とするサービスをサービス提供事業者から受けた場合に利用負担を除くサービス費用を給付する。			

事業の実績・成果

・障がい児（18 歳未満）に対し、必要なサービスの実態を把握するための障害児相談支援を行い、現状に合わせたサービスを提供し生活能力向上のための訓練や社会との交流促進の支援を行った。

1　障害児通所給付費　　550,389,019 円

区　　分	延件数（件）	金額（円）
児童発達支援	1,665	179,388,859
放課後等デイサービス	3,877	368,171,507
保育所等訪問支援	22	624,518
里親委託児童に係る障害児通所給付措置	12	2,204,135

2　障害児相談支援給付費　　16,754,429 円

区　　分	延件数（件）	金額（円）
障害児相談支援	966	16,754,429

3　高額福祉サービス費等　　444,383 円

区　　分	件数（件）	金額（円）
障害児通所給付費等	51	444,383

事 業 名		障がい者理解促進事業			1151-03
担 当 課		障がい者福祉課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	2,738,000 円	―
項	01	社会福祉費	最終予算額	2,738,000 円	―
目	04	地域生活支援費	決　算　額	2,664,200 円	―
事業の目的		障害の有無にかかわらず、お互いを尊重し合う機運の醸成を図る。			
事業の概要		障がい者や障害の特性への理解を深めるために、鳥取県等が推進する「あいサポート運動」を中心に研修会開催、優先駐車場の整備を行う。			

事業の実績・成果

・障がい者への理解を深めるためあいサポート運動を推進し、市新規採用職員や市民等を対象にあいサポーター研修を実施した。講師謝金 3,000 円×6 人＝18,000 円
　市新規採用職員向け：令和 5 年 4 月 5 日
　市民向け：令和 5 年 7 月 12 日、9 月 13 日、11 月 15 日
・あいサポート企業認定を 3 事業所に行い、各事業所から「あいサポート」の普及啓発を行っている。

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
サポーター数（人）	31	160	248
企業認定数（事業所）	0	0	3

・公共施設駐車場に障がい者等優先駐車の路面標示及び適正利用のための啓発看板を設置した。
　［青色路面標示］　6 施設　12 区画　［看板］　3 基　　2,643,300 円

事 業 名	障がい者成年後見制度利用支援事業			1151-05
担 当 課	障がい者福祉課		現　年	前年度からの繰越
款　03	民生費	当初予算額	908,000 円	―
項　01	社会福祉費	最終予算額	908,000 円	―
目　04	地域生活支援費	決　算　額	244,000 円	―
事業の目的	知的障がい者や精神障がい者本人の財産管理、悪徳商法からの被害等を防止する。			
事業の概要	身寄りがなく、申立てをする人がいない知的障がい者、精神障がい者の方の保護を図るため、市長が法定後見（後見・保佐・補助）の開始で審判の申立てを行う。65 歳以上は高齢者福祉課で対応。報酬助成額は月額 28,000 円（施設に入所等をしている場合には月額 18,000 円）。			

事業の実績・成果

・令和 5 年度は市長申立ての利用はなかった。

市長申立て件数　0 件
成年後見人への報酬助成件数　1 件　244,000 円

・事業実施　（単位：件）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
申立て件数	0	0	0	0	0

事 業 名	訪問入浴サービス事業			1152-06
担 当 課	障がい者福祉課		現　年	前年度からの繰越
款　03	民生費	当初予算額	7,450,000 円	―
項　01	社会福祉費	最終予算額	7,450,000 円	―
目　04	地域生活支援費	決　算　額	4,000,000 円	―
事業の目的	身体障がい者に対し、訪問により居宅において入浴サービスを提供することで、重度身体障がい者の身体の清潔の保持、心身機能の維持等を図る。			
事業の概要	身体障がい者の居宅を訪問し、浴槽を自宅に持ち込んで行われる入浴の介護。 ・対象者 介護保険による訪問入浴を受けることができない在宅の身体障害者。 原則、月 2 回を限度とするが、ガイドライン（事務処理要領）により月 3 回以上利用の例外もある。 利用者負担なし。			

事業の実績・成果

・障害者総合支援法に基づき、入浴が困難な在宅の身体障がい者（児）に対し、居宅訪問による入浴サービスを提供する事業を実施することにより、身体の清潔保持及び心身機能の維持を図り、地域における身体障がい者（児）の生活を支援した。

事業費等の推移

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
利用者数（人）	7	6	7	6	6
委託料（円）	5,288,750	5,233,750	5,450,000	4,600,000	4,000,000

事 業 名		日中一時支援事業			1152-08
担 当 課		障がい者福祉課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	1,100,000 円	―
項	01	社会福祉費	最終予算額	1,100,000 円	―
目	04	地域生活支援費	決　算　額	93,932 円	―
事業の目的		障がい者等を日常的に介護している家族の一時的な休息を図ることにより、障がい者等の家族を含めた福祉の増進を図る。			
事業の概要		障がい者等からの申請に基づき、心身等の状態が支給対象であるか、その要否を決定する。 障がい者等（利用者）は、この決定に基づき、市と委託契約を締結している事業所を選択し、希望事業所がサービスの提供を行う。 対象者は身体・知的・精神手帳所持者。			

事業の実績・成果

・障がい者等を日常的に介護している家族の一時的な休息を図り、障がい者等の家族を含めた福祉の増進を図った。

登録事業所数　31 事業所
登録者数　　34 人
利用者数　　5 人

事業費等の推移

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
事業費（円）	928,220	53,240	17,496	69,984	93,932
延べ利用回数（回）	237	16	2	9	25
延べ利用時間（時間）	1,541	84	9	37	108

事業名	地域活動支援センター事業			1152-09
担当課	障がい者福祉課		現　年	前年度からの繰越
款 03	民生費	当初予算額	11,689,000円	―
項 01	社会福祉費	最終予算額	11,689,000円	―
目 04	地域生活支援費	決　算　額	8,309,000円	―
事業の目的	障がい者等の地域生活支援の促進を図る。			
事業の概要	地域で通所により必要な作業訓練や、社会適応訓練の場を提供する地域活動支援センターの活動を支援する。 対象者は身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者。			

事業の実績・成果

・障がい者の社会復帰の促進を図るため、地域で通所により必要な作業訓練や、社会適応訓練の場を提供する地域活動支援センター等に運営費等を補助した。

このことにより、利用者が地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、活動の機会の提供及び社会との交流の促進を図ることができた。

・補助金　NPO法人地域活動支援センターこすもす　8,000,000円
・委託料　地域活動支援センターふれあい（古河市）　309,000円

こすもす

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者総数（人）	29	22	25	29	29
市内利用者数（人）	17	11	14	17	16
補助金（円）	8,000,000	8,000,000	8,000,000	8,000,000	8,000,000

ふれあい

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
市内利用者数（人）	5	5	3	2	1
委託料（円）	1,452,900	1,216,650	742,650	330,400	309,000

みどりの家

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
市内利用者数（人）		1	0	0	0
委託料（円）		29,600	0	0	0

事 業 名		移動支援事業			1152-10
担 当 課		障がい者福祉課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	31,000,000 円	―
項	01	社会福祉費	最終予算額	31,000,000 円	―
目	04	地域生活支援費	決　算　額	19,872,142 円	―
事業の目的		障がい者等の地域での自立生活及び社会参加を促すとともに、福祉の増進を図る。			
事業の概要		障がい者等からの申請に基づき、支給対象であるか、その要否を決定する。 障がい者等（利用者）は、この決定に基づき、市と委託契約を締結している事業所を選択しサービスの提供を受ける。 対象となる外出は、社会生活上必要不可欠な外出および余暇活動等社会参加のための外出に限る。 対象者は身体・知的・精神手帳所持者および難病患者。			

事業の実績・成果

・屋外での移動が困難な障がい者等に対して、外出時に付添支援を行い、地域での自立生活及び社会生活の促進を図った。

登録事業所数　43 事業所
登録者数　151 人
利用者数　74 人

事業費等の推移

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
事業費（円）	27,418,439	22,912,009	21,752,318	21,823,341	19,872,142
延べ利用回数（回）	3,619	3,138	2,994	3,075	2,700
延べ利用時間（時間）	10,587	8,384	8,005	8,055	8,194

事 業 名	障害（児）者日常生活用具給付等事業			1152-14
担 当 課	障がい者福祉課		現　年	前年度からの繰越
款　03	民生費	当初予算額	23,991,000 円	―
項　01	社会福祉費	最終予算額	23,991,000 円	―
目　04	地域生活支援費	決　算　額	22,030,230 円	―
事業の目的	障がい（児）者等に対して職業その他日常生活の能率向上を図る。			
事業の概要	在宅障がい（児）者、難病患者、小児慢性特定疾病児童に対して、ストマ用装具等の給付等を行う。 自己負担は基準額の 1 割、月額上限 37,200 円、市民税非課税世帯は自己負担なし。			

事業の実績・成果

・在宅障がい（児）者に対し、日常生活用具を給付又は貸与することにより日常生活の便宜を図った。個人負担額は原則 1 割で、対象者、基準額、耐用年数等の基準がある。

日常生活用具別内訳

	延件数（件）	公費負担額（円）	内容
介護・訓練支援用具	1	154,000	特殊寝台等
自立生活支援用具	5	157,920	入浴補助用具等
在宅療養等支援用具	8	349,640	電気式たん吸引器等
情報・意思疎通支援用具	10	966,349	人工咽頭等
排泄管理支援用具（※）	2,247	20,402,321	蓄便・蓄尿袋等
小児慢性特定疾病分	0	0	
合計	2,271	22,030,230	

※継続的な申請については 1 か月分の申請を 1 件とした。

住宅改修　　0　件　　0　円

日常生活用具給付費等の推移　　（単位：円）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
金額	22,897,418	19,889,131	21,484,872	23,650,867	22,030,230

事 業 名	障害者相談支援事業			1152-15
担 当 課	障がい者福祉課		現　年	前年度からの繰越
款　03	民生費	当初予算額	17,070,000 円	―
項　01	社会福祉費	最終予算額	24,016,000 円	―
目　04	地域生活支援費	決　算　額	23,940,724 円	―
事業の目的	在宅の障がい者等に対し、在宅福祉サービスの利用援助、社会資源の活用及び社会生活を高めるための支援、ピュアカウンセリング、介護相談、情報の提供等を総合的に行うことにより、障がい者及びその家族の地域における生活を支援する。			
事業の概要	・障がい者相談支援センターを加須市、行田市、羽生市の 3 市で共同設置し、2 か所の社会福祉法人に委託し、運営 ・基幹相談センターを加須市、行田市、羽生市の 3 市で共同設置し、2 か所の社会福祉法人に委託し、運営 ・身体障害者相談員及び知的障害者相談員を委嘱			

事業の実績・成果

・障がい者相談支援業務を社会福祉法人に委託し運営し、相談ケースに応じた支援を個々に行い、障がい者の自立や社会参加の促進を図った。（委託先：社会福祉法人 幸生会（羽生市）、社会福祉法人 共愛会（羽生市））

相談支援を利用している障がい者等の人数　　（単位：人）

	幸生会	共愛会
身体障がい者	34	3
知的障がい者	5	70
精神障がい者	0	119
その他	1	0
合　計	40	192

相談件数（支援方法別）　　（単位：件）

	幸生会	共愛会
訪　問	233	489
来　所	9	42
電　話	194	137
同　行	4	77
合　計	440	745

負担金（委託料）の推移　　（単位：円）税抜

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
加須市	10,637,872	10,891,778	10,866,639	10,949,857	11,007,238

＊　障害者相談支援事業に係る社会福祉法上の消費税の取扱いの誤認識により過去５年に遡り課税対象分の清算を行った。　6,326,002 円

・障がい者基幹相談業務を社会福祉法人に委託し運営し、地域における相談支援の中核的な役割を担う機関として相談ネットワークの構築及び体制強化を図ることにより障がい者（児）が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるために、ネットワーク会議等を定期的に開催し総合的な相談事業を行った。（委託先：社会福祉法人 幸生会（羽生市）、社会福祉法人 共愛会（羽生市））

負担金（委託料）　（単位：円）税抜

	令和５年度
加須市	5,856,804

＊　障害者相談支援事業に係る社会福祉法上の消費税の取扱いの誤認識により過去５年に遡り課税対象分の清算を行った。　585,680 円

・身体障害者相談員及び知的障害者相談員への謝金　計 160,000 円
内訳
　身体障害者相談員　20,000 円×４名＝ 80,000 円
　知的障害者相談員　20,000 円×４名＝ 80,000 円

・身体障害者相談員連絡協議会会費　1,000 円×５人＝5,000 円

事業名	障害者就労支援事業				1154-01
担当課	障がい者福祉課			現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	3,209,000円	―
項	01	社会福祉費	最終予算額	4,838,000円	―
目	04	地域生活支援費	決　算　額	4,836,422円	―
事業の目的	障がい者に対し、就労に関する相談支援や情報提供等を行うことで、障がい者の経済的自立と社会参加の促進を図る。				
事業の概要	［北埼玉障がい者就労支援センター］ 障害者の就労に関する相談支援等を、加須市、羽生市、行田市との共同設置により社会福祉法人共愛会へ委託する。 ［就職支度金］ 施設での訓練が終了し、就職等により自立した者に就職支度金36,000円を支給し、社会復帰の促進を図る。				

事業の実績・成果

・北埼玉障がい者就労支援センター
委託料　2,704,653円（税抜）
＊　障害者相談支援事業に係る社会福祉法上の消費税の取扱いの誤認識により過去5年に遡り課税対象分の清算を行った。　1,591,769円

平成22年8月から、北埼玉地区（行田市・加須市・羽生市）の共同設置により、羽生市内の施設へ委託し運営している。
登録により、就労準備支援、職場開拓・就職支援、職場定着支援、離職時支援、生活支援を実施した。

委託先　　社会福祉法人 共愛会
登録者数　　313人
年間就労者数　20人

利用者人数・年間就労者数・支援件数の推移

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者人数（人）		73	70	81	84	93
年間就労者数（人）		26	11	18	22	20
支援件数（件）	就労準備支援（件）	45	38	34	44	55
	職場開拓、就職支援（件）	49	64	57	90	93
	職場定着支援（件）	152	129	155	153	96
	離職時支援（件）	12	19	15	20	19
	生活支援（件）	53	72	83	75	86

・就職支度金支給
施設での訓練が終了し、就職等により自立した者に就職支度金を支給し、社会復帰の促進を図った。

対象者数　15人　　540,000円（36,000円×15人）

事 業 名		障害者スポーツ交流事業			1155-01
担 当 課		障がい者福祉課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	237,000 円	―
項	01	社会福祉費	最終予算額	237,000 円	―
目	04	地域生活支援費	決　算　額	145,193 円	―
事業の目的		障がい（児）者及び介護者をはじめとして、スポーツを通して交流を図る。			
事業の概要		加須市民体育館内において各障害者団体および介護者を中心としてミニ運動会を開催する。 ・ボッチャほか軽度な競技を中心に個人種目および団体対抗種目を実施する。 ・競技の進行等を団体の役員にも協力依頼する。 市民による障がい者スポーツ振興・普及の取組みを支援する。			

事業の実績・成果

・感染症予防の対策を行いながら、障害者団体を中心としたスポーツ交流大会を 4 年ぶりに開催した。

協力：スポーツ推進委員　8 人
民生委員・指導委員　5 人
埼玉県立誠和福祉高等学校　学生ボランティア　5 人

競技種目：ボッチャ
パン取り競争
輪投げ

参加：13 団体
190 人

・消耗品費（賞品、パン他）　46,993 円
・食糧費（参加者用お茶）　31,200 円
＊パン取り競争のパンや参加者用お茶は障害者施設から調達

・【負担金】一般社団法人　埼玉県障害者スポーツ協会特別会費　67,000 円

事業名	障害者コミュニケーション支援事業			1155-03
担当課	障がい者福祉課		現　年	前年度からの繰越
款 03	民生費	当初予算額	9,837,000円	―
項 01	社会福祉費	最終予算額	9,837,000円	―
目 04	地域生活支援費	決　算　額	7,558,728円	―
事業の目的	聴覚、音声機能、視覚等の障がいのため、意思疎通を図ることに支障のある障がい者に対し、意思疎通の円滑化を図り、社会参加を推進する。			
事業の概要	聴覚障がい者のコミュニケーション支援・情報保障のため、手話通訳者等を派遣する。手話通訳者を養成するため、養成講座等を開催し登録手話通訳者認定試験を実施する。 電話リレーサービス利用料の助成を行う。			

事業の実績・成果

・聴覚障がい者等からの依頼を受け、市の登録手話通訳者を派遣することにより、障がい者の意思疎通の円滑化と社会参加の促進を図った。社会福祉協議会に手話奉仕員養成講座を、聴覚障害者協会に手話フォローアップ講座をそれぞれ委託した。登録手話通訳者の増員を目的にした手話通訳者養成講座は、直営にて実施した。

・派遣

	派遣体制（人）	派遣人数（人）
専任手話通訳士	1	371
市登録手話通訳者	8	146
県派遣（埼玉聴覚障害者福祉会に委託）	―	8
その他	―	6

※平成28年9月より専任手話通訳者による市直営の派遣を開始。

・手話通訳者利用内容内訳　（単位：件）

利用内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
打合せ・手続き	35	74	63	34	61
式典・イベント・講演	31	4	27	14	27
病院診察	293	253	276	316	294
学校関係	24	10	14	14	20
面接、相談	15	4	25	8	12
その他	50	38	39	71	41
合計	448	383	444	457	455

・手話奉仕員養成講座 全52回(入門課程22回、基礎課程30回)　1,228,408円
・手話フォローアップ講座 全20回　378,500円
・運営委員会、認定試験審査会の開催回数 4回

手話講習会受講者数　（単位：人）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
手話奉仕員養成講座（入門）	27	16	9	13	9
手話奉仕員養成講座（基礎）	11	15	9	4	7
手話フォローアップ講座	15	8	8	8	23

・電話リレーサービス利用料の助成
　電話リレーサービスの利用者登録を行った方からの申請を受け、7名の交付決定を行い、合計7,882円の助成金を支給した。

事 業 名	社会参加促進事業				1155-04
担 当 課	障がい者福祉課			現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	9,740,000 円	―
項	01	社会福祉費	最終予算額	9,704,000 円	―
目	04	地域生活支援費	決　算　額	8,195,560 円	―
事業の目的	障がい者の経済的負担の軽減と社会参加等の促進を図る。				
事業の概要	・障がい者自動車運転免許取得費補助…12 万円を限度 ・身体障がい者自動車改造費補助…10 万円を限度 ・自動車燃料費助成…月額 1,000 円（上限） ・福祉タクシー利用料助成…年間 30 枚又は 36 枚 ・ファクシミリ利用料助成…月額 1,000 円（上限）				

事業の実績・成果

・障がい者が在宅においてできる限り自立した生活を行い、積極的に社会参加ができるよう日常生活の利便性の経済的負担の軽減を図るため、各種助成を行った。

障がい者の社会参加を促進するため、申請により運転免許の取得、自動車改造費等を助成する。

・障害者自動車運転免許取得費補助（限度額　120,000 円）　7 件　840,000 円
・身体障害者自動車改造費補助（限度額　100,000 円）　4 件　400,000 円
・自動車燃料費助成（月 1,000 円上限）　3,925,250 円（延べ 1,329 名）
・福祉タクシー利用料助成（手数料・利用券印刷代含）　2,888,160 円（延べ 4,100 件）
・ファクシミリ利用料助成（月 1,000 円上限）　142,150 円（延べ　31 件）

事業費の推移　（単位：円）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
事業費合計	9,864,589	8,434,332	8,321,983	8,167,296	8,195,560
障害者自動車運転免許取得費補助金	720,000	240,000	448,000	840,000	840,000
身体障害者自動車改造費補助金	382,000	214,740	400,000	97,100	400,000
自動車燃料費助成	4,512,850	4,463,750	4,207,550	4,247,100	3,925,250
福祉タクシー利用料助成	4,040,905	3,236,140	3,078,590	2,830,050	2,888,160
ファクシミリ利用料助成	208,834	279,702	187,843	153,046	142,150

事 業 名		外国人高齢者福祉手当支給事業			1142-33
担 当 課		国保年金課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	120,000 円	―
項	01	社会福祉費	最終予算額	120,000 円	―
目	05	国民年金費	決　算　額	120,000 円	―
事業の目的		元気な高齢者を支援するため、昭和５７年以前の年金制度における国籍要件により、国民年金に加入できなかった外国人高齢者の福祉の増進を図る。			
事業の概要		日本国籍を有しない者で、かつ大正 15 年(1926 年) 4 月 1 日以前に生まれた者に対し、福祉手当(１人当たり月額 10,000 円)を支給する。			

事業の実績・成果

・　支給対象者を的確に把握し、支給した。

対象者　　外国人高齢者　1 人
支給額　　10,000 円×1 人×12 月＝120,000 円
支給日　　上半期 9 月、下半期 3 月

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
支給人数（人）	1	1	1	1	1
金額（円）	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000

事業名	国民年金事業				1171-01
担当課	国保年金課			現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	2,568,000円	―
項	01	社会福祉費	最終予算額	2,568,000円	―
目	05	国民年金費	決　算　額	2,370,298円	―
事業の目的	国民年金の身近な窓口として、市民の老齢、障害、死亡に関して必要な給付を行い、健全な国民生活の維持・向上を図る。				
事業の概要	国民年金の加入・喪失・保険料免除関係、老齢福祉年金、障害者年金等給付関係業務（年金事務所への送達含む）や年金相談、年金の普及啓発を行う。 ・令和5年度保険料月額 16,520円				

事業の実績・成果

・　国民年金にかかる各種届出書や給付請求書等の受付において、内容の確認や必要書類の点検を十分に行い、遅滞なく年金事務所へ進達した。

進達件数　（単位：件）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
資格関係	5,348	4,931	5,327	4,536	4,712
給付関係	797	649	701	155	143

※給付関係のうち「未支給年金請求申請」について、年金サテライトかぞと協議の上、令和4年度からは法定受託事務のみを受け付けることとしたため、件数が減少している。
（未支給年金請求申請進達件数）令和3年度：511件　→　令和4年度：18件、令和5年度：10件

＜市内被保険者数等＞

第1号被保険者数　（単位：人）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
被保険者数	12,185	12,067	11,863	11,476	11,426

保険料免除等件数　（単位：件）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
法定免除	907	911	941	1,003	1,046
申請免除	1,873	1,976	1,977	1,863	1,922
学生納付特例	1,392	1,336	1,310	1,214	1,157
納付猶予	662	657	637	602	596
計	4,834	4,880	4,865	4,682	4,721

事 業 名		後期高齢者医療広域連合負担事業			1135-04
担 当 課		国保年金課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	1,044,302,000 円	―
項	01	社会福祉費	最終予算額	1,067,647,829 円	―
目	06	老人福祉費	決　算　額	1,064,632,172 円	―
事業の目的		国民皆保険を堅持し、将来にわたり安定的で持続可能なものとしていくため、後期高齢者医療制度の健全な運営を図る。			
事業の概要		広域連合運営に係る経費を各市町村が広域連合規約の規定に基づき、人件費、光熱水費等の①共通経費分や、②医療給付費に要する経費対象額の1/１２相当額を負担する。			

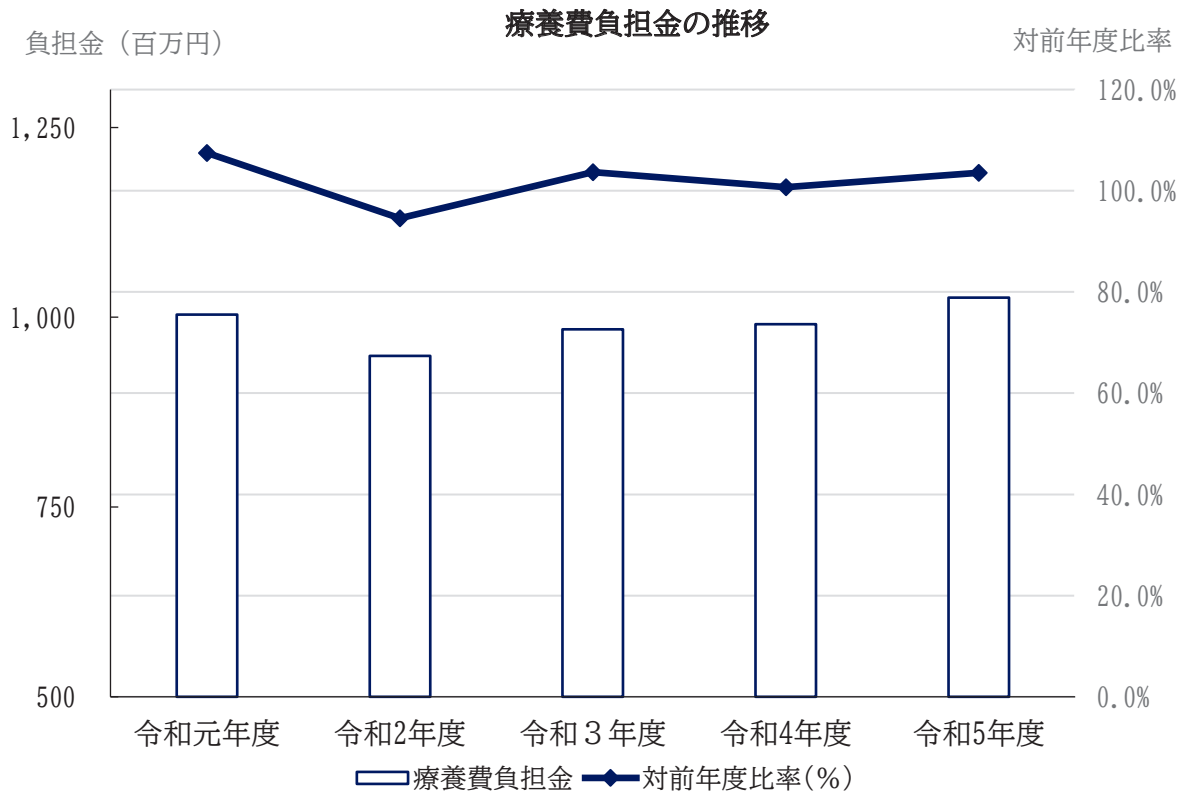
事業の実績・成果

○ 埼玉県後期高齢者医療広域連合規約に基づき、医療給付に要する経費を負担した。
療養給付費負担金　1,025,930,084 円

○ 埼玉県後期高齢者医療広域連合規約に基づき、広域連合の共通経費を構成市町村で負担した。
埼玉県後期高齢者医療広域連合市町村負担金
① 均等割　　共通経費総額の 10%を構成市町村で除して算出
② 人口割　　共通経費総額の 45%に構成市町村の令和 5 年 3 月 31 日現在の総人口に占める各市町村の割合を乗じて算出
③ 高齢者人口割　共通経費総額の 45%に構成市町村の令和 5 年 3 月 31 日現在の満 75 歳以上人口に占める各市町村の割合を乗じて算出
共通経費負担金　38,702,088 円

（単位：千円）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
療養給付費負担金	1,003,621	949,094	984,073	990,948	1,025,930
市町村負担金（共通経費）	22,761	25,315	25,719	24,534	38,702



事 業 名		後期高齢者医療特別会計繰出事業			1135-06
担 当 課		国保年金課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	321,083,000 円	―
項	01	社会福祉費	最終予算額	320,185,171 円	―
目	06	老人福祉費	決　算　額	302,944,660 円	―
事業の目的		高齢期における適切な医療の確保を図るため、後期高齢者医療事業の円滑な運営を図る。			
事業の概要		低所得者等の保険料負担軽減分（７割・５割・２割）や一般事務費、健康増進事業費等について一般会計から繰り出しを行う。			

事業の実績・成果

○ 埼玉県後期高齢者医療広域連合の条例の定めにより、所得の少ない者について、保険料の均等割額(44,170 円)の軽減賦課に基づき減額した額を基礎として負担した。

・埼玉県後期高齢者医療基盤安定事業負担金　285,314,846 円

県負担分(3/4)　213,986,134 円　　市負担分(1/4)　　71,328,712 円

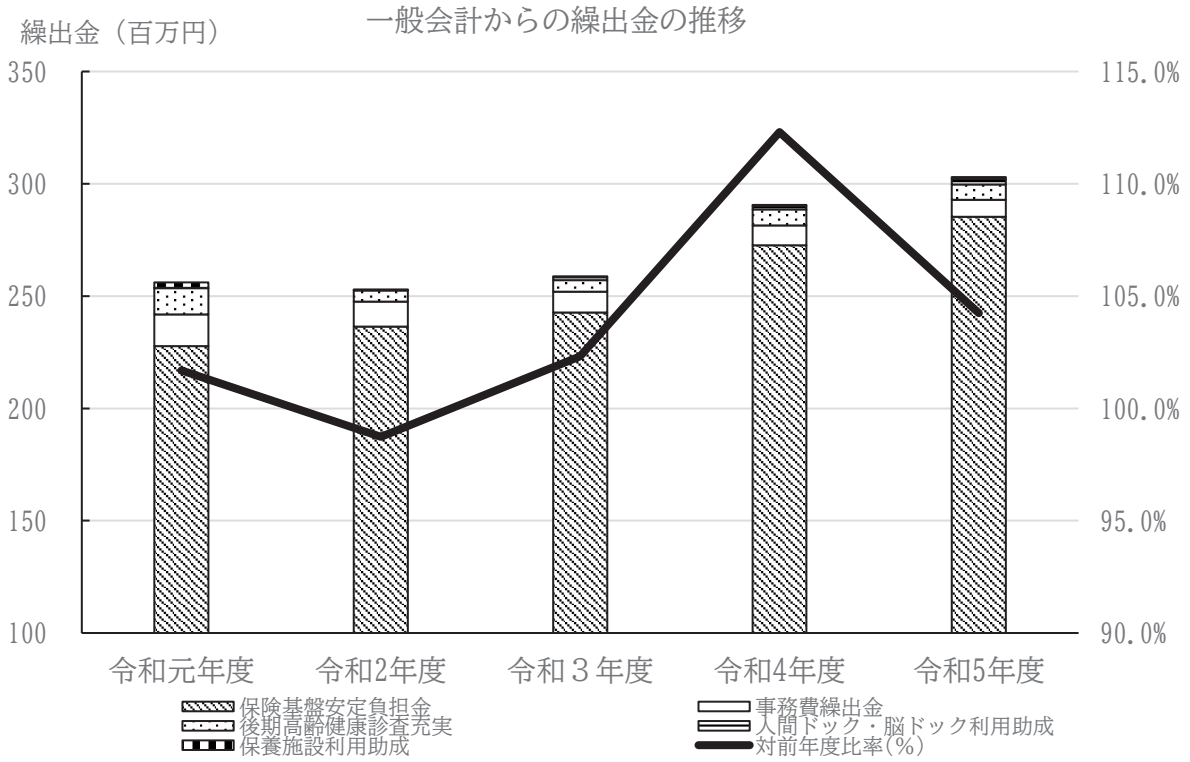
低所得者軽減分（法 99①関係）

	対象被保険者数（人）	１人当たり軽減額(年間)（円）	軽減額総計（円）
２割軽減	2,070	8,834	17,808,132
５割軽減	2,333	22,085	49,930,680
７割軽減	7,257	30,919	216,048,165
合計	11,660	－	283,786,977

被扶養者軽減分（法 99②関係）

	対象被保険者数（人）	１人当たり軽減額(年間)（円）	軽減額総計（円）
５割軽減	91	22,085	1,527,869

○ 低所得者等に対する保険料軽減の市負担分や一般事務費、後期高齢者健康診査、保養施設利用助成、人間ドック等利用助成の各事業経費分を後期高齢者医療特別会計へ支出した。



事 業 名		老人クラブ支援事業			1141-22
担 当 課		高齢介護課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	5,752,000 円	―
項	01	社会福祉費	最終予算額	5,752,000 円	―
目	06	老人福祉費	決　算　額	5,522,000 円	―
事業の目的		健康づくり・介護予防活動、友愛活動及び社会活動への積極的な参画を通じて、明るい長寿社会づくりに資する。			
事業の概要		老人クラブ連合会におけるグラウンド・ゴルフ大会、交通安全教室、研修会、文化創作展等の開催支援、地域内での社会奉仕活動等を支援する。			

事業の実績・成果

高齢者を主体とする地域における自主的な組織である老人クラブに対し、生きがいと健康づくりの支援を行った。なお、令和5年度においては、新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことに伴い、ほとんどのイベントをコロナ前の規模で開催できた。

【老人クラブ数など】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
クラブ数	93	92	91	90	87
会員数（人）	3,748	3,547	3,478	3,245	3,112
補助金交付額(円)	5,702,200	5,625,317	5,660,000	5,660,000	5,522,000

＜加須市老人クラブ連合会の主な活動＞

総会、グラウンド・ゴルフ大会（年1回）、日帰り研修、「加須市老連だより」年2回発行、県主催行事への参加、健康づくり講演会、会員が制作した絵画、工芸の作品の展示を行う「趣味の創作展」の開催

＜地域ごとの活動＞

・加　須…総会、グラウンド・ゴルフ大会（年1回）、ワナゲ大会（年2回）、文化創作展、高齢者交通安全教室、県外研修、埼玉県老人クラブ連合会主催イベントへの参加、市主催行事への参加

・騎　西…総会、グラウンド・ゴルフ大会（年1回）、県外研修、高齢者交通安全教室、市主催行事への参加、交流会（落語）、ワナゲ・マグダーツ大会（年1回）

・北川辺…総会、花のボランティア、ワナゲ大会（年1回）、県外研修、市主催行事への参加、雑巾寄付事業、グラウンド・ゴルフ大会（年2回）

・大利根…総会、県外研修、グラウンド・ゴルフ大会（年1回）、友愛訪問、高齢者交通安全教室、市主催行事への参加

事 業 名	ひとり暮らし高齢者地域交流助成事業			1141-25
担 当 課	高齢介護課		現　年	前年度からの繰越
款 03	民生費	当初予算額	400,000 円	―
項 01	社会福祉費	最終予算額	400,000 円	―
目 06	老人福祉費	決　算　額	400,000 円	―
事業の目的	ひとり暮らし高齢者の見守りや仲間づくり、生きがいづくりを促進し、要介護状態になることを予防する。			
事業の概要	社会福祉協議会に対し、ひとり暮らし高齢者地域交流事業を推進するための補助金を交付する。			

事業の実績・成果

社会福祉協議会が実施する「ひとり暮らし高齢者地域交流事業」の推進を図るため、社会福祉協議会に対し補助金を交付し、地域交流を通じた高齢者の仲間づくりや生きがいづくりを推進した。

内　　容　　ひとり暮らし高齢者を対象としたふれあい会食会の実施
実　　施　　各地域・支部社協

【実施状況】

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
実施回数（回）	84	0	1	15	46
参加延数（人）	1,676	0	30	354	1,051

※社会福祉協議会に対し、事業費の一部を補助
※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和 2 年度は事業が中止、令和 3 年度は 1 回のみの実施となった。

事業名	高齢者福祉管理事業				1142-01
担当課	高齢介護課			現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	2,579,000円	―
項	01	社会福祉費	最終予算額	2,737,965円	―
目	06	老人福祉費	決　算　額	2,701,839円	―
事業の目的	高齢者福祉事務を執行し、高齢者に対する支援を行う。				
事業の概要	社会福祉主事資格の取得の促進、社会福祉法人への市有地等貸付け、支援が必要な高齢者の情報収集、ねんりんピック先催大会等視察調査などを行う。				

事業の実績・成果

高齢者福祉事務を適切に執行し、諸経費を支出した。

【高齢者福祉管理費年度別実績】　（単位：円）

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1,745,563	10,677,017	2,090,112	2,488,494	2,701,839

民生委員の訪問調査によって、ひとり暮らし高齢者世帯及び高齢者のみの世帯の状況を把握し、その結果データを台帳に入力・管理することで、緊急時の連絡体制の確保など高齢者支援の基本情報として活用することができた。

また、災害時要援護者台帳との連携を進め、災害時に支援が必要な高齢者の把握ができるようにした。

調査方法　民生委員による訪問調査
調査結果　65歳以上のひとり暮らし高齢者世帯　4,524世帯（令和6年3月31日時点）
　　65歳以上のみの高齢者世帯　4,566世帯（令和6年3月31日時点）
台帳活用　市が実施する福祉事業、社会福祉協議会や高齢者相談センターが実施する事業の基本情報として活用
台帳更新　随時、調査結果を入力し台帳を更新

【ひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯数】　（単位：世帯）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
ひとり暮らし高齢者世帯	3,547	3,899	4,117	4,370	4,524
高齢者のみの世帯	3,948	4,092	4,369	4,502	4,677
合計世帯数	7,495	7,991	8,486	8,872	9,201

※世帯数は、民生委員の訪問調査により把握した数

事 業 名		ねたきり老人等居宅介護者慰労金支給事業			1142-07
担 当 課		高齢介護課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	11,100,000 円	―
項	01	社会福祉費	最終予算額	11,100,000 円	―
目	06	老人福祉費	決　算　額	11,090,000 円	―
事業の目的		介護される人が尊厳をもって自立した日常生活を送ることができるよう、在宅で介護を行う家族介護者を支援する。			
事業の概要		要介護 4 又は 5 の認定を受け、在宅でねたきりの高齢者を介護する家族介護者に対し、ねたきり高齢者等居宅介護者慰労金を支給する。			

事業の実績・成果

在宅で要介護高齢者を介護している家族等に対し、慰労金を支給することによって、介護者の負担の軽減を図ることができた。

【年度別・介護度別支給状況】

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
延人数（人）	要介護 4　280	要介護 4　322	要介護 4　344	要介護 4　342	要介護 4　337
	要介護 5　201	要介護 5　202	要介護 5　191	要介護 5　188	要介護 5　203
支給額（円）	9,545,000	10,625,000	10,590,000	10,510,000	11,090,000

※令和元年度から事業を一般会計に移行して実施

事 業 名		家族介護用品支給事業			1142-08
担 当 課		高齢介護課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	3,569,000 円	―
項	01	社会福祉費	最終予算額	3,140,200 円	―
目	06	老人福祉費	決　算　額	2,651,345 円	―
事業の目的		介護される人が尊厳をもって自立した日常生活を送ることができるよう、在宅で介護を行う家族介護者を支援する。			
事業の概要		在宅で要介護状態となっている高齢者を常時介護している介護者に対し、紙おむつ等の介護用品を支給する。			

事業の実績・成果

在宅で、要介護状態になっている高齢者（ねたきり又は認知症などで常時おむつを使用している非課税世帯の人）を常時介護している家族に、介護用品を支給することにより、本人及び介護している家族の精神的・経済的負担の軽減を図ることができた。

【年度別支給状況】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用件　(件)	43	46	52	62	40
利用実　(円)	2,550,471	2,709,287	2,882,379	3,325,056	2,636,569

※各年度3月31日現在の件数

※令和 3 年度から事業を一般会計に移行して実施
※9 割の商品に価格高騰があったが、6,300 円分の支給額は据え置きのまま実施

事 業 名		緊急通報システム整備事業			1142-20
担 当 課		高齢介護課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	4,067,000 円	―
項	01	社会福祉費	最終予算額	3,247,000 円	―
目	06	老人福祉費	決　算　額	2,410,595 円	―
事業の目的		緊急通報装置を貸与することにより、日常生活の緊急事態における高齢者の不安を解消し、もって高齢者福祉の向上を図る。			
事業の概要		ひとり暮らし高齢者等が緊急時において、救急車を呼ぶことができる装置及びペンダントを貸与し、定期的な安否確認と 24 時間 365 日対応の健康相談により利用者を見守る。			

事業の実績・成果

65歳以上のひとり暮らし高齢者等で身体上慢性的な疾患により常時注意を要する方に、緊急通知を受信する機器を貸与することで、緊急事態における不安を解消した。

【事業内容】
機器の設置・撤去工事、機器点検訪問
電話健康相談、電話による定期的な安否確認、緊急時の救急搬送要請

【貸与機器】
緊急通報用電話機、携帯用無線発信機（ペンダント）

【緊急通報システム利用件数及び設置台数】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
緊急出場件数	30	31	16	22	18
搬送件数	21	17	12	18	16
電話健康相談※	103	51	188	18	28
設置台数	151	136	132	132	134
うち新規設置台数	28	21	17	15	24

※電話健康相談については、平成 26 年 1 月から開始

事 業 名		配食サービス事業			1142-24
担 当 課		高齢介護課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	15,240,000 円	―
項	01	社会福祉費	最終予算額	16,918,800 円	―
目	06	老人福祉費	決　算　額	16,918,800 円	―
事業の目的		ひとり暮らし高齢者等の見守り及び栄養面における在宅生活の自立を支援し、要介護状態への進行を防止する。			
事業の概要		在宅のひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯等に属する人のうち調理することが困難な人に対し、委託により栄養バランスのとれた食事を提供する（週に 3 回まで）。費用は 1 食 900 円(自己負担：300 円、市負担：600 円)			

事業の実績・成果

配食サービスの提供によって、在宅のひとり暮らし高齢者等の栄養状態の維持・改善とともに見守りの役割を果たすことができた。

【対象者】
おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者、高齢者のみの世帯及びこれに準ずる世帯に属する方で、調理を行うことが困難な方

【事業内容】
昼食時に、栄養バランスを考慮して調理された食事を居宅に配達する。
また、食事の配達時に安否の確認を行い、異常がある場合は速やかに関係機関への連絡等を行う。
なお、食事の配達は、1日1食、1週間に3回まで、月曜日から金曜日までの昼食とする。

【実施状況】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用人数（人）	195	213	233	254	220
利用実績（円）	13,226,320	12,946,180	13,981,480	14,881,640	16,918,800

※各年度3月31日現在の人数
※平成 27 年度から一般会計に移行

事業名	生活管理指導短期入所事業			1142-25
担当課	高齢介護課		現　年	前年度からの繰越
款 03	民生費	当初予算額	855,000 円	―
項 01	社会福祉費	最終予算額	855,000 円	―
目 06	老人福祉費	決　算　額	444,400 円	―

事業の目的	基本的生活習慣等が欠如している高齢者等を短期間入所させ、生活習慣等の指導及び支援を行うことにより、当該高齢者等の体調の調整を図るとともに、要介護状態への進行を予防する。
事業の概要	養護老人ホーム又は特別養護老人ホームに短期間入所させ、生活習慣等の指導及び支援を行う。 入所期間：原則 7 日以内 対象者：65 歳以上 利用者負担：1 日あたり 2,200 円（生活保護世帯は負担なし） 市負担：1 日あたり 5,700 円（生活保護世帯の利用は 1 日あたり 7,900 円）

事業の実績・成果

高齢者が、基本的生活習慣等が欠如している場合や緊急的に保護を要する状態にある場合等に、高齢者相談センターと連携して当該高齢者等を短期入所施設に入所させ、福祉の向上を図ることができた。

【年度別実績】

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
利用人数（人）	8	6	9	12	8
利用日数（日）	66	97	148	151	88
利用実績（円）	410,600	436,500	674,800	736,700	444,400

※令和 3 年度から事業を一般会計に移行して実施

事 業 名		養護老人ホーム入所事業			1142-26
担 当 課		高齢介護課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	60,788,000 円	―
項	01	社会福祉費	最終予算額	60,156,000 円	―
目	06	老人福祉費	決　算　額	56,323,622 円	―
事業の目的		住居の確保を通じ、高齢者の更なる福祉の充実を図る。			
事業の概要		65 歳以上の人で、身体上若しくは精神上又は環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な人を養護老人ホームに入所措置する。			

事業の実績・成果

入所判定委員会を経て、居宅において養護を受けることが困難な方を養護老人ホーム等へ入所させ、生活の安定を図った。

【老人ホーム入所判定委員会の開催及び新規入所者数】

老人ホーム入所判定委員会			老人ホーム（養護・特養）新規入所者数（人）
開催回数（回）	期　　日	議　決　日	
3	令和 5 年 4 月 28 日	4 月 28 日	3 （加須 2、騎西 1）
	令和 5 年 10 月 23 日 ～10 月 28 日	10 月 28 日	3 （加須 3）
	令和 6 年 2 月 29 日 ～3 月 11 日	3 月 11 日	5 （加須 3、騎西 1、北川辺 1）

※養護者による虐待等により、生命又は身体に重大な危険が生じているおそれがあると認められる高齢者を一時的に保護する場合は、入所判定委員会の開催を待つことなく入所措置を行うことができる。

※令和 5 年度は、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、書面により会議を開催した。

【養護老人ホーム等入所状況】　令和 6 年 3 月 31 日現在　（単位：人）

あいせんハイム	偕楽荘	熊谷ホーム	ひとみ園	みずほの里	愛泉苑	合計
17	2	4	1	2	1	27

【老人ホーム入所事業費】　（単位：円）

年　度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
委託料	62,398,154	53,089,351	48,242,342	48,511,092	56,295,422

事 業 名	敬老祝金支給事業			1142-28
担 当 課	高齢介護課		現　年	前年度からの繰越
款　03	民生費	当初予算額	46,180,000 円	―
項　01	社会福祉費	最終予算額	43,938,000 円	―
目　06	老人福祉費	決　算　額	40,603,824 円	―
事業の目的	高齢者に対して長寿の祝福と敬老の意を表すとともに、所在を確認する。			
事業の概要	8 月 1 日時点で市内に 1 年以上居住し、年度内に 77 歳・88 歳・99 歳・100 歳を迎える人に敬老祝金（ちょこっとおたすけ絆サポート券）を贈呈（併せて所在確認を実施）する。 【贈呈額】 77 歳：10,000 円　88 歳：30,000 円 99 歳：50,000 円 100 歳：50,000 円			

事業の実績・成果

・市内に居住する高齢者に対し、敬老の意を表するとともに、長寿を祝福するため、敬老祝金（ちょこっとおたすけ絆サポート券）を贈呈した。

対 象 者　基準日の 8 月 1 日現在において、次のいずれにも該当する方
・本市に引き続き 1 年以上居住し、住民基本台帳に記録されている方
・基準日の属する年の 4 月 1 日からその翌年の 3 月 31 日までにおいて、年齢が満 77 歳、満 88 歳、満 99 歳又は満 100 歳となる方

祝 金 額　満 77 歳　10,000 円×1,613 人＝16,130,000 円
満 88 歳　30,000 円×　609 人＝18,270,000 円
満 99 歳　50,000 円×　 61 人＝ 3,050,000 円
満 100 歳　50,000 円×　 42 人＝ 2,100,000 円　　贈呈総額　39,550,000 円
換金済額　37,851,500 円

贈呈方法　満 77 歳の方へは郵送（簡易書留）。
満 88 歳、満 99 歳、満 100 歳の方へは、民生委員が対象者本人へ直接手渡し（一部、市職員配布）。

【敬老祝金贈呈者数及び祝金額】

		令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
贈呈（人）	満 77 歳	1,249	1,342	1,239	950	1,613
	満 88 歳	492	593	574	540	609
	満 99 歳	39	35	43	58	61
	満 100 歳	24	35	28	35	42
	合　計	1,804	2,005	1,884	1,583	2,325
祝金計（円）		52,730,000	59,990,000	45,550,000	39,850,000	39,550,000
換金済額（円）		―	―	―	―	37,851,500
換金率（%）		―	―	―	―	95.71

事 業 名		敬老会助成事業			1142-29
担 当 課		高齢介護課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	8,604,000 円	―
項	01	社会福祉費	最終予算額	8,395,000 円	―
目	06	老人福祉費	決　算　額	8,394,200 円	―
事業の目的		高齢者の長寿を祝い、高齢者の生きがいの醸成を図る。			
事業の概要		敬老会を主催する社会福祉協議会に補助金を交付し、各地域における敬老会の開催を支援する。			

事業の実績・成果

・社会福祉協議会が主催する敬老会の事業費の一部を補助し、加須市敬老会事業の推進を図った。
補助金交付額　　8,394,200 円（運営費、会場設営費）
敬老会での催し 祝状・記念品贈呈、アトラクションの披露等

【敬老会対象者数及び寿賀表彰者数】　（単位：人）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
対象者（75 歳以上）	15,441	15,608	16,356	17,287	18,114
米寿（88 歳）	492	593	574	540	611
白寿（99 歳）	39	35	43	58	61

事 業 名		金婚等祝賀事業			1142-30
担 当 課		高齢介護課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	892,000 円	―
項	01	社会福祉費	最終予算額	841,035 円	―
目	06	老人福祉費	決　算　額	798,920 円	―
事業の目的		市民の郷土への愛着と高齢者福祉への関心を高める。			
事業の概要		・金婚（婚姻 50 周年）に際し、市長の祝状及び額を贈呈する。 ・寿賀（100 歳）に際し、市長の祝状と額を贈呈する。 ・寿賀（99 歳、88 歳）に際し、市長の祝状と筒を贈呈する。			

事業の実績・成果

市民の金婚及び寿賀の慶事に対し、市が祝意を表することにより、市民の郷土への愛着が高まり、市民と行政による協働のまちづくりの推進が図られた。

1　金婚に対し、市長の祝状及び額を贈った。【高齢介護課及び各総合支所福祉健康担当】

・贈呈者数：725 組

年　度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
贈呈（組）	85	59	75	75	73
決算（円）	196,548	121,710	180,109	173,328	242,686

2　寿賀に対し、市長の祝状及び筒又は額を贈った。【高齢介護課及び各総合支所福祉健康担当】

・贈呈者数　100 歳：44 人、99 歳：61 人、88 歳：611 人

年　　度			令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
贈呈（人）	100 歳	男	7	4	3	5	6
		女	17	31	25	30	36
		計	24	35	28	35	42
	99 歳	男	4	4	7	9	13
		女	35	31	36	49	48
		計	39	35	43	58	61
	88 歳	男	154	191	197	176	231
		女	338	402	377	364	378
		計	492	593	574	540	609
決算（円）			279,606	354,384	389,954	499,081	556,234

事 業 名	社会福祉法人による介護保険低所得者対策事業			1142-31
担 当 課	高齢介護課		現　年	前年度からの繰越
款 03	民生費	当初予算額	371,000 円	―
項 01	社会福祉費	最終予算額	371,000 円	―
目 06	老人福祉費	決　算　額	0 円	―
事業の目的	低所得者の介護保険サービスの利用促進を図る。			
事業の概要	社会福祉法人等が対象者に対して利用者負担の 1/4（老齢福祉年金受給者は 1/2、生活保護受給者は居住費のみ全額）の軽減を行い、利用者負担を軽減した総額のうち、本来受領すべき利用者負担収入の 1%を超えた部分の 1/2 を上限として、市が社会福祉法人に助成する。			

事業の実績・成果

本事業は、生計困難者に対して介護保険サービスの利用者負担を軽減している社会福祉法人等に助成するものであるが、要件に該当する法人等がなかった。

・社会福祉法人等利用者負担軽減対象者　0 人（うち介護保険サービス利用者　0 人）
・利用者負担軽減対象者の利用実績を有する社会福祉法人　0 施設
・施設への助成額　0 円
（対象者に対する軽減額が、施設が本来受領すべき利用者負担収入額の 1 %未満のため）

【事業実績】

区　分	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
利用人数（人）	5	5	4	3	0
予算額（円）	371,000	371,000	371,000	371,000	371,000
決算額（円）	0	0	0	0	0

事 業 名	介護サービス利用者負担助成事業			1142-32
担 当 課	高齢介護課		現　年	前年度からの繰越
款 03	民生費	当初予算額	34,819,000 円	―
項 01	社会福祉費	最終予算額	34,819,000 円	―
目 06	老人福祉費	決　算　額	33,066,543 円	―
事業の目的	要介護又は要支援の認定を受け、在宅介護サービスを利用している低所得者に対し、利用者負担額の一部を助成することにより経済的負担を軽減する。			
事業の概要	市民税非課税世帯の在宅介護サービス利用者が申請することにより、自己負担額の一部(25%)を助成する。			

事業の実績・成果

新規対象者及び未申請者宛に毎月勧奨通知を送付し、事業の周知に努めた。その結果、申請件数は増加するなど、低所得者の経済的負担を軽減するとともに、在宅での介護サービスを普及することができた。

【介護サービス利用者負担助成利用状況】

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
対象件数（件）	12,741	13,692	14,435	15,601	16,091
申請件数(件)	12,410	13,251	14,094	15,114	15,332
助成額(円)	26,838,768	29,102,570	30,494,231	32,172,886	33,066,543

事 業 名		介護施設整備促進事業			1144-04
担 当 課		高齢介護課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	98,460,000 円	17,920,000 円
項	01	社会福祉費	最終予算額	98,554,000 円	17,920,000 円
目	06	老人福祉費	決　算　額	93,187 円	17,920,000 円
事業の目的		介護を必要とする高齢者が、必要な介護サービスを利用できるよう、安全で安心できる介護サービス提供基盤を整備する。			
事業の概要		・介護サービス事業の設置に関する相談に対応する。			

事業の実績・成果

地域密着型特別養護老人ホーム新設事業

市内の地域密着型特別養護老人ホームの新設を支援するため、市補助金を交付した。

(1)　補助事業者　　社会福祉法人　博雅会　介護老人福祉施設　特養騎西
(2)　整備規模　　1 施設　定員 100 人（地域密着型分 20 人）
(3)　開設時期　　令和 6 年秋以降
(4)　補助金交付額　17,920,000 円

【前年度からの繰越事業（繰越明許）】　　17,920,000 円
・地域密着型特別養護老人ホーム新設事業補助金（繰越明許額　17,920,000 円）

【地域介護・福祉空間整備推進交付金返還金】
・地域介護・福祉空間整備推進交付金返還金　93,187 円

【翌年度への繰越事業（繰越明許）】　　98,460,000 円
・地域密着型特別養護老人ホーム新設事業補助金（繰越明許額　71,680,000 円）
・介護施設等施設開設準備事業補助金　　（繰越明許額　16,780,000 円）
・老人福祉施設整備事業補助金　　（繰越明許額　10,000,000 円）

令和 5 年度から令和 6 年度へ繰り越す理由

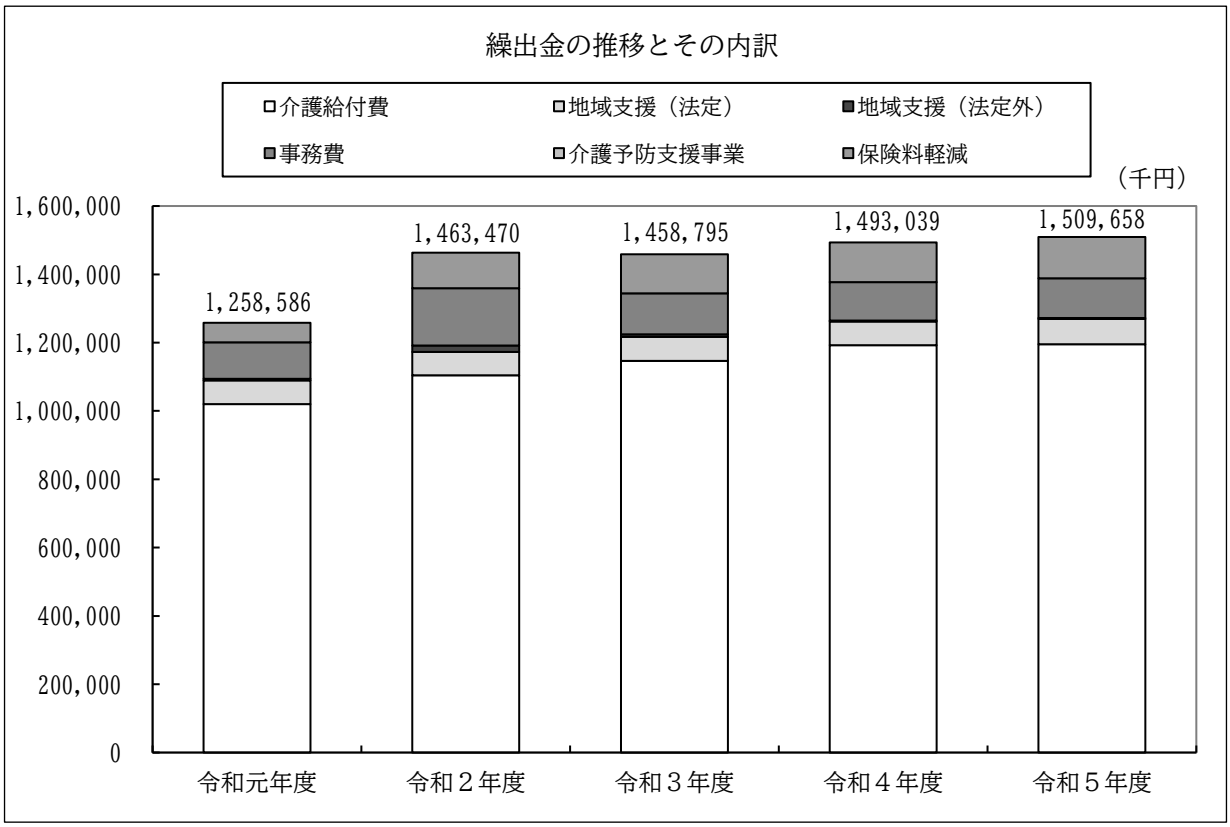
建設資材の急激な価格高騰などの影響が大きく、工事費全体をはじめ、工事スケジュールなどの見直しが行われ、工事の着工が遅れたことにより、予定していた事業を年度内に完了できないため、当該事業に係る予算 98,460,000 円の全額を令和 6 年度に繰り越した。

事 業 名		介護保険事業特別会計繰出事業			1145-03
担 当 課		高齢介護課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	1,503,619,000 円	―
項	01	社会福祉費	最終予算額	1,509,658,000 円	―
目	06	老人福祉費	決　算　額	1,509,657,750 円	―
事業の目的		高齢者の自立支援の理念に基づき、介護保険事業の健全かつ円滑な運営を行う。			
事業の概要		介護保険法に基づき、介護保険給付費、地域支援事業費にかかる費用及び介護保険運営上の事務経費を負担する。			

事業の実績・成果

（単位：円）

区　分	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
繰出金合計	1,258,585,870	1,463,469,780	1,458,794,689	1,493,038,960	1,509,657,750
実質繰出額	1,213,614,912	1,360,436,384	1,368,045,631	1,371,253,393	1,422,601,905
一般会計への返還金	44,970,958	103,033,396	90,749,058	121,785,567	87,055,845



事 業 名		老人福祉センター管理運営事業			1141-23
担 当 課		高齢介護課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	11,542,000 円	―
項	01	社会福祉費	最終予算額	15,758,000 円	―
目	07	老人福祉センター費	決　算　額	9,973,891 円	―
事業の目的		高齢者の健康づくりと生きがいづくりを目的とする。			
事業の概要		大利根総合福祉会館については、老人福祉センターが休止中であるため、今後、施設のあり方を含めて検討していく。			

事業の実績・成果

これまで、老人福祉センターは高齢者が地域の仲間と共に健康で明るい生活を楽しむための場として、様々なイベントを開催してきたが、各老人福祉センターの施設や設備の老朽化が進んでいることから、騎西及び北川辺地域においては令和 2 年度に、加須地域においては令和 3 年度に廃止した。

なお、大利根地域においては休止している。

【老人福祉センター利用者】　（単位：人）

<table>
<tr><th></th><th>令和元年度</th><th>令和 2 年度</th><th>令和 3 年度</th><th>令和 4 年度</th><th>令和 5 年度</th></tr>
<tr><td>老人福祉センター不老荘</td><td>20,470
(61)</td><td rowspan="3">休止</td><td>休止</td><td colspan="2" rowspan="3">廃止</td></tr>
<tr><td>騎西老人福祉センター</td><td>8,007
(98)</td><td rowspan="2">廃止</td></tr>
<tr><td>北川辺老人福祉センター</td><td>4,765
(15)</td></tr>
<tr><td>大利根総合福祉会館</td><td>32,530
(10,477)</td><td>379
(75)</td><td colspan="2">休止</td></tr>
<tr><td>合　　計</td><td>65,772
(10,651)</td><td>－</td><td>379
(75)</td><td>－</td><td>－</td></tr>
</table>

※（　）の数字は、うち市外利用者の数

【大利根総合福祉会館】

・大利根地域の老人福祉センター（大利根総合福祉会館の 1 階）については、主要施設である浴用施設（温泉・１００の湯）の排水設備等の故障により、令和 4 年 2 月 18 日から休止している。

・2 階及び 3 階の研修センターについては、通常どおり営業（貸館）を行った。

・令和 4 年度末日をもって指定管理者制度の導入を終了（指定管理者：加須市社会福祉協議会）し、令和 5 年度からは市が直営で管理運営を行った。

なお、貸館受付及び清掃等の一部業務については、加須市社会福祉協議会へ委託した。

（令和 5 年度加須市大利根総合福祉会館受付業務委託　3,121,533 円）

【翌年度への繰越事業（繰越明許）】

・大利根総合福祉会館排煙窓・非常照明灯修繕工事　4,363,000 円

事業名	ファミリーサポートセンター事業			2114-08
担当課	すくすく子育て相談室		現　年	前年度からの繰越
款 03	民生費	当初予算額	6,035,000円	―
項 01	社会福祉費	最終予算額	6,035,000円	―
目 08	男女共同参画費	決　算　額	5,780,870円	―

事業の目的	こどもの健やかな成長と女性の社会参画を支援するため、きめ細かい育児サポートを行い、仕事と育児を両立できる環境を整備する。同時に市民のコミュニティー活動等への積極的な参加を促進する。
事業の概要	育児支援を行える市民（協力会員）と、育児支援を必要とする市民（利用会員）で会員組織化し、市が運営するかぞファミリーサポートセンターにおいてコーディネーターが調整のうえ、相互援助活動を行う。

事業の実績・成果

1　かぞファミリーサポートセンターの運営

育児の支援を受けたい方（利用会員）と育児の援助に協力できる方（協力会員）により構成され、相互援助活動により仕事と家庭の両立を支援し、安心して働ける環境づくりを行った。

また、本庁舎市民課待合に設置されている行政情報・広告放映モニターへの掲載や市報かぞにより協力会員の募集を行い会員確保に努めた。

◇会員数の推移　（単位：人）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用会員	256	264	226	218	236
協力会員	135	133	139	136	139
両方会員	23	22	12	12	13
合　計	414	419	377	366	388

◇利用件数の推移　（単位：件）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用件数合計	4,962	3,763	4,358	4,106	3,937

2　会員養成講習会の実施

救命救急講習や研修を実施することにより、会員のスキルアップに努めた。

【救命救急講習】

日　　時　　令和5年6月2日、6日
場　　所　　埼玉県東部消防組合加須消防署
参加人数　　5名

【会員養成講習会】

日　　時　　令和5年8月2日
場　　所　　パストラルかぞ　展示室
参加人数　　10名
内　　容　　①こどもとできる手遊び
　　②こどもの栄養と食生活

【ファミリーサポートセンター交流会】

日　　時　　令和6年1月24日
場　　所　　市民プラザかぞ　青年センター活動室
参加人数　　11名
内　　容　　①脳トレと健康体操
　　②意見交換会、お茶会

3　会報「ふぁみさぽ通信」の発行

令和5年12月　令和5年度の活動内容、交流会の案内について全会員に配布

事業名	ひととき託児事業			2114-09
担当課	すくすく子育て相談室		現　年	前年度からの繰越
款 03	民生費	当初予算額	1,148,000 円	―
項 01	社会福祉費	最終予算額	1,148,000 円	―
目 08	男女共同参画費	決　算　額	193,156 円	―
事業の目的	子育て中の市民の社会参加の促進を図るとともに、市民のボランティア意識の高揚を図る。			
事業の概要	市が主催する講演会・セミナー等に、子育て中の市民が参加する間、事前登録された市民ボランティアが託児を行う。 対象年齢は2歳から就学前の児童で、託児時間は概ね2時間までとしている。 ボランティアは公募し講習会修了後、登録。活動1回に対し、1,500円の謝金を支払う有償ボランティアである。			

事業の実績・成果

・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、ボランティア活動を休止していたが、令和5年7月から事業を再開した。
・市が主催又はこれに準ずる講演会・講座等に市民が参加する際に、登録している市民ボランティアが託児を行い、子育て中の女性の積極的な社会参加の支援及びボランティアの活動への意識高揚を図った。
・26の事業等において託児を行い、子育て中の市民の社会参加を支援できた。

◇ひととき託児ボランティア活動の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
託児児童数(人)	1,163	0	0	7	113
ボランティア派遣数(人)	598	0	0	7	80
活動件数（件）	174	0	0	1	26

事業名	男女共同参画基本計画進行管理事業			2521-02
担当課	人権・男女共同参画課		現　年	前年度からの繰越
款 03	民生費	当初予算額	69,000円	―
項 01	社会福祉費	最終予算額	69,000円	―
目 08	男女共同参画費	決　算　額	47,075円	―
事業の目的	男女が互いに人権を尊重しつつ、責任を分かち合い、性別にかかわりなくその個性と能力を十分に発揮し、家庭や地域、職場や学校等社会のあらゆる分野において対等に参画し、共に責任を担う社会を実現する。			
事業の概要	「第2次加須市男女共同参画基本計画」の各種施策の適切な進行管理を行う。 【計画期間】令和4年度～令和12年度			

事業の実績・成果

○男女共同参画基本計画に基づく各種事業の進行管理

加須市男女共同参画基本計画の進捗状況を把握するため、関係各課に施策の達成状況調査を行った。定期的に進行管理を行うことで、各課に対し計画の推進を促した。

「男女共同参画に関する市民意識調査」の結果の概要について、加須市男女共同参画審議会へ報告を行った。

◇審議会の開催状況

開催日・場所	内　容	出席人数
令和5年8月1日(火) 加須市役所5階505会議室	・令和4年度　加須市男女共同参画プランの実施状況の報告について	12人
令和5年12月26日（火） 加須市役所4階全員協議会室	・令和5年度　加須市男女共同参画推進事業所表彰について	16人

◇「加須市男女共同参画プラン」令和4年度進捗状況調査結果一覧

基本目標	事業数	取組に対する評価（%）			
		1	2	3	4
社会全体における男女共同参画の推進	25	13事業	3事業	6事業	3事業
		52.0%	12.0%	24.0%	12.0%
家庭における男女共同参画の推進	11	3事業	4事業	3事業	1事業
		27.3%	36.4%	27.3%	9.0%
地域における男女共同参画の推進	16	9事業	3事業	3事業	1事業
		56.2%	18.8%	18.8%	6.2%
働く場における男女共同参画の推進	14	10事業	3事業	1事業	0事業
		71.4%	21.4%	7.2%	0.0%
教育の場における男女共同参画の推進	9	5事業	3事業	0事業	1事業
		55.6%	33.3%	0.0%	11.1%
合　　計	75	40事業	16事業	13事業	6事業
		53.3%	21.3%	17.4%	8.0%

※令和4年度評価基準（各事業の評価の割合については、コロナによる影響を除く）

1 …目標を達成（実績値が目標値の100%以上に達し、当該年度の目標を達成した）
2 …概ね達成（実績値が目標値の80%以上に達した）
3 …やや遅れている（実績値が目標値の80%未満となった）
4 …大幅に遅れている（実績値が目標値の50%未満となった）

事業名	男女共同参画推進事業			2521-03
担当課	人権・男女共同参画課		現　年	前年度からの繰越
款 03	民生費	当初予算額	1,266,000円	―
項 01	社会福祉費	最終予算額	1,266,000円	―
目 08	男女共同参画費	決　算　額	1,101,888円	―
事業の目的	男女共同参画社会の実現を図るため、積極的な啓発活動や各種相談事業等を充実させ、男女共同参画社会の形成を図る。			
事業の概要	男女共同参画市民企画委員と協働し、さまざまな啓発事業を実施する。 また、女性センターでの相談員による各種相談事業の充実を図る。			

事業の実績・成果

○相談事業

くらしの中で起こるさまざまな出来事で悩んでいる女性のために、面接相談を実施し、悩みの解消に向け関係機関を紹介する等、助言を行った。

◇相談数の推移　（単位:人）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
女性のための相談室（相談者数）	23	20	18	36	13

○男女の平等感の意識について

「家庭」「教育」「職場」「政治」「地域活動」の場、「社会通念や風潮」及び「法律や制度の上」では各設問において「平等と感じている」と回答した結果の平均は以下のとおりである。

（単位:%）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
平等意識	29.3	29.4	31.3	28.7	28.4

※男女共同参画セミナー等の参加者を対象にアンケート実施

○各種審議会等における女性委員の割合

女性委員の登用を促進するとともに、女性委員が不在の審議会等の解消に努めている。
令和6年3月31日現在、女性委員のいる審議会は、28審議会、うち13の審議会等において女性委員の登用率が30%を超えている。

○男女共同参画市民企画委員会との協働

行政と市民との協働により男女共同参画を推進するため、男女共同参画に関する講演会、セミナー、フォーラムなど、事業の企画立案から運営までを手がける「男女共同参画市民企画委員会」を運営した。令和5年度は委員14名により組織し、事業部、広報部、研修部の3部会に分かれて活動した。基本的に毎月第3水曜日に定例会を開催し、その他必要に応じて各部会を開催し事業を推進した。

◇男女共同参画情報紙「ぱれっとvol.26・27」の発行

男女共同参画市民企画委員会広報部が中心となり、企画から取材、編集までを手がけ、情報紙を9月と3月に発行し、市内全戸（約39,000戸）に配布した。

「ぱれっとvol.26」
・男女共同参画週間記念講演会
・手と手「命を歌にかけて一生懸命～声の出るかぎり歌っていきたい～」
・男女共同参画セミナーのお知らせ　・男女共同参画パネル展
・女性人材リストの登録者募集

「ぱれっとvol.27」
・「みんなでフォーラムinかぞ」
・男女共同参画推進事業所表彰
・男女共同参画セミナー
・手と手「おいしかったよ、の声を生きがいに～地域の特産・米と野菜を生かして～」
・困ったときの相談窓口

◇男女共同参画週間記念講演会の開催

男女共同参画社会基本法の目的や基本理念に関する理解を深めるための「男女共同参画週間」に併せ、男女共同参画推進のための施策を広く市民へ啓発することを目的として、記念講演会を実施

開催日・場所	テーマ	講　師	出席人数	講師料
令和5年7月7日（金） パストラルかぞ 小ホール	「ＤＶのない社会に ～身近にあるモラルハラスメント～」	ＮＰＯ法人レジリエンス代表 西山さつき	126人	30,000円

◇男女共同参画パネル展示

男女共同参画週間に併せて、令和5年6月21日（水）から7月5日（水）まで、市民プラザかぞエントランスホールにて、令和4年度の男女共同参画推進事業に関するパネル展示を行った。

◇男女共同参画セミナーの開催

令和5年度のテーマ「守る個性　つくる　みんなの未来！」

	開催日・場所	内　容	講　師	参加者数
1	令和5年7月12日（水） 市民プラザかぞ 5階活動室	「汗のニオイ対策 快適生活を」	花王グループカスタマーマーケティング（株） 東條　亜希子　氏	25人
2	令和5年12月2日（土） 市民プラザかぞ 3階多目的ホール	「クリスマス コンサート」	マリンバ奏者・加須市観光大使 篠塚　裕美子　氏 作曲家・編曲家　浅子　勝也　氏 パーカッショニスト　本間　修治　氏	139人
3	令和6年1月17日（水） 市民プラザかぞ 3階301会議室	「楽しく食べて 健康に！」	キユーピー（株） 前田　淳　氏	25人

◇「みんなでフォーラムinかぞ」の開催

男女共同参画市民企画委員会事業部が中心となり、企画から実施まで手がけ、「みんなでフォーラムinかぞ」を開催した。

日　　時　令和6年2月4日（日）13:30～
場　　所　市民プラザかぞ　3階多目的ホール
参加者数　99人
内　　容　・オープニングセレモニー
　　童謡のふる里大利根太鼓
　　・男女共同参画推進事業所表彰：2事業所
　　（株）ハヤカワ、むさしの製菓（株）
　　・講演会
　　「♯男女共同参画ってなんですか」

◇男女共同参画週間記念講演会・セミナー・フォーラム参加者数の推移

（単位:人）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
男女共同参画週間記念講演会	138	－	－	－	126
男女共同参画セミナー	200	11	88	158	189
みんなでフォーラムinかぞ	166	－	－	101	99

◇加須市大利根男女共同参画連絡協議会への支援

補助金交付額　（単位:円）

令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
120,000	120,000	120,000	120,000	120,000

会員数　（単位:人）

令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
710	672	567	552	609

事業名	ＤＶ（ドメスティック･バイオレンス）等相談事業			2521-04
担当課	人権・男女共同参画課		現　年	前年度からの繰越
款 03	民生費	当初予算額	492,000 円	―
項 01	社会福祉費	最終予算額	492,000 円	―
目 08	男女共同参画費	決　算　額	481,784 円	―
事業の目的	配偶者等男女間の暴力を防止・廃絶するため、男女が共に自立し、対等なパートナーとして生活できる社会を構築する。			
事業の概要	女性センターでの相談員による、女性ホットライン（電話相談）で、子育ての悩み・家庭不和・就業支援など、女性に係る各種相談に対し、的確な支援対応に努める。また、市においてＤＶネットワーク会議を開催し、関係各課・機関との情報の共有を図る。 さらに、第２次ＤＶ防止基本計画を踏まえ、市民からの相談や援助要請などに迅速に対応する。			

事業の実績・成果

○相談事業

配偶者等からの暴力（以下ＤＶという）等に対する電話相談事業の充実を図り、関係機関との連携により相談者への的確な支援を行うことにより、ＤＶ被害の防止、抑制に努めた。

◇相談件数の推移　（単位:件）

女性ホットライン（電話）	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
	186	199	172	196	185

※電話相談 185 件中ＤＶ相談 9 件

※毎週月曜日　9：00～16：00（年末年始を除く）

女性相談員による相談業務（令和５年度実施日数 50 日）

◇一時保護施設入所件数の推移　（単位:件）

一時保護施設入所数	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
	1	1	0	0	0

◇ＤＶネットワーク会議

ＤＶ被害者に関する情報を関係機関及び関係各課に提供・共有化を図り、個別の事案に対しての的確な支援方法及び連携関係を構築するための会議を実施した。

１　日　　時　令和５年８月 10 日（木）16：00～
　　場　　所　本庁舎 議場
　　関係課等　市民相談室・市民課・子育て支援課・すくすく子育て相談室・こども保育課・地域福祉課・生活福祉課・障がい者福祉課・高齢介護課・いきいき健康長寿課・騎西総合支所地域振興課・北川辺総合支所地域振興課・大利根総合支所地域振興課・学校教育課
　　内　　容　①ＤＶ被害者支援に必要な共通確認事項について
　　②令和４年度加須市におけるＤＶ被害者支援の状況について
　　③情報交換等

２　日　　時　令和６年３月 18 日（月）16：00～
　　場　　所　本庁舎 3 階 301 会議室
　　関係課等　関係課（同上）、加須警察署生活安全課、加須保健所
　　内　　容　①警察署におけるＤＶ対応について
　　②住民基本台帳事務における支援措置一部改正について
　　③その他

事業名	女性人材育成事業			2523-01
担当課	人権・男女共同参画課		現　年	前年度からの繰越
款 03	民生費	当初予算額	1,749,000円	―
項 01	社会福祉費	最終予算額	1,749,000円	―
目 08	男女共同参画費	決　算　額	1,727,200円	―
事業の目的	女性の社会参画を促すため、リーダーの資質を備えた人材の発掘及び能力向上を図り、よりよいまちづくりを目的とした女性団体の活発な活動を支援する。			
事業の概要	各女性団体間の連携や会員の男女共同参画に対する意識を高めるために、合同研修会の開催などを通じて地域における女性人材の育成を促進する。			

事業の実績・成果

○女性リーダー研修会

本市における男女共同参画の推進にあたり、女性団体の指導的な役割を担う人材の主体的な活動が必要であるため、関係者の資質の向上を図ることを目的として、女性リーダー研修会を開催し、38人が参加した。

（当初予定）

日　時　　令和6年2月22日（木）10：00～
場　所　　市民プラザかぞ 5階 活動室
講　師　　黒須　さち子　氏
演　題　　「災害・防災と男女共同参画」

○女性団体補助金交付

各女性団体に対し積極的な地域活動の支援と男女共同参画行政への協力を図るため、補助金を交付し、事業推進を支援した。

1　かぞ地域女性会連合会・各地区女性会
　地域活動、行事への参加(市民平和祭・快適かぞ市民活動等)、県婦連の会議に参加、部会活動（健康推進部・環境部・福祉部等)、広報紙の発行などの活動を実施した。

2　加須市騎西女性団体連絡協議会
　地域活動、行事への参加(銀杏祭)、視察研修会を開催した。

3　加須市北川辺女性団体連絡協議会
　地域活動（中学校等への植栽プランターの寄贈等)、研修会を実施した。その他、行事への参加、視察研修会を開催した。

4　加須市大利根連合婦人会・各地区女性会
　研修会、講座（標準化セミナー）の開催、広報紙の発行などの活動を実施した。その他、地域活動・行事(市民まつり等)への参加を実施した。

（単位：円）

			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
補助金交付額	全域		1,725,000	1,725,000	1,725,000	1,725,000	1,725,000
	加須地域	かぞ地域女性会連合会	805,000	805,000	805,000	805,000	805,000
		各地区女性会(6地区)	144,000	144,000	144,000	144,000	144,000
	騎西地域	加須市騎西女性団体連絡協議会	241,000	241,000	241,000	241,000	241,000
	北川辺地域	加須市北川辺女性団体連絡協議会	213,000	213,000	213,000	213,000	213,000
	大利根地域	加須市大利根連合婦人会	274,000	274,000	274,000	274,000	274,000
		各地区女性会（2地区）	48,000	48,000	48,000	48,000	48,000

（単位：人）

			令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
会員数	全域		1,546	1,516	1,423	1,373	1,348
	加須地域	かぞ地域女性会連合会	479	462	453	433	430
	騎西地域	加須市騎西女性団体連絡協議会	268	267	232	226	233
	北川辺地域	加須市北川辺女性団体連絡協議会	156	144	136	122	104
	大利根地域	加須市大利根連合婦人会	623	643	602	592	581

○加須市女性団体合同研修会

市内各女性団体間の連携・協働体制の強化や、会員の男女共同参画に対する意識の向上を図ることを目的として、加須市女性団体合同研修会を開催した。

日　時　　令和５年11月14日（火）13:30～
場　所　　北川辺文化・学習センター「みのり」　多目的ホール
講　師　　東洋大学名誉教授　鈴木　孝弘　氏
演　題　　「あまり飲まないほうがいい薬の話～市販の風邪薬などの危険性～」

○加須市女性人材リスト

審議会等委員の選任の際、積極的に女性の登用を行えるよう女性人材リストの充実、活用を図ることを目的とし、人材リスト登録者を増やすための情報収集を行うとともに、女性人材リスト活用の推進に努めた。

（単位：人）

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
登録者数	62	55	55	52	56

事業名		女性センター等運営事業			2523-02
担当課		人権・男女共同参画課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	426,000円	―
項	01	社会福祉費	最終予算額	426,000円	―
目	08	男女共同参画費	決　算　額	411,884円	―
事業の目的		男女共同参画社会の実現を目指し、市民団体並びに相談者等の方々の利便を高めるため、拠点施設である女性センターを適切に運営する。			
事業の概要		女性センター談話室、青年センター談話室、印刷室、ロッカー等の適切な管理運営を行う。			

事業の実績・成果

○女性センター等管理運営事業

女性団体やボランティア団体が活動するスペースの提供や印刷室の管理運営を行い、各グループの自主的な活動を支援した。

◇女性センター各利用数の推移

		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
女性センター利用数	女性センター談話室(人)	1,390	479	742	1,078	1,033
	青年センター談話室(人)	3,317	1,023	1,741	2,478	2,585
	コピー(枚)	6,927	2,417	3,457	4,540	4,356
	リソグラフ(件)	382	186	279	315	371

事業名	ワーク・ライフ・バランス推進事業			2524-02
担当課	人権・男女共同参画課		現　年	前年度からの繰越
款 03	民生費	当初予算額	25,000円	―
項 01	社会福祉費	最終予算額	25,000円	―
目 08	男女共同参画費	決　算　額	17,214円	―
事業の目的	働く人が意欲を持って仕事に取り組むことができ、かつ家庭や地域においても役割と責任を果たすことができるよう、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）のとれた男女共同参画社会の構築を目指す。			
事業の概要	男女ともに仕事や子育てなど自らの希望する生活バランスが得られるよう、「男女共同参画推進事業所表彰」の周知などを通じて意識改革に向けた取組を行う。			

事業の実績・成果

○市内商工業者対象チラシ配布

勤労者の労働と家庭生活の両立のため、雇用者側の理解や職場環境を向上させるための啓発を行った。

・商工会会員事業所　　約2,300社

○男女共同参画推進事業所表彰

令和6年2月4日（日）開催の、「みんなでフォーラム in かぞ」において、２事業所を表彰し、男女共同参画情報紙「ぱれっと」に掲載のうえ全戸配布することにより、市民や他の事業所の「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」について意識啓発を図った。

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
表彰事業所	件数(件)	2	3	2	2	2
	表彰事業所名	ダイユウエンタープライズ㈱ ㈱ハマ電子	㈱大橋製作所 ラビエスト㈱ 日本カードプロダクツ㈱	沼口米菓㈱ (福)さきたま会みずほの里	(福)宏和会ライゼ清輝苑 ㈱ＦＵＮＳ	㈱ハヤカワ むさしの製菓㈱

事業名	子ども・子育て支援計画策定事業			2111-01
担当課	子育て支援課		現　年	前年度からの繰越
款 03	民生費	当初予算額	4,310,000円	―
項 02	児童福祉費	最終予算額	4,310,000円	―
目 01	児童福祉総務費	決　算　額	4,224,000円	―
事業の目的	子どもの健やかな成長のために適切な環境が等しく確保されるよう、子ども・子育て支援事業を総合的かつ計画的に行うため、子ども・子育て支援計画を策定する。			
事業の概要	第3期子ども・子育て支援計画（計画期間：令和7年度～令和11年度）を策定する。			

事業の実績・成果

第3期加須市子ども・子育て支援計画に係る調査及び策定業務について、令和5年度から令和6年度までの2年度にわたる委託契約を締結した。

令和5年度は、小学校就学前又は小学生である児童の保護者並びに小学校5年生、中学校2年生及びこれらの児童・生徒の保護者の中から無作為に抽出した合計4,000人を対象として、「加須市子育て支援に関するアンケート調査」を実施し、子育て支援に関する市民のニーズ及びこどもの生活状況等を把握することができた。

1　委託契約の概要

契 約 日：令和5年12月1日
委 託 料：7,700,000円（令和5年度分の委託料支払額：4,224,000円）
受 注 者：地域計画株式会社　埼玉営業所
履行期間：令和5年12月1日から令和7年3月21日まで

2　調査結果の概要

（単位：件、％）

調査種別	調査対象者	発送数	回収数	回収率
子育て支援に関するニーズ調査	小学校就学前の児童の保護者	1,200	612	51.0
	小学生である児童の保護者	1,200	644	53.7
	小　計	2,400	1,256	52.3
こどもの生活状況調査	小学校5年生の児童	400	201	50.3
	小学校5年生の児童の保護者	400	206	51.5
	中学校2年生の生徒	400	192	48.0
	中学校2年生の生徒の保護者	400	202	50.5
	小　計	1,600	801	50.1
合　計		4,000	2,057	51.4

事業名	子ども・子育て支援計画進行管理事業			2111-02
担当課	子育て支援課		現　年	前年度からの繰越
款 03	民生費	当初予算額	372,000円	―
項 02	児童福祉費	最終予算額	372,000円	―
目 01	児童福祉総務費	決　算　額	175,200円	―
事業の目的	こどもの健やかな成長のために適切な環境が等しく確保されるよう、子ども・子育て支援事業を総合的かつ計画的に行うために策定した「第2期加須市子ども・子育て支援計画」を着実に実行することにより、「子育てするなら加須」と言えるような子育て支援のまちを実現する。			
事業の概要	各年度の実施状況を把握、点検し、子ども・子育て会議で報告の上、市民に公表する。 ・第2期子ども・子育て支援計画（計画期間：令和2年度～令和6年度）の進行管理			

事業の実績・成果

令和5年度に点検、評価を実施した令和4年度における「第2期加須市子ども・子育て支援計画」の取組結果は、総取組数の80%で「目標を達成」又は「目標を概ね達成」となった。

実施状況については、令和5年度第1回加須市子ども・子育て会議（令和5年9月5日開催）で報告するとともに、市のホームページで公表した。

令和4年度　第2期加須市子ども・子育て支援計画の施策の進捗状況評価一覧表

（上段は再掲を含む取組数）（単位：件）

基本目標	取組数	取組に対する評価数（%）					
		1	2	3	4	5	6
1 子育て家庭への人的・経済的支援	115	57（50%）	32（28%）	20（17%）	6（5%）	－	－
	（うち再掲47）	（うち再掲26）	（うち再掲14）	（うち再掲7）	－	－	－
2 親と子の健康づくり	33	14（43%）	12（36%）	5（15%）	2（6%）	－	－
	（うち再掲13）	（うち再掲3）	（うち再掲8）	（うち再掲2）	－	－	－
3 ワーク・ライフ・バランスの子育て支援	45	26（58%）	13（29%）	6（13%）	－	－	－
	（うち再掲20）	（うち再掲12）	（うち再掲5）	（うち再掲3）	－	－	－
4 教育環境の充実	68	24（35%）	26（38%）	12（18%）	6（9%）	－	－
	（うち再掲20）	（うち再掲10）	（うち再掲8）	－	（うち再掲2）	－	－
5 安全で安心な生活環境の充実	33	18（55%）	6（18%）	3（9%）	6（18%）	－	－
	（うち再掲7）	（うち再掲1）	（うち再掲2）	（うち再掲2）	（うち再掲2）	－	－
6 子どもの貧困対策の推進	45	33（73%）	8（18%）	3（7%）	1（2%）	－	－
	（うち再掲41）	（うち再掲31）	（うち再掲6）	（うち再掲3）	（うち再掲1）	－	－
合計	339	172（51%）	97（29%）	49（14%）	21（6%）	－	－
再掲を除く合計	191	89（47%）	54（28%）	32（17%）	16（8%）	－	－

※　令和4年度評価基準

1 … 目標を達成（事業実施による効果が表れた。【実績値が100%以上】）
2 … 概ね達成（事業実施による効果が概ね表れた。【実績値が80%以上】）
3 … やや遅れている（事業実施による効果が小さかった。【実績値が80%未満】）
4 … 大幅に遅れている（事業実施による効果が表れなかった。【実績値が50%未満】）
5 … 未着手（何らかの理由により、事業の着手が出来なかった。）
6 … コロナによる影響（上記3～5までの評価をした事業であって、コロナの影響を受けた。）

事業名	家庭児童相談事業			2111-07
担当課	すくすく子育て相談室		現　年	前年度からの繰越
款 03	民生費	当初予算額	4,277,000 円	―
項 02	児童福祉費	最終予算額	4,275,156 円	―
目 01	児童福祉総務費	決　算　額	4,212,530 円	―

事業の目的	家庭でのこどもに関するさまざまな問題に、専門の相談員を配置し、児童の福祉の向上を図る。
事業の概要	・家庭における児童の福祉に関する相談指導業務 ・すくすく子育て相談室で 3 名の児童相談員が家庭における児童の養育に関し、相談指導業務を行い、家庭における児童の福祉の向上を図る。 月曜日～金曜日 9 時～16 時まで

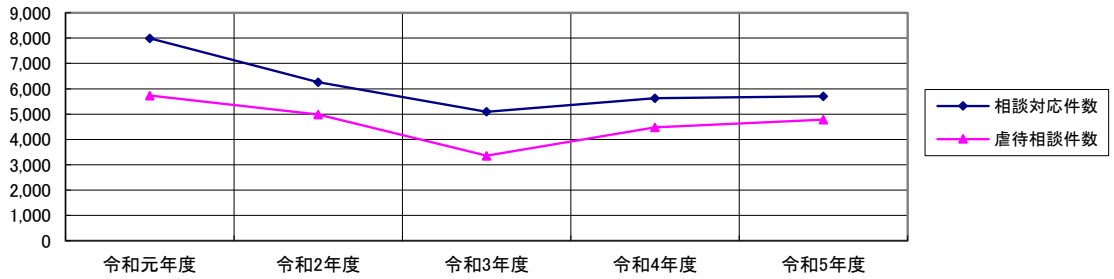
事業の実績・成果

家庭における児童養育等に関する相談指導業務を行い、家庭における児童の福祉の向上を図った。
また、相談員が家庭訪問等を行い、児童や家族を支援した。

・家庭児童相談員　3 人（交代で週 3 日勤務）
・開設日・時間　　月～金曜日、午前 9 時～12 時、午後 1 時～4 時

相談内容・延べ件数の推移　（単位：件）

	性格・生活習慣等	知能言語	学校生活等			非行	家族関係		環境福祉	障害	その他	計
			人間関係	登校拒否	その他		虐待	その他				
令和元年度	0	0	0	12	0	0	5,734	2,033	151	18	45	7,993
令和2年度	0	0	0	18	0	0	4,982	1,193	61	11	0	6,265
令和3年度	0	0	0	0	0	0	3,359	1,408	275	19	30	5,091
令和4年度	0	0	0	0	0	0	4,480	1,007	111	26	0	5,624
令和5年度	0	0	0	0	0	0	4,775	899	4	14	13	5,705



事業名	子育て総合相談事業			2111-08
担当課	すくすく子育て相談室		現　年	前年度からの繰越
款 03	民生費	当初予算額	5,956,000円	―
項 02	児童福祉費	最終予算額	6,532,376円	―
目 01	児童福祉総務費	決　算　額	6,455,889円	―
事業の目的	安心してこどもを産み育てられるよう、保護者の身近な場所で、子育ての相談や助言、情報提供、関係機関との連携により、妊娠・出産・子育ての切れ目のない相談支援を行う。			
事業の概要	すくすく子育て相談室において、妊産婦と乳幼児の実情を把握し、妊娠・出産・子育てに関する各種相談に応じ、必要に応じて支援プランの策定や関係機関との連絡調整を行い、母子保健と子育て支援との一体的な提供を通じて包括的な支援を行う。			

事業の実績・成果

平成30年4月に開設した、加須版ネウボラとなる子育て世代包括支援センター及び子ども家庭総合支援拠点の2つの機能を併せ持つ「すくすく子育て相談室」において、妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援を行った。

児童福祉法改正に伴うこども家庭センターの設置については、すくすく子育て相談室が当該センターの要件を概ね満たしていることから、すくすく子育て相談室をこども家庭センターとする方向で検討し、令和6年3月29日、「加須市こども家庭センター設置要綱」を定め、令和6年4月1日に設置する運びとなった。なお、加須市におけるこども家庭センターの名称は「すくすく子育て相談室」とした。

1　すくすく子育て相談室における対応

(1) 子育て世代包括支援センター

母子保健コーディネーター3名（助産師）を配置し、母子健康手帳の交付時に全ての妊婦に対して面談を行い、支援が必要な家庭と判断した場合には、妊娠・出産・育児に関する「支援プラン」を作成し、情報提供やアドバイスを行うほか、関係機関と連携し、その家庭の状況に適したサービスを提供して支援を行った。

また、子育てコンシェルジュ1名（保育士）を配置し、子育てに関する様々な福祉サービスの情報を提供し、サービスを利用する場合は関係機関の申請につなげるなど、きめ細やかな相談支援を行った。

(2) 子ども家庭総合支援拠点

家庭児童相談員（子ども家庭支援員）3名（教員免許、保育士免許所有者）、虐待対応専門員2名（社会福祉士）を配置し、児童及び妊産婦等を対象に支援や保護が必要なこどもなどへの支援や児童相談所との連携を行い専門的な相談に応じ、家庭訪問等による継続的な支援業務を行った。

2　相談実績

(1) 子育て世代包括支援センター（妊娠・出産・子育ての相談）

延べ相談件数　3,263件

主な内訳：母子健康手帳について　522件（うち支援プラン作成95件、18.2%）

予防接種について　635件

その他（健診案内等）　2,106件

(2) 子ども家庭総合支援拠点（児童虐待等の相談）

延べ相談件数　5,705件

主な内訳：児童虐待関係　4,775件

その他（養育に欠ける問題等）　930件

事 業 名		子育てワクワク情報提供事業			2111-11
担 当 課		すくすく子育て相談室		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	3,000 円	―
項	02	児童福祉費	最終予算額	3,000 円	―
目	01	児童福祉総務費	決　算　額	0 円	―
事業の目的		各事業情報を集約して、市ホームページ等を活用し、情報提供し、子育てを支援する。			
事業の概要		・かぞホッとメールと市公式 LINE にて子育て支援に関する情報を発信。 ・子育てガイドブックを配布し子育て情報を広く周知する。 ・子育て支援に関するパネルを展示する。			

事業の実績・成果

1 かぞホッとメール（子育て情報メール）の配信

登録者に対し、子育てイベント情報・こどもの健康に関する情報・医療機関情報等の即時性の高い情報を配信した。

メール配信登録者数 1,800 人　　メール配信件数　310 件

2 加須市公式 LINE との連携

かぞホッとメールの配信が加須市公式 LINE でも受け取れるようになった。

3　パネル展示

子育て中の親世代及び一般市民に向けた情報発信の一環として、地域で活動されている団体等の活動や子育て支援の取り組みを PR するため、関係機関にパネルの作成を依頼。「小児科医による救急講座・子育て相談」の際に、パネル展示や子育て支援関連のチラシ配布を行った。

4　決算額について

消耗品費として予算を計上していたが、物品の再利用により代用できたため、予算執行がなかった。

事 業 名		子育て支援管理事業			2111-12
担 当 課		子育て支援課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	355,000 円	―
項	02	児童福祉費	最終予算額	202,000 円	―
目	01	児童福祉総務費	決　算　額	168,544 円	―
事業の目的		子育て支援事業を適正、効果的に実施する。			
事業の概要		子育て支援事業に係る管理運営経費			

事業の実績・成果

育休代替職員（会計年度任用職員）の人件費及び子育て支援事業に係る事務経費の支出を行った。

・職員数　1 人（代替期間：令和 5 年 4 月 1 日から令和 5 年 4 月 30 日まで）

事 業 名		子育て短期預かり事業			2112-04
担 当 課		すくすく子育て相談室		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	1,244,000 円	―
項	02	児童福祉費	最終予算額	311,601 円	―
目	01	児童福祉総務費	決　算　額	160,300 円	―
事業の目的		育児疲れや仕事、学校等の公的行事への参加のため、一時的にこどもの養育が困難になったときに市が委託した施設で預かり、養育困難時の子育てを支援することで子育て支援の充実を図る。			
事業の概要		保護者の病気等により養育が一時的に困難となる児童を児童福祉施設で預かることにより、子育てを支援する。 ・ショートステイ…0 歳～18 歳未満、7 日間まで、食事あり ・トワイライトステイ(平日夜間＝学校等終了後～午後 9 時)…3 歳～小学生、食事あり ・ホリデーステイ(午前 8 時 30 分～午後 9 時)…3 歳～小学生、食事あり			

事業の実績・成果

保護者が仕事等の理由によって、家庭でこどもの養育が困難となった場合に、そのこどもを一時的に児童福祉施設で預かることにより、子育てを支援することができた。

社会的養護の高まりにより、委託先の受入が困難な状況が続いていたため、令和 6 年度以降の委託先拡充に向けて、市内外の児童福祉施設に新規契約の依頼を行った。

1　委託先

(1) ショートステイ　　(福) 愛の泉 (愛泉乳児園 (2 歳未満)、愛泉寮 (2 歳以上))
(2) トワイライトステイ　　(福) 愛の泉 (愛泉寮)
(3) ホリデーステイ　　(福) 愛の泉 (愛泉寮)

2　利用日数等の推移

		令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
利用日数(日)	ｼｮｰﾄｽﾃｲ	152	36	14	9	3
	ﾄﾜｲﾗｲﾄｽﾃｲ	0	0	0	0	0
	ﾎﾘﾃﾞｰｽﾃｲ	30	4	20	43	30
委託額(円)	ｼｮｰﾄｽﾃｲ	712,150	190,500	52,500	24,750	28,800
	ﾄﾜｲﾗｲﾄｽﾃｲ	0	0	0	0	0
	ﾎﾘﾃﾞｰｽﾃｲ	122,750	12,750	86,250	184,750	131,500

事 業 名		訪問支援ホームスタート事業			2112-05
担 当 課		すくすく子育て相談室		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	1,556,000 円	―
項	02	児童福祉費	最終予算額	1,556,000 円	―
目	01	児童福祉総務費	決　算　額	1,097,858 円	―
事業の目的		6 歳以下の未就学児がいる家庭へボランティアが訪問し、子育ての孤立感を解消し、元気に子育てできるよう支援する。			
事業の概要		・6 歳以下の未就学児がいる家庭へボランティアが無料で訪問する。 ・週に 1 回、2 時間程度、原則全 6 回の訪問			

事業の実績・成果

・ホームスタートの研修を受けた「ホームビジター」が、調整役の「オーガナイザー（専門職）」と一緒に子育て中の家庭を訪問し、子育ての孤立感を解消し、元気に子育てできるよう支援を行った。
・地域子育て拠点事業補助金の「機能強化型分」を活用し、ホームスタートを実施する関係機関へ補助金を交付した。

訪問実績

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
訪問件数　（件）	19	8	17	4	6
延訪問回数（回）	144	40	26	18	6

事業名	産後支援事業				2112-13
担当課	すくすく子育て相談室			現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	1,172,000円	―
項	02	児童福祉費	最終予算額	2,136,167円	―
目	01	児童福祉総務費	決　算　額	1,565,710円	―
事業の目的	核家族化や子育ての孤立化が進行し、産後の不安や子育てに関する悩みを抱えた家庭に対し、家庭や地域における孤立冠を軽減し、。安心して育児に臨めるよう支援する。				
事業の概要	・産後支援ヘルパー派遣　委託により出家事援助を必要とする家庭にヘルパーの派遣を行う。 ・産後サポート　産後1年未満の母子を対象に教室を月1回開催する。 ・産後ケア　産後1年未満の母子を対象に、直営の訪問型や、委託によりデイサービス型・宿泊型を実施することで、母子の健康状況確認や育児手技の指導等を行う。				

事業の実績・成果

産後支援ヘルパー派遣、産後サポートの教室、産後ケアを行うことにより、育児不安の軽減、こどもの発育・発達に関する悩みの解消等を図ることができた。

令和5年度から産後ケア委託事業所を5カ所に増やすことで、デイサービス型及び宿泊型の利用数及び利用回数の増加に繋がった。

1　産後支援ヘルパー派遣

(1) 委託先（社）加須市社会福祉協議会

(2) 派遣世帯数・事業委託費等の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
派遣世帯数(世帯)	5	6	10	13	5
派遣日数（日）	39	68	121	165	46
派遣時間（時間）	62	112	165	226	54
事業委託費（円）	128,492	91,378	※476,708	526,904	128,610

※令和2年度委託費（10月～3月分）136,098円を含む。

(3) 事業チラシ配布先

すくすく子育て相談室、加須保健センター、市民課、各総合支所市民福祉健康課

2　産後サポートの教室（Happy ママくらぶ～産後をサポートする教室～）

(1) 対象

生後1年未満の母子

(2) 内容

母子のケア、学習会、母子交流等

(3) 参加人数等

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施回数　（回）	12	9	11	12	11
参加延人数（人）	160	39	104	152	205

※一組5回まで利用可

3　産後ケア

(1) 産後ケア事業登録件数

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
登録数（件）	3	7	12	22	34

(2) 産後ケアの利用実績

① 訪問型 産後ケア【平成31年4月1日開始】

生後1年未満の母子を対象に、助産師が自宅へ訪問し、保健指導等産後のケアを行う。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利 用 数（件）	3	4	6	13	7
延利用回数（回）	8	12	19	34	16

※一組7回まで利用可（デイサービス型・宿泊型との併用可）

② デイサービス型 産後ケア【令和2年1月1日開始】

生後4箇月未満の母子を対象に、委託医療機関（スピカレディースクリニック・山王クリニック・ワイズレディスクリニック・はやしだ産婦人科医院・成田レディスクリニック）において、産婦の休息と沐浴等産後ケアを日帰りで行う。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利 用 数（件）	2	0	5	7
延利用回数（回）	6	0	9	24

※一組7回まで利用可（訪問型・宿泊型との併用可）

③ 宿泊型 産後ケア【令和4年9月1日開始】

生後4箇月未満の母子を対象に、委託医療機関（スピカレディースクリニック・山王クリニック・ワイズレディスクリニック・はやしだ産婦人科医院・成田レディスクリニック）において、産婦の休息と沐浴等産後ケアを宿泊して行う。

	令和4年度	令和5年度
利 用 数（件）	4	11
延利用回数（回）	14	40

※一組7回まで利用可（訪問型・デイサービス型との併用可）

事 業 名		子育て支援医療費支給事業			2113-04
担 当 課		子育て支援課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	376,888,000 円	5,569,981 円
項	02	児童福祉費	最終予算額	405,986,000 円	5,569,981 円
目	01	児童福祉総務費	決　算　額	402,407,651 円	5,170,635 円
事業の目的		児童に係る医療費の一部を支給することにより、保護者の経済的な負担を軽減し、児童の保健の向上と福祉の増進を図る。			
事業の概要		支給対象年齢：18 歳の年度末まで 市の支給方法：現物給付（県内）又は償還払 県補助の対象：入院・通院ともに小学校就学前まで			

事業の実績・成果

子育て支援医療費を支給することにより、子育て世帯の経済的な負担を軽減することができた。

また、令和 5 年 7 月 1 日以後の診療分から、子育て支援医療費の支給対象年齢を「15 歳の年度末まで」から「18 歳の年度末まで」に引き上げ、子育て支援を充実させることができた。

1　事業内容

（1）対象児童　市内に住所を有し、医療保険に加入している 18 歳の年度末までにある児童
重度心身障害者医療費支給事業やひとり親家庭等医療費支給事業等の対象者を除く。

（2）支給内容　医療保険が適用される医療費の一部負担金（入院時の食事代を含む。）を補助

（3）支払方法　現物給付（県内）又は償還払

（4）費用負担　県：補助対象経費の 1/2

2　支給件数及び支給金額の推移

（単位：件、円）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
支給件数	159,992	119,123	131,587	144,680	184,900
支給金額	326,646,683	249,260,379	285,242,276	298,797,693	390,666,924

【前年度からの繰越事業（繰越明許）】　　5,170,635 円

・　前年度からの繰越事業の内容
　システム改修委託料（1,870,000 円）
　帳票発行等委託料（1,758,229 円）
　郵便料（1,542,406 円）

・　令和 4 年度から令和 5 年度へ繰り越した理由
　システム改修等の必要な手続に時間を要し、年度内の完了が困難であるため。

事 業 名		未熟児養育医療給付事業			2113-06
担 当 課		すくすく子育て相談室		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	5,155,000 円	―
項	02	児童福祉費	最終予算額	5,560,000 円	―
目	01	児童福祉総務費	決　算　額	5,555,963 円	―
事業の目的		医師が入院養育を必要と認めた新生児・幼児の保健の向上と、保護者の経済的負担の軽減を図るため、養育医療費を給付する。			
事業の概要		・対象児童：医師が入院養育を必要と認めた市内居住の1歳未満の新生児、乳児 ・給付方法：保護者の申請に基づき医療券を交付し、指定医療機関にて受けた養育医療に対して給付を行う。			

事業の実績・成果

埼玉県からの権限委譲を受け、平成25年4月1日より市の事業として行っている。

申請者に対して適正な医療費支給を行うことにより、保護者の経済的な負担の軽減に寄与することができた。

1　事業内容

(1) 支給対象者　　市内に居住し、医師が入院養育を必要と認めた満1歳未満の未熟児

(2) 支 給 内 容　　指定養育医療機関で行う入院治療のうち、「診察」「薬剤又は治療材料の支給」「医学的処置、手術その他の治療」「病院又は診療所への入院」「移送」が対象

(3) 支 払 方 法　　市へ申請後、医療券の交付を受け、指定医療機関にて養育医療の給付を受ける。

(4) 費 用 負 担　　世帯構成員の所得に応じた自己負担額を支払う。

2　支給件数・支給金額の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支給件数(件)	54	66	64	54	77
支給金額(円)	4,559,853	5,527,472	5,610,896	4,093,629	5,553,488

事 業 名		遺児手当事業			2113-07
担 当 課		子育て支援課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	2,847,000 円	―
項	02	児童福祉費	最終予算額	2,847,000 円	―
目	01	児童福祉総務費	決　算　額	2,589,000 円	―
事業の目的		父母の一方又は父母がともに死亡した児童の健全な育成を図る。			
事業の概要		父母の一方又は父母がともに死亡した義務教育修了前の児童の保護者に、児童１人につき月額3,000 円の手当を支給する。 ※　所得制限なし			

事業の実績・成果

対象児童の保護者に遺児手当を支給することにより、児童の健全な育成を図ることができた。

1　事業内容

(1) 支給対象者　　父母の一方又は父母がともに死亡した児童の保護者
(2) 支 給 内 容　　児童１人につき月額3,000 円
(3) 支 給 期 間　　義務教育修了前まで
(4) 所 得 制 限　　なし
(5) 支 払 方 法　　２期に分けて支給（9 月、3 月）

2　対象世帯数、対象児童数、延べ児童数及び手当支給額の推移

（単位：世帯、人、円）

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
対象世帯数	55	60	57	52	54
対象児童数	82	91	85	76	82
延べ児童数	885	979	953	875	863
手当支給額	2,655,000	2,937,000	2,859,000	2,625,000	2,589,000

事 業 名		誕生記念祝事業			2113-08
担 当 課		子育て支援課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	6,200,000 円	―
項	02	児童福祉費	最終予算額	5,803,000 円	―
目	01	児童福祉総務費	決　算　額	5,490,000 円	―
事業の目的		こどもの誕生に祝意を表するとともに、出産後の不安を軽減し、安心してよりよい子育てが行えるよう支援する。			
事業の概要		こどもを出産した方又はその配偶者であって、支給要件を満たす方に対し、誕生記念祝品として絆サポート券を支給する。			

事業の実績・成果

絆サポート券を支給し、こどもの誕生に祝意を表することによって、支給対象者のよりよい子育てのスタートに貢献することができた。

1　支給対象児童
　出生後最初の住民登録が加須市になされた児童
2　支給対象者
　支給対象児童を出産した方又はその配偶者であって、支給対象児童の出生日時点で加須市に住民登録があり、かつ、支給対象児童と同一の世帯に登録されている方
3　支給内容
　祝品（絆サポート券）を支給（支給対象児童１人につき 10,000 円相当）
4　支給件数
　549 件

事 業 名		多子世帯学童保育料軽減事業			2113-09
担 当 課		こども保育課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	6,912,000 円	―
項	02	児童福祉費	最終予算額	6,912,000 円	―
目	01	児童福祉総務費	決　算　額	5,076,375 円	―
事業の目的		複数のこどもを育てている家庭に対し、経済的な支援を行う。			
事業の概要		兄弟姉妹が同時に放課後児童健全育成室を利用の場合、2 人目の保育料を半額、3 人目以降の保育料を無料とする。 公立放課後児童健全育成事業では、保育料算定時に保育料を軽減する。 民間放課後児童健全育成事業では、公営の保育料軽減額を踏まえ、市が民間放課後児童クラブへ補てんする。			

事業の実績・成果

・放課後児童健全育成事業を利用する多子世帯等の保護者に対し保育料を減免し、また、当該事業を実施する民間事業者が多子世帯等の保護者に対し保育料を減免した場合に、その減免分を補助することで、多子世帯等の経済的負担の軽減を図った。

1　事業内容

(1) 減免対象

・兄弟姉妹が同時に放課後児童健全育成事業を利用している世帯

・生活保護受給世帯

(2) 減免内容

【公立放課後児童健全育成事業】

・同時入室第 2 子の保育料を半額減額

・同時入室第 3 子以降の保育料全額減額

【民間放課後児童健全育成事業】

・同時入室第 2 子の保育料の半額減額（上限 4,000 円）

・同時入室第 3 子以降の保育料全額減額（上限 8,000 円）

・生活保護受給世帯の保育料全額減額

2　減免額

事業名	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
公立放課後児童健全育成事業	4,016,500 円	4,363,800 円	4,782,663 円	5,597,796 円
民間放課後児童健全育成事業	5,044,275 円	5,940,831 円	5,578,746 円	5,076,375 円

※公立放課後児童健全育成事業では、減免後の額で保育料を徴収している為、当事業の決算額には含まれない。

事 業 名		子育てのための施設等利用費支給事業			2113-11
担 当 課		こども保育課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	78,456,000 円	―
項	02	児童福祉費	最終予算額	78,456,000 円	―
目	01	児童福祉総務費	決　算　額	61,477,045 円	―
事業の目的		幼児期の教育及び保育等を行う施設等の利用費を無償化し、子育てを行う家庭の経済的負担の軽減を図る。			
事業の概要		無償化に必要な施設等利用給付認定を行い、請求に基づき給付費を支払う。 新制度未移行幼稚園の保育料のほか、幼稚園の預かり保育、認可外保育施設等の利用料を無償化する。 無償化の対象は 3 歳児クラスから 5 歳児クラスのこども全員と、0 歳児クラスから 2 歳児クラスの住民税非課税世帯のこども。			

事業の実績・成果

無償化に必要な施設等利用給費認定について申請に基づき審査し、該当者全員を認定した。
令和元年 10 月の無償化以降について、請求分の給付費を執行した。

支出金額

	令和元年度 (10 月 1 日～)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
施設　(円)	26,858,360	50,657,100	58,761,100	60,365,965	54,978,535
保護者 (円)	1,717,660	3,404,625	4,933,650	5,653,653	6,498,510

事 業 名		にぎやか家庭子育て応援事業			2113-14
担 当 課		子育て支援課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	1,261,000 円	―
項	02	児童福祉費	最終予算額	1,261,000 円	―
目	01	児童福祉総務費	決　算　額	1,052,227 円	―
事業の目的		少子化によりこどもの数が少なくなる中で、こどもをたくさん産み育て、市の人口減少の歯止めと市の活性化に貢献している家庭を応援する。			
事業の概要		・同一の世帯に 18 歳の年度末までのこどもが 2 人以上いる家庭に、第 3 子以降のこどもが誕生した場合に、絆サポート券を支給する。 ・基準日（1 月 1 日）時点で、15 歳までのこどもを 5 人以上養育している家庭を、記念品（絆サポート券）を添えて表彰する。			

事業の実績・成果

表彰や記念品の贈呈を通じて「子どもを産み育てやすいまち」をアピールすることができた。

また、絆サポート券を支給することによって、多子家庭を支援できたとともに、地域の活性化に貢献することができた。

1　事業内容

(1) にぎやか家庭表彰

1 月 1 日時点で、市内に在住し、15 歳までのこどもを 5 人以上養育している家庭を表彰し、記念品（絆サポート券　1 家庭につき 10,000 円相当）を贈呈

(2) 絆サポート券支給

市内に在住し、同一の世帯に 18 歳の年度末までのこどもが 2 人以上いて、第 3 子以降のこどもが誕生した家庭に対し、記念品（絆サポート券　1 子につき 10,000 円相当）を贈呈

2　事業実績

(1) にぎやか家庭表彰

（単位：家庭）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
表彰家庭数	4	3	1	4	1

(2) 絆サポート券支給

（単位：件）

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
支給件数	132	106	104

事業名	教育・保育に係る教材費等補助事業			2113-15
担当課	こども保育課		現　年	前年度からの繰越
款 03	民生費	当初予算額	3,330,000 円	―
項 02	児童福祉費	最終予算額	3,330,000 円	―
目 01	児童福祉総務費	決　算　額	2,356,098 円	―
事業の目的	生活保護世帯、低所得世帯、多子世帯の幼稚園・保育所等の利用にかかる実費負担を軽減し、これら世帯の幼稚園・保育園等の円滑な利用を図る。			
事業の概要	幼稚園・保育所等を利用する生活保護世帯、低所得世帯、多子世帯の副食教材・行事費等の実費徴収にかかる費用の一部を補助。 加須市独自に保育所の副食費多子軽減範囲を小学校 3 年生以下の兄姉まで拡大し一部を補助。 補助限度額（月額）：副食材料費 4,700 円、教材・行事費 2,500 円			

事業の実績・成果

1　生活保護世帯等の幼稚園・保育所等の利用に伴う副食材料費、教材・行事費の一部を補助することにより、幼稚園・保育所等の円滑な利用を推進した。

補助請求者数・金額

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
児童数（人）	6	5	5	2	0
内、幼稚園(人)	1	3	3	2	0
内、保育園(人)	5	2	2	0	0
補助金額（円）	52,317	24,874	27,530	18,600	0
内、幼稚園(人)	33,757	15,000	17,450	18,600	0
内、保育園(人)	18,560	9,874	10,080	0	0

2　未移行幼稚園を利用する年収 360 万円未満世帯及び小学校 3 年生以下の兄姉から数えて第 3 子以降の副食材料費の一部を補助することにより、円滑な利用を促進した。

補助請求者数・金額

	令和元年度	令和 2 度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
児童数（人）	16	26	15	18	14
補助金額（円）	292,032	754,968	711,750	859,651	668,048

3　加須市独自に保育所の副食費多子軽減範囲を小学校 3 年生以下の兄姉にまで拡大し、副食材料費の一部を補助することにより、円滑な利用を促進した。

補助請求者数・金額

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
児童数（人）	22	35	31	28	31
補助金額（円）	549,000	1,430,401	1,627,295	1,503,950	1,688,050

事業名	子育て支援センター事業			2114-05
担当課	すくすく子育て相談室		現　年	前年度からの繰越
款 03	民生費	当初予算額	54,590,000円	―
項 02	児童福祉費	最終予算額	56,551,000円	―
目 01	児童福祉総務費	決　算　額	51,974,976円	―
事業の目的	地域における子育て支援拠点としてのセンターの充実を図り、子育て支援を推進する。			
事業の概要	子育て中の方を対象に親子の交流の場を提供し、親子交流会、育児相談の開催、子育てサークルの育成、子育て情報の提供等を行う。 ・地域子育て支援センター：18か所 一般型：7か所（うち公立2か所） 公立幼稚園：11か所			

事業の実績・成果

子育て支援センターに運営費を助成し、地域における子育て支援を推進した。

・子育て支援センター助成　　37,028,142円

(1) 子育て家庭への支援活動を企画する職員を配置し、育児に対する相談・子育てサークル等への支援・特別保育事業の積極的な取り組みなどを行うことにより育児支援を行った。

(2) 対象施設

公立幼稚園を除く7施設（愛の泉ふれあいホーム、加須保育園、花崎保育園、三俣第一保育園、吉川保育園、北川辺子育て支援センター、大利根子育て支援センター）

(3) 事業内容

	年間開所日数（日）	年間延利用者数（人）	主な事業内容
愛の泉ふれあいホーム	229	1,975	育児相談（面接相談、電話相談）子育て支援、親子製作・遊び等
加須保育園	243	6,007	
花崎保育園	290	502	
三俣第一保育園	239	1,817	
吉川保育園	142	137	
北川辺子育て支援センター	236	2,667	
大利根子育て支援センター	291	5,649	

・物価高騰に係る対応（事業者支援）を実施した（巻末参照）。

事業名	子育てサロン事業				2114-06
担当課	すくすく子育て相談室			現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	223,000円	―
項	02	児童福祉費	最終予算額	223,000円	―
目	01	児童福祉総務費	決　算　額	47,983円	―
事業の目的	各地域で活動する子育て支援団体の連携により、子育てに関する情報の共有化を図るとともに、子育て家庭の現状と課題を把握し、地域ぐるみで子育てを支援する体制づくりと意識の醸成を図る。				
事業の概要	子育て中の親子を対象に子育て相談や情報交換等の場の提供及び子育てサークル等子育てボランティアへの活動の場の提供と支援を図る。				

事業の実績・成果

○　子育てサロンの運営

・子育て支援団体等が中心となって身近な地域に親子で交流できるサロンを運営し、28,871人の保護者及び児童がボランティア及び利用者と交流できた。

（単位：人）

No	地域名	サロンの名称	開設日	利用者数
1	加須	花崎児童館子育てサロン	平成22年　6月24日	7,155
		※ならでわの日		※0
2		市民プラザかぞ子育てサロン	平成22年10月　8日	235
		※子育てワンポイントセミナー		※109
3		加須コミュニティーセンター子育てサロン	平成23年10月12日	287
4		利根川こども館子育てサロン	平成25年　2月22日	16,513
5		不動岡コミュニティーセンター子育てサロン	平成25年　6月23日	4,188
6	騎西	ふれあい広場	平成23年　4月12日	47
7		ホップサロン	平成23年　5月17日	112
8		ファミサポサロン	平成29年　4月　1日	0
9		あいあいサロン	平成24年　5月30日	157
10	北川辺	北川辺子育てサロン	平成23年　1月31日	78
11	大利根	さくらんぼ広場	平成23年　1月19日	47
12		きらきらキッズ	平成23年　1月19日	0
13		ぽっけ	平成23年　1月19日	52
合　計				28,871

※は内数

事 業 名		子育て支援ネットワーク事業			2114-07
担 当 課		すくすく子育て相談室		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	405,000 円	―
項	02	児童福祉費	最終予算額	405,000 円	―
目	01	児童福祉総務費	決　算　額	205,141 円	―
事業の目的		子育て支援関係団体の連携を強化して、子育て環境の充実を図り、地域での子育て支援を促進する。			
事業の概要		・子育て支援団体の情報交換会、研修 ・ファシリテーターの養成 ・親支援プログラムの開催 ・チラシ、メール配信等によるイベント案内			

事業の実績・成果

○　事業内容

(1) 親支援プログラム講座（ノーバディズ・パーフェクト・プログラム）の開催

「完璧な親なんかいない」という理念のもと、子育て中の親を支援するプログラムを 2 会場で実施し、親支援を実施することができた。

実施回数　　2 回

①令和 5 年 6 月 1 日、8 日、15 日、22 日、29 日、7 月 6 日（全 6 日）

会　　場　　不動岡コミュニティセンター

参加人数　　6 名

②令和 5 年 11 月 7 日、14 日、21 日、28 日、12 月 5 日、12 日

会　　場　　北川辺文化・学習センター（みのり）

参加人数　　6 名

(2) 親支援プログラム フォローアップの開催（同窓会・交流会）

過去に開催した同プログラムの参加者へのフォローアップのため、同窓会・交流会を開催した。

実施グループ　　4 グループ

参加人数　　計 34 名

(3) ＦＳプログラムブラッシュアップ研修

ＦＳプログラム（通称：赤ちゃんプログラム）ファシリテーターとしての見識を深め、専門的な技術の習得及びスキルアップを図るため、オンラインでの研修へ参加した。

研 修 名　　ファシリテーションブラッシュアップ講座（子どもと家族支援研究センター主催）

開 催 日　　令和 5 年 9 月 8 日

参加人数　　5 名

(4) 令和 5 年度親子ふれあい事業「子どもフェスタ」への参加

開 催 日　　令和 5 年 11 月 5 日

会　　場　　アスタホール

出店内容　　工作・事業紹介

事 業 名		民間児童館助成事業			2114-13
担 当 課		子育て支援課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	3,189,000 円	―
項	02	児童福祉費	最終予算額	3,309,000 円	―
目	01	児童福祉総務費	決　算　額	3,309,000 円	―
事業の目的		児童の健全な育成を促進するため、市内の民間児童館の運営及び事業の実施を支援する。			
事業の概要		市内の民間児童館に補助金を交付し、児童の健全育成・養育に関する相談事業、地域グループの活動支援事業、異年齢交流・世代間交流事業の実施を支援する。			

事業の実績・成果

市内で民間児童館を開設している社会福祉法人加須福祉会に事業費補助金（3,000,000 円）を交付し、民間児童館の運営を支援することによって、地域におけるこどもの遊びの場を確保することができた。

また、地域組織活動育成クラブ（みつまた母親クラブ）に活動補助金（189,000 円）を交付することによって、母親など地域住民の積極的な参加による地域組織の活動を促進することができた。

1　施設の名称

みつまた児童館（みつまた保育園に併設）

2　開館日数及び利用者数

（単位：日、人）

開館日数	利用者数					
	幼　児	小学生	中学生	大人等	合計	1 日当たり
239	9,953	10,534	0	3,132	23,619	99

3　実施事業

(1) 相談事業
(2) 啓発活動・福祉サービス利用の調整等
(3) 地域住民による自主的活動の支援等
(4) 関係機関等への連絡・協力
(5) 地域行事との連携
(6) 異年齢児との交流
(7) 引きこもり・不登校等児童に対する支援
(8) 思春期児童の養育の支援　など

物価高騰に係る対応（事業者支援）を実施した（巻末参照）。

事業名	子どもの居場所づくり事業			2114-14
担当課	子育て支援課		現　年	前年度からの繰越
款 03	民生費	当初予算額	20,019,000円	―
項 02	児童福祉費	最終予算額	21,174,000円	―
目 01	児童福祉総務費	決　算　額	20,125,485円	―
事業の目的	地域における児童の居場所を創出する。			
事業の概要	放課後や休日に、こどもが立ち寄り、一時を過ごせるこどもの居場所を公共施設等に創出する。また、地域ボランティア等と協働し、放課後子ども教室を開催し、体験学習や遊びを提供する。			

事業の実績・成果

1　公立児童館等の運営

公立の加須児童館、花崎児童館及び利根川こども館において、感染症への対策を講じながら、職員の創意工夫と地域との連携によって、こどもの遊びの場を提供した結果、前年度を上回る利用者数となった。

(1) 開館日数及び利用者数

（単位：日、人）

	開館日数	利用者数					
		幼　児	小学生	中学生	大人等	合　計	1日当たり
加須児童館	309	960	5,745	1,332	1,530	9,567	31
花崎児童館	309	3,627	7,378	406	3,528	14,939	48
利根川こども館	309	6,346	4,794	480	10,167	21,787	71
合　計	―	10,933	17,917	2,218	15,225	46,293	―

(2) 年間利用者数の推移

（単位：人）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
加須児童館	13,121	6,955	10,758	10,638	9,567
花崎児童館	18,394	4,519	9,125	10,153	14,939
利根川こども館	21,721	6,346	12,640	16,059	21,787
合　計	53,236	17,820	32,523	36,850	46,293

2　放課後子ども教室の設置・運営

放課後におけるこどもの居場所づくりとして、学区協議会やイベントの開催等を予定していたが、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた内容の多くを実施することができなかった。

開催校	学区協議会	イベント
不動岡小学校	0回	―
騎西小学校	0回	―
田ケ谷小学校	1回	芋煮会を予定したが、インフルエンザ流行により中止
大利根東小学校	1回	―
水深小学校	1回	―

事 業 名		児童虐待防止等ネットワーク事業			2114-15
担 当 課		すくすく子育て相談室		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	195,000 円	―
項	02	児童福祉費	最終予算額	214,700 円	―
目	01	児童福祉総務費	決　算　額	206,746 円	―
事業の目的		保護者からの虐待等で、保護が必要な児童に対して適切な対応を図り、児童の健全な育成を図る。			
事業の概要		本市の虐待防止等ネットワークを構成している機関の代表者会議、実務者会議、個別ケース検討会議を開催し、虐待等の予防から早期発見・早期対応、保護・支援・アフターケアまでの総合的な支援を図る。 なお、児童福祉法の一部改正により、平成 29 年 4 月から、要保護児童地域対策協議会の調整機関に専門職（児童福祉司、保健師、保育士等）を配置			

事業の実績・成果

児童虐待相談件数が増加し、それに伴い相談内容が複雑・多様化しているため、ケースに関わりのある関係機関が集まり、個別ケース検討会議を随時開催している。ケース課題の整理と関係機関の役割分担を明確化し、虐待の再発防止に努めた。

実務者会議、代表者会議では各関係機関との連携強化を図り、要保護児童等に対する情報交換、支援等についての協議を行い、虐待予防から早期発見・早期対応、保護・支援・アフターケアまでの総合的な支援を図っている。代表者会議は年 1 回、実務者会議は毎月 1 回計 12 回開催している。

また、児童・保護者への虐待防止啓発を目的として、市内小学 1 年生全生徒に虐待防止啓発用のクリアファイルを配布した。また、市役所窓口にて虐待防止啓発用のポケットティッシュを配布し、市民の意識啓発を行った。

ヤングケアラー支援については、令和 5 年 5 月 24 日、民生委員・児童委員協議会において、県出前講座(ヤングケアラー支援スタートブック)を利用した研修を行うとともに、令和 6 年 1 月 19 日には市職員を対象にヤングケアラー研修（テーマ：ヤングケアラーの基本的理解と市職員の役割）を実施し、ヤングケアラーへの理解を深め、市全体で支えていくための体制づくりを推進した。

○会議開催件数　個別ケース検討会議　15 回（随時）
　　実務者会議　12 回（月 1 回）
　　代表者会議　1 回（年 1 回）
○実務者会議で取り扱った件数　47 件
　うち、家庭環境改善等で終結した件数　9 件

事 業 名		母子福祉団体助成事業			2114-18
担 当 課		すくすく子育て相談室		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	18,000 円	―
項	02	児童福祉費	最終予算額	18,000 円	―
目	01	児童福祉総務費	決　算　額	18,000 円	―
事業の目的		地域において児童福祉の向上を推進する団体に対する助成を行い、地域における子育て支援を促進する。			
事業の概要		加須市における母子及び寡婦福祉団体への事業費補助金を交付し支援			

事業の実績・成果

母子家庭等の福祉の向上を図るため、加須市大利根母子福祉会に対して事業費補助金（18,000 円）を交付した。

会員相互の連絡を密にし、多様化する社会生活の変化に対応する新たな生活意識の熟成を図るため、他団体との連携や協働により子育て支援の取組みを実施した。

事業名	母子家庭等自立支援事業			2122-08
担当課	子育て支援課		現　年	前年度からの繰越
款 03	民生費	当初予算額	10,113,000円	―
項 02	児童福祉費	最終予算額	12,689,000円	―
目 01	児童福祉総務費	決　算　額	11,967,000円	―
事業の目的	母子家庭及び父子家庭の生活の安定のため、これらの家庭の母又は父が就業に有利な専門技能を取得し、自立した生活を送ることができるよう支援する。			
事業の概要	・母子家庭等高等職業訓練促進給付金等事業 市民税非課税世帯は月額 100,000 円（課税世帯は月額 70,500 円。訓練最終年は月額 40,000 円を加算）を支給する。 ・母子家庭等自立支援教育訓練給付金事業 修了した講座の受講料の 60%（教育訓練給付支給対象者は教育訓練給付金の額を差し引いた額）を支給する。			

事業の実績・成果

母子家庭等自立支援教育訓練給付金及び母子家庭等高等職業訓練促進給付金等を支給することにより、母子家庭等の母又は父の就業や自立に貢献することができた。

また、児童扶養手当の受給者に情報提供するとともに、窓口でのパンフレットの配布やホームページへの事業内容の掲載等を行うことにより、支援が必要な方を事業の利用につなげることができた。

1　母子家庭等自立支援教育訓練給付金

令和5年度は、申請がなかったため支給実績なし。

（単位：件、円）

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
母子家庭等自立支援教育訓練給付金	支給件数	2	3	3	3	0
	支給額	192,326	89,912	77,920	210,600	0

2　母子家庭等高等職業訓練促進給付金等

6か月以上のカリキュラムを修業し、対象資格の取得が見込める場合、修業期間の全ての期間で促進給付金を、訓練修了後に修了支援給付金を支給し、母子家庭の自立を支援した。

（単位：件、円）

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
高等職業訓練促進給付金	支給件数	4	6	7	5	8
	支給額	4,802,000	7,446,000	7,100,000	4,926,000	9,366,000
高等職業訓練修了支援給付金	支給件数	2	2	3	1	1
	支給額	100,000	100,000	150,000	50,000	25,000

事業名	ひとり親家庭等医療費事業			2122-11
担当課	子育て支援課		現　年	前年度からの繰越
款 03	民生費	当初予算額	51,132,000 円	1,246,090 円
項 02	児童福祉費	最終予算額	54,397,000 円	1,246,090 円
目 01	児童福祉総務費	決　算　額	54,105,122 円	1,246,090 円
事業の目的	子育て中のひとり親家庭等を経済的に支援し、生活の安定を図る。			
事業の概要	ひとり親家庭等の 18 歳の年度末までの児童（一定程度の障害の状態にある 20 歳までの児童を含む。）とその母(父)又は養育者に係る医療費の一部を支給する。			

事業の実績・成果

ひとり親家庭等医療費を支給することにより、ひとり親家庭等の生活の安定と自立に貢献することができた。

また、令和 5 年 7 月 1 日以後の診療分から、自己負担を不要とする対象者の年齢を「15 歳の年度末まで」から「18 歳の年度末まで」に引き上げるとともに、全ての対象者を現物給付の対象とし、ひとり親家庭等への支援を充実させることができた。

1　事業内容

(1) 支給対象者　ひとり親家庭等の 18 歳の年度末（一定の障害がある児童は 20 歳未満）までとその母（父）又は養育者

(2) 支給内容　医療保険が適用される医療費のうち保険適用後の一部負担金の額から、支給対象者の自己負担分及び他制度から本人に支給される附加給付等を控除した額を支給

(3) 自己負担　支給対象者のうち児童を除く者が市町村民税課税者の場合、自己負担金が発生
　①通院の場合　1 医療機関等ごと、1 人につき 1,000 円／月
　②入院の場合　1 医療機関等ごと、1 人につき 1,200 円／日

(4) 支給期間　受給者証交付申請日（申請日前に遡及する場合あり）から受給資格消滅日まで
　（支給対象者又は扶養義務者等の所得が制限額を超える場合は支給停止）

(5) 所得制限　児童扶養手当制度の一部支給限度額

(6) 支払方法　現物給付（県内）又は償還払

(7) 費用負担　県：補助対象経費の 1/2

2　支給対象者数及び支給件数の推移

（単位:人）

		令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
支給対象者数	(父母)	950	822	767	745	720
	(児童)	1,424	1,254	1,197	1,186	1,163

（単位：件）

支給件数	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
	19,129	16,557	16,846	16,872	20,386

【前年度からの繰越事業（繰越明許）】　1,246,090 円

・　前年度からの繰越事業の内容
　システム改修委託料（715,000 円）
　帳票作成等委託料（387,090 円）
　郵便料（144,000 円）

・　令和 4 年度から令和 5 年度へ繰り越した理由
　システム改修等の必要な手続に期間を要し、年度内の完了が困難であるため。

事業名	子ども食堂・フードパントリー支援事業			2122-14
担当課	子育て支援課		現　年	前年度からの繰越
款 03	民生費	当初予算額	2,300,000円	―
項 02	児童福祉費	最終予算額	2,300,000円	―
目 01	児童福祉総務費	決　算　額	2,300,000円	―
事業の目的	市内におけるこども食堂及びフードパントリーの活動を推進する。			
事業の概要	・こども食堂及びフードパントリーの活動を行う団体のネットワーク化を推進する。 ・加須市子育て応援子ども食堂・フードパントリー団体連絡会の運営に対し補助金を交付する。			

事業の実績・成果

・　フードドライブを開催し、市内で活動するこども食堂及びフードパントリーの支援を行った。
・　市内でこども食堂やフードパントリーの活動を行う団体の課題解決や持続的な運営を目指し、令和5年5月29日に、県内初となるネットワーク組織「加須市子育て応援子ども食堂・フードパントリー団体連絡会」が発足した。
・　埼玉県と連携した団体連絡会への人的・財政的支援によって、各活動団体間の情報共有及び連携が図られたとともに、令和6年3月28日には、団体連絡会の活動拠点となる「加須こどもまんなか広場（こ・こ・か・ら）」の開設に至った。

フードドライブ

実施時期		寄贈出品数
第1回	令和5年　5月　8日（月）～令和5年　5月 12日（金）	1,017点
第2回	令和5年　7月　3日（月）～令和5年　7月　7日（金）	1,559点
第3回	令和5年　9月　4日（月）～令和5年　9月　8日（金）	1,308点
第4回	令和5年 11月　6日（月）～令和5年 11月 10日（金）	2,025点
第5回	令和6年　1月　9日（火）～令和6年　1月 12日（金）	2,157点
第6回	令和6年　3月　4日（月）～令和6年　3月　8日（金）	1,256点

フードドライブ贈呈式・情報交換会

実施日	
第1回	令和5年　5月 15日（月）
第2回	令和5年　7月 10日（月）
第3回	令和5年　9月 13日（水）
第4回	令和5年 11月 13日（月）
第5回	令和6年　1月 17日（水）
第6回	令和6年　3月 11日（月）

加須市子育て応援子ども食堂・フードパントリー団体連絡会登録団体一覧（令和6年3月31日時点）

活動形態	団体名称	活動形態	団体名称
こども食堂	すくすく広場	フードパントリー	加須子育て応援フードパントリー
	つくしの家		あいせん子育て応援フードパントリー
	北小浜みんなで子ども食堂		加須北子育て応援フードパントリー
	くつろぎカフェ・加須北		騎西子育て応援フードパントリー
	光明寺おてら食堂		鴻茎陽気な子育て応援フードパントリー
	―		ゆめさくらフードパントリー加須

事 業 名	就学前子ども教育・保育認定事業			2131-01
担 当 課	こども保育課		現　年	前年度からの繰越
款　03	民生費	当初予算額	5,554,000 円	―
項　02	児童福祉費	最終予算額	5,554,000 円	―
目　01	児童福祉総務費	決　算　額	5,215,921 円	―
事業の目的	就学前（0～5 歳）児童に必要に応じた保育・教育を提供し、保育・教育の適正化と子育て家庭への支援を図る。			
事業の概要	就学前（0～5 歳）児童に、必要に応じて支給認定証を交付する。 保育サービスの提供を実施するため必要となる一連の事務を行う。 市民税を算定基礎に保育料の賦課徴収を行う。			

事業の実績・成果

1　認定者数（年度末現在）

（単位：人）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
1 号認定（教育）	942	991	908	851	801
2 号認定（保育　満 3 歳以上）	1,812	1,905	1,739	1,666	1,613
3 号認定（保育　満 3 歳未満）	795	749	563	719	741
合計	3,549	3,645	3,210	3,236	3,155

事業名	民間保育所運営委託事業			2131-02
担当課	こども保育課		現　年	前年度からの繰越
款 03	民生費	当初予算額	1,699,581,000円	―
項 02	児童福祉費	最終予算額	1,723,391,000円	―
目 01	児童福祉総務費	決　算　額	1,700,368,218円	―
事業の目的	保育を希望する乳幼児の保育を委託し、子育てと仕事の両立を支援するとともに、保育サービスの充実を図る。			
事業の概要	保育所で保育の利用を行った場合、国が定める公定価格に基づいて、給付費を各保育所に支出する。（市内公立保育所を除く） ※なお、公定価格は入所児童の年齢、保育所の規模、場所、運営状況により決められている。			

事業の実績・成果

民間保育所に対して、国が定める公定価格に基づいて運営費を支給し、保育の充実を図った。

1　保育所の定員・入所児童数・運営費等

	定員（人）	0歳児（人）	1歳児（人）	2歳児（人）	3歳児（人）	4歳児（人）	5歳児（人）	合計※2（人）	運営費※3（円）
愛泉幼児園	140	12	28	27	26	25	28	146	165,626,590
戸川保育園	70	6	12	12	14	18	14	76	96,691,540
加須保育園	160	15	28	29	33	34	30	169	163,849,470
不動岡保育園	80	0	0	20	20	25	24	89	100,378,120
不動岡第二保育園	20	13	18	0	0	0	0	31	103,972,180
志多見保育園	60	2	8	13	18	12	14	67	82,234,500
花崎保育園	180	21	31	30	28	27	23	160	149,890,020
三俣第一保育園	130	15	21	24	26	19	24	129	159,619,660
三俣第三保育園	120	7	22	24	23	23	21	120	130,139,440
みなみ保育園	131	12	20	24	26	31	31	144	148,283,740
にしき保育園	50	6	12	12	11	11	12	64	90,952,360
吉川保育園	60	4	8	8	8	6	9	43	56,244,680
リトル花保育園	90	12	16	20	20	20	20	108	141,474,580
その他※1	－	16	24	24	21	20	16	121	87,201,338
合計	－	141	248	267	275	271	267	1,469	1,676,558,218

※1　その他・・・市外公・私立保育園の総数
※2　入所児童数は令和6年3月31日現在のもの
※3　運営費は年間の支給額

2　国庫支出金返還金　　18,886,000円
3　県支出金返還金　　4,924,000円

事業名	民間認定こども園・幼稚園等給付費支給事業			2131-03
担当課	こども保育課		現　年	前年度からの繰越
款 03	民生費	当初予算額	560,702,000円	―
項 02	児童福祉費	最終予算額	560,702,000円	―
目 01	児童福祉総務費	決　算　額	504,961,198円	―
事業の目的	就学前（0～5歳）児童に必要に応じた保育・教育を提供し、保育・教育の適正化と子育て家庭への支援を図る。			
事業の概要	就学前(0～5歳）児童の認定区分ごとに保育･教育を提供する。保育又は教育を提供した民間施設（子ども･子育て支援新制度に移行した私立幼稚園,認定こども園及び地域型保育施設）は、利用した児童分の施設型給付費を市に請求し、市は確認のうえ施設に支払う（法定代理受領)。 単価は児童の年齢、園の定員による。			

事業の実績・成果

子ども・子育て支援新制度に移行した認定こども園等に対して、国が定める公定価格に基づいて運営費を支給し、保育・教育の充実を図った。

認定こども園等の定員・入所児童数・運営費等

	認定区分	定員（人）	0歳児（人）	1歳児（人）	2歳児（人）	3歳児（人）	4歳児（人）	5歳児（人）	合計※2（人）	運営費※3（円）
騎西桜が丘	1号	90	－	－	－	25	25	29	79	191,971,852
	2,3号	130	12	20	24	24	23	25	128	
大利根ふじこども園	1号	75	－	－	－	23	22	23	68	130,128,250
	2,3号	80	2	8	13	14	18	18	73	
市外私立幼稚園・認定こども園	1号	－	－	－	25	47	45	34	151	163,374,526
	2,3号	－	18	34	44	47	51	48	242	
地域型保育施設※1	2,3号	－	4	4	1	－	－	－	9	19,486,570
合計	－	－	36	66	107	180	184	177	750	504,961,198

＊認定区分・・・1号　満3歳以上教育認定（幼稚園、認定こども園幼稚園部分入園児）
2号　満3歳以上保育認定（保育所、認定こども園保育部分入園児）
3号　満3歳未満保育認定（保育所、認定こども園保育部分、小規模保育等入園児）

※1　地域型保育施設・・・小規模保育事業、家庭的保育事業に属する保育施設
※2　入所児童数は令和6年3月31日現在のもの
※3　運営費は年間の支給額

事 業 名		低年齢児保育事業			2131-05
担 当 課		こども保育課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	65,950,000 円	―
項	02	児童福祉費	最終予算額	67,850,000 円	―
目	01	児童福祉総務費	決　算　額	67,850,000 円	―
事業の目的		乳幼児を含めた多様な年齢の児童を育てる家庭の保育ニーズに対応した保育サービスの充実を図る。			
事業の概要		低年齢児の特性に応じた保育体制を確保するため、民間保育所に次の補助（県費 1/2）を行う。 ① 1 歳児 4 人に対し保育士 1 人の配置で 1 歳児 1 人当たり月額 20,000 円。 ② 乳児の年度途中入所に応じるため予め保育士を確保した場合、未充足乳児 1 人当たり 80,000 円（上限 882,000 円）。			

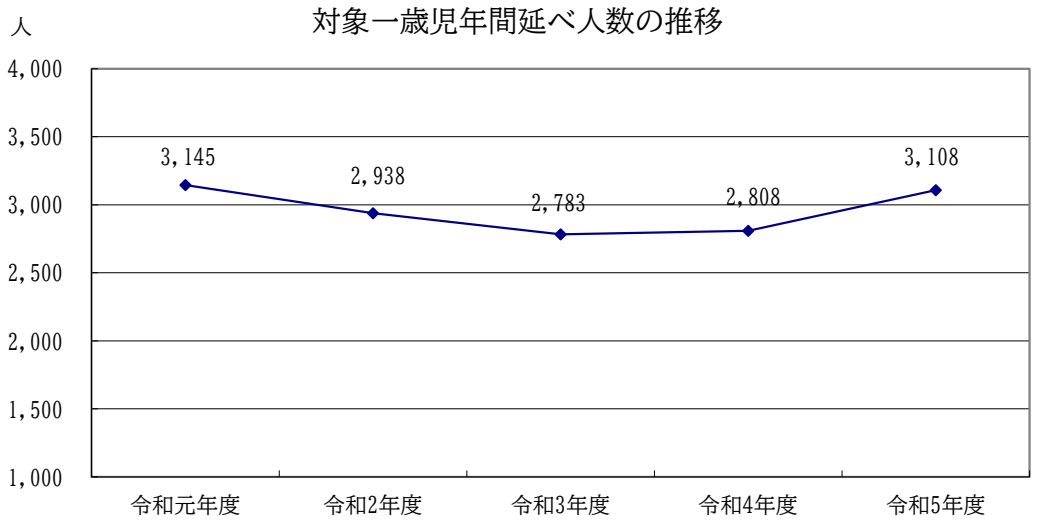
事業の実績・成果

安定的に低年齢児（0 歳児・1 歳児）の受入れができるよう、あらかじめ保育士を確保し、年度途中入所の需要等に対応できる体制を整えた保育所に対して助成を行った。

1　実施場所　愛泉幼児園・戸川保育園・加須保育園・不動岡第二保育園・志多見保育園・花崎保育園・三俣第一保育園・三俣第二保育園・三俣第三保育園・みなみ保育園・にしき保育園・吉川保育園・リトル花保育園・認定こども園騎西桜が丘・大利根ふじこども園
他 市外 9 園

2　対象一歳児年間延べ人数の推移　（単位：人）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
入所児童数	3,145	2,938	2,783	2,808	3,108



事 業 名		長時間保育事業			2131-06
担 当 課		こども保育課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	35,077,000 円	―
項	02	児童福祉費	最終予算額	35,077,000 円	―
目	01	児童福祉総務費	決　算　額	30,467,800 円	―
事業の目的		労働環境等の多様化に伴う保育ニーズに対応した保育サービスの充実を図る。			
事業の概要		・保育短時間、保育標準時間の前後の時間において、更に延長保育を行う。 ・事業に際しては、保育士 2 名以上及び対象児童数に応じて必要となる職員を配置する。 ・児童に対しては、適宜間食又は給食等を提供する。 ・延長保育を実施する民間保育所に補助を行う。			

事業の実績・成果

保護者の就労形態の多様化と通勤時間の増加等に伴い、認定時間の前後の時間において、さらに延長保育を行うため、実施する民間保育園に補助を行った。

1　実施場所

（標準時間認定児の延長保育が実施された園）

愛泉幼児園・戸川保育園・加須保育園・不動岡保育園・不動岡第二保育園・志多見保育園・花崎保育園・三俣第一保育園・三俣第二保育園・三俣第三保育園・みなみ保育園・にしき保育園・吉川保育園・リトル花保育園・認定こども園騎西桜が丘・大利根ふじこども園

（短時間認定児の延長保育が実施された園）

愛泉幼児園・戸川保育園・加須保育園・不動岡保育園・不動岡第二保育園・志多見保育園・花崎保育園・みなみ保育園・吉川保育園・認定こども園騎西桜が丘・大利根ふじこども園

2　延長保育事業延べ利用児童数の推移　（単位：人）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
短時間認定児 延べ利用人数	5,925	5,340	6,276	6,328	7,680
標準時間認定児 延べ利用人数	37,183	26,639	27,526	29,267	26,189

保育を必要とする事由や必要量により、1 日最大 11 時間利用可能な「保育標準時間」と 1 日最大 8 時間利用可能な「保育短時間」に区分されている。区分に応じた保育時間を超えると延長保育となる。（区分に応じた保育時間は各園によって異なる。）

事 業 名		病後児保育事業			2131-07
担 当 課		こども保育課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	11,899,000 円	―
項	02	児童福祉費	最終予算額	11,899,000 円	―
目	01	児童福祉総務費	決　算　額	9,559,000 円	―
事業の目的		保育を必要とする病後児童に対する保育サービスの充実を図り、保護者の子育てと就労の両立を支援することを目的とする。			
事業の概要		病気回復中の乳幼児を預かる施設に対し、必要な看護師等の配置費用を、年間延べ利用者数に応じて補助金として支給（国 1/3・県 1/3）。 〇利用者数と補助金 ・基本分：5,187,000 円（内改善分 2,225,000 円） ・加算分：年間延べ利用児童数に応じた加算額			

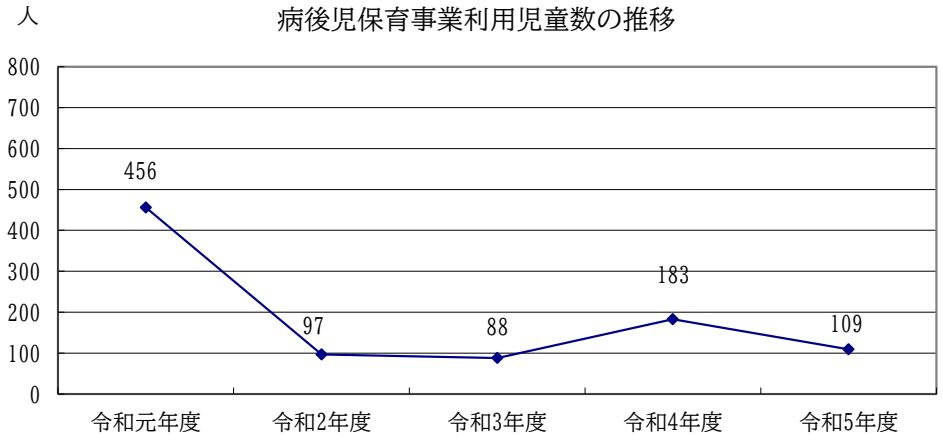
事業の実績・成果

病気の回復期にある児童を児童福祉施設等で預かることで、保護者の子育てと就労の両立を支援した。窓口にパンフレットを設置するなど様々な媒体を利用し制度の周知を図った。

1　実施場所　　愛泉乳児園・三俣第一保育園

2　病後児保育利用延べ人数　　（単位：人）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
利用延べ人数	456	97	88	183	109



事 業 名		夜間保育所事業			2131-08
担 当 課		こども保育課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	48,195,000 円	―
項	02	児童福祉費	最終予算額	48,195,000 円	―
目	01	児童福祉総務費	決　算　額	44,405,080 円	―
事業の目的		夜間保育（11:00～22:00）を希望する乳幼児の保育を委託し、子育てと仕事の両立を支援するため、保育サービスの充実を図る。			
事業の概要		三俣第二保育園（R5.10.01 より三俣第二夜間保育園から名称変更）で保育の実施を行った場合、国が定める公定価格に基づいて、給付費（委託料）を保育所に支払う。			

事業の実績・成果

民間保育所に対して、国が定める公定価格に基づいて運営費を支給し、保育の充実を図った。

保育所の定員・入所児童数・運営費等

	定員（人）	0 歳児（人）	1 歳児（人）	2 歳児（人）	3 歳児（人）	4 歳児（人）	5 歳児（人）	合計※1（人）	運営費※2（円）
三俣第二保育園	20	2	6	3	0	8	3	22	44,405,080
合計	－	2	6	3	0	8	3	22	44,405,080

※1　入所児童数は令和 6 年 3 月 31 日現在のもの
※2　運営費は年間の支給額

事 業 名		民間保育所障害児保育事業			2131-09
担 当 課		こども保育課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	13,499,000 円	―
項	02	児童福祉費	最終予算額	11,599,000 円	―
目	01	児童福祉総務費	決　算　額	4,809,680 円	―
事業の目的		障がいがある児童の家庭を支援する保育サービスの充実を図る。			
事業の概要		・保育を必要とし、障がいがある児童を集団保育で保育する。 ・身障手帳・療育手帳所持児童等の障がい児 3 名につき保育士 1 名増員の対策を講じた民間保育所に対し、増員保育士の人件費の一部を助成。 （特別児童扶養手当該当の場合は市費で月額 74,140 円、その他は県費で月額 40,000 円）			

事業の実績・成果

障がい児の受け入れを推進するために、民間保育所における保育士の加配に対し補助を行うことにより、円滑な障がい児保育を行った。

1　実施場所　　愛泉幼児園・戸川保育園・加須保育園・吉川保育園・リトル花保育園・
大利根ふじこども園
他市外 2 園

2　障がい児保育対策事業対象児童数の推移　（単位：人）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
入所児童数	27	20	21	10	13

事 業 名		一時保育事業			2131-10
担 当 課		こども保育課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	21,483,000 円	―
項	02	児童福祉費	最終予算額	21,483,000 円	―
目	01	児童福祉総務費	決　算　額	20,795,880 円	―
事業の目的		家庭保育者の一時的な保育ニーズに対応した保育サービスの充実を図る。			
事業の概要		・公立と民間の保育所で一時的な保育の需要に応じる。 ・一時保育（一般型）を実施する民間保育所に対し、年間延利用児童数に応じた補助金を交付する。 ・一時保育（幼稚園型）を実施する幼稚園に対し、年間延べ利用児童数に応じた補助金を交付する。			

事業の実績・成果

家庭において保育を受けることが一時的に困難になった乳幼児を、保育所、幼稚園、認定こども園において、一時的に預かり、必要な保育を行った。

① 一般型

保育所・幼稚園・認定こども園等に在籍していない乳幼児を対象に、保育所の場所において一時保育を行った。

(1)実施場所　　愛泉幼児園・加須保育園・不動岡保育園・花崎保育園・三俣第一保育園・北川辺保育所・わらべ保育園

(2)年間延べ利用児童数　793 人

② 幼稚園型

認定こども園や幼稚園に在籍する満 3 歳以上の幼児で、教育時間の前後または長期休業日等に当該園において、一時保育や預かり保育を行った。

(1)実施場所　　（市内）大利根ふじこども園・認定こども園騎西桜が丘
（市外）栗橋さくら幼稚園・さくらのもり・鷲宮幼稚園

(2)年間延べ利用児童数　10,173 人

事 業 名		避難者支援民間保育所等運営委託事業			2131-11
担 当 課		こども保育課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	4,621,000 円	―
項	02	児童福祉費	最終予算額	4,621,000 円	―
目	01	児童福祉総務費	決　算　額	1,454,550 円	―
事業の目的		子育て家庭の保護者の勤務等により、保育を必要とする児童の保育を委託し、子育てと仕事の両立を支援する。			
事業の概要		原発避難者特例法に基づき、被災した子育て家庭の保護者の勤務等により、保育所で保育の実施を行った場合、国が定めた公定価格に基づいて、給付費を各保育所に支払う。（市内公立保育所を除く） ※なお、公定価格は入所児童の年齢、保育所の規模、場所、運営状況により決められている。			

事業の実績・成果

市内民間保育園において、原発避難者特例法に基づく対象児童（3 名）の保育を実施した。

（参考）
東日本大震災における原子力発電所の事故による災害に対処するための避難住民に係る事務処理の特例及び住所移転者に係る措置に関する法律（平成 23 年法律第 98 号）第 3 条第 1 項の規定に基づき、次に掲げる市町村を指定市町村として指定する。
いわき市、田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楢葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、川内村、葛尾村、飯舘村

対象児童の受入内訳

	避難前住所	保育園名	入所期間
1	大熊町	三俣第一保育園	令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月
2	双葉町	花崎保育園	令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月
3	双葉町	認定こども園騎西桜が丘	令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月

事 業 名		民間保育所助成事業			2131-12
担 当 課		こども保育課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	15,272,000 円	525,000 円
項	02	児童福祉費	最終予算額	34,298,000 円	525,000 円
目	01	児童福祉総務費	決　算　額	32,388,625 円	490,700 円
事業の目的		保育環境の整備・充実を図り保育サービスの充実に資する。			
事業の概要		・民間保育所振興費 定員 1 人 5,000 円、4 月 1 日入園児 1 人 2,000 円。職員 1 人 9,000 円。日本スポーツ振興センター共済掛金 1 人 365 円等。 ・民間保育所歯科検診費 15,000 円～30,000 円 ・民間保育所施設整備費助成 年間に 20 万円（毎年 1 施設の補助）			

事業の実績・成果

・民間保育所等（16 園）に対して助成し、民間保育所等の運営の充実と民間保育所等に勤務する職員の処遇等の改善を図った。

1　民間保育所振興費　　13,809,215 円

（1）振興費補助

・民間保育所の入所児童の処遇改善及び施設の改善に要する経費を助成した。

（2）職員厚生費補助

・職員の処遇改善に要する経費を助成した。

（3）独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済加入費補助

・園児の災害時の保障のため独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済加入に要する経費（定員 1 名に対し、年額 365 円等）を助成した。

2　民間保育所歯科検診費　600,000 円

民間保育所入所乳幼児の歯科検診を推進し、乳幼児の歯科保健の充実を図るため、歯科検診費に対して補助金を交付した。

3　民間保育所施設整備費補助金　200,000 円

三俣第一保育園で実施した複合遊具修繕等に対して助成を行った。

4　保育体制強化事業補助金　3,074,000 円

保育支援者を配置し、保育士の負担を軽減した園に対して補助金を支出した。

新型コロナウイルス感染症に係る対応を実施した（巻末参照）。

物価高騰に係る対応（事業者支援）を実施した（巻末参照）。

【前年度からの繰越事業（繰越明許）】　　490,700 円

・送迎用バスがある市内認定こども園への安全装置の導入支援を実施

・ 令和 4 年度から令和 5 年度へ繰り越した理由

送迎用バスでの園児置き去り死亡事案を受け、送迎用バスへの安全装置の導入支援を実施するものだが、令和4年度末に予算化したものであり、令和4年度内の完了が見込めなかったため。

事 業 名		保育団体助成事業			2131-20
担 当 課		こども保育課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	232,000 円	―
項	02	児童福祉費	最終予算額	232,000 円	―
目	01	児童福祉総務費	決　算　額	232,000 円	―
事業の目的		私立保育園同士の連携及び公立保育所との情報交換を深めるとともに人権を尊重した保育を推進する。			
事業の概要		保育団体（加須私立保育園園長会、人権保育推進委員会）の運営費を補助することで、それぞれの団体の活動を推進し、一層の保育の質を高めることに寄与する。			

事業の実績・成果

1　加須私立保育園園長会運営費補助金（72,000 円）

私立保育園間の連携、情報共有及び公立保育所との情報交換を図るため、加須私立保育園園長会に対して運営費補助金を交付した。

2　人権保育推進委員会補助金（160,000 円）

・加須市騎西地域人権保育推進委員会補助金（160,000 円）

・加須市の人権保育の推進を図るため、騎西地域の人権保育推進委員会に対して運営費補助金を交付し、保育所の様々な取組みを支援した。

事業名	公立放課後児童健全育成事業			2133-01
担当課	こども保育課		現　年	前年度からの繰越
款 03	民生費	当初予算額	463,605,000 円	―
項 02	児童福祉費	最終予算額	458,385,000 円	―
目 01	児童福祉総務費	決　算　額	347,486,652 円	―

事業の目的	放課後の時間帯や長期休業期間中の就労等により家庭保育ができない保護者に代わり、家庭的機能の補完を行いながら児童の生活の場を提供し、子育ての支援及び児童の健全な育成を図る。
事業の概要	・保護者の就労等により、家庭保育が困難な世帯の小学校就学児童を対象に小学校や幼稚園の余裕教室等を利用して学童保育を行う。 ・開設時間 学校開業日：放課後～19 時 学校休業日：7 時 30 分～19 時(延長保育の実施時間：7 時 30 分～8 時) ※土曜日は複数施設の児童を特定の施設に集めて保育する合同保育を実施

事業の実績・成果

・保護者が就労等により昼間留守家庭となる市内の就学児童に対し、授業終了後に小学校や幼稚園の教室などを利用して適切な遊び及び生活の場を提供してその健全な育成を図り、保護者の仕事と家庭の両立支援を行った。

・登録児童数の施設別推移（各年 5 月 1 日現在）　（単位：人）

地域	実施施設	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
加須地域	加須小学校放課後児童健全育成室	70	70	69	87	94
	花崎北小学校放課後児童健全育成室	75	92	73	64	61
	加須南小学校放課後児童健全育成室	35	29	34	34	27
	不動岡小学校放課後児童健全育成室	59	62	67	71	66
	三俣小学校放課後児童健全育成室	73	86	87	97	93
	礼羽小学校放課後児童健全育成室	40	36	24	29	27
	大桑小学校放課後児童健全育成室	99	105	97	101	105
	水深小学校第一放課後児童健全育成室	65	66	59	57	59
	水深小学校第二放課後児童健全育成室	32	29	34	33	35
	水深小学校第三放課後児童健全育成室	60	56	53	61	59
	志多見小学校放課後児童健全育成室	33	39	33	29	33
	樋遣川小学校放課後児童健全育成室	24	26	22	20	23
	大越小学校放課後児童健全育成室	32	24	22	17	17
大利根地域	大利根東小放課後児童健全育成たなばた室	53	51	45	59	64
	原道小放課後児童健全育成のぎく室	33	35	39	30	26
	元和小放課後児童健全育成かえで室	58	58	65	79	96
	豊野小放課後児童健全育成もみじ室	27	28	21	18	15
合計（児童数）		868	892	844	886	900

・広報かぞ、ＳＮＳによる放課後児童指導員の確保や、保育面積の確保等により待機児童ゼロを維持することができた。

・放課後の時間帯に加えて、土曜日及びお盆の合同保育を実施した。

放課後児童健全育成室	拠点施設
加須小学校放課後児童健全育成室	加須小学校放課後児童健全育成室
加須南小学校放課後児童健全育成室	
水深小学校第一放課後児童健全育成室	水深小学校第一放課後児童健全育成室（ 4～9 月） 水深小学校第三放課後児童健全育成室（10～3 月）
水深小学校第二放課後児童健全育成室	
水深小学校第三放課後児童健全育成室	
不動岡小学校放課後児童健全育成室	礼羽小学校放課後児童健全育成室
礼羽小学校放課後児童健全育成室	
志多見小学校放課後児童健全育成室	
三俣小学校放課後児童健全育成室	三俣小学校放課後児童健全育成室
樋遣川小学校放課後児童健全育成室	
大越小学校放課後児童健全育成室	
大利根東小放課後児童健全育成たなばた室	大利根東小放課後児童健全育成たなばた室
原道小放課後児童健全育成のぎく室	
元和小放課後児童健全育成かえで室	
豊野小放課後児童健全育成もみじ室	

・利用児童数と保護者負担金（学童保育料）収納状況の推移

		令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
児童数（人）		140,523	133,829	138,750	148,468	149,714
調定額（円）		48,675,597	44,646,580	49,714,462	52,554,237	56,203,171
	現年度	48,221,197	44,019,030	48,928,412	51,600,487	54,984,671
	過年度	454,400	627,550	786,050	953,750	1,218,500
収入済額（円）		48,048.047	43,838,030	48,601,762	51,513,187	54,811,971
	現年度	47,867,047	43,662,530	48,571,262	51,340,237	54,702,721
	過年度	181,000	175,500	30,500	172,950	109,250
収納率（%）		98.7	98.1	97.8	98.0	97.5
	現年度	99.3	99.1	99.2	99.4	99.4
	過年度	39.8	28.0	3.9	18.1	8.9

※児童数は年間延べ利用児童数

【翌年度への繰越事業（繰越明許）】　2,277,000 円

・翌年度への繰越事業の内容
加須市立不動岡小学校放課後児童健全育成室雨漏り修繕工事（2,277,000 円）

・令和 5 年度から令和 6 年度へ繰り越す理由
令和 5 年 12 月に補正した事業であり、年度内の工事完了が見込めないため。

【翌年度への繰越事業（継続費逓次繰越）】　86,511,795 円

・翌年度への繰越事業の内容
加須市立元和小学校校舎増築工事（学童保育室分）（86,511,795 円）

・令和 5 年度から令和 6 年度へ繰り越す理由
令和 5 年度から令和 6 年度までの継続費（総額 343,906,000 円）であり、令和 5 年度予算額（継続費 182,765,000 円）のうち決算額（96,253,205 円）を除く 86,511,795 円を逓次繰越するため。

事 業 名		民間放課後児童健全育成事業			2133-03
担 当 課		こども保育課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	314,941,000 円	176,000 円
項	02	児童福祉費	最終予算額	300,683,000 円	176,000 円
目	01	児童福祉総務費	決　算　額	280,487,449 円	176,000 円
事業の目的		放課後の時間帯や長期休業期間中の就労等により家庭保育ができない保護者に代わり、家庭的機能の補完を行いながら児童の生活の場を提供し、子育ての支援及び児童の健全な育成を図る。			
事業の概要		民間放課後児童クラブに事業委託し、放課後児童健全育成事業を実施する。			

事業の実績・成果

・ 放課後児童健全育成事業委託　245,500,000 円

保護者が就労等により、昼間留守家庭となる市内の就学児童に対し、授業終了後に公共施設等を利用して適切な遊びや生活の場を提供して、その健全な育成を図るため、民間放課後児童クラブに放課後児童健全育成事業を委託した。（委託料の 1/3 を国、1/3 を県が補助）

また、放課後児童指導員や補助員の処遇改善に関する費用を補助した。（1/3 を国、1/3 を県が補助）その結果、当該児童に対し適切な遊びの場及び生活の場を与えることができ、もって当該児童の健全な育成指導を行うことができた。

登録児童数の施設別推移（各年 5 月 1 日現在）　（単位：人）

地域	クラブ名称	運営形態	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
加須	愛泉学童クラブおおぞら組	民設民営	38	32	24	22	22
	愛泉学童クラブつばさ組	民設民営	31	20	20	18	20
	かぞ児童クラブ	民設民営	34	38	32	35	34
	みつまた児童クラブ	民設民営	60	51	50	61	37
	みつまた第三児童クラブ	民設民営	17	23	17	16	23
	にしき学童	民設民営	37	36	35	36	36
	みなみ児童クラブ	民設民営	35	33	32	19	22
	リトル花学童クラブ	民設民営	1	6	8	14	21
騎西	騎西風の子学童クラブ	公設民営	46	47	53	51	45
	種足つばさ学童クラブ	公設民営	49	46	41	39	32
	田ケ谷くすの木学童クラブ	公設民営	32	37	33	35	23
	高柳けやき学童クラブ	公設民営	32	38	45	68	77
	鴻茎おおぞら学童クラブ	公設民営	39	36	42	31	29
	学童保育室ふたばクラブ	民設民営	43	37	33	31	34
北川辺	東小学童クラブの会きらきらキッズ	公設民営	38	36	36	37	38
	東小学童クラブの会きらきらキッズ第 2	公設民営	31	29	29	27	32
	北川辺学童保育の会げんきクラブ	公設民営	64	49	51	53	47
合計（児童数）			627	594	581	593	572

※リトル花学童クラブ：令和元年 4 月 1 日開室

・公設民営学童保育室の修繕等　3,590,911 円

公設民営の学童保育室の施設等について、運営する事業者からの要望等を考慮し、修繕、改修及び設備清掃等を実施するとともに、必要となる備品を購入した。その結果、公設民営の学童保育室の保育環境について、維持・向上を図ることができた。

・にしき学童の施設整備　24,717,000 円

施設が老朽化してきたとともに、学童保育室の利用児童が多い小学校区であることから、学童保育室を整備し、未然に待機児童の発生を防ぐため施設の整備を実施した。その結果、受入人数が増加し、待機児童 0 人を維持することができた。

・物価高騰に係る対応（事業者支援）を実施した（巻末参照）。

【前年度からの繰越事業（繰越明許）】　176,000 円
・児童の送迎用バス安全装置の装備に係る経費を支援するため、対象の民間放課後児童クラブ（2 クラブ 2 台分）に対し補助金を交付した。その結果、児童の送迎時に安全が確保され、クラブの安全管理の徹底に寄与した。
　なお、当該補助については国の補助金（送迎用バス 1 台あたり 88,000 円）を活用して実施した。

【翌年度への繰越事業（繰越明許）】　2,946,000 円
・翌年度への繰越事業の内容
　高柳小学校放課後児童健全育成室　屋根雨漏り修繕（2,946,000 円）
・令和 5 年度から令和 6 年度へ繰り越す理由
　令和 5 年 12 月に補正した事業であり、年度内の工事完了が見込めないため。

事 業 名		三世代ふれあい家族応援事業			5213-02
担 当 課		子育て支援課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	4,400,000 円	―
項	02	児童福祉費	最終予算額	4,700,000 円	―
目	01	児童福祉総務費	決　算　額	4,700,000 円	―
事業の目的		三世代で同居する家族の市内定住を促進するとともに、市内産業の活性化を図る。			
事業の概要		三世代同居を目的とした住宅の取得又はリフォームに係る費用の一部を助成する。			

事業の実績・成果

1　三世代ふれあい家族住宅取得等補助金の交付（子育て支援課）

三世代同居を目的に、市内で住宅を新築、購入又は増改築等した方に、住宅の取得等に要した費用の一部を補助することにより、市の定住人口の増加及び地域経済の活性化に貢献することができた。

(1) 補助対象費用

三世代家族で同居するための住宅の新築、購入又は増改築等に要した費用

(2) 補助金額（上限）

市内事業者利用の場合：　30 万円

市外事業者利用の場合：　20 万円

(3) 補助金の交付状況

（単位：件、円）

		令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
補助金交付件数		25	19	12	20	21
	うち　市内事業者	8	5	2	3	5
	市外事業者	17	14	10	17	16
補助金交付額		5,800,000	4,300,000	2,600,000	4,300,000	4,700,000
	うち　市内事業者	2,400,000	1,500,000	600,000	900,000	1,500,000
	市外事業者	3,400,000	2,800,000	2,000,000	3,400,000	3,200,000

(4) 補助金を交付した世帯の世帯員数

103 人（うち 78 人が市外からの転入者）

2　固定資産税等の軽減措置（税務課）

(1) 固定資産税等の減免対象

200 ㎡までの宅地に適用される税額の軽減措置（固定資産税 1 /6、都市計画税 1/3）を、3 年間 500 ㎡までに拡大（平成 29 年度から実施）

(2) 固定資産税等の減免状況

（単位：件、円）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
対象件数	33	52	35	33	43
減免税額	220,000	286,400	167,000	152,900	237,400

事 業 名		児童手当支給事業			2113-01
担 当 課		子育て支援課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	1,543,460,000 円	―
項	02	児童福祉費	最終予算額	1,500,507,000 円	―
目	02	児童措置費	決　算　額	1,478,614,789 円	―
事業の目的		家庭等における生活の安定、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的として児童手当を支給する。			
事業の概要		中学校修了までの児童を養育している保護者に児童手当を支給する。			

事業の実績・成果

対象児童を養育する保護者に児童手当を支給することにより、子育て家庭における経済的負担の軽減を図ることができた。

1　事業内容

(1) 支給対象　0 歳から中学校修了前までの間にある児童の養育者に支給

(2) 支給月額　3 歳未満　一律 15,000 円
3 歳以上小学校修了前　10,000 円（第 3 子以降は 15,000 円）
小学校修了後中学校修了前　一律 10,000 円
特例給付 ※　一律 5,000 円
※ 所得額が「所得制限限度額」以上「所得上限限度額未満」の場合

(3) 支払時期　原則として、6 月、10 月、2 月にそれぞれの前月分までを支給

2　延べ児童数及び支給額の推移

（単位：人、円）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
延べ児童数	148,775	146,611	143,186	138,317	134,267
支　給　額	1,628,365,000	1,598,025,000	1,561,955,000	1,518,600,000	1,477,160,000

【翌年度への繰越事業（繰越明許）】　4,224,000 円

・　翌年度への繰越事業の内容
　システム改修委託（制度改正対応）　4,224,000 円

・　令和 5 年度から令和 6 年度へ繰り越す理由
　国の令和 5 年度第一次補正予算の可決成立（令和 5 年 11 月 29 日）後の令和 6 年 2 月補正予算で計上したことにより、年度内の事業完了が困難であるため。

事 業 名		低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金支給事業			2113-21
担 当 課		子育て支援課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	0 円	―
項	02	児童福祉費	最終予算額	133,437,000 円	―
目	02	児童措置費	決　算　額	125,866,365 円	―
事業の目的		食費等の物価高騰に直面し、影響を特に受ける低所得のひとり親世帯及びその他低所得の子育て世帯に対し、児童 1 人当たり一律 5 万円を早期に支給する。			
事業の概要		実施に要する経費（事業費及び事務費）については、国が補助（10/10）する。 【支給対象者（ひとり親世帯分）】令和 5 年 3 月分の児童扶養手当受給者（申請不要）、公的年金受給者・家計急変者（申請必要） 【支給対象者（その他世帯分）】令和 4 年度実施「その他世帯分」受給者（申請不要）、家計急変者（申請必要） 【給付額】児童 1 人当たり一律 5 万円			
事業の実績・成果					
物価高騰に係る対応（生活者支援）を実施した（巻末参照）。					

事 業 名		未就学児へのちょこっとおたすけ絆サポート券配布事業			2113-22
担 当 課		子育て支援課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	0 円	―
項	02	児童福祉費	最終予算額	51,970,000 円	―
目	02	児童措置費	決　算　額	45,684,501 円	―
事業の目的		物価高騰の影響を大きく受けている子育て世帯に対して、就学前のこどもを養育する世帯の生活を支援するとともに、地域経済の活性化を図るため、就学前のこども 1 人につき 1 万円分の「ちょこっとおたすけ絆サポート券」を配布する。			
事業の概要		【配布対象児童】 ・令和 5 年 6 月 30 日現在、市内に住民登録されている就学前のこども（平成 29 年 4 月 2 日～令和 5 年 6 月 30 日生まれ） 【配布物】 ・対象児童 1 人につき絆サポート券 1 万円分 【利用期間・配布方法】 ・令和 5 年 8 月 1 日～令和 6 年 1 月 31 日 ・簡易書留郵便			
事業の実績・成果					
物価高騰に係る対応（生活者支援）を実施した（巻末参照）。					

事業名	児童扶養手当支給事業			2122-09
担当課	子育て支援課		現　年	前年度からの繰越
款 03	民生費	当初予算額	411,816,000円	―
項 02	児童福祉費	最終予算額	353,203,000円	―
目 02	児童措置費	決　算　額	348,997,532円	―

事業の目的	子育て中のひとり親家庭等の生活の安定と自立に向けた支援を行う。
事業の概要	・対象児童は、18歳の年度末までの児童（障害の状態にある場合は20歳未満） ・申請者や扶養義務者の所得により、手当の一部又は全部の支給を停止する。 ・受給開始から5年等経過した受給者は、自立に向けた活動等を行わない場合、手当額の2分の1が支給停止となる。 ・支払期は、奇数月の年6回（転出者や喪失者等には随時支払）

事業の実績・成果

児童扶養手当を支給することにより、ひとり親家庭等の生活の安定と自立に貢献することができた。

1　児童扶養手当支給額

（単位：円、人）

区分		手当月額	延月人数	支出額
全部支給		43,070	4,273	188,215,390
		44,140		
一部支給		43,060～10,160	3,784	110,943,780
		44,130～10,410		
加算額	2子加算	10,170、10,160～5,090	3,649	35,230,640
		10,420、10,410～5,210		
	3子以降加算	6,100、6,090～3,050	1,241	7,595,820
		6,250、6,240～3,130		
13条の2対象者			253	6,441,800
13条の3対象者			17	366,380
合計			13,217	348,793,810

※　手当月額の上段は令和5年3月以前分の手当月額を、下段は令和5年4月分以降の手当月額を表す。

2　支給延べ児童数及び支給額の推移

（単位：人、円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
延べ児童数	18,358	14,163	13,870	13,511	13,217
支給額	499,191,640	383,155,990	368,578,290	351,862,640	348,793,810

事業名	避難者支援児童扶養手当支給事業			2122-10
担当課	子育て支援課		現　年	前年度からの繰越
款 03	民生費	当初予算額	3,774,000円	―
項 02	児童福祉費	最終予算額	3,774,000円	―
目 02	児童措置費	決　算　額	1,848,830円	―
事業の目的	原発避難者特例法に基づき、ひとり親家庭等の避難者に児童扶養手当を支給し、経済的に支援する。			
事業の概要	・避難元の自治体から通知があった日の属する月の翌月分から児童扶養手当を支給する。 ・手当は、奇数月（1月、3月、5月、7月、9月、11月）の年6回支給する。 ・ひとり親家庭等の18歳の年度末までの児童（障害の状態にある場合は20歳未満の児童）について手当を支給する。			

事業の実績・成果

避難元の自治体と連携し、原発避難者特例法に基づいたひとり親家庭等の避難者の実態把握と手当の支給に努め、対象家庭の経済的負担を軽減することができた。

1　対象者

双葉町　　受給者数　4人　　児童数　5人
浪江町　　受給者数　1人　　児童数　2人

2　児童扶養手当支給額

（単位：円、人）

区分		手当月額	延月人数	支出額
全部支給		43,070	32	1,409,270
		44,140		
一部支給		43,060～10,160	16	321,810
		44,130～10,410		
加算額	2子加算	10,170、10,160～5,090	12	117,750
		10,420、10,410～5,210		
	3子以降加算	6,100、6,090～3,050	0	0
		6,250、6,240～3,130		
合計			60	1,848,830

※　手当月額の上段は令和5年3月以前分の手当月額を、下段は令和5年4月分以降の手当月額を表す。

事業名	公立保育所管理運営事業			2131-13
担当課	こども保育課		現　年	前年度からの繰越
款 03	民生費	当初予算額	358,602,000円	―
項 02	児童福祉費	最終予算額	323,409,000円	―
目 03	児童福祉施設費	決　算　額	272,662,585円	―
事業の目的	公立保育所において、保育を必要とする児童の保育を実施し、子育てと仕事の両立への支援を行う。			
事業の概要	公立保育所（6ヶ所）の運営管理 第一保育所、こすもす保育園、第四保育所、騎西保育所、北川辺保育所、わらべ保育園			

事業の実績・成果

公立保育所において、安全等に十分配慮しながら保育を実施し、保育を必要とする保護者の子育て支援を行った。また、保育士（会計年度任用職員）の確保に努め、待機児童ゼロを維持した。

○主な工事支出　（単位：円）

施設名	内容	工事金額
北川辺保育所	防水改修工事	746,900
騎西保育所	保育室空調設備更新工事	660,000
わらべ保育園	風見鶏撤去工事	856,900
わらべ保育園	木製遊具撤去工事	471,900
第一保育所	保育室壁張替え工事	261,800
北川辺保育所	軒樋改修工事	245,300

○保育所等入所児童数（4月1日現在）　（単位：人）

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
公立入所児童数		516	499	478	452	461
内訳	市内①	495	472	511	450	457
	市外受託	4	6	5	2	4
私立入所児童数		1,520	1,567	1,484	1,470	1,463
内訳	市内②	1,514	1,447	1,474	1,422	1,423
	市外受託	53	37	46	48	40
合　計（公+私）		2,036	2,066	1,962	1,922	1,924
市外委託③		69	93	87	98	102
内訳	公立	10	5	9	6	7
	私立	83	82	60	92	95
①+②+③合計		2,054	2,102	2,006	1,970	1,982

※市内・・・市内在住の児童
　市外受託・・・市外在住で加須市の保育所等に入所している児童
　市外委託・・・市内在住で加須市以外の保育所等に入所している児童
※①+②+③合計は、保育所等に入所している市内在住児童の合計

物価高騰に係る対応（生活者支援）を実施した（巻末参照）。

【翌年度への繰越事業（繰越明許）】　12,254,000円
・翌年度への繰越事業の内容
　令和5年度 加須市立わらべ保育園空調設備更新工事【R6.2補】（12,254,000円）

・令和5年度から令和6年度へ繰り越す理由
　空調設備更新工事は、2月補正予算により予算を措置したものだが、低入札価格調査に伴い契約が令和5年度内に締結出来なかったため令和6年度へ繰り越した。

事業名	あすなろ園管理運営事業			2131-14
担当課	すくすく子育て相談室		現　年	前年度からの繰越
款 03	民生費	当初予算額	7,357,000円	―
項 02	児童福祉費	最終予算額	8,369,000円	―
目 03	児童福祉施設費	決　算　額	6,375,291円	―

事業の目的	母子通園により障がい児の機能訓練や生活訓練を実施し、こどもの発達に合わせた支援とともに親支援を行い、集団保育や就学につなげる。
事業の概要	障がいがある就学前児童の発達支援と同時に、共に通う保護者に対して家庭における育児の支援（助言・指導）等を行い、集団保育や就学に向けた訓練を行う。 保育所・幼稚園における障がい児保育についても、医師や保健センター、特別支援学校等とも連携して支援を行い、就学に向けた保護者への助言、あるいは児童発達支援事業所等の活用につなげる。

事業の実績・成果

就学前の心身障がい児に対する日常生活の指導訓練・地域社会との交流及び専門家等による診断又は指導を実施し、集団保育や就学に向けた訓練を行うことができた。

○通園児童数（4月1日現在）　（単位：人）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
あすなろ園	14	11	10	9	22

○利用状況（3月31日現在）　（単位：人）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
生活指導	11	8	7	14	22
理学療法	6	3	2	2	4
言語療法	11	11	10	16	22

※専門家の訓練利用は通園者以外も利用可能である。

事業名	公立保育所障害児保育事業			2131-15
担当課	こども保育課		現　年	前年度からの繰越
款 03	民生費	当初予算額	82,602,000円	―
項 02	児童福祉費	最終予算額	77,112,000円	―
目 03	児童福祉施設費	決　算　額	64,766,512円	―
事業の目的	障がいがある児童の家庭を支援する保育サービスの充実を図る。			
事業の概要	障がいがあり保育を必要とする児童の集団保育を、全公立保育所で実施。障がい児3人に対し最低1名の保育士を加配するとともに、専門家や専門機関と必要な連携をとりながら、児童の発達及び保護者の就労と子育てを支援する。			

事業の実績・成果

障がいの程度等により、民間保育所が受け入れを困難とした児童の入所や支援を行った。
特別支援学校のコーディネーター派遣により、個別相談や巡回指導を実施した。

（単位：人、円）

	特別な配慮が必要な児童数	加配保育士数	決　算　額
第一保育所	8	3	7,247,556
こすもす保育園	9	5	12,371,034
第四保育所	3	3	7,574,026
騎西保育所	2	2	5,047,692
北川辺保育所	16	6	14,970,146
わらべ保育園	12	7	17,556,058
合　計	50	26	64,766,512

※特別な配慮が必要な児童数及び加配保育士数は4月1日現在

事 業 名		民間保育所等施設整備助成事業			2132-01
担 当 課		こども保育課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	166,491,000 円	―
項	02	児童福祉費	最終予算額	169,095,000 円	―
目	03	児童福祉施設費	決　算　額	169,095,000 円	―
事業の目的		保育所に入所を希望する全ての児童が入所できるよう民間保育所整備･充実を促進する。			
事業の概要		民間保育所において行う創設・増改築・大規模改修事業に対し助成を行う。			

事業の実績・成果

社会福祉法人戸不の会 不動岡保育園が 2 か年事業（進捗率：令和 5 年度 97%、令和 6 年度 3%）として実施している園舎改築工事を支援するため、国の就学前教育・保育施設整備交付金を活用して助成を行った。

・改修費用　381,933,000 円（総事業費 393,745,000 円の 97%）
・交付金額　168,888,000 円

【内訳】　（円）

国庫補助金（1/2）	112,592,000
市補助金（1/4）	56,296,000
施設負担分	213,045,000
合計	381,933,000

令和 4 年度の保育所等整備交付金を活用して整備を実施した社会福祉法人にしきの会 にしき保育園が実施した調理室の改修工事について、在庫資材の活用による材料費の減少に伴い、同交付金の一部を国に返還した。
・国庫支出金返還金　207,000 円

事 業 名		公立保育所施設整備事業			2132-02
担 当 課		こども保育課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	0 円	―
項	02	児童福祉費	最終予算額	38,830,000 円	―
目	03	児童福祉施設費	決　算　額	6,200,000 円	―
事業の目的		公立保育所の施設整備を行い、保育環境の充実を図る。もって、良好な子育て支援を行う。			
事業の概要		第２期加須市子ども・子育て支援計画に基づき、計画的に施設の改修、改築等を行う。			

事業の実績・成果

保育所の施設の一部において、老朽化等により利用者等に危険を及ぼすおそれがあることから、被害の未然防止のために緊急の修繕等を行った。

（単位：円）

施設名	内容	工事金額	うち、令和５年度支出額
騎西保育所	屋上の防水シートの損傷に伴う屋上防水の改修	15,620,000	6,200,000
わらべ保育園	木製テラスの劣化に伴う床デッキの張替え	22,385,000	0

【翌年度への繰越事業（繰越明許）】　31,805,000 円

・翌年度への繰越事業の内容

令和５年度 加須市立騎西保育所屋上防水改修工事【R5.12 補】（9,420,000 円）

令和５年度 加須市立わらべ保育園テラスデッキ改修工事【R5.12 補】（22,385,000 円）

・令和５年度から令和６年度へ繰り越す理由

屋上防水改修工事及び床デッキ張替え工事は、12 月補正予算により予算を確保したもので、令和５年度内に完了しないため令和６年度へ繰り越した。

事 業 名		子どもふれあいの家管理運営事業			2133-02
担 当 課		子育て支援課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	759,000 円	―
項	02	児童福祉費	最終予算額	757,000 円	―
目	04	児童館費	決　算　額	540,848 円	―
事業の目的		地域のこどもたちの交流施設の充実と経費節減を図るため、効率的な施設管理を行う。			
事業の概要		・地域の子育て支援拠点として適切に施設を管理する。 ・水深小学校第二放課後児童健全育成室として利用中。			

事業の実績・成果

水深小学校区内における児童数の増加に伴い、放課後児童クラブの利用児童数が増加し、併設施設の収容能力を超えたため、子どもふれあいの家を水深小学校第二健全育成室として活用することにより、利用児童数の分散化を図った。

事 業 名		生活保護者自立支援事業			1173-02
担 当 課		生活福祉課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	6,346,000 円	―
項	03	生活保護費	最終予算額	6,604,000 円	―
目	01	生活保護総務費	決　算　額	5,442,958 円	―
事業の目的		生活保護世帯の社会的自立を支援する。			
事業の概要		就労支援相談員による就労意欲の喚起及び就労自立支援、面接相談員の生活保護相談を実施する。			

事業の実績・成果

就労支援相談員の支援による被保護世帯の就労自立・就労支援活動に取り組み、被保護世帯の自立の助長に努めた。

就労自立の状況・推移　（単位：人）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
就労人数	23	23	13	17	16
うち相談員の支援によるもの	6	6	9	8	7

事 業 名		生活保護適正実施推進事業			1173-03
担 当 課		生活福祉課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	12,163,000 円	―
項	03	生活保護費	最終予算額	15,273,000 円	―
目	01	生活保護総務費	決　算　額	14,217,372 円	―
事業の目的		生活保護費の不正受給防止を図る。			
事業の概要		生活保護システムを活用し、保護業務に係る決定、経理、医療、介護、統計等の一連の事務処理を効率的に実施する。 医療扶助の適正化を図るため、診療報酬明細書（レセプト）の自動内容点検を実施する。 生活習慣病の発症予防や重症化予防が必要な対象者を抽出し、医療と生活の両面から健康管理支援を行う。			

事業の実績・成果

○生活保護システムの運用は、事務処理の効率化や統計業務の正確性に寄与した。
○診療報酬明細書の点検のうち、資格点検を職員が行うほか、内容点検、縦覧点検については、システム委託し、医療扶助費の適正な支払いに努めた。

【参考】再審査請求の状況（令和元年度～令和５年度）　（単位：円、件）

		返戻金額	診療機関による取下げ等	成果額	点検内容	
					資格点検	内容点検
令和元年度	合計金額	2,423,938	0	2,423,938	1,214,340	1,209,598
	合計枚数	168	0	168	8	160
令和２年度	合計金額	4,290,706	0	4,290,706	1,749,886	2,540,820
	合計枚数	390	0	390	72	318
令和３年度	合計金額	6,918,717	0	6,918,718	4,496,616	2,422,102
	合計枚数	167	0	167	65	102
令和４年度	合計金額	6,762,850	0	6,762,850	5,880,656	882,194
	合計枚数	291	0	291	62	229
令和５年度	合計金額	19,394,988	0	19,394,988	14,156,050	5,238,938
	合計枚数	591	0	591	410	181

○現業員の資質の向上及び知識の習得を図ることを目的とし、各種研修会に参加した。
○後発医薬品使用促進について、医療扶助における使用割合が政府目標の 80％を達成した。

事 業 名		生活保護管理事業			1173-06
担 当 課		生活福祉課		現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	7,962,000 円	―
項	03	生活保護費	最終予算額	7,931,000 円	―
目	01	生活保護総務費	決　算　額	7,113,089 円	―
事業の目的		生活保護の適正な運営を図り生活保護者の自立を促進する。			
事業の概要		生活保護新規申請時調査の徹底・29 条調査・扶養義務者照会、医療報酬支払基金等による診療報酬及び介護報酬明細書点検確認、嘱託医による医療要否意見書の確認などを実施する。			

事業の実績・成果

○嘱託医による医療要否意見書のチェック及び要保護者の医療扶助の決定実施にともなう専門的判断及び必要な助言指導等により、医療扶助費の適正化に努めた。

○医療報酬支払基金等による診療報酬明細書及び介護報酬明細書の審査を実施するとともに、後発医薬品の使用促進と医療費の抑制を図るため、保護だより等の啓発資料を配布し、医療扶助費等の適正化に努めた。

○課税調査を始めとする生活保護法第 29 条調査を実施し、生活保護の適正実施に努めた。

○市の就労支援相談員やハローワークの就労相談員等によるチーム連携により、要保護者への自立に向けた就労支援を実施し、適正指導に努めた。

○定期的な家庭訪問や施設訪問、病状調査を実施し、適切な支援に努めた。

○市内の無料低額宿泊所と定期的に情報交換を行い、適正運営と地域との共生に努めている。施設の入居者は増加し満室状態が続いているが、周辺自治会との信頼関係が築かれている。

○ホームレスや生活困窮等により緊急的な食事提供が必要な方に対し、アルファ米の提供を行った。

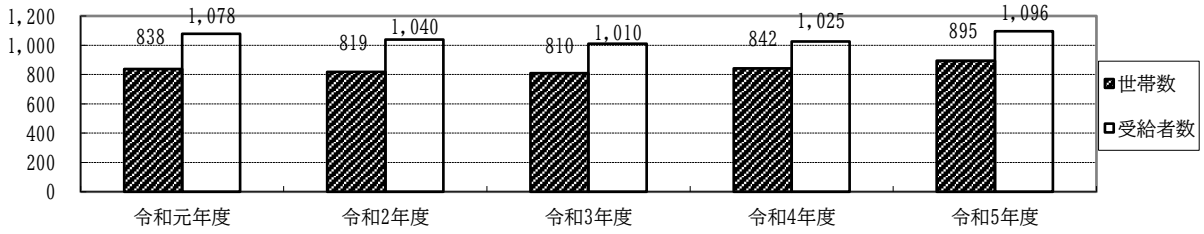
事業名	生活保護事業				1173-01
担当課	生活福祉課			現　年	前年度からの繰越
款	03	民生費	当初予算額	1,757,626,000 円	―
項	03	生活保護費	最終予算額	1,915,027,000 円	―
目	02	扶助費	決　算　額	1,914,627,148 円	―
事業の目的	最低限度の生活の保障と要保護者の自立を図る。				
事業の概要	生活保護に関する相談、申請受付業務を行うとともに生活困窮の程度に応じた保護の実施および自立助長のための就労支援を行う。				

事業の実績・成果

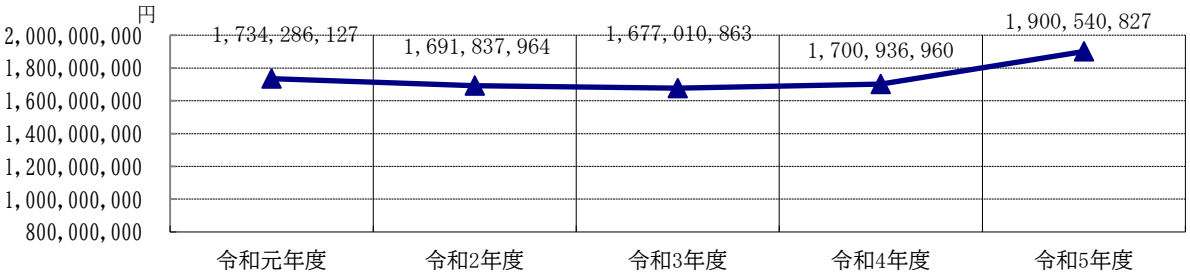
生活保護の状況について

1　生活保護世帯数および受給者数の推移

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
世帯数（世帯）	838	819	810	842	895
受給者数（人）	1,078	1,040	1,010	1,025	1,096



2　生活保護費
保護費の推移



3　類型別世帯数

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
高齢者世帯	482(57.9%)	466(57.1%)	461(57.2%)	469(55.8%)	488(54.6%)
母子世帯	24(2.9%)	25(3.1%)	22(2.7%)	26(3.1%)	26(2.9%)
障害者世帯	92(11.0%)	89(10.9%)	101(12.6%)	116(13.9%)	122(13.7%)
傷病者世帯	151(18.1%)	161(19.7%)	147(18.2%)	143(17.0%)	164(18.4%)
その他世帯	84(10.1%)	75(9.2%)	75(9.3%)	86(10.2%)	93(10.4%)

※類型別世帯数では停止世帯を含まないため、生活保護世帯数の合計と誤差が生じている。

生活保護費は、受給者の高齢化及び傷病者世帯の増加により、医療扶助費や介護扶助費が増加傾向にある。

事業名	災害時要援護者支援事業			1163-06
担当課	地域福祉課		現　年	前年度からの繰越
款 03	民生費	当初予算額	509,000円	―
項 04	災害救助費	最終予算額	509,000円	―
目 01	災害救助費	決　算　額	474,713円	―

事業の目的	災害に備えて、高齢者や障がいのある方など自ら避難することが困難な方について、地域の中で避難支援を受けられるようにするための制度を整備することにより、安心して暮らすことができる地域づくりの推進を図る。
事業の概要	災害時に備え、要援護者の把握及び登録台帳を整備し、避難支援等関係者と情報を共有する。 要援護者名簿は、1年に1回、自治協力団体、民生委員・児童委員、自主防災組織、消防団等に配付し情報を更新する。 福祉避難スペースにおける必要備品の整備や福祉避難所確保に向け施設の検討を行う。

事業の実績・成果

1　災害時要援護者名簿の整備

災害時等における安否確認や避難誘導、救出活動等を的確に行えるよう、要援護者名簿を整備した。

（1）名簿の配付先　　自治協力団体、自主防災組織、民生委員、消防団等に配付
※年度更新時に旧名簿は回収

（2）登録者情報の更新　　定期的な登録者情報の更新に努め、災害時に備えた。

（3）登録者数　　6,883人（令和6年3月31日時点の実人数）

（単位：人）

内訳（複数項目該当者は重複加算）		延　合　計	7,528
ひとり暮らし高齢者（支援度高）	220	身体障害者（1、2、3級）	359
ひとり暮らし高齢者（支援度低）	2,392	知的障害者（Ⓐ、A、B）	29
高齢者のみの世帯（支援度高）	192	精神障害者（1、2級）	20
高齢者のみの世帯（支援度低）	3,930	その他	98
要介護（3、4、5）	288		

（令和6年3月31日時点）

2　災害時要援護者名簿管理システム

○システム保守業務…341,000円

災害時要援護者管理システムの円滑な運用を実施するため、システムの保守業務を委託した。

3　福祉避難所の確保

福祉避難スペースでは避難生活が困難な要援護者が必要な支援を受けられるよう、施設・設備、体制の整った介護老人福祉施設、介護老人保健施設、障害児施設、障害者サービス事業所等と協定を締結し、福祉避難所として指定している。

福祉避難所協定締結施設数　（単位：件）

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
27	28	29	29	29

事業名	被災者支援事業			1163-09
担当課	地域福祉課		現　年	前年度からの繰越
款 03	民生費	当初予算額	2,816,000円	―
項 04	災害救助費	最終予算額	2,816,000円	―
目 01	災害救助費	決　算　額	2,016,877円	―
事業の目的	災害見舞金・弔慰金・応急住宅補助金を支給することで、災害を受けた者などの保護と福祉の増進を図る。			
事業の概要	・災害の被災者に見舞金及び仮設住宅補助金を支給 【見舞金・弔慰金】 家屋全焼（壊）20万円 半焼（壊）10万円、床上浸水5万円 部分焼（一部損壊）1万円 傷害見舞金3万円、弔慰金10万円 【仮設・賃貸住宅の補助】 月額2万円（上限）×12ヶ月まで			

事業の実績・成果

1　加須市災害見舞金等支給要綱に基づく見舞金弔慰金
災害見舞金弔慰金　1,710,000円

（単位：件）

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
家　屋	全焼・全壊（20万円）	4	3	3	1	7
	半焼・半壊（10万円）	0	0	2	1	1
	床上浸水（5万円）	0	4	0	0	0
	部分焼・一部損壊（1万円）	10	5	2	2	8
見舞金	負傷者（3万円）	5	2	2	3	1
弔慰金	死亡者（10万円）	0	2	0	1	1

2　加須市災害弔慰金の支給等に関する条例に基づく災害弔慰金
なし

3　り災者応急住宅費補助金　300,954円

区　分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
件　数（件）	4	3	4	4	4
金　額（円）	392,000	355,000	320,000	567,200	300,954

4　埼玉県・市長村被災者安心支援制度負担金（令和3年度から本事業で実施）

区　分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
件　数（件）	1	1	1
金　額（円）	9,777	53,321	5,923

事 業 名		健康づくり推進計画進行管理事業			1111-02
担 当 課		健康医療推進課		現　年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	134,000 円	―
項	01	保健衛生費	最終予算額	54,000 円	―
目	01	保健衛生総務費	決　算　額	54,000 円	―
事業の目的		「埼玉一の健康寿命のまち」の実現を目指し、市民一人ひとりが健康づくりの主体となり自分に適した健康づくりを進めるための計画を推進する。			
事業の概要		第 3 次加須市健康づくり推進計画に位置付けられた事業について、健康づくり推進委員会で進捗状況を報告し、評価や見直しを行う。 ・計画期間（令和 3 年度～令和 7 年度）			

事業の実績・成果

健康づくり推進委員会を書面により開催し、第 3 次健康づくり推進計画に位置付けられた事業の進捗状況を評価するとともに、委員より回答のあった助言の精査を実施した。

1　健康づくり推進員会開催回数：1 回

2　健康づくり推進計画に位置付けられた事業の令和 4 年度評価：順調・おおむね順調 62.8%

基本目標	1（達成済）	2（概ね順調）	3（やや遅れている）	4（大幅に遅れている）	5（未着手）	計
1　病気の発症予防と重症化予防	2	3	4	4	1	14
2　生活習慣の改善推進	7	3	2	3	7	22
3　妊産婦とこの健康づくりの推進	6	9	2	2	0	19
4　高齢者の健康づくりと介護予防の推進	2	5	5	3	0	15
5　こころの健康づくりの推進	0	3	0	1	5	9
6　地域医療体制づくり	1	7	3	2	0	13
7　新たな感性症対策の迅速・適切な実施	1	5	0	1	0	7
計	19	35	16	16	13	99

事 業 名		健康情報活用事業			1111-26
担 当 課		健康医療推進課		現　年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	7,246,000 円	―
項	01	保健衛生費	最終予算額	7,246,000 円	―
目	01	保健衛生総務費	決　算　額	6,865,210 円	―
事業の目的		市民の病気を予防するため、市民の健康データを管理・共有し、各種相談事業や健診（検診）事業等で有効に活用する。			
事業の概要		健康管理システム「健康かるて」により、市民の乳幼児健診、予防接種、成人健診（検診）等のデータを一元管理し、市民個々への適切な事業案内や相談・指導を実施する。 また、統計データとして集計・分析することにより、県等への報告や事業の見直し、事務改善等に役立てる。			

事業の実績・成果

・健康管理システムを安定的に運用できるよう、健康管理システムの保守管理を実施した。
予防接種や健診対象者の抽出、未受診者のフォローに活用する等、健康管理システムを適切に管理、運用することで、市民の健康づくり推進のための事業を円滑に実施できた。
・健康管理システム保守　3,036,000 円
・健康管理システム使用料 3,300,000 円

事 業 名		健康づくり管理事業			1111-27
担 当 課		健康医療推進課		現　年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	13,261,000 円	―
項	01	保健衛生費	最終予算額	2,320,000 円	―
目	01	保健衛生総務費	決　算　額	1,968,488 円	―
事業の目的		健康づくりの推進に係る共通的な経費、備品等を適切に管理・執行する。 また、職員の能力向上を図る。			
事業の概要		健康づくりの推進に係る共通的な物品、備品等の管理や事業日程を調整する。 また、計画的に研修等に参加し、職員の能力向上を図る。			

事業の実績・成果

1　専門的知識の維持・向上
職員の積極的な各種研修等へ参加することにより、専門的知識の維持や向上を図ることができた。

2　健康づくりの推進に係る共通的な物品、備品等の調達
・公用車の管理 2 台（給油　298.2L）
（車検　エブリィ）

・事務用品の購入（ラベルシール、ファイル、ふせん等）

事 業 名	骨髄移植ドナー推進事業			1111-30
担 当 課	健康医療推進課		現　年	前年度からの繰越
款 04	衛生費	当初予算額	420,000 円	―
項 01	保健衛生費	最終予算額	420,000 円	―
目 01	保健衛生総務費	決　算　額	420,000 円	―
事業の目的	白血病や再生不良性貧血などの病気は、骨髄移植や末梢血幹細胞移植が最も効果のある治療とされていることから、骨髄等の移植推進を図るとともに、その基盤ともなる骨髄バンクドナー登録の推進を図る。			
事業の概要	骨髄等の移植推進を図るとともに、埼玉骨髄バンク推進連絡会と連携し、市内献血実施事業所等の協力を得ながら骨髄バンク登録の推進を図る。 また、骨髄移植ドナー協力者等へ助成金を交付する。			

事業の実績・成果

平成 26 年度から埼玉骨髄バンク推進連絡会の協力を得て、献血会場におけるドナー登録会を実施している。

1　骨髄移植ドナー登録数

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
実施回数（回）	15	2	5	5	6
登録者数（人）	61	4	12	12	12

2　骨髄移植ドナー推進事業助成金事業　（単位：人）

	区分	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
提供者数	総数	1	1	4	0	3
	ドナー休暇あり	0	0	3	0	0
	ドナー休暇なし	1	1	1	0	3

事 業 名		献血推進事業			1111-31
担 当 課		健康医療推進課		現　年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	182,000 円	―
項	01	保健衛生費	最終予算額	182,000 円	―
目	01	保健衛生総務費	決　算　額	153,830 円	―
事業の目的		がん患者、けが人等の生命を救うため、相互扶助の精神に基づき、献血の普及を図り、良質な血液を確保する。			
事業の概要		埼玉県の献血推進計画や埼玉県赤十字血液センターの献血受入計画に基づき、市内の各所で献血を実施する。 赤十字血液センターと協力して、献血の普及、協力事業所の確保を図るとともに、献血者へ記念品を配布する。			

事業の実績・成果

各事業所・団体等 32 会場で献血を実施し、献血思想を普及するとともに血液の確保が図られた。

1　献血者内訳等

会場数（回数）	献血者数目標値（人）	受付者数（人）	献血者数（人）		
			200ml	400ml	計
32（64）	2,600	2,511	170	2,079	2,249

2　献血者の推移　（単位：人）

年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
献血者数	1,876	1,896	2,057	1,770	2,249

事 業 名		健康増進等管理事業			1111-32
担 当 課		いきいき健康長寿課		現　年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	1,184,000 円	―
項	01	保健衛生費	最終予算額	1,184,000 円	―
目	01	保健衛生総務費	決　算　額	1,008,372 円	―
事業の目的		健康増進や介護予防に係る経費や備品について、総合的な管理を行う。			
事業の概要		健康増進や介護予防に係る経費や備品について、計画的な執行及び管理を行う。			

事業の実績・成果

1　専門的知識の維持・向上

職員の積極的な各種研修等への参加及び専門誌からの情報収集に努めることにより、専門的知識の維持や向上を図ることができた。

2　保健事業に係る健診用品、自動車等の維持管理

保健事業を円滑に遂行するため、救急用品などの各種用品、自動車等を維持管理した。

・公用車の管理 4 台（給油　752.32L）

・事務用品の購入（月刊誌、トナーカートリッジ、蛍光ペン等）

・医薬材料の購入（ムヒ、ＯＳ－１、防水ワンタッチパット、瞬間冷却パック等）

事業名	食生活改善推進事業			1112-04
担当課	いきいき健康長寿課		現　年	前年度からの繰越
款 04	衛生費	当初予算額	559,000円	―
項 01	保健衛生費	最終予算額	559,000円	―
目 01	保健衛生総務費	決　算　額	548,138円	―
事業の目的	食生活を改善することにより、生活習慣病予防やフレイル予防など、市民の健康づくりに資する。			
事業の概要	食生活改善推進員による食生活改善推進活動を支援する。 また、食生活改善推進員協議会との共催により食生活改善推進員を養成するための養成講座や定例リーダー研修会を開催する。			

事業の実績・成果

市管理栄養士による定例リーダー研修会により、健康課題である高血圧予防や糖尿病予防等に関する食生活改善の学びを通して、生活習慣病予防の食生活等についての知識習得や食行動を見直す機会を提供した。その結果、推進員から推進員へ伝達する活動や市民に向けての活動など自主事業への実施につなげることができた。また、調理実習だけではなく、運動体験や広報紙の作成、配布などの自主活動に活発に取り組むことができた。

令和5年度は連携協定(R3.11.18)を締結した日本薬科大学による監修を依頼し、推進員や市民と協働で開発する我が家の味自慢！健康食メニューを再開し、「薬膳」と「地産地消」をテーマに11品新規作成した。

1　ヘルシークッキング（市からの委託事業）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施回数（回）	30	中止（コロナのため）	中止（コロナのため）	中止（コロナのため）	8
参加者延人数（人）	658				140
うち初回参加人数(人)	148				51

2　食生活改善推進員養成講座（市との共催事業）※再教育含む

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施日数（日）	6	中止（コロナのため）	中止（コロナのため）	5	5
参加者延人数（人）	44			50	16
養成講座修了延べ人数(人)	394			404	408
食生活改善推進員数（人）	190	140	128	97	98

3　食生活改善推進員定例リーダー研修会及び本部研修会（講師：市管理栄養士等／対象：食生活改善推進員）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施回数（回）	6	6	6	5	5
参加者延人数（人）	157	68	133	103	82

4　食生活改善推進員定例伝達活動（講師：リーダー研修会に参加した食生活改善推進員／対象：食生活改善推進員）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施回数（回）	51	中止（コロナのため）	31	18	13
参加者延人数（人）	700		424	343	250

5　地産地消や健康食メニュー等を取り入れた調理実習の開催

・加須市食生活改善推進員協議会と協働し、食生活改善推進事業（伝達活動・自主活動・市委託事業）において、地産地消を取り入れた健康食メニューや郷土料理などの調理実習を実施した。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施回数（回）	134	中止	83	64	40
参加者数（人）	2,300		1,458	1,528	680

6　我が家の味自慢！健康食メニュー検討部会における健康食メニューの開発
・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2～4年度は開発を中止とした。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
延べ品数（品）	45	49	49	49	60

7　健康食メニューの周知
・平成27年度より42か所の公共施設に紙媒体のレシピを設置していたが、DX推進のため令和5年度に回収し、市ホームページでの周知に切り替えた。
・骨粗しょう症予防事業時にカルシウムアップをメインとした健康食メニューのレシピを骨密度測定参加者814名に配布した。

8　食と健康づくりにおける連携に関する協定
・日本薬科大学

事業名		地域医療ネットワーク（とねっと）事業			1131-03
担当課		健康医療推進課		現　年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	4,546,000円	―
項	01	保健衛生費	最終予算額	4,576,908円	―
目	01	保健衛生総務費	決　算　額	4,573,908円	―
事業の目的		地域の限られた医療資源を効率的・効果的に活用し、中核病院と病院・診療所が医療情報を共有することで、市民へ質の高い医療サービスを提供でき、地域全体で市民の医療を完結する「地域完結型医療」を実現する。			
事業の概要		協議会事務局費を負担し、協議会の事務を支援する。			

事業の実績・成果

「とねっと」を管理・運営する埼玉利根保健医療圏医療連携推進協議会事務局と連携し、事業の諸課題の解決に向け、埼玉県や構成市町等との協議を進めた。

1　会議の開催状況
(1) 協議会総会　(2回)
(2) 協議会作業部会全体会会議　(2回)
(3) 協議会ITネットワーク担当部会システムワーキンググループ会議　(1回)
(4) 利根地域医療連携連絡協議会（行政担当課長）会議　(3回)

2　令和5年度の主な取組
令和5年度末で「とねっと」が事業終了する旨を広報かぞ、ホームページを通じて市民に周知した。
※「とねっと」は令和5年度末で事業終了とし、令和6年度を清算業務期間とした。

【住民及び医療機関等の参加状況】

	市内	利根保健医療圏全体	圏域外
参加住民数（人）	15,258	35,645	52
参加施設数（施設）	48	126	4

（注）利根保健医療圏全体の参加施設数には、県立循環器・呼吸器病センター、県立がんセンター、県立小児医療センターを含む。

事 業 名	医療情報提供事業				1131-04
担 当 課	健康医療推進課			現　年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	1,055,000 円	―
項	01	保健衛生費	最終予算額	1,055,000 円	―
目	01	保健衛生総務費	決　算　額	1,034,000 円	―
事業の目的	市民が安心して医療機関にかかれるよう、医療機関の情報を的確に提供する。				
事業の概要	広報紙やホームページ、ガイドブック、チラシなど様々な媒体を活用し、市民に必要な医療情報を提供する。				

事業の実績・成果

様々な媒体で、市民に医療機関や医療相談窓口等に関する情報を分かりやすく提供し、市民がこれらの情報を収集、把握する際の一助とすることができた。

特にガイドブックについては、従来の医療機関ガイドブックと歯科医療機関ガイドブックを統合し、一冊で市内全ての医療機関の情報を網羅できるようにした。

1　情報提供

名称	発行月（発行部数等）	掲載内容	特記
加須市医療機関ガイドブック（医科と歯科を統合）	令和 6 年 3 月（4,000 部）	・医療機関情報 ・救急や保健情報	・各医療機関のホームページ QR コード使用 ・マイナンバー健康保険証利用の医療機関掲載
休日・夜間救急診断カレンダー	毎月（広報かぞ）	・休日夜間における救急診療体制や休日当番医等	・祝日等の小児科休日診療の掲載 ・市内調剤薬局の輪番制 QR コード使用

2　埼玉県の救急電話相談（#7119）

埼玉県の委託により埼玉県医師会が実施している救急医療情報相談、大人の救急電話相談、小児救急電話相談。(24 時間受付　年中無休)

（単位：件）

救急医療情報	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
市民からの問合せ件数	965	741	939	804	922

（単位：件）

大人の救急情報	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
市民からの問合せ件数	600	516	638	998	1,007

（単位：件）

小児の救急情報	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
市民からの問合せ件数	1,436	876	975	1,063	1,216

事 業 名		産婦人科開設支援事業			1132-02
担 当 課		健康医療推進課		現　年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	13,000 円	―
項	01	保健衛生費	最終予算額	13,000 円	―
目	01	保健衛生総務費	決　算　額	0 円	―
事業の目的		特に整備が必要な分娩を扱う産婦人科及び救急医療を担う救急科の市内開設を促進し、市民がより安心できる医療環境を整備する。			
事業の概要		新たに分娩を扱う産婦人科又は救急医療を担う救急科を市内に開設しようとするものに対し、1,000 万円を上限に開設費用の 1/2 を市が補助することによって、市内開設の促進を図る。			

事業の実績・成果

埼玉県済生会加須病院の開院に伴う埼玉県済生会との包括的連携に関する協定において、「済生会加須病院は、市民ニーズに対応した診療科目の確保に努める」としていることから、同病院に対し周産期医療の必要性について説明し、産婦人科の開設を要望した。

事 業 名		看護師等育成確保支援事業			1132-03
担 当 課		健康医療推進課		現　年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	558,000 円	―
項	01	保健衛生費	最終予算額	558,000 円	―
目	01	保健衛生総務費	決　算　額	540,000 円	―
事業の目的		長寿化の進行に伴い、今後ますます医療を必要とする人の増加が見込まれるなか、地域医療を担う人材を確保し、市民がより安心できる医療環境を整備する。			
事業の概要		埼玉県看護師等育英奨学金の貸与を受けて看護師等養成施設に就学していた学生で、卒業後、市内の医療機関等において正規の就学期間を超える期間にわたって引き続き看護業務に従事しているものに対し、埼玉県に返還した奨学金の額の 1/2 を上限に市が助成する。			

事業の実績・成果

市内の医療機関等における看護師や准看護師を確保するための支援制度として制定した「加須市看護師等育成確保支援事業補助金交付要綱」の活用に向け、市ホームページ等で周知した。

1　事業概要

（1）　対象者

・埼玉県看護師等育英奨学金の貸与を受けている方、またはこれから貸与を受ける方

・看護師等養成施設を卒業した日の翌日から 2 ヶ月以内に市内の医療機関で看護師の業務に従事し、正規の就学期間を超える期間にわたって引き続き従事している方

（2）　補助金額

・上記対象者が埼玉県に返還した奨学金の額の 2 分の 1

2　本事業の活用実績

年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
対象者数（人）	0	1	0	1
補助実績（千円）	0	540	0	540

事 業 名		初期・２次・３次救急医療支援事業			1133-01
担 当 課		健康医療推進課		現　年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	59,225,000 円	―
項	01	保健衛生費	最終予算額	119,806,000 円	―
目	01	保健衛生総務費	決　算　額	119,724,000 円	―
事業の目的		医師不足などによる厳しい医療環境のなかで、地域の救急医療体制を確保し、医療に対する市民の安心感を高める。			
事業の概要		関係機関と連携し、救急医療を必要とする市民が、安心して医療を受けられる救急医療体制を整備する。 ・在宅当番医制の運営 ・救急病院の当直医確保への支援 ・東部北地区病院群輪番制の運営支援 ・埼玉東部消防組合との連携 ・救急医療体制推進協議会等での協議 ・公的病院救急医療等運営費の補助 ・医療連携推進会議での協議			

事業の実績・成果

厳しい救急医療環境の中で、休日・夜間における初期（軽症）救急患者及び二次（重症）救急患者の受入態勢を維持することができた。

１．初期救急医療体制 … 救急医療支援事業、在宅当番医制

（１） 救急医療支援事業

内容	土曜日・日曜日・祝日の夜間において、救急医療体制の確保に必要な調整及び医師雇い入れ賃金の一部を補助（補助金額：9,500 千円）
参加病院	市内 2 救急告示病院（中田病院、十善病院）
対象日数	中田病院：60 日、十善病院：60 日
対象日患者数	中田病院：162 人、十善病院：16 人

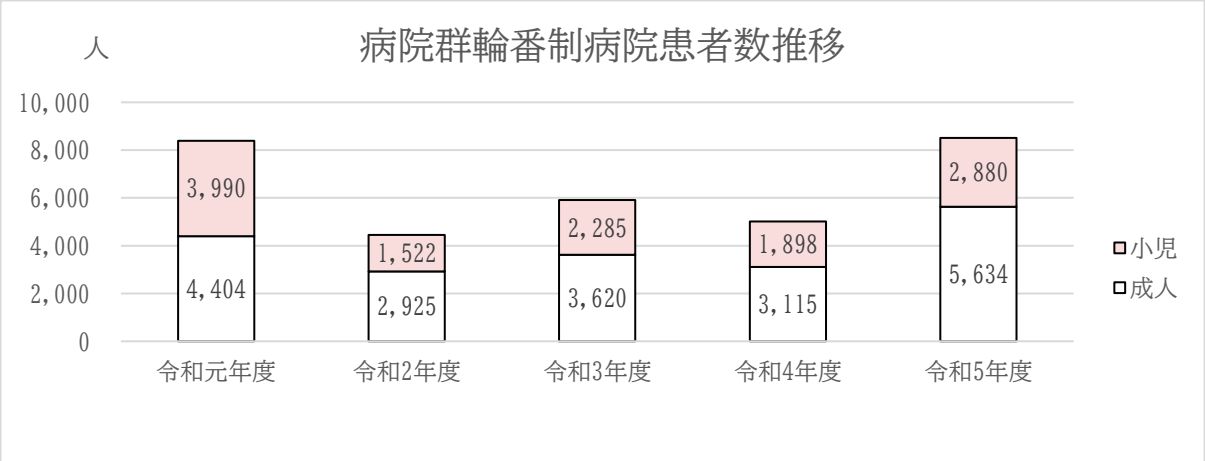
（２） 在宅当番医制

内容	医療機関が当番制で休日診療を実施し、初期救急患者への対応を行う。
委託先	北埼玉医師会（加須市内：市内の 2 救急告示病院（中田病院、十善病院） 羽生市医師会：医師会会員の 25 医療機関）
構成市及び負担金	加須市：2,729 千円、羽生市：1,315 千円　　合計　4,044 千円
実施日	加須医師会　：中田病院；35 日、十善病院；36 日　合計　71 日 羽生市医師会：25 医療機関　合計　72 日
実施日患者数	加須医師会　：2,331 人（中田病院；1,309 人、十善病院；1,022 人） 羽生市医師会：1,705 人

２．二次救急医療体制 … 病院群輪番制病院、公的病院救急医療等運営費補助

（１）病院群輪番制病院

内容	東部北地区（6 市 2 町）の二次救急医療機関が連携して、輪番方式で休日・夜間等の重症患者の受入れを実施
運営費補助金 （6 市 2 町合計）	成人 35,120 千円、小児 35,120 千円　（計）70,240 千円 ※小児 35,120 千円のうち、16,144 千円は県補助金
加須市負担金	成人 6,253 千円、小児 3,379 千円　（計）9,632 千円
実施日（回数） 及び患者数	成人：439/439（実施率 100.0%）　5,634 人 小児：439/439（実施率 100.0%）　2,880 人



（２）公的病院救急医療等運営費補助

救急医療等の不採算部門を担う公的病院に特別交付税を活用した財政支援を行った。

補助額……済生会加須病院：35,900 千円

事 業 名		休日小児科診療事業			1133-02
担 当 課		健康医療推進課		現　年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	1,415,000 円	―
項	01	保健衛生費	最終予算額	1,415,000 円	―
目	01	保健衛生総務費	決　算　額	1,415,000 円	―

事業の目的	小児患者の重症化の予防と保護者の負担の軽減を図るとともに、軽症患者の集中により逼迫している小児第二次救急医療体制の緩和を図る。
事業の概要	市内の小児科専門医が当番制で診療にあたる休日小児科診療体制を整備する。 【実施期間】①4 月から 10 月の祝日 ②11 月から 3 月の日曜、祝日、年末年始（元日を除く） 【診療時間】午前 9 時～正午

事業の実績・成果

多くの医療機関が休診となる 4 月から 10 月の祝日とインフルエンザやウイルス性胃腸炎などが流行する 11 月から翌年 3 月の日曜日・祝日・年末年始における小児科診療体制を整備し、多くの小児患者及び保護者の負担の軽減を図ることができた。

1　事業内容

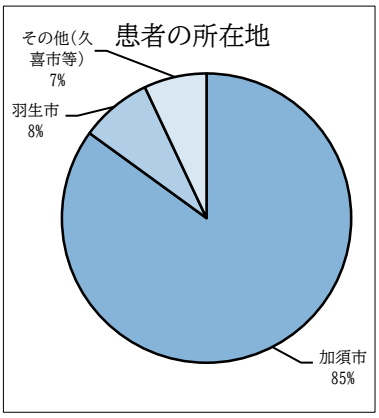
(1) 実施日　令和 5 年 4 月～令和 5 年 10 月の祝日及び
令和 5 年 11 月～令和 6 年 3 月の日曜、祝日、年末年始（1 月 1 日を除く）全 40 日

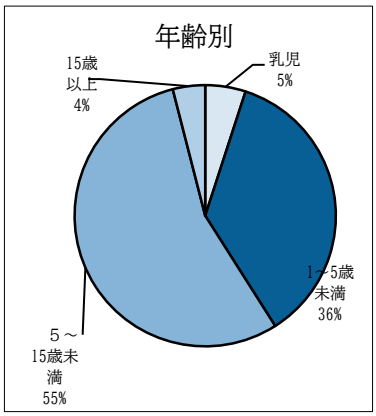
(2) 診療時間　午前 9 時～正午

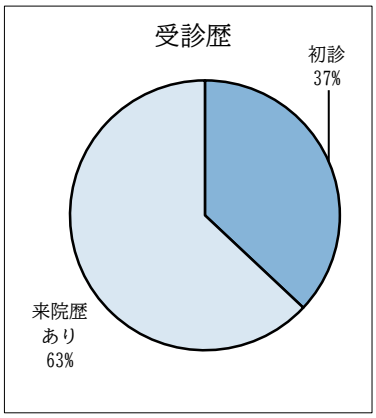
(3) 医療機関　中田病院（小児科）、加藤こどもクリニック、つのだ小児科医院、ともながこどもクリニック、福島小児科医院による当番制

(4) 委託料　当番 1 回当たり 35,000 円、会議出席謝金 1 回当たり 3,000 円（合計 1,415,000 円）

2　患者の内訳（令和 5 年度）

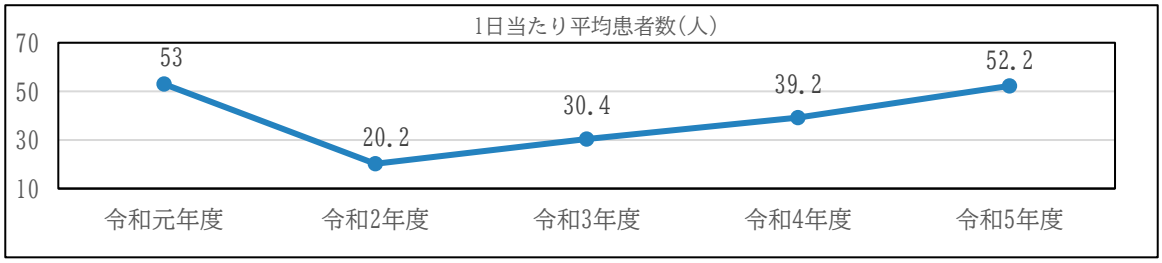






3　患者数の推移

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
実　施　日（日）	43	41	39	39	40
患　者　数（人）	2,281	827	1,187	1,528	2,087
1 日当たり平均患者数(人)	53.0	20.2	30.4	39.2	52.2



事 業 名		特別休日歯科診療事業			1133-03
担 当 課		健康医療推進課		現　年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	175,000 円	―
項	01	保健衛生費	最終予算額	175,000 円	―
目	01	保健衛生総務費	決　算　額	175,000 円	―
事業の目的		急病患者の歯科医療を確保するため、多くの歯科診療所が休診日にあたるゴールデンウィーク、年末年始などに歯科診療体制を整える。			
事業の概要		ゴールデンウィーク、年末年始に市内の歯科診療所が当番制で急患歯科診療を実施する。 診療時間：午前 9 時～正午			

事業の実績・成果

ゴールデンウィーク、年末年始などの特別休日に急病患者に対する歯科診療機会を提供することができた。

○受診者数　（単位：人）

	月　日	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
ゴールデンウィーク	4 月 30 日※	2				
	5 月 3 日	9	0	3	0	3
	5 月 4 日	5	9	2	4	6
	5 月 5 日	0	2	4	1	4
年末年始	12 月 31 日	16	17	11	8	10
	1 月 1 日	6	0	7	1	3
	1 月 2 日	4	6	8	12	7
	1 月 3 日	2	2	15	14	2
計		44	36	50	40	35

※　令和元年度については、ゴールデンウィークが 10 連休であったため、歯科医師会と協議し 4 月 30 日を実施した。

事 業 名		小児科医による救急講座・子育て相談事業			1133-04
担 当 課		健康医療推進課		現　年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	49,000 円	―
項	01	保健衛生費	最終予算額	49,000 円	―
目	01	保健衛生総務費	決　算　額	45,191 円	―
事業の目的		子育て支援の一環として、子育て中の方が、将来にわたり安心して医療を受けられる小児医療体制を構築する。			
事業の概要		小学生までのこどもを子育て中の保護者や養護教諭などを対象に、小児科専門医による講話や相談を行う講座を開催する。			

事業の実績・成果

保護者が、こどもの急な病気やけがにも慌てずに対処できるように、市内の小児科専門医による救急講座・子育て相談を開催した。令和 5 年度はパストラルかぞにおける対面形式と web による動画配信の併用とした。

1　参加者数　（単位：人）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
参加者数	304	―※1	650※2	690※3	1,208※3

※1　令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。
※2　令和 3 年度は視聴回数を参加者数とした。
※3　令和 4,5 年度は視聴回数と来場者数の合算とした。

事業名	不妊治療事業			2111-04
担当課	すくすく子育て相談室		現　年	前年度からの繰越
款 04	衛生費	当初予算額	8,460,000円	―
項 01	保健衛生費	最終予算額	8,460,000円	―
目 01	保健衛生総務費	決　算　額	3,992,000円	―

事業の目的	結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援を充実するため、不妊や不育に悩む男女が不妊治療や不妊検査、不育症検査を受けることによる経済的負担を軽減することにより、不妊治療等を受けやすい環境を整備する。
事業の概要	①不妊治療費助成事業は、治療開始時女性年齢43歳未満の男女を対象に、不妊治療費用の一部（保険組合負担分や高額療養費等該当分を控除した自己負担額の1/2、上限15万円）を助成。 ②早期不妊検査費助成事業及び不育症検査費助成事業は、検査時女性年齢43才未満の男女が受けた不妊検査費用や不育症検査費用の一部（35歳未満は上限3万円、35歳以上43歳未満は上限2万円　1回限り）を助成。

事業の実績・成果

不妊や不育症に悩む世帯に対し、経済的支援を行うことにより、不妊治療等を受けやすい環境を整備した。

1　不妊治療費助成件数　（単位：件）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
不妊治療費助成件数	34	41	55	50	44
不妊治療による妊娠件数	17	16	29	25	29

【参考】　（単位：件）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
埼玉県不妊治療費助成事業申請件数（加須市民）	87	101	133	97	

※埼玉県不妊治療助成事業は令和4年度で廃止

2　早期不妊検査費助成件数　（単位：件）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
早期不妊検査費助成件数	10	17	9	13	14

3　不育症検査費助成件数　（単位：件）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
不育症検査費助成件数	5	4	11	1	1

事業名	妊産婦保健事業			2111-05
担当課	すくすく子育て相談室		現　年	前年度からの繰越
款 04	衛生費	当初予算額	63,541,000 円	―
項 01	保健衛生費	最終予算額	63,743,000 円	―
目 01	保健衛生総務費	決　算　額	59,947,623 円	―
事業の目的	結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援を充実するため、母体や胎児の健康の保持増進を図るとともに、妊娠・出産・子育てに関する正しい知識を習得いただき、安心して出産できるよう支援する。			
事業の概要	妊婦健康診査費用（14 回分のうち 1 回目 14,070 円、2 回目以降は 5,010 円、5,710 円、8,010 円又は 8,110 円及び所定の検査）及び関連検査の費用と、新生児聴覚検査費用（上限 5,000 円）、産婦健康診査費用（上限 5,000 円）を助成する。また、パパママ学級を開催し、安心して出産できるよう支援する。			

事業の実績・成果

妊娠届出をした妊婦の 97.6%※（580 人／594 人）が妊婦健康診査を受診したため、妊婦の健康を守ることに役立った。

また、パパ・ママ学級参加者へのアンケートの結果、「参加して育児不安が減ったか」という質問に対して、回答者の 97.8%（88 人／90 人）が「そう思う」「だいたいそう思う」と回答し、妊娠や出産に対する不安の軽減につなげることができた。

1　妊娠届出等

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
妊娠届出(件)	635	584	608	579	594
母子手帳交付数(冊)	670	637	638	630	636

2　妊婦健康診査受診者数　（単位：人）

		令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
妊婦健康診査受診（公費負担）者数	1 回目	608	582	613	564	580
	2 回目	589	573	589	546	578
	3 回目	571	583	586	533	561
	4 回目	555	572	574	547	555
	5 回目	508	519	499	507	512
	HTLV-1 抗体検査	603	584	611	567	582
	性器クラミジア検査	602	587	612	563	576
	6 回目から 14 回目	4,285	4,237	4,524	4,113	4,254

※前年度に妊娠の届出をされた方を含む。

3　新生児聴覚検査費用助成件数　（単位：件）

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
助成件数	536	521	519

4　パパ・ママ学級　（単位：人）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
パパ参加者数	93	47	68	80	61
ママ参加者数	125	65	81	86	74
計	218	112	149	166	135

5　産婦健康診査費用助成件数　（単位：件）

	令和 4 年度	令和 5 年度
助成件数	492	521

事 業 名		避難者支援妊婦保健事業			2111-06
担 当 課		すくすく子育て相談室		現　年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	328,000 円	―
項	01	保健衛生費	最終予算額	328,000 円	―
目	01	保健衛生総務費	決　算　額	24,160 円	―
事業の目的		原発避難者特例法に基づき、東日本大震災により被災した者のうち、妊婦に対して妊婦健康診査受診等の支援を行う。			
事業の概要		妊婦健康診査費用（14 回分の 1 回目 14,070 円、2 回目以降は 5,010 円、5,710 円、8,010 円または 8,110 円及び所定の検査）、新生児聴覚検査費用（上限 5,000 円）、産婦健康診査費用（上限 5,000 円）の助成を行う。			

事業の実績・成果

1 名の避難者妊婦の妊婦健康診査費用を支援し、妊娠期間を安心・安全に過ごしていただく一助となった。

（単位：人）

		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
妊婦健康診査受診	1 回目	2	0	0	0	1
	2 回目	1	1	0	0	0
	3 回目	1	1	0	0	0
	4 回目	1	1	0	0	0
	5 回目	1	1	0	0	0
	HTLV-1 抗体検査	2	0	0	0	1
	性器クラミジア検査	2	0	0	0	1
	6 回目から 14 回目	11	8	0	0	0

事 業 名		妊婦応援事業			2111-13
担 当 課		すくすく子育て相談室		現　年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	3,321,000 円	―
項	01	保健衛生費	最終予算額	3,336,000 円	―
目	01	保健衛生総務費	決　算　額	3,265,000 円	―
事業の目的		妊娠を祝福するとともに、出産準備に係る経済的な不安を軽減し、安心して出産を迎えられるよう支援する。			
事業の概要		令和 3 年度に創設した子育て支援タクシー事業を見直し、妊娠届出による母子手帳を受ける妊婦に対し、胎児 1 子につき 5,000 円分の絆サポート券を支給する。			

事業の実績・成果

妊娠届出をされた妊婦及び転入された妊婦に、胎児 1 子につき 5,000 円分の絆サポート券を支給し、出産準備に係る経済的な不安を軽減することができた。（令和 4 年度より実施）

		令和 4 年度	令和 5 年度
支給件数（件）		660	653
	届出（件）	586（双胎 8 組を含む。）	604（双胎 12 組を含む。）
	転入（件）	40	49

事 業 名		出産・子育て応援事業			2111-14
担 当 課		すくすく子育て相談室		現　年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	0 円	95,322,000
項	01	保健衛生費	最終予算額	43,156,000 円	95,322,000
目	01	保健衛生総務費	決　算　額	42,429,829 円	94,404,888
事業の目的		すべての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てができる環境を整備し、妊婦・子育て世帯の孤立化の防止を図る。			
事業の概要		【伴走型相談支援】妊娠届出時、妊娠 8 か月頃、赤ちゃん訪問時に妊婦や養育者と直接面談し、育児支援や地域との連携を図るための情報発信を行う。 【経済的支援】妊娠届出後に出産応援交付金として、妊婦一人につき 50,000 円、出産後に出生児一人につき 50,000 円を支給する。 対象は、令和 4 年 4 月 1 日以降に妊娠届出された妊婦および出生した児童と養育者			

事業の実績・成果

【伴走型相談支援】

・令和 5 年 4 月より開始。伴走型相談支援として妊娠 8 か月目アンケートや、アンケート結果により子育てに不安を感じている妊婦について面談を実施する等、子育て世帯の出産、子育てについて精神的負担の軽減に努めた。

妊娠 8 か月目アンケート送付件数及び返信数

	送付数	返信数
妊娠 8 か月目アンケート	551 件	518 件

※令和 5 年 8 月 1 日～令和 6 年 7 月 31 日が出産予定日の妊婦へアンケートを送付
※未返信者の主な理由は、転出や予定日前の出産、流産・中絶、海外へ帰国等。

【経済的支援】

・妊娠届出時に妊婦本人が保健師や助産師と面談することで出産応援交付金、出産後赤ちゃん訪問等で保健師や助産師と面談をすることで子育て応援交付金を支給している。伴走型相談支援にて妊婦や産婦の心理的負担、応援交付金にて経済的負担の軽減に寄与した。

出産・子育て応援交付金の支給件数及び支給額

		遡及申請分	通常申請分
出産 応援交付金	支給件数	913 件	586 件
	支給額	45,650,000 円	29,300,000 円
子育て 応援交付金	支給件数	572 件	486 件
	支給額	28,600,000 円	24,300,000 円

※遡及申請分は、令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日までに妊娠届を提出した者、出産した者を対象とする。
※通常申請分は、令和 5 年 4 月 1 日以降に妊娠届を提出した者、出産した者を対象とする。

【前年度からの繰越事業（繰越明許）】　94,404,888 円

・前年度からの繰越事業の内容
伴走型相談支援及び交付金支給（94,404,888 円）

・令和 4 年度から令和 5 年度へ繰り越した理由
本事業は令和 5 年 4 月 1 日開始の事業であるため、令和 4 年度 2 月補正で予算措置を行い、繰り越した。

事業名	こんにちは赤ちゃん事業			2112-01
担当課	すくすく子育て相談室		現　年	前年度からの繰越
款 04	衛生費	当初予算額	3,189,000円	―
項 01	保健衛生費	最終予算額	3,189,000円	―
目 01	保健衛生総務費	決　算　額	2,895,973円	―
事業の目的	結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援を充実するため、乳児家庭の孤立化を防ぎ、親子の健全な育成環境の確保を図る。また、産後うつ病を防ぎ、適切な養育の実施を確保する。			
事業の概要	生後4か月までの乳児のいる全ての家庭に助産師、保健師が訪問し、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、母子の心身の状態等を把握し、助言を行う。 また、未熟児訪問や、養育支援訪問（専門的相談・指導が必要な家庭訪問）を行う。			

事業の実績・成果

産婦から提出された出生連絡票に基づき連絡し、生後4か月までの乳児のいる家庭を助産師又は保健師が訪問した。出生連絡票の提出がない場合、連絡を行い訪問実施。

訪問により、乳児の発育・発達、健康状態を把握するとともに、母親（父親）の育児対する相談を受け、育児不安の軽減に努めた。また、相談内容により必要に応じた市の母子保健事業へつなぐことが出来た。

1　訪問件数　（単位：件）

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
572	545	574	530	566

※訪問件数については、前年度生まれの乳児訪問及び他市町村へ依頼した訪問も含む。

2　令和5年度訪問状況　（単位：人）

対象者(出生数－転出＋転入)		551
訪問者数		550
未訪問の内訳	面接等	0
	施設入所	0
	希望なし	1

※対象者数は、令和5年4月1日から令和6年3月31日に出生した児。
※希望なしの理由は、里帰り中のため調整がつかない等。

3　養育支援訪問（未熟児養育医療申請者、病院からの連絡等）

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
53	60	54	112	147

※病院からの連絡は、養育支援連絡票及び令和4年度から産婦健康診査連絡票の送付あり。
※訪問件数については、前年度生まれの乳児を含む。

事 業 名		母子保健推進員訪問活動事業			2114-02
担 当 課		すくすく子育て相談室		現　年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	166,000 円	―
項	01	保健衛生費	最終予算額	166,000 円	―
目	01	保健衛生総務費	決　算　額	42,909 円	―
事業の目的		地域における子育て支援を促進するため、母子愛育会の班員のうち、母子保健推進員として登録した者が、市民の見守り・声掛け訪問活動を実施する。			
事業の概要		愛育班員のうち母子保健推進員として登録した者が、受け持ち地域に住む全ての市民を対象に家庭訪問を実施する。そして、母子保健推進員と保健師が地域の健康問題を把握し、健康増進に取り組む。			

事業の実績・成果

各地域の母子保健推進員が、それぞれの担当地域の市民宅を訪問した。

訪問し、声をかけることで地域のつながりの大切さを伝え、市民の孤立感を減らすことに尽力した。また、訪問時に市の健康に関する資料や情報を直接提供することができた。

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
家庭訪問件数（件）	906	301	372	372	389
母子保健推進員数（人）	241	237	237	184	175

事業名	健康づくり地域交流事業			2114-04
担当課	すくすく子育て相談室		現　年	前年度からの繰越
款 04	衛生費	当初予算額	1,372,000円	―
項 01	保健衛生費	最終予算額	1,372,000円	―
目 01	保健衛生総務費	決　算　額	1,279,522円	―
事業の目的	地域特性に合わせた交流の場の提供や、愛育班だよりを発行し、市民の心と体の健康増進を図る。			
事業の概要	遊びの広場（こどもを遊ばせながら、母親同士が集い合える場の提供）、三世代交流会等を開催する。また、愛育班だよりを発行する。			

事業の実績・成果

遊びの広場・三世代交流会を実施した。愛育だよりについては、連合会で広報誌「あいいく」を作成、全戸配布し、愛育班活動が行われていない地域にも活動のＰＲを行った。

1　遊びの広場：親子で遊べる場や友達づくりの場

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
開催回数（回）	34	0	0	9	24
一般参加人（人）	1,025	0	0	153	372

2　三世代交流会：高齢者と親とこどもが一緒に遊び相互理解を深める場

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
開催回数（回）	10	0	0	2	4
一般参加人（人）	1,289	0	0	153	328

3　愛育班だより：訪問により把握した健康問題をテーマに、各地区愛育班で発行

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
発行回数（回）	21	2	6	9	11
発行部数（部）	34,720	3,400	46,760	54,950	49,965

事業名	乳幼児健診事業			2121-01
担当課	すくすく子育て相談室		現　年	前年度からの繰越
款 04	衛生費	当初予算額	17,795,000円	―
項 01	保健衛生費	最終予算額	17,795,000円	―
目 01	保健衛生総務費	決　算　額	15,380,049円	―
事業の目的	親と子の自主的な健康づくりを推進するため、乳幼児の健診を実施し、乳幼児の健康の保持増進及び虐待予防を図る。			
事業の概要	乳幼児の身体計測、内科診察・歯科診察、保健相談、栄養相談、心理相談、歯科相談を実施する。			

事業の実績・成果

乳幼児健診を行うことにより、乳幼児の発育・発達の遅れ、疾病等の早期発見が図られた。

また、未受診児については、未把握のないよう、再通知や訪問、電話等で状況把握し、リスクの軽減を図った。

1　乳幼児健診実績の推移

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
3～4か月児	受診人数（受診率%）	606(97.4)	482(96.2)	573(97.3)	588(98.3)	533(97.6)
	健康管理上注意する者（その者の割合%）	263(43.4)	216(44.8)	245(42.8)	251(42.7)	276(51.8)
9～10か月児	受診人数（受診率%）	603(93.8)	499(97.5)	589(95.5)	617(97.2)	546(96.3)
	健康管理上注意する者（その者の割合%）	260(43.1)	204(40.9)	227(38.5)	287(46.5)	289(52.9)
1歳6か月児健診	受診人数（受診率%）	681(94.7)	660(94.6)	626(96.6)	602(95.3)	627(97.1)
	健康管理上注意する者（その者の割合%）	314(46.1)	319(48.3)	321(51.3)	312(51.8)	356(56.8)
2歳児健診	受診人数（受診率%）	684(93.7)	627(94.1)	620(93.9)	636(94.9)	668(95.4)
	健康管理上注意する者（その者の割合%）	314(45.9)	319(50.9)	284(45.8)	337(53.0)	398(59.6)
3歳児健診	受診人数（受診率%）	739(91.9)	762(95.5)	706(95.1)	649(94.3)	657(93.7)
	健康管理上注意する者（その者の割合%）	285(38.6)	318(41.7)	286(40.5)	299(46.1)	330(50.2)

２　乳幼児健診実績　（令和５年 ４月 １日～令和６年 ５月31日現在）

	該当者（人）	受診者（人）	未受診者（人）	受診率（%）	異常なし（人）	健康管理上注意する者(人)	その割合（%）
3～4か月児健診	546	533	13	97.6	257	276	51.8
9～10か月児健診	567	546	21	96.3	257	289	52.9
1歳6か月児健診	646	627	19	97.1	271	356	56.8
2歳児健診	700	668	32	95.4	270	398	59.6
3歳児健診	701	657	44	93.7	327	330	50.2

３　令和５年度未受診児の状況（令和５年 ４月 １日～令和６年 ５月31日現在）　（単位：人）

	3～4か月児健診	9～10か月児健診	1歳6か月児健診	2歳児健診	3歳児健診
保育園(所)・幼稚園で受診	0	4	7	15	33
医療機関で受診	8	9	7	9	6
市外・海外在住	0	1	2	1	4
市の保健師による訪問・面接	5	7	3	7	1
合　　計	13	21	19	32	44

事 業 名		親子歯科保健推進事業			2121-02
担 当 課		すくすく子育て相談室		現　年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	1,321,000 円	―
項	01	保健衛生費	最終予算額	1,321,000 円	―
目	01	保健衛生総務費	決　算　額	888,300 円	―
事業の目的		親と子の自主的な健康づくりを推進するため、親と子がむし歯、歯並び、歯周疾患について正しい知識を習得する機会を拡充する。			
事業の概要		2 歳児から就学前の幼児を対象とした市が実施する歯 LOW 教室、フッ素塗布			

事業の実績・成果

・歯の健康について知識の普及を図り、フッ素塗布によるむし歯の予防に努めた。その結果、むし歯のない幼児の割合は 2 歳児健診で下がったものの、3 歳児健診では前年度と同水準を維持できた。

1　むし歯のない幼児の割合　（単位：%）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
歯 LOW 教室	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
2 歳児健診	97.2	98.4	93.9	98.1	96.3
3 歳児健診	88.1	87.5	86.2	92.4	92.4

2　3 歳児健診における歯みがき指導参加状況

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
健診受診者(人)	739	762	700	649	654
参加人数(人)	597	691	700	637	650
参加率（%）	80.8	90.7	100	98.2	99.4

3　フッ素塗布（歯 LOW 教室を含む）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
実施回数（回）	15	10	12	16	16
参加人数（人）	463	213	135	114	118

事 業 名		育児健康相談事業			2121-05
担 当 課		すくすく子育て相談室		現　年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	425,000 円	―
項	01	保健衛生費	最終予算額	425,000 円	―
目	01	保健衛生総務費	決　算　額	424,544 円	―
事業の目的		親と子の自主的な健康づくりを推進するため、養育者の育児不安の軽減を図り、乳幼児の健全な発育発達を促す。			
事業の概要		乳幼児健康相談、訪問、面接、電話などにより、育児や発育・発達に関する相談を行う。			

事業の実績・成果

乳幼児健康相談や乳幼児訪問等により、育児や発育・発達に関する相談を行うことで、子育て家庭の乳幼児健康診査後のフォローや育児不安の軽減、こどもの発育・発達に関する悩みの解消等を図ることができた。

1　乳幼児健康相談

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
実施回数（回）	32	23	28	27	24
実人数　（人）	268	176	180	197	207
延人数　（人）	541	278	328	398	406

2　乳幼児に対する訪問、面接、電話の実施延べ件数

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
訪問実人数（人）	89	76	67	102	118
訪問延件数（件）	123	128	145	185	191
面接延件数（件）	92	105	136	154	201
電話延件数（件）	829	1051	966	999	1173

事業名	幼児発達支援事業				2121-06
担当課	すくすく子育て相談室			現　年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	2,898,000円	―
項	01	保健衛生費	最終予算額	2,898,000円	―
目	01	保健衛生総務費	決　算　額	2,873,082円	―

事業の目的	親と子の自主的な健康づくりを推進するため、幼児期の発達又は養育者の育児の不安などにより、育児支援が必要な養育者と子に対して支援を行う。
事業の概要	ことばの遅れや発達、行動面や対人関係等に心配のある幼児や、こどもとの関わりに不安をもっている養育者に対し、遊びを通して発達を促し、養育者の育児不安や育児負担の軽減を図る。 また、必要な幼児に対し医療機関への受診を勧め、幼児の特徴を知り、発達を促す関わりができるようにする。

事業の実績・成果

親子・育児教室では、ことばの遅れや発達、行動面や対人関係等に心配のあるこどもや、こどもとの関わりに不安を持つ養育者に対し、遊びを通して発達を促し、養育者の育児不安や育児負担の軽減を図るとともに、必要に応じて医療機関へ受診を勧め、発達を促すことができた。

また、ことばの相談では、ことばの遅れや発音等心配のあるこどもに対し、言語聴覚士による個別相談を行うとともに、必要に応じて医療機関への受診を勧め、言語発達を促すことができた。

1　親子・育児教室

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施回数（回）	56	50	60	60	60
参加延人数（人）	780	411	479	601	635

※　加須地域は概ね3歳4か月までは親子教室、概ね3歳4か月以降は育児教室として、騎西・北川辺・大利根地域は年齢にかかわらず、親子教室として実施した。

2　ことばの相談（言語聴覚士による相談）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施回数（回）	72	67	71	71	71
参加延人数（人）	560	597	676	588	598

事業名	親と子の食育事業			2121-07
担当課	すくすく子育て相談室		現　年	前年度からの繰越
款 04	衛生費	当初予算額	95,000円	―
項 01	保健衛生費	最終予算額	95,000円	―
目 01	保健衛生総務費	決　算　額	80,924円	―
事業の目的	食に対する意識を高め、正しい食習慣の形成確立を目指し、将来の生活習慣病予防や健康づくりを推進する。			
事業の概要	講話や調理実習等を通して、栄養バランスのとれた食生活の重要性を伝える。 乳児期：らくらく離乳食教室 学童期：わくわく食育クッキング その他公民館、小学校等への出前健康教育			

事業の実績・成果

講話や調理実習等を通して、栄養バランスのとれた食生活の重要性を伝え、各ライフステージにおける食事作りのポイントや注意点等の情報提供を行い、日常生活に反映できるよう支援した。

1　らくらく離乳食教室

生後4～9か月のこどもと保護者を対象に、口腔発達に合わせた離乳食のすすめ方及び食生活リズムについての講話・実演を通して、乳児の食に関する情報を伝えることができた。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予定回数(回)	12	12	12	12	12
実施回数(回)	9	9	12	12	12
参加者数(人)	134	75	170	172	163

【令和5年度らくらく離乳食教室終了後アンケート】

項目	よく理解できた	概ね理解できた	あまり理解できない	全く理解できない
回答割合（%）	81.3	18.7	0	0

2　児童のための栄養学習

うどんと三色食品群に関する講話・実習及び試食を実施したことにより、参加者が食を通して人とのふれあいを体験し、食や健康の大切さを学ぶことができた。

また、志多見小学校に通う児童とその保護者(1～6年生93家庭)に対してうどん等に関するアンケートを実施(回収率83.9%)した。アンケートを通して、普段の食生活を振り返る機会を提供することができた。

日時	実施場所	対象者	参加人数	講座名
令和6年2月7日	志多見小学校 家庭科室	志多見小学校に通う児童とその保護者	21人(児童17人、保護者4人)	わくわく食育クッキング

事業名	がん検診事業			1111-07
担当課	いきいき健康長寿課		現　年	前年度からの繰越
款 04	衛生費	当初予算額	158,373,000円	―
項 01	保健衛生費	最終予算額	158,368,000円	―
目 02	予防費	決　算　額	152,432,679円	―
事業の目的	市民の病気を予防するため、各種がん検診等を実施し、病気の早期発見、早期治療を促す。			
事業の概要	各種がん検診（胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん、前立腺がん）、胃がんリスク検診、B型及びC型肝炎ウイルス検診を実施する。 在宅療養する若年末期がん患者に助成金を交付する。 生活保護受給者への健康診査を実施する。			

事業の実績・成果

受診率向上への取り組みとして、ＳＮＳ等での受診勧奨、未受診者への再勧奨通知、集団検診のＷＥＢ予約、集団検診申込時に複数受診の勧め、加須市ピンクリボン運動を実施したことにより、胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん検診で前年度より受診率が向上した。

令和3年9月から開始した若年者在宅ターミナルケア支援事業は利用者実績があり、在宅においてターミナル期を過ごすことのできる支援につなげることができた。

1 実施内容

検診名	集団	個別	検診内容
胃がん検診	○	○	胃部エックス線検査（集団検診） 胃内視鏡検査（個別検診）
肺がん検診	○	○	胸部エックス線検査、喀痰検査（ハイリスク者）
大腸がん検診	○	○	便潜血検査
子宮頸がん検診	○	○	子宮頸部細胞診、HPV検査
乳がん検診	○	○	乳房エックス線検査
前立腺がん検診	○	○	PSA検査
胃がんリスク検診	－	○	ヘリコバクター・ピロリ抗体IgG 検査、血清ペプシノゲン検査
B型及びC型肝炎ウイルス検診	－	○	HBs抗原検査 HCV抗体検査、HCV核酸増幅検査（中力価及び低力価と分類された検体に対して行う）
健康診査（生活保護等）	－	○	身体計測、血圧、血液検査(脂質、血糖、貧血、肝機能等)、尿検査　＊医師の判断により心電図

2 実績

(1)がん検診

ア 胃がん検診

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
対象者数（人）		35,537	35,820	72,182	72,543	72,809
バリウム検査	受診者数(人)	3,296	1,693	2,410	2,567	2,355
内視鏡検査	受診者数(人)	419	471	542	661	700
バリウム+内視鏡	受診者数(人)	3,715	2,164	2,952	3,228	3,055
	受診率（%）	13.8	12.0	5.1	5.9	6.0
バリウム検査	要精密検査者数（人）	242	164	207	149	178
	胃がん発見者数（人）	3	1	2	3	1
内視鏡検査	要精密検査者数（人）	40	82	87	115	87
	胃がん発見者数（人）	0	2	2	1	1

イ 肺がん検診

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
対象者数（人）	35,537	35,820	72,182	72,543	72,809
受診者数（人）	6,714	4,879	6,144	7,006	7,240
受診率（%）	18.9	13.6	8.5	9.7	9.9
要精密検査者数（人）	284	235	243	264	197
肺がん発見者数(人)	8	3	4	5	2

ウ 大腸がん検診

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
対象者数（人）	35,537	35,820	72,182	72,543	72,809
受診者数（人）	8,883	7,728	8,350	8,951	9,077
受診率（%）	25.0	21.6	11.6	12.3	12.5
要精密検査者数（人）	585	553	507	543	533
大腸がん発見者数（人）	26	21	18	20	25

エ 子宮頸がん検診(妊婦健診を除く。)

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
対象者数（人）	24,407	24,401	47,361	47,571	47,601
受診者数（人）	4,884	4,137	4,515	4,856	5,021
受診率（%）	28.1	26.3	12.9	13.9	14.6
要精密検査者数（人）	49	54	47	51	59
子宮頸がん発見者数（人）	1	2	2	3	3

オ 乳がん検診

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
対象者数（人）	21,294	21,455	36,724	36,906	37,014
受診者数（人）	2,625	2,007	2,349	2,544	2,291
受診率（%）	24.1	21.2	11.7	13.1	12.9
要精密検査者数（人）	179	134	159	211	127
乳がん発見者数(人)	10	11	11	18	7

カ 前立腺がん検診

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
対象者数（人）	12,825	13,134	27,401	27,666	27,985
受診者数（人）	2,737	2,386	2,599	2,899	2,794
受診率（%）	21.3	18.2	9.5	10.5	10.0
要精密検査者数（人）	158	131	162	220	148
前立腺がん発見者数（人）	10	9	13	20	14

キ 胃がんリスク検診

	令和元年	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
対象者	40 歳、41～45 歳で受診歴がなく希望する者	40 歳、41～45 歳で受診歴がなく希望する者	40 歳、41～45 歳で受診歴がなく希望する者	40 歳、41～45 歳で受診歴がなく希望する者	40 歳、41～45 歳で受診歴がなく希望する者
受診者数（人）	75	79	92	71	61

※ 「対象者数(人)」の算出方法は令和3年度から変更となる。令和2年度までは「人口-就業者数＋農林水産業従事者数」であったが、令和3年度からは年齢別対象者全てを母数とする。

※ 胃がん検診、子宮頸がん検診、乳がん検診における「受診率（%）」の数値は、県報告値（（「前年度の受診者数」+「当該年度の受診者数」－「前年度及び当該年度における2年連続受診者数」）÷「当該年度の対象者数」×100）とする。

※ がん発見者数は、精密検査実施医療機関から年度を越えて結果が報告されるため、人数は増加する場合がある。

(2) B型及びC型肝炎ウイルス検診

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
受診者数（人）	149	151	134	138	142
要精密検査者数（人）	2	3	3	0	4

(3) 健康診査(生保健診等)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
対象者数　（人）	780	767	675	723	735
受診者数　（人）	67	79	64	65	63

(4)　若年者在宅ターミナルケア支援事業

在宅療養をする若年（20歳以上40歳未満）の末期と診断されたがん患者が、住み慣れた自宅等で最期まで自分らしく安心して日常生活を送れるよう、在宅サービス（訪問介護、訪問入浴介護、福祉用具の貸与）利用料の一部助成及び、意見書作成料の全額助成を行う事業を令和3年9月から開始した。

（単位：件）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
件　　数		0	2	1
在宅サービス内訳	訪問介護	0	0	0
	訪問入浴介護	0	0	0
	福祉用具の貸与	0	2	1
意見書作成料		0	1	0

事業名	骨粗しょう症予防事業			1111-10
担当課	いきいき健康長寿課		現　年	前年度からの繰越
款 04	衛生費	当初予算額	2,032,000円	—
項 01	保健衛生費	最終予算額	1,995,000円	—
目 02	予防費	決　算　額	1,969,806円	—
事業の目的	要介護の主な原因となる骨折を招く骨粗しょう症予防のため、骨粗しょう症検診を実施し、早期から骨量減少への対策を行う。			
事業の概要	健康増進法に基づく節目年齢（40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳）女性を対象に骨粗しょう症検診を実施する。			

事業の実績・成果

健康増進法に基づく節目年齢（40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳）の女性に対してはがきによる受診勧奨を実施することができた。

また、骨密度測定を実施することにより、対象者が自身の骨密度を知ることで、骨粗しょう症の予防に対する意識づけを行うことができた。実施の際には、中外製薬株式会社と連携協定（令和元年10月16日）により、骨粗しょう症予防啓発のパンフレットを配布した。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施回数(回)	9	12	13	15	13
受診者数(人)	1,091	1,027	1,247	1,304	1,278

事業名	健康相談事業			1111-15
担当課	いきいき健康長寿課		現　年	前年度からの繰越
款 04	衛生費	当初予算額	205,000円	―
項 01	保健衛生費	最終予算額	205,000円	―
目 02	予防費	決　算　額	162,053円	―
事業の目的	市民の病気を予防するため、健康相談を実施し、健康の保持増進及び生活習慣病予防に努める。			
事業の概要	高血圧、脂質異常症、糖尿病、骨粗しょう症、女性の健康、病態別（肥満、心臓病など）から重点課題を選定し、健康相談を実施する。			

事業の実績・成果

健康相談のアンケート結果から、自分や家族の体の状態や生活習慣の改善点、健診を受ける必要性について「分かった」「やや分かった」と答えた方が100%であったため、相談者に健診受診の必要性や生活習慣の改善点を指導することができた。

1　重点健康相談（骨粗しょう症、高血圧、糖尿病、脂質異常症）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施回数(回)	16	18	19	20	19
相談件数(件)	518	518	494	408	407

※令和5年度内訳407件（骨粗しょう症315件、高血圧22件、糖尿病54件、脂質異常症16件）

2　総合健康相談

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施回数(回)	70	392	30	32	29
相談件数(件)	441	437	58	35	156

【種類別実施内訳】

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実施回数(回)	相談件数(件)	実施回数(回)	相談件数(件)	実施回数(回)	相談件数(件)	実施回数(回)	相談件数(件)	実施回数(回)	相談件数(件)
保健センター健康相談※	13	78	13	35	8	28	―	―	―	―
医療診断センター健康相談※	12	47	―	―	―	―	―	―	―	―
出前健康相談	1	9	0	0	0	0	1	3	1	3
健康まつり健康相談※	4	215	中止		中止		中止		3	122
新型コロナウイルス相談※	―	―	337	337	―	―	―	―	―	―
その他（電話・来所）	40	92	42	65	22	30	31	32	25	31
合　　計	70	441	392	437	30	58	32	35	29	156

※保健センター健康相談は電話や窓口にて随時対応していくため令和4年度より廃止。
※医療診断センター健康相談は電話や窓口にて随時対応していくため令和4年度より廃止。
※新型コロナウイルス感染症の拡大防止により健康まつりが中止のため、令和2年度から令和4年度までは実施なし。
※新型コロナウイルス感染症の相談は、令和3年度より当課での集計なし。

事業名	生活習慣病予防事業			1112-01
担当課	いきいき健康長寿課		現　年	前年度からの繰越
款 04	衛生費	当初予算額	2,943,000円	―
項 01	保健衛生費	最終予算額	2,389,000円	―
目 02	予防費	決　算　額	1,969,339円	―
事業の目的	市民の病気を予防するため、生活習慣病を予防するとともに、健康に関する正しい知識を普及し、市民が「自らの健康は自らが守る」という認識と自覚を高める。			
事業の概要	生活習慣病予防講座の開催、健康手帳の交付、かぞ健康マイレージの実施等を通じ、心疾患、脳血管疾患等の生活習慣病を予防するとともに、健康に関する正しい知識を普及する。また、受動喫煙対策として公共施設の敷地内禁煙を継続する。			

事業の実績・成果

生活習慣病予防講座は、保健センターの他、公民館等の地域の会場へ出向く出前健康講座を実施した。講座内容は、高血圧、糖尿病などの生活習慣病や、骨粗しょう症、フレイルなどについて普及啓発を行い、生活習慣病の予防及び、フレイル予防を図ることができた。

1　健康手帳の交付　（単位：冊）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
交付数	5,097	4,215	4,544	5,216	4,955

2　生活習慣病予防講座（健康教育）の開催

(1) 令和5年度実施内容及び実績

実　施　内　容	実施回数（回）	参加延人数（人）
歯周疾患予防	10	71
骨粗しょう症・転倒予防	17	1,331
病態別（医師出前講座、栄養講座）	13	246
一般（生活習慣病、運動、栄養等）	68	7,170
計	109	8,818

(2) 年度別実績

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実施回数（回）	176	87	104	109	109
参加延人数（人）	10,548	5,458	7,122	7,634	8,818

3　かぞ健康マイレージの実施　（単位：人）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
応募者数	613	482	481	553	587

4　健康まつりの開催

(1) 令和5年度実施内容

血管年齢、脳年齢、血圧測定、握力測定、健康相談、健康ラリー、がんを知る展等

(2) 年度別実績　（単位：人）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
参加人数	7,721	中止	中止	中止	3,155（加須地域中止）

事業名	成人歯科保健推進事業			1112-12
担当課	いきいき健康長寿課		現　年	前年度からの繰越
款 04	衛生費	当初予算額	2,655,000 円	―
項 01	保健衛生費	最終予算額	2,665,186 円	―
目 02	予防費	決　算　額	2,665,186 円	―

事業の目的	高齢期における健康を維持し、食べる楽しさを享受できるように、歯の喪失を予防するため、歯科疾患の早期発見、早期治療による歯と口腔の健康の保持増進を図る。 また、8020 運動の普及啓発を推進する。
事業の概要	・成人歯科検診（20 歳以上の方及び妊婦を対象）を歯科医院へ委託 ・8020 お達者歯科健診（65 歳以上を対象に健診を実施し、80 歳以上で 20 本以上自分自身の歯がある方を表彰） ・歯科相談（市民を対象）

事業の実績・成果

成人歯科検診の実施により、口腔内の状態を把握し、歯周疾患等の早期発見・予防を図ることにつながった。また、8020 お達者歯科健康診査の実施により、8020 運動の普及啓発を推進できた。

1　成人歯科検診（歯周病検診）

対象：20 歳以上の市民

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
検診人数（人）	408	430	419	511	421
平均むし歯歯数（本）	12.3	11.4	11.9	11.8	11.7
平均現存歯数（本）	26.8	26.6	26.8	27.2	26.7

2　8020 お達者歯科健康診査

対象：65 歳以上の市民

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
実施回数（回）	8	8	8	8	7
参加人数（人）	37	29	25	40	33
表彰人数（人）	25	22	20	18	23※

○　表彰対象：８０歳以上（4 月 1 日現在）で、自分の歯を２０本以上（治療した歯も含む）お持ちの方

※　表彰者地区別内訳：加須 16、騎西 4、北川辺２、大利根 1

3　歯科相談

対象：市民

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
実施回数（回）	3	4	4	3	4
相談件数（件）	16	13	13	11	17

事業名	こころの健康づくり事業			1113-01
担当課	いきいき健康長寿課		現　年	前年度からの繰越
款 04	衛生費	当初予算額	948,000円	―
項 01	保健衛生費	最終予算額	948,000円	―
目 02	予防費	決　算　額	923,268円	―
事業の目的	市民が心身ともにより健康的な生活を送ることができるよう、心の健康づくりを推進し、精神疾患や自殺の予防を図る。			
事業の概要	精神科医師、公認心理師へ相談する機会を提供する。 また、自殺予防に関する啓発を行うとともに、必要に応じて関係機関と連携し訪問指導を実施する。			

事業の実績・成果

保健師による電話・面接・訪問相談のほか、精神科医師や公認心理師による相談を実施した。また、メンタルチェックシステム「こころの体温計」を市ホームページ等において周知し、こころの健康づくりへの普及啓発に努めるとともに、相談者のこころの健康づくりに役立てた。更に、自殺対策の一環として、ゲートキーパー研修を行った。

1　精神保健相談（保健師による相談）　（単位：件）

相談手段	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
電　話	50	65	51	141	189
面　接	25	20	6	11	24
訪　問	4	7	1	5	16

2　こころの健康相談

ア　精神科医師による相談

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
回数（回）	12	12	5	4	7
延べ人数（人）	6	7	7	6	11

イ　公認心理師による相談

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
回数（回）	19	30	25	21	21
延べ人数（人）	25	45	40	32	39

3　合同相談（公認心理師による相談）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
回数（回）	14	8	9	14	14
延べ人数（人）	11	6	7	12	26

4　メンタルチェックシステム「こころの体温計」　（単位：件）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
ホームページアクセス件数	21,237	20,455	15,116	22,201	13,819

5　ゲートキーパー研修

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
回数（回）	2	2	2	2	2
延べ人数（人）	241	44	41	68	83

・公認心理師による講話（テーマ「身近な人のSOSに気づいたら」）：市内小中学校教諭を対象に1回、市内在住・在勤の方を対象に1回実施（内容は、ゲートキーパーの役割や傾聴の方法、相談機関の紹介等）。

6　自殺予防週間及び月間についての周知
・広報かぞ 令和5年9月・令和6年3月号
・ホームページへの掲載
・図書館資料等を活用した行政情報PR活動 令和6年3月

事業名		新型コロナウイルス感染症予防対策事業			1121-01
担当課		健康医療推進課		現　年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	14,181,000円	―
項	01	保健衛生費	最終予算額	9,122,092円	―
目	02	予防費	決　算　額	3,588,494円	―
事業の目的		新型コロナウイルス感染症の拡大を可能な限り抑制することで、市民の生命を守り、健康被害を最小限にとどめる。			
事業の概要		・ＰＣＲ検査に付帯するＣＴ検査費用助成 ・消毒薬、マスク等の備蓄及び活用 ・予防方法の普及啓発 ・新型コロナ簡易検査キットの配布			

事業の実績・成果

新型コロナウイルス感染症に係る対応を実施した（巻末参照）。

事 業 名		新型コロナウイルスワクチン接種事業			1121-02
担 当 課		健康医療推進課		現　年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	0 円	442,716,203 円
項	01	保健衛生費	最終予算額	371,017,000 円	442,716,203 円
目	02	予防費	決　算　額	347,267,508 円	312,295,592 円
事業の目的		新型コロナウイルス感染症の発症を予防し、重症者等の発生をできる限り減らし、結果として新型コロナウイルス感染症のまん延の防止を図る。			
事業の概要		・予防接種台帳システム等のシステム改修 ・接種券、予診票、案内等の印刷及び発送 ・接種の実施体制の確保 ・相談体制等の確保			

事業の実績・成果

新型コロナウイルス感染症に係る対応を実施した（巻末参照）。

事 業 名		高齢者予防接種事業			1141-03
担 当 課		いきいき健康長寿課		現　年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	95,267,000 円	―
項	01	保健衛生費	最終予算額	89,562,814 円	―
目	02	予防費	決　算　額	84,023,808 円	―
事業の目的		健康寿命を延ばすため、対象疾患の罹患・流行を防止する。			
事業の概要		高齢者インフルエンザ及び高齢者肺炎球菌は 65 歳以上の高齢者に対し、接種する費用を助成する。			

事業の実績・成果

1　高齢者インフルエンザ及び高齢者肺炎球菌予防接種

高齢者インフルエンザ及び高齢者肺炎球菌予防接種費用の一部を助成することにより、高齢者の疾病予防に努めることができた。

（単位：人）

種　類	令和元年度 接種者数	令和 2 年度 接種者数	令和 3 年度 接種者数	令和 4 年度 接種者数	令和 5 年度	
					接種者数	対象者数
高齢者インフルエンザ	16,017	21,944	18,888	19,708	18,790	34,846
高齢者肺炎球菌	1,733	1,881	1,164	786	1,083	22,691

令和 5 年度接種率：高齢者インフルエンザ 53.9%（全体）、高齢者肺炎球菌 41.9%（65 歳）

事 業 名	いきいき長寿保健事業			1141-26
担 当 課	いきいき健康長寿課		現　年	前年度からの繰越
款 04	衛生費	当初予算額	7,144,000 円	―
項 01	保健衛生費	最終予算額	7,144,000 円	―
目 02	予防費	決　算　額	4,472,461 円	―
事業の目的	医療専門職が主体となり、加齢に伴う心身機能の低下による、疾病や生活習慣病の重症化予防やフレイルを予防するための運動・口腔機能の向上や栄養状態の改善を行う。			
事業の概要	医療・介護のデータの分析をもとにした個別的支援と、ふれあいサロン等の通いの場を活用したフレイル予防の健康教室を行う。			

事業の実績・成果

令和 2 年度から新規事業として、高齢者の保健事業と介護予防を一体的に行い、疾病の予防や、生活習慣病の重症化予防、フレイル予防を推進するための取り組みを開始した。

個別支援（ハイリスク支援）として、低栄養、口腔機能低下、生活習慣病重症化予防に該当する者を対象に、医療専門職（保健師、管理栄養士、歯科衛生士）が訪問や電話などによる保健指導を行った。その中で、生活に課題を抱えている 3 ケースを高齢者相談センターへつなぎ、継続支援につなげた。

集団支援（ポピュレーション支援）として、ふれあいサロンへ出向き、フレイル予防の講話、フレイルチェック（後期高齢者の質問票など）を行い、フレイル予防の普及啓発を行った。

また国保データベース（ＫＤＢ）システムの健診、医療、介護情報から、健康課題の分析を行い、加須市の健康課題を作成した。

1　個別支援（ハイリスク支援）
前年度後期高齢者健康診査受診者から対象者を抽出

（1）低栄養　（単位：人）

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
対象者数	79	76	52	50
支援実施者実数	43	61	51	49

（2）口腔機能低下　（単位：人）

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
対象者数	実施なし	65	56	55
支援実施者実数		60	54	50

（3）生活習慣病重症化予防　（単位：人）

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
対象者数	28	24	56	79
支援実施者実数	20	19	55	75

2　集団支援（ポピュレーション支援）

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
開催回数（回）	中止	14	27	71
参加者数（人）		135	382	894

事業名	予防接種事業			2121-03
担当課	すくすく子育て相談室		現　年	前年度からの繰越
款 04	衛生費	当初予算額	264,294,000円	―
項 01	保健衛生費	最終予算額	259,365,000円	―
目 02	予防費	決　算　額	228,029,848円	―

事業の目的	親と子の自主的な健康づくりを推進するため、予防接種により対象疾病の罹患防止と免疫水準を維持することにより、流行を阻止する。
事業の概要	定期予防接種（ＢＣＧ、ポリオ、三種混合、四種混合、日本脳炎、麻しん風しん混合、二種混合、子宮頸がん、ヒブ、小児肺炎球菌、水痘、Ｂ型肝炎、ロタウイルス）、成人男性の風しん抗体検査及び風しん予防接種費用を全額助成する。 インフルエンザ予防接種費用の一部助成を中学3年生に実施する。

事業の実績・成果

小児予防接種等の実施により、感染症による患者の発生及び感染症の流行を抑制することができた。

子宮頸がん予防接種については、令和4年3月18日付け健健発0318第3号「ＨＰＶワクチンのキャッチアップ接種の実施等について」を受け、令和4年度からキャッチアップ接種を開始し、対象者に個別通知による接種勧奨を行ったものの接種率が伸び悩んでいた。このため、令和5年度は、キャッチアップ接種対象者に個別通知による再勧奨を行い、接種率の向上を図った。

1　定期接種実績　（単位：人）

種　類	令和元年度接種者数	令和2年度接種者数	令和3年度接種者数	令和4年度接種者数	令和5年度	
					接種者数	対象者数
ＢＣＧ	623	641	569	617	541	593
三種混合	2	2	1	2	4	
不活性ポリオ	2	2	0	0	0	
四種混合	2,612	2,566	2,427	2,383	2,429	2,454
二種混合	681	820	783	714	740	882
麻しん風しん混合1期	662	656	590	631	584	652
麻しん風しん混合2期	750	794	774	790	723	769
麻しん	0	0	0	0	0	
風しん	0	0	0	1	0	
日本脳炎	3,645	3,800	2,037	4,010	2,895	3,120
ヒブ	2,471	2,489	2,395	2,361	2,251	2,254
小児用肺炎球菌	2,524	2,443	2,393	2,365	2,264	2,254
子宮頸がん（定期接種）	9	50	192	442	466	7,059
子宮頸がん（キャッチアップ接種）				474	651	14,769
水痘	1,374	1,349	1,232	1,174	1,180	1,304
Ｂ型肝炎	1,810	1,803	1,755	1,769	1,650	1,602
ロタウイルス		500	1,217	1,193	1,136	1,121

※「風しん」は、成人を除く。

※「子宮頸がん」は平成25年6月から定期予防接種として継続するものの、接種を勧奨しないとされていたが、令和3年11月に積極的勧奨の差控えが終了した。キャッチアップ接種は令和4年度から開始された。

2　子宮頸がん予防接種の実施状況

平成25年度から令和5年度までの子宮頸がん予防接種の累計延べ接種者数

	累計延べ接種者数（人）	対象者数(人)	接種率(%)
定期接種	1,654	7,059	23.4
キャッチアップ接種	1,123	14,769	7.6

※対象者数は、対象年齢の人口×3回（3回接種と仮定）

3 子宮頸がん予防接種（1回目）の累積接種者数と接種率

対象者の生まれた年度	子宮頸がん予防接種(1回目)の終了者数(人)※1	対象者の生まれた年度別対象者数（人）　※2	子宮頸がん予防接種(1回目）の累積接種率
H9	40	719.7	5.6%
H10	43	733.7	5.9%
H11	72	680.6	10.6%
H12	114	686.3	16.6%
H13	87	678.1	12.8%
H14	66	686.0	9.6%
H15	74	667.8	11.1%
H16	68	665.4	10.2%
H17	105	653.9	16.1%
H18	104	640.0	16.3%
H19	130	658.3	19.7%
H20	101	677.8	14.9%
H21	79	627.9	12.6%
H22	55	629.5	8.7%
	1138	9405.1	12.1%

※1 平成25年度～令和5年度の定期接種(1回目)の累計接種者数（キャッチアップ接種含む）

※2 生まれ年度別対象者人口の平均(平成25年～令和5年の10月1日現在で比較)（人）

4　定期外接種（市独自の予防接種）実績　（単位：人）

種　類	令和元年度接種者数	令和2年度接種者数	令和3年度接種者数	令和4年度接種者数	令和5年度	
					接種者数	対象者数
インフルエンザ(中学3年生)	573	518	363	454	430	975

5　風しん抗体検査等

予防接種法による風しんの定期予防接種を受ける機会が一度もなかった昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性に対して、風しん抗体検査及び風しん予防接種クーポン券を送付した。

無料で抗体検査を受けることができ、また、その結果十分な量の抗体がない場合は、定期予防接種（無料）として接種することにより、風しんのまん延の防止を図ることができた。

(1) 風しん抗体検査及び風しん予防接種クーポン券送付

ア　対象者

昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性

イ　クーポン券送付状況

送付年度	送付対象者	送付人数
令和元年度	昭和47年4月2日～昭和54年4月1日	5,986人
令和2年度	昭和41年4月2日～昭和47年4月1日	4,736人
令和3年度	昭和37年4月2日～昭和41年4月1日	2,816人
令和4年度	昭和37年4月2日～昭和54年4月1日までの間に生まれたクーポン券の未使用者	10,110人
令和5年度	昭和37年4月2日～昭和54年4月1日までの間に生まれたクーポン券の未使用者	9,651人

(2) 風しん抗体検査

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
受検者数（人）	1,050	989	1,200	580	425

(3) 風しん予防接種

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
接種者数（人）	220	170	239	87	81

事業名		避難者支援予防接種事業			2121-04
担当課		すくすく子育て相談室		現　年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	1,760,000円	—
項	01	保健衛生費	最終予算額	1,760,000円	—
目	02	予防費	決　算　額	685,076円	—
事業の目的		原発避難者特例法に基づき東日本大震災により被災した者に対し、予防接種の支援を行う。			
事業の概要		定期予防接種（ＢＣＧ、ポリオ、三種混合、四種混合、日本脳炎、麻しん風しん混合、二種混合、子宮頸がん、ヒブ、小児肺炎球菌、水痘、Ｂ型肝炎、ロタウイルス）を全額助成、高齢者インフルエンザを4,107円、高齢者肺炎球菌を5,404円助成する。 また、中学3年生インフルエンザ予防接種費用を2,000円助成する。			

事業の実績・成果

東日本大震災により被災し、市内に避難している方に対する予防接種の実施により、感染症による患者の発生及び感染症の流行を抑制することができた。

定期予防接種等接種実績

	接種者数	市町村別内訳								
		双葉町	大熊町	浪江町	飯舘村	川内村	いわき市	南相馬市	富岡町	楢葉町
ＢＣＧ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
二種混合	4	2	1	0	0	0	0	0	0	1
四種混合	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
麻しん風しん混合	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0
日本脳炎	6	5	1	0	0	0	0	0	0	0
ヒブ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小児用肺炎球菌	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水痘	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Ｂ型肝炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
子宮頸がん	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0
中学3年生インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小　計	17	13	3	0	0	0	0	0	0	1
高齢者インフルエンザ	95	90	1	3	0	0	0	1	0	0
高齢者肺炎球菌	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0
小　計	99	94	1	3	0	0	0	1	0	0
合　計	116	107	4	3	0	0	0	1	0	1

事 業 名	動物適正飼養事業				4433-03
担 当 課	環境政策課			現　年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	754,000 円	―
項	01	保健衛生費	最終予算額	638,250 円	―
目	02	予防費	決　算　額	615,459 円	―
事業の目的	狂犬病予防対策を推進するとともに、ペットの適正な飼育等の普及啓発を行い、快適な地域生活環境の保全を図る。				
事業の概要	犬の登録及び狂犬病予防注射の実施や狂犬病予防に向けた普及・啓発を行う。さらに、ペットの適正飼養についての広報活動及び指導を実施する。				

事業の実績・成果

1　狂犬病予防集合注射

(1)日時　令和5年 4月 7・11・13・16・19・21日（6日間）

(2)場所　各地域コミュニティセンター、体育館、総合支所等

2　狂犬病予防注射勧奨通知の送付

(1) 発 送 日　　令和 5 年 12 月 4 日

(2) 対　　象　　令和 4 年度狂犬病予防注射届出済かつ、令和 5 年度狂犬病予防注射接種済の届出が未済の犬（684 頭）の飼い主

(3) 対象人数　　572 人

【犬の登録頭数の推移】　（単位：頭）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
新規登録数	448	454	424	378	486
登録頭数	7,606	7,444	7,259	7,044	7,027

【年度別狂犬病予防注射済頭数・接種率の推移】　（単位：頭・%）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
登録頭数	7,606	7,444	7,259	7,044	7,027
注射済頭数	5,519	4,766	4,782	4,525	5,243
接種率	72.6	64.0	65.9	64.2	74.6

3　適正飼育についてチラシ・広報紙による啓発

・犬猫の糞尿迷惑看板の配布　令和 5 年度配布実績　110 枚

事 業 名		環境美化活動団体支援事業			4121-01
担 当 課		環境政策課		現　年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	611,000 円	―
項	01	保健衛生費	最終予算額	611,000 円	―
目	03	環境衛生費	決　算　額	366,165 円	―
事業の目的		環境美化の推進を図るため、市と市民等の協働により、公共施設における地域の植栽・清掃等の環境美化活動を促進する。			
事業の概要		花の植付や清掃活動などの環境美化活動に必要な物品、用具等の支給やボランティア活動保険への加入、活動団体の名称を表示したサインボードの設置などを行う。			

事業の実績・成果

ボランティア団体や企業等との協働により、市が管理している道路や公園等の清掃や、花壇の植栽等の美化活動を行った。

1　支援内容

・美化活動を行うために必要な物品、用具等の支給又は貸与
・緑化に必要な花の種・苗の支給
・収集又は搬出が困難なごみの回収
・活動団体の名称を表示したサインボードの設置
・ボランティア活動保険への加入

2　支給内容

・軍手、鎌、ほうき等の清掃用具
・パンジー、ビオラ、マリーゴールド等の苗
・ボランティア活動保険への加入

3　ボランティア団体数

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
団体数（団体）	37	38	39	38	38

4　美化活動の現状と効果

清掃活動地域は、28 か所で実施され、継続的に清掃活動が行われた。また、14 か所の植栽活動地域では、主に春季と秋季の年 2 回、花苗等の植栽が行われた。

事 業 名		地域衛生協働事業			4122-04
担 当 課		環境政策課		現　年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	1,357,000 円	―
項	01	保健衛生費	最終予算額	1,158,750 円	―
目	03	環境衛生費	決　算　額	990,846 円	―
事業の目的		地域の公衆衛生の維持・向上を図るため、地域住民との協働による地域の衛生活動を推進する。			
事業の概要		自治協力団体が地域の公衆衛生の向上等の為に行う害虫駆除で使用する防疫薬剤を配布する。また、薬剤散布に使用する機材の購入費補助を行う。			

事業の実績・成果

1　自治協力団体（市全域）への防疫薬剤の配布

自治協力団体（市全域）に対し、次表のとおり市が防疫薬剤を配布した。各地区において消毒機による衛生害虫の防疫活動が行われ、地域衛生の向上が図られた。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
団体数(団体)	20	20	20	20	20
回 数（ 回 ）	112	105	120	102	123

2　環境衛生功労者感謝状の贈呈

長年にわたり地域の清掃、ごみ等の分別指導や草刈り等の環境衛生活動を率先して実施し、地域の環境美化に尽力した方に感謝状を贈呈した。

・ 対　象　　環境衛生功労者　14 名・16 団体

3　明るい社会づくりの会への活動事業費補助

明るく住みよい社会づくりを図るため、加須市明るい社会づくりの会に補助金を交付し、次の事業が実施された。

・会報配布、東日本大震災被災地ボランティア(宮城県石巻市)など

事業名	清掃活動促進事業			4123-02
担当課	資源リサイクル課		現　年	前年度からの繰越
款 04	衛生費	当初予算額	18,000円	―
項 01	保健衛生費	最終予算額	5,000円	―
目 03	環境衛生費	決　算　額	4,950円	―
事業の目的	市民や事業者と市の協働による清潔な地域環境の実現を図るため、市民や事業者の生活環境の保全及び環境美化意識の向上に努める。			
事業の概要	・加須市コミュニティ協議会等の市民団体と協働により、まちの一斉清掃を実施する。			

事業の実績・成果

・コミュニティ協議会等の市民団体との協働により、市内の一斉清掃を行うことで、環境美化の促進と環境保全の意識高揚が図られた。

一斉清掃は計画通りの実施となったが、渡良瀬遊水地クリーン作戦は、荒天となり中止となった。この結果として、予算措置した渡良瀬遊水地クリーン作戦の傷害保険料及び清掃活動に伴う消耗品の支出がなかった。

1　年間清掃活動の実績

実施日	地域	参加人数（人）	ごみ回収量（kg）
令和5年6月18日（日）	加　須	2,888	4,300
令和5年7月16日（日）	北川辺	1,266	680
令和5年7月23日（日）	大利根	2,678	1,680
令和5年8月27日（日）	騎　西	集計不可	2,090
令和5年11月12日（日）	北川辺	1,220	1,310
令和5年11月26日（日）	加　須	3,078	3,580
令和5年12月17日（日）	大利根	2,712	1,850
令和6年3月3日（日）	騎　西	集計不可	2,690
	北川辺	1,183	1,090
令和6年3月10日（日）	加　須	3,259	450
	大利根	2,634	1,600
合　計		20,918	21,320

2　渡良瀬遊水地クリーン作戦

実施日	参加団体数	参加人数（人）	ごみ回収量（kg）
令和5年4月16日（日）	荒天により中止		

事業名	「浮野の里」自然環境保全事業			4212-01
担当課	環境政策課		現　年	前年度からの繰越
款　04	衛生費	当初予算額	3,596,000円	―
項　01	保健衛生費	最終予算額	9,112,000円	―
目　03	環境衛生費	決　算　額	8,288,910円	―

事業の目的	自然環境との共生を推進するため、県の緑のトラスト保全地であり、優れた自然と歴史的景観が残る「浮野の里」を保全し、活用を図る。
事業の概要	「浮野の里」公有地の管理委託や「さいたま緑のトラスト協会」ボランティアと連携した保全活動・保全管理を行うとともに、「浮野の里」自然観察会を開催し環境学習の場としても活用する。 また、県絶滅危惧種に指定されるトキソウの保護と増殖を図る。 （浮野の里面積：約125万㎡、うち令和2年度末時点の公有地面積：89,910㎡）

事業の実績・成果

1　保全活動及び保全管理

(1)「浮野の里」環境保全活動　（単位：人）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年間参加者数	1,372	1,191	1,444	1,332	1,160

(2)さいたま緑のトラスト協会ボランティアスタッフの保全活動への参加

10人がボランティアスタッフとして登録し、「浮野の里・葦の会」の活動にあわせて定期的な保全活動を行った。

(3)「浮野の里」公有地管理業務委託

地元の市民活動団体であり、浮野の里を熟知している「浮野の里・葦の会」に管理業務を委託し、展望台の清掃、クヌギ並木遊歩道の除草を行うほか、花菖蒲園内の除草（花菖蒲の育成・管理は当事業には含まれない。）や「ちりじ野」のヨシ刈り払いなど通年の維持管理を行った。

(4)田堀の浚渫工事、多目的トイレの扉改修工事等

経年の落ち葉、枝木等の堆積物により、浮遊物などでその景観が損なわれていたクヌギ並木遊歩道沿いにある田堀の浚渫工事を実施し、貴重な自然環境の保全を図った（浚渫量：115㎥）。また、駐車場敷地内にある公衆トイレ内の多目的トイレの扉改修工事を実施するなど来訪者の利便性の向上を図った。

(5)浮野の里ヨシ焼き

浮野の里の貴重な湿地環境の保全や害虫駆除のため、毎年1月に「浮野の里・葦の会」主催でヨシ焼きを実施しているが、令和5年度は天候不良により中止となった。

(6)絶滅危惧種に指定される「トキソウ」の保護と増殖

トキソウ自生地でのモニタリング調査や保護エリアの管理を行うことで、一定数のトキソウの開花を確認できた。また、トキソウの個体数が減少したときに備え、増殖試験を実施するなど、「トキソウ」の保護を図った。

2　利活用

(1)希少植物「ノウルシ」や花菖蒲園の「ハナショウブ」の周知

市ホームページ等で開花状況等の周知を行ったことにより、多くの来訪者が訪れた。

(2)自然観察会の開催

貴重な自然環境や美しい歴史的景観を形成している「浮野の里」で、埼玉県環境アドバイザーを講師に迎え、小学生を対象に自然観察会を開催し、自然環境に対する意識と理解を深めた。

令和5年7月25日（火）　参加者7人（水生生物観察会）

令和5年7月26日（水）　参加者8人（昆虫観察会）

事 業 名		「風の里」環境保全事業			4212-02
担 当 課		地域振興課（騎西）		現　年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	20,000 円	―
項	01	保健衛生費	最終予算額	17,000 円	―
目	03	環境衛生費	決　算　額	15,995 円	―
事業の目的		見沼代用水（星川）の旧河川敷を利用し、水辺に生息する動物や植物の生息・生育空間を保全する役割を果たす“ビオトープの創出”を目的として整備された「風の里」の保全・活用に努める。			
事業の概要		・種足小学校 3 年生を対象にした自然観察会等の実施 ・施設の維持管理			

事業の実績・成果

・見沼代用水（星川）の旧河川敷を利用し、水辺に生息する動物や植物の生息・生育空間を保全する役割を果す“ビオトープの創出”を目的として整備された「風の里」の保全管理を行った。
貴重な自然環境を利用して、地元小学校の児童を対象に自然観察会を開催し、講師（埼玉県環境アドバイザー）より詳しい説明等を受け、参加者は生物多様性の大切さと地域の自然環境の現状を体感することができた。

・風の里自然観察会　　令和 5 年 9 月 26 日（火）
　　参加者 30 人（種足小学校 3 年生 27 人、教師 3 人）

事業名	オニバス保護活用事業			4212-03
担当課	地域振興課（北川辺）		現　年	前年度からの繰越
款 04	衛生費	当初予算額	464,000 円	―
項 01	保健衛生費	最終予算額	413,000 円	―
目 03	環境衛生費	決　算　額	372,218 円	―
事業の目的	豊かな自然環境を保全するために、絶滅危惧種であるオニバス及び同所に自生する水生植物の保護育成を通じ、地域の活性化を図る。			
事業の概要	オニバスの保護に伴う除草などの一連の作業を地元のオニバス保護管理団体（オニバスの会）に委託し、実施する。 また、オニバスの会及び環境科学国際センター等の協力を得ながら、オニバスの保護育成に努める。			

事業の実績・成果

絶滅危惧種であるオニバスの保護に努めるとともに、その活動を通じ地域の観光資源として活用を図るため、オニバスの会を中心に保護活動及び PR 活動に取り組んだ。

1　オニバスの保護活動

オニバス保護活動団体である「オニバスの会」にオニバス自生地及び試験田等の管理委託を行い、開花時期に照準を合わせ、管理作業及び景観づくりに努めた。

（1）除草作業　　令和 5 年 7 月 10 日、11 日、14 日、28 日、8 月 4 日（計 5 回）

（2）試験田の掘下げ及び除草　　令和 6 年 3 月 14 日

※オニバス開花時期等

発芽確認　令和 5 年 5 月 16 日

開花確認　令和 5 年 7 月 28 日

2　オニバスの PR 活動

（1）オニバス開花時期のガイド活動（チーフガイド 2 人、ボランティアガイド 12 人）

令和 5 年 8 月中の毎週土・日曜日及びお盆期間（14 日（月）・15 日（火））午前 8 時～11 時

（2）オニバスフェスタ

令和 5 年 8 月 12 日（土）午前 7 時～午前 11 時 30 分

（3）開花時期における来訪者数　　（単位：人）

来訪者数等	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
開花時期の来訪者数	1,041	1,079	425	1,078	1,336
うちオニバスフェスタ来訪者数	250	中止	中止	中止	250

オニバスの花

オニバスガイドによる案内

事 業 名		一般廃棄物処理基本計画進行管理事業			4411-02
担 当 課		資源リサイクル課		現　年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	170,000 円	―
項	01	保健衛生費	最終予算額	170,000 円	―
目	03	環境衛生費	決　算　額	0 円	―
事業の目的		循環型社会の構築を目指すため、一般廃棄物の資源化・減量化・適正処理を総合的･計画的に推進する。			
事業の概要		・一般廃棄物処理基本計画の施策を計画的に推進するため、省令第 1 条の 3 の規定により毎年度の事業に係る実施計画を定める。 ・計画の進行管理を行うため、前年度の事業成果を取りまとめ、廃棄物減量等推進審議会に報告し意見を聴く。 （計画期間：令和 4 年度～令和 13 年度）			

事業の実績・成果

・ 令和 5 年 3 月に第 2 次加須市一般廃棄物処理基本計画が策定されて間もない状況にあり、また、ごみ焼却施設基幹改良事業の詳細が定まっていなかったため、廃棄物減量等推進審議会を開催しなかった。

事業名	５Ｒの推進事業				4411-04
担当課	資源リサイクル課		現　年		前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	5,701,000 円	―
項	01	保健衛生費	最終予算額	5,701,000 円	―
目	03	環境衛生費	決　算　額	2,844,877 円	―
事業の目的	市民との協働により「日本一のリサイクルのまち」をめざし、ごみの資源化・減量化を推進するため、ごみの発生抑制・再使用・再生利用等５Ｒを推進し、市民の意識を高める。				
事業の概要	・ごみ処理施設見学会、講座等の開催やホームページ、広報等を活用した市民への啓発を実施する。 ・資源ごみ回収報償金を交付し市民のリサイクル活動を支援する。 ・外国人にも意識を高めてもらうよう、外国語版のごみの分け方・出し方を作成する。				

事業の実績・成果

・　ごみの減量化・資源化を図るため、ごみの発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）、不要なものを買わない・もらわない（リフューズ）、修理しながら長く使い続ける（リペア）の５Ｒの推進に関する啓発活動を行った。

・　外国人の市民に対しても適正な分別を推進するため、「ごみの分け方・出し方」及びごみカレンダーをタガログ語に翻訳した。（現在までに英語・中国語・ポルトガル語・ベトナム語・タガログ語に翻訳済）。

・　小型家電の回収量の増加を図るため、平成30年7月から本庁舎、騎西総合支所、北川辺総合支所、大利根総合支所に回収ボックスを設置し、資源化の周知及び排出機会の拡大を行っている。

・　１人１日あたりのごみ排出量の推移　（単位：g）

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
１人１日当たりのごみ排出量	966	1,010	984	981	949

・　資源ごみ集団回収

（1）回収実績　（単位：kg、本、円）

団体数	紙 類	布 類	生びん	金属類	資源化総量
46 団体	504,320	10,000	0	17,690	532,010

（2）回収量・報償金の推移　（単位：t、円）

年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
回収量	948	517	584	638	532
報償金額	4,738,720	2,584,395	2,921,430	3,188,290	2,660,050

・　小売店におけるリサイクルステーション（資源回収ボックス）設置状況を加須市ホームページに掲載した。

・　外国人に対するごみ分別の啓発

（1）危機管理防災課と連携し、外国人を対象とした防災ミニ講座にてごみの分け方・出し方を説明した。
令和５年８月28日（月）　16:00～　KJS 東京日本語学校にて実施
令和５年９月10日（日）　13:30～　竜興寺にて実施

(2)不動岡高等学校と連携した取り組みによるごみの分け方・出し方の説明方法の考案
①家庭内でのごみの分別のしかたが日本と異なることから、家庭のごみ箱に貼る分別シールをデザインしてもらい、印刷。外国人来庁時に配布。

②言語で伝わらない部分について、動画により説明（動画は作成中）。

事業名	バイオマス資源化事業			4411-05
担当課	資源リサイクル課		現　年	前年度からの繰越
款 04	衛生費	当初予算額	28,054,000 円	―
項 01	保健衛生費	最終予算額	28,054,000 円	―
目 03	環境衛生費	決　算　額	25,015,410 円	―
事業の目的	ごみの資源化・減量化のため、草木類や生ごみ等のバイオマス（生物由来のもの）の資源化を推進する。			
事業の概要	・民間リサイクル業者と連携した草木類の資源化（チップ化して燃料へ）を実施する（緑のリサイクル事業）。 ・生ごみ処理容器等購入費補助金を周知及び交付する。 ・公園の剪定枝などをチップ化、堆肥化、木炭化する。また、体験会などを実施する。			

事業の実績・成果

・ 剪定枝、家具類などの木くず類について、「緑のリサイクル事業」として民間処理施設でチップ化し、発電施設や製紙メーカーなどの工場で使用する電力用ボイラーなどの代替燃料として、資源化を図った。

・ 草木類中間処理委託　（単位：kg、円）

年　度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
資源化量	4,208,260	4,807,860	4,423,220	4,580,510	4,510,450
市委託処理量	1,918,260	2,275,070	2,033,570	2,219,900	2,178,180
委託費	16,798,677	20,071,449	17,895,416	19,583,221	19,209,728

・ 燃やすごみの減容のため、コンポスト・電気式処理機等を購入する方に対して、生ごみ処理容器の購入費を助成した。（平成 24 年 6 月 1 日から補助金額の統一・拡充）

補助上限額：電気式　40,000 円／1 基
コンポスト　4,000 円／1 基

・ 生ごみ処理容器購入費補助金　（単位：基、円）

機種	基数	補助金額
コンポスト	50	188,744
電気式処理機	71	2,798,723
計	121	2,987,467

・ 公園の管理作業で発生する剪定枝や枯葉などの資源を再利用するとともに、自然への理解、環境への認識深めるため、炭焼き体験会を実施した。

事業名	食べきりかぞ・マイバッグ等推進事業			4411-06
担当課	資源リサイクル課		現　年	前年度からの繰越
款 04	衛生費	当初予算額	24,000円	―
項 01	保健衛生費	最終予算額	24,000円	―
目 03	環境衛生費	決　算　額	0円	―
事業の目的	食品ロス及びプラスチックごみを削減させ、ごみの資源化・減量化を推進するとともに、世界的な問題となっている海洋汚染の防止等を図る。			
事業の概要	・広報紙、ＨＰ、チラシ等により啓発活動を実施する。 ・食品ロス削減のため、食べきりかぞ協力店事業を実施する。 ・プラスチックごみ削減のため、マイバック・マイボトル運動を実施する。 ・市役所内においても、プラスチック削減運動（マイバッグ・マイボトル運動）を実施する。			

事業の実績・成果

本来食べられるのに廃棄されてしまう食品ロスを削減するため、市民への啓発のほか、来店者からの希望する量のメニューの導入や食べ残しの削減の対応などの協力を行う「食べきりかぞ」協力店の登録やＰＲを進め、ごみの減量化を図った。また、海洋プラスチック汚染が問題視されているなか、プラスチックごみの排出抑制のため、令和２年７月からのレジ袋有料化に伴い、マイバッグの利用推進を図った。

1　プラスチックごみの排出抑制、削減の取組み

(1) 市民向けにマイバッグの利用促進及びＰＲ（市内公共施設にポスター掲示、チラシを配布）

(2) 市役所内において、マイボトル・マイバッグ運動を推進（令和3年1月4日から）

2　加須市マイボトル利用推進キャッチフレーズ等募集

マイボトルの利用をさらに促進させるため、マイボトルの利用のきっかけとなることや継続して利用を続けることを目的として、令和4年度にキャッチフレーズ及びロゴマークを募集し、応募作品から選考された、各最優秀作品をシール化し、ごみカレンダー、ごみの分け方・出し方等の市刊行物にも掲載し、マイボトル利用推進を図った。

加須市マイボトル利用推進シールデザイン

3　食べきりかぞ協力店事業

生ごみの減量や、食品ロスの削減に向けた下記の取組を1つでも実践する店舗を、「『食べきり“かぞ”』協力店」として登録し、その取組をホームページにて周知し、協力店への呼びかけを継続した。

取組実践項目

(1) 小盛、ハーフサイズメニュー等の設定

(2) 来店者からの要望に応じた量の調整

(3) 食べ残し削減の呼びかけ

例：宴会での食べきりの呼びかけ、注文受付時に適量注文の呼びかけ、食べきり協力店である旨の呼びかけ等

(4) 量り売り、ばら売り、少量パック等による販売

(5) ポスター等の掲示による啓発活動の実施

(6) その他生ごみの減量・食品ロスの削減につながる取組の実施

（単位：店）

年　度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
登録店舗数	47	47	57	57	57

事業名	リサイクル協働事業			4411-07
担当課	資源リサイクル課		現　年	前年度からの繰越
款 04	衛生費	当初予算額	29,320,000円	―
項 01	保健衛生費	最終予算額	29,320,000円	―
目 03	環境衛生費	決　算　額	23,589,895円	―
事業の目的	ごみの資源化・減量化を推進するため、ごみの分別や集積所の管理等について、地区リサイクル推進協力会を中心とした市民との協働を進める。			
事業の概要	・リサイクル推進協力会連絡会・役員会における地域間の情報共有、各地域協力会で実施する研修実施、各地区のごみ収納かご、カラスネット購入の支援を行う。 ・市内の地区協力会におけるごみ集積所管理等のリサイクル推進員の活動を支援する。 ・ごみ集積所整備に対する支援を行う。			

事業の実績・成果

「日本一のリサイクルのまち」を目指し、ごみの分別・収集体制の統一を機に設立した市民団体であるリサイクル推進協力会を多方面から支援し、市民と行政の協働によるごみの減量化と資源化を図った。

1 ごみ集積所整備の支援　10件　668,097円
ごみの集積所の新設、改修等について、各地区のリサイクル協力会に補助金を交付した。

2 リサイクル推進協力会への支援
(1)各地域リサイクル推進協力会及び各地区リサイクル推進協力会交付金を交付した。

（単位：地区、円）

地　　域	地区協力会数	交付金額
加須地域リサイクル推進協力会	75	15,101,321
騎西地域リサイクル推進協力会	48	3,947,907
北川辺地域リサイクル推進協力会	19	969,303
大利根地域リサイクル推進協力会	37	2,903,267
合　　計	179	22,921,798

(2)ごみ集積所の適正管理・不法投棄対応等に係る現地確認、指導等を行った。

3　地域リサイクル推進協力会・リサイクル推進協力会連絡会の運営支援
(1)リサイクル推進員研修の実施
各地域リサイクル推進協力会長の判断において、リサイクル推進員研修会を実施し、リサイクル推進員の知識習得を図り、各地区リサイクル推進協力会におけるごみの排出を円滑にした。

（単位：人）

地　　域	実施日	推進員人数	参加者数
加須地域リサイクル推進協力会	令和5年10月16日、17日	379	120
騎西地域リサイクル推進協力会	令和5年9月29日	219	33
北川辺地域リサイクル推進協力会	マニュアル送付による実施	75	75
大利根地域リサイクル推進協力会	令和5年9月2日	247	60
合　　計		919	288

(2)加須市リサイクル推進協力会連絡会及び各地域リサイクル推進協力会役員会の開催
加須市リサイクル推進協力会連絡会及び各地域リサイクル推進協力会役員会を開催し、情報提供及び課題解決を図り、各協力会の問題の解決方法を協議した。

事 業 名		資源物再生処理事業			4411-08
担 当 課		資源リサイクル課		現　年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	192,604,000 円	―
項	01	保健衛生費	最終予算額	192,604,000 円	―
目	03	環境衛生費	決　算　額	173,229,800 円	―
事業の目的		循環型社会の構築を図るため、ごみの資源化・減量化を推進する。			
事業の概要		・スチール缶、アルミ缶、飲食用びん、ペットボトル、プラスチック類・ゴム製品、紙・布類、小型家電、布団の資源化を図る。			

事業の実績・成果

・ 資源ごみ等のリサイクルを行うとともに、容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律に基づき、びん類・ペットボトルの再商品化を図り、ごみの資源化・減量化を推進した。

・ リサイクル率の推移　（単位：%）

年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
リサイクル率	37.1	38.4	37.4	37.7	37.6

※令和 5 年度までの目標値 42.5%

・ 分別収集された資源ごみや焼却後の磁性物、クリーンセンターで分別した小型家電や布団、硬質プラスチック、粗大ごみ処理施設での破砕処理後の金属類などを再生事業者に売払った。

・ 再生資源売払代金（歳入）　（単位：kg、円）

年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
資源化量	3,744,929	4,071,482	3,839,213	3,567,005	3,332,393
売払代金	17,930,696	16,418,037	39,976,016	42,910,707	39,427,958

・ 容器包装リサイクル法に係る拠出金（歳入）
　有償入札拠出金（ペットボトル）　17,553,774 円

・ 資源ごみの中間処理の概要　（単位：kg、円）

品　目	委託事業者	処理量	委託料
びん類	(株)ウィズ ウェイスト ジャパン	106,460	3,864,498
びん類	(株)山口商店	342,840	8,673,852
びん類	三栄ガラス(株)	181,680	221,045
プラスチック類 ゴム製品	(株)ダイヤ整環	2,163,840	114,250,752
プラスチック類 ゴム製品	(株)ウィズ ウェイスト ジャパン	627,080	35,731,015
ペットボトル	(公社)加須市 シルバー人材センター	202,652	6,476,772

事 業 名	ＰＣＢ廃棄物適正処理推進事業			4412-06
担 当 課	環境政策課		現　年	前年度からの繰越
款　04	衛生費	当初予算額	3,094,000 円	―
項　01	保健衛生費	最終予算額	3,444,000 円	―
目　03	環境衛生費	決　算　額	3,195,440 円	―
事業の目的	PCB 特措法に基づく適正な PCB 廃棄物等の保管・処理を実施する。			
事業の概要	市の保有する PCB 廃棄物の保有状況調査を適宜実施し、保管及び処分に係る計画・スケジュールを作成する。 また、当該計画等に基づき、各保有課と調整のうえ、法令に定める適正な保管・処分を計画的・効率的に実施する。			

事業の実績・成果

1　PCB 廃棄物の適正保管及び処分

(1) 低濃度 PCB 廃棄物の処分

7 施設で変圧器 14 基、コンデンサー1 基、その他汚染物について適正に処理を行った。

（単位：基）

施設名	廃棄物の種類	数量
加須クリーンセンター	変圧器	1
加須市立水深小学校	変圧器	1
加須市立大越小学校	変圧器	3
	コンデンサー	1
加須市立大桑小学校	変圧器	2
加須市立樋遣川小学校	変圧器	3
田ケ谷総合センター	変圧器	4
	汚染物 （分析サンプル等）	―
旧加須市老人福祉センター不老荘	汚染物 （分析サンプル等）	―

(2) PCB 含有疑いのある PCB 廃棄物の濃度分析

PCB 含有の疑いがあった PCB 廃棄物について、濃度分析を実施した結果、新たに 1 施設でコンデンサー3 基の低濃度 PCB の含有を確認した。

（単位：基）

施設名	廃棄物の種類	数量
大利根総合支所	コンデンサー	3

(3) PCB 含有蛍光灯安定器の適正保管

これまで処分方法が未確立であった特定の製造元・型式の PCB 含有蛍光灯安定器について、国より処分方法が示され、早期処分に向けて使用中の蛍光灯の入替工事を実施し、適正に保管を行った。

（単位：基）

施設名	廃棄物の種類	数量
志多見コミュニティセンター	蛍光灯安定器	6

2　特別管理産業廃棄物管理責任者の設置

(1)新たに PCB 廃棄物の保管が必要となった施設や職員の人事異動等により特別管理産業廃棄物管理責任者が不在となった施設等の職員が、公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センターが主催する講習会を受講し、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を取得した。

受講者：2 名

事 業 名		不法投棄防止事業			4433-04
担 当 課		資源リサイクル課		現　年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	1,230,000 円	―
項	01	保健衛生費	最終予算額	1,230,000 円	―
目	03	環境衛生費	決　算　額	997,877 円	―
事業の目的		地域の環境美化及び生活環境の保全を図るため、ごみの不法投棄を防止する。			
事業の概要		・関係課との合同パトロールを行い、ごみの不法投棄を防止する。 ・希望する市民へ看板を配布し、民地への不法投棄防止を支援する。 ・集積所への不法投棄ごみのうち、タイヤなどの処理困難物を回収し適正に処理する。 ・集積所への不法投棄防止対策を検討する。			

事業の実績・成果

市民からの情報提供や日々の不法投棄防止パトロールにより、ごみ集積所の不適正排出、道路・河川等の不法投棄によるごみを回収し、処理困難物の適正処理を行い、生活環境の保全を図った。

また、不法投棄防止看板を作製し、希望する市民に配布した。

1　不法投棄処理困難物処理　（単位：kg、円）

委託先	処理困難物	処理量	委託料
(株)クワバラ・パンぷキン	ﾀｲﾔ･ｿﾌｧｰ･ｺﾝｸﾘｰﾄ･消火器等	5,960	47,841
(株)ダイヤ整環	ﾀｲﾔ･ﾏｯﾄﾚｽ･ｺﾝｸﾘｰﾄ等	11,860	154,180
(財) 家電製品協会 ((有)ヤマトヨ商店の運搬料含む)	特定家庭用機器	－	285,250
リバー(株)	フロン回収作業費等	－	10,106
合計		11,590	497,377

2　不法投棄防止看板等の作成　（単位：枚及び本、円）

作成物	作成数	購入費
不法投棄防止看板	140	415,800
看板取付用支柱	70	84,700
合計	－	500,500

事業名	生活環境緊急対策事業			4433-06
担当課	環境政策課		現　年	前年度からの繰越
款 04	衛生費	当初予算額	242,000円	―
項 01	保健衛生費	最終予算額	242,000円	―
目 03	環境衛生費	決　算　額	0円	―
事業の目的	市民の生活環境の保全を図るため、緊急性を要する事故・災害の発生時において、環境衛生面での迅速な対応を行う。			
事業の概要	油の流出などの水質事故への迅速な対応や床下浸水被害家屋等への消毒の迅速な実施などの生活環境上の緊急時の対応を行う。また、スズメ蜂などの害虫駆除業者の市民への紹介を行う。			

事業の実績・成果

1　市民からの蜂駆除に関する問合せ・相談
　駆除事業者等の紹介　131件

2　集中豪雨や台風の影響による床下浸水家屋の床下消毒の実施
　令和5年度浸水家屋消毒件数　0件

事業名	広域利根斎場組合運営事業			5315-02
担当課	市民課		現　年	前年度からの繰越
款 04	衛生費	当初予算額	49,469,000円	―
項 01	保健衛生費	最終予算額	51,211,000円	―
目 03	環境衛生費	決　算　額	51,211,000円	―
事業の目的	生活環境の保全を図るため、「広域利根斎場」の円滑な管理運営を行う。			
事業の概要	火葬業務等を行う斎場（メモリアルトネ）の管理運営を行うため、運営費負担金を支出する。 【構成市】：加須市、久喜市、幸手市、宮代町			

事業の実績・成果

1　広域利根斎場組合の施設の維持管理や運営業務が円滑に行われるよう負担金を交付した。

負担金額の推移　（単位：円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
負担金額	38,371,000	37,887,000	43,176,000	49,570,000	51,211,000
負担金総額	110,000,000	110,000,000	125,000,000	145,000,000	150,135,000

※負担金総額は、久喜市・加須市・幸手市・宮代町の合計

＜参考＞広域利根斎場組合決算額の推移　（単位：円）

決算額	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
歳入	246,105,691	236,123,705	311,083,061	347,269,892	346,754,615
歳出	216,775,465	208,424,717	269,352,481	321,243,079	302,848,675

2　広域利根斎場組合施設使用状況

広域利根斎場組合施設利用の推移（加須市分）　（単位：件）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
火葬室	1,178	1,188	1,257	1,364	1,342
待合室	1,536	1,321	1,390	1,306	1,332
葬祭場	601	492	444	462	450
霊安室	268	171	161	176	186
小動物	1,171	1,147	1,119	1,021	1,161

※令和4年度から1日の火葬受入件数を2件増やし、16件/日から18件/日に増枠

事 業 名		加須保健センター管理運営事業			1111-28
担 当 課		いきいき健康長寿課		現　年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	19,653,000 円	―
項	01	保健衛生費	最終予算額	21,093,000 円	―
目	04	保健センター費	決　算　額	19,462,608 円	―
事業の目的		健康づくりの拠点である加須保健センターの施設設備を適切に維持管理するとともに有効活用を図る。			
事業の概要		老朽化の進んでいる加須保健センターの施設、電気、機械設備等を計画的に維持管理・修繕する。			

事業の実績・成果

消防設備点検、自家用電気工作物管理、清掃業務、冷暖房保守及び警備等の委託による管理運営を行うとともに、コピー、冷暖房灯油、電気、ガス、水道・下水道及び電話等の適正管理に努めた。

加須保健センターにおいて、下表の修繕及び工事を実施した。

（単位：円）

NO.	件名	執行済額
1	警備センサー機器修繕	49,390
2	正面入り口及び第２駐車場看板修繕	229,900
3	機能訓練室照明修繕	432,300
4	雨漏り修繕	707,300
5	天井等修繕	572,000
6	栄養指導室等照明修繕	255,750
7	栄養指導室シングルレバー混合水栓交換等修繕	58,300
8	空調設備設置工事	7,018,000
9	既設床置ファンコイルユニット撤去等工事	297,000
合　　計		9,619,940

事 業 名		健康ふれあいセンター管理運営事業			1113-19
担 当 課		資源リサイクル課		現　年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	55,302,000 円	―
項	01	保健衛生費	最終予算額	55,287,000 円	―
目	05	健康ふれあいセンター費	決　算　額	53,226,999 円	―
事業の目的		市民の健康の保持及び増進、体力の向上並びに住民相互のふれあいと交流の場としての施設の管理運営を行う。			
事業の概要		・指定管理者による施設の管理・運営を実施し、衛生管理や設備の点検及び修繕を行う。 ・経営安定化のための集客事業を実施する。			

事業の実績・成果

・健康ふれあいセンターの管理運営を指定管理者の㈱クリーン工房に委託し、民間のノウハウを活用した運営を行った。

※指定管理の期間は令和 6 年 4 月～令和 8 年 3 月までの 3 年間

1　入館者数

入館者数は、80,512 人で前年比 122.2%となった。

（単位：日、人）

年度	営業日数	入館者数			
		大人	子供（小学生）	幼児（小学校就学前）	合　計
令和元年度	293	65,959	3,827	2,694	72,480
令和 2 年度	241	35,398	1,512	1,135	38,045
令和 3 年度	310	52,269	2,073	1,641	55,983
令和 4 年度	310	60,717	2,946	2,199	65,862
令和 5 年度	311	73,953	3,753	2,806	80,512

2　施設利用料金及び売上金（指定管理者の収入）

売上げは、54,157,990 円で前年比 123.1%となった。

（単位：円）

年　度	施設利用料金	売上金	合　計
令和元年度	26,076,250	28,166,174	54,242,424
令和 2 年度	14,881,000	11,142,441	26,023,441
令和 3 年度	21,839,000	15,133,682	36,972,682
令和 4 年度	25,704,200	18,280,159	43,984,359
令和 5 年度	31,859,000	22,298,990	54,157,990

3　施設修繕の状況、備品購入等

＜施設の修繕＞

・浄化槽原水ポンプ№1 交換修繕
・熱源制御デジタル指示調節計交換修繕
・ポンプ機器等交換修繕
・排水管修繕
・温水往還ポンプ配管修繕
・排水管交換修繕
・排水ポンプ№2 交換修繕

＜備品購入＞

・スポットクーラー購入
・消火器購入

事 業 名		加須クリーンセンター管理運営事業			4412-01
担 当 課		資源リサイクル課		現　年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	14,096,000 円	―
項	02	清掃費	最終予算額	14,621,002 円	―
目	01	清掃総務費	決　算　額	14,316,356 円	―
事業の目的		処理施設の適切な管理運営のために、施設の安全管理及び周辺環境美化を推進する。			
事業の概要		・処理施設の安全確保及び安定稼働を確保するため円滑な施設運営を行う。 ・周辺地域の生活環境の保全に配慮し、周辺住民環境対策や、場内の環境美化を推進する。 ・施設見学会で見学者に施設概要等を説明し、ごみの資源化・減量化の PR を図る。			

事業の実績・成果

・加須クリーンセンターの安全確保及び安定稼働を図るため、施設の保守点検や場内環境整備を行い、円滑な運営に努めた結果、適切な管理運営が行えた。

また、周辺環境対策として地元周辺整備対策協議会へ補助金を交付した。

会員の交流会として、グラウンドゴルフ大会や視察研修を行い、視察研修では、ごみ焼却灰の資源化処理施設において、焼却灰の資源化等について説明を受けることにより、地域住民の環境問題に関する認識を深めてもらい、施設への理解を得ることで安全かつ安定した施設運営が行えた。

1　円滑な受付、誘導

受付を会計年度任用職員、混雑時の誘導を職員及び委託事業者社員が担当し、円滑な業務を行った。

2　適切な施設管理

(1) 施設保守点検　・施設警備保守
　　・自動ドア保守点検

(2) 場内環境美化　・場内樹木剪定委託
　　・場内清掃業務委託

3　周辺環境対策

周辺整備対策協議会の会員の方が、周辺ほ場の整地等を行うなど、周辺環境の向上を図った。

事 業 名		大利根クリーンセンター管理運営事業			4412-02
担 当 課		資源リサイクル課		現　年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	9,299,000 円	―
項	02	清掃費	最終予算額	9,286,000 円	―
目	01	清掃総務費	決　算　額	7,822,233 円	―
事業の目的		処理施設の適切な管理運営のために、ごみの適正処理及び周辺環境美化を推進する。			
事業の概要		・処理施設の安全確保及び安定稼働を確保するため円滑な施設運営を行う。 ・周辺地域の生活環境の保全に配慮し、周辺住民環境対策や、場内の環境美化を推進する。 ・施設見学会で見学者に施設概要等を説明し、ごみの資源化・減量化の PR を図る（中止）。			

事業の実績・成果

大利根クリーンセンターの安全確保及び安定稼働を図るため、施設の保守点検や場内環境整備を行い、円滑な運営に努めた結果、適切な管理運営が行えた。

また、周辺環境対策として地元環境対策協議会へ補助金を交付した。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止になっていた、地元環境対策協議会の懇談会を 4 年ぶりに開催した。さらに、大利根クリーンセンターの事業報告書を協議会に報告し、地域住民の環境問題に関する認識を深めてもらい、施設への理解を得ることで安全かつ安定した施設運営が行えた。

1　円滑な受付、誘導

受付を臨時職員、混雑時の誘導を職員及び委託事業者社員が担当し、円滑な業務を行った。

2　適切な施設管理

(1)　施設保守点検　・自家用電気工作物保安管理
　　・消防設備点検
　　・場内除草業務委託
　　・浄化槽保守点検

(2)　場内環境美化　・場内樹木消毒
　　・高木剪定を委託

3　周辺環境対策

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となっていた住民懇談会を 4 年ぶりに開催した。

事業名	ごみ収集事業				4411-03
担当課	資源リサイクル課			現　年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	541,414,000円	―
項	02	清掃費	最終予算額	541,315,998円	―
目	02	じん芥処理費	決　算　額	531,052,280円	―

事業の目的	生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るとともに、ごみの資源化・減量化を推進するため、ごみ集積所に出されたごみを適正に収集運搬する。
事業の概要	・燃やすごみ、燃やさないごみ、粗大ごみ、資源ごみ等を適正に収集運搬する。 ・ごみカレンダー等を配布し、ごみ収集日程やごみの出し方などを周知徹底する。 ・指定ごみ袋取扱店と連携した指定ごみ袋の安定供給とごみ処理手数料の円滑な徴収･収納を実施する。

事業の実績・成果

ごみに出されたごみを適正に収集運搬するとともに、指定ごみ袋制度、粗大ごみの戸別収集を実施し、生活環境の保全等を図った。

1　燃やすごみ、燃やさないごみ、粗大ごみ、資源ごみ等収集運搬業務委託　439,093,524円

市民が集積所に出した燃やすごみ、燃やさないごみ、資源ごみ等の収集運搬業務及び粗大ごみ戸別収集業務を委託し収集を行った。

○収集品目別・地域別委託料　（単位：円）

<table>
<tr><th>収集品目</th><th>加須</th><th colspan="2">騎西</th><th>北川辺･大利根</th></tr>
<tr><td>燃やすごみ</td><td rowspan="2">125,451,360</td><td>A</td><td rowspan="6">A：42,834,000
B：39,610,560</td><td>39,984,384</td></tr>
<tr><td>プラスチック類･ゴム製品</td><td>B</td><td rowspan="4">33,527,340</td></tr>
<tr><td>燃やさないごみ</td><td rowspan="3">91,489,200</td><td rowspan="3">A</td></tr>
<tr><td>危険ごみ</td></tr>
<tr><td>粗大ごみ</td></tr>
<tr><td>びん･缶･ペットボトル</td><td rowspan="2">B</td><td>28,710,000</td></tr>
<tr><td>紙・布類</td><td>20,590,680</td><td>16,896,000</td></tr>
</table>

※集積所のごみ収集を12月30日まで、また、祝日も収集を実施することにより、適切な市民サービスが継続されている。

販売冊数(冊)		手数料徴収額(円)	徴収委託料(円)	登録店舗数(店)
燃やすごみ　45ℓ	227,889	56,972,250	19,656,021	190
燃やすごみ　30ℓ	148,967	25,324,390		
燃やすごみ　20ℓ	97,941	10,773,510		
燃やすごみ　15ℓ	92,162	6,451,340		
燃やさないごみ　45ℓ	13,280	3,320,000		
燃やさないごみ　30ℓ	6,228	1,058,760		
燃やさないごみ　20ℓ	4,859	534,490		
燃やさないごみ　10ℓ	4,311	215,550		
合計	595,637	104,650,290		

・指定ごみ袋製造・配送業務委託料　56,486,925円
・指定ごみ袋受注及びごみ処理手数料出納業務委託料　6,402,000円

3　犬猫等死体処理業務委託　963,600円

市の管理する道路等の犬や猫等の動物の死体処理を適正に行った。（処理件数 75件）

4　ごみカレンダー作成

令和6年度版を、令和6年3月に全戸配布した。

事業名	加須クリーンセンターごみ処理事業			4412-03
担当課	資源リサイクル課		現　年	前年度からの繰越
款 04	衛生費	当初予算額	771,009,000 円	―
項 02	清掃費	最終予算額	770,185,286 円	―
目 02	じん芥処理費	決　算　額	699,362,992 円	―

事業の目的	加須・騎西地域等から排出されるごみの中間処理及び最終処分を安定して行うために、処理施設の安定稼働を目指す。
事業の概要	・燃やすごみ、燃やさないごみ、粗大ごみ、ペットボトル等の中間処理・処分を実施する。 ・ごみ焼却施設、粗大ごみ処理施設、ペットボトル減容施設の運転及び維持管理を行う。 ・直接搬入ごみの分別指導を行う。 ・最終処分場を維持管理する。 ・環境調査を実施する。 ・リサイクルフェアを実施する。

事業の実績・成果

処理施設を適切に管理・稼働させたことにより、加須・騎西地域等から排出されるごみの処理等を、安定して行うことができた。

1　燃やすごみの処理

○燃やすごみ搬入量　（単位：t）

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
22,473	22,686	22,184	22,319	21,663

燃やすごみの中から、草木類51t、紙類65t、布団類9t、布類7t を分別し資源化した。

2　燃やさないごみ、粗大ごみ、危険ごみの処理

○燃やさないごみ搬入量（危険ごみ含む）　（単位：t）

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1,765	2,191	2,013	1,882	1,841

○粗大ごみ搬入量　（単位：t）

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
106	132	123	120	109

燃やさないごみ及び粗大ごみの中から、家具類377t、小型家電177t、金属類399ｔ、プラスチック類115t、硬質プラスチック38t、びん類37t、アルミ缶6t、スチール缶8t を分別し資源化した。また、危険ごみの中から、乾電池33t、蛍光管8t を資源化した。

3　ペットボトルの処理

○ペットボトル処理量　（単位：t）

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
210	212	207	211	237

処理量に、ペットボトルのラベル、キャップを含む。

4　焼却灰等の状況

○焼却灰等の処分の状況　（単位：t、円）

焼却灰発生量(ばいじん含む)	処分の内容		
	資源化	数量	委託料
	ﾂﾈｲｼｶﾑﾃｯｸｽ㈱	2,298	85,963,152
	埋立処分	数量	委託料
3,193	㈱ｳｲｽﾞｳｪｲｽﾄｼﾞｬﾊﾟﾝ	583	20,197,484
	ｸﾞﾘｰﾝﾌｨﾙ小坂（株）	238	9,182,225
	埼玉県環境整備センター	74	2,110,680

※委託料に運搬費を含む。

○不燃残渣の処分の状況　（単位：t、円）

不燃残渣発生量	処分の内容		
63	埋立処分	数量	委託料
	埼玉県環境整備ｾﾝﾀｰ	63	1,741,160

※委託料に運搬費を含む。

○自己最終処分場の状況　（単位：㎥）

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
埋立量	0	0	0	0	0
残余容量	11,151	11,151	11,151	11,151	11,151

5　施設修繕の状況

＜ごみ焼却施設＞

・1号・2号焼却炉耐火物及び火格子取替修繕

・空気圧縮機整備修繕

・1号・2号炉ろ過式集じん器修繕

＜粗大ごみ施設＞

・粗大ごみ処理施設修繕

＜浸出水処理施設＞

・浸出水処理施設曝気ブロアＡ号他修繕

6　リサイクルフェアの実施

粗大ごみや燃やさないごみとしてクリーンセンターに搬入された家具等について、希望する市民に無償譲渡し、ごみの再使用（リユース）を促進する「リサイクルフェア」を、7月と3月に開催した。

○リサイクルフェア及びイベント回収の状況

	第28回開催	第30回開催
開 催 日	R5.7.6(木)～8(土)	R6.3.14(木)～16(土)
開催場所	リサイクル品展示会場	リサイクル品展示会場
換算重量	721.0kg	1,045.0kg
来場者数	556人	843人
引渡点数	64点	56点
バッテリー回収	14個	43個
パソコン回収	25台	80台
携帯電話回収	27台	79台

事業名	大利根クリーンセンターごみ処理事業			4412-04
担当課	資源リサイクル課		現　年	前年度からの繰越
款 04	衛生費	当初予算額	240,481,000 円	4,154,000 円
項 02	清掃費	最終予算額	252,813,714 円	4,154,000 円
目 02	じん芥処理費	決　算　額	219,296,294 円	4,007,300 円
事業の目的	北川辺・大利根地域等から排出されるごみの中間処理及び最終処分を安定して行うために、処理施設の安定稼働を目指す。			
事業の概要	・燃やすごみ等の中間処理・処分を実施する。 ・ごみ焼却施設の運転及び維持管理を行う。 ・直接搬入ごみの分別指導を行う。 ・環境調査を実施する。 ・リサイクルフェアを実施する。			

事業の実績・成果

・処理施設を適切に管理・稼働させたことにより、北川辺・大利根地域から排出されるごみの処理等を安定して行うことができた。

1　燃やすごみの処理

○燃やすごみ搬入量　（単位：t）

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
5,808	6,036	6,050	6,064	5,992

燃やすごみの中から、草木類962t、紙類44t、布類2t、布団1t を分別し資源化した。

2　燃やさないごみ、粗大ごみの処理

○燃やさないごみ搬入量（危険ごみ含む）　（単位：t）

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
159	160	160	174	158

○粗大ごみ搬入量　（単位：t）

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
228	303	250	176	176

燃やさないごみ及び粗大ごみの中から、家具類227t、小型家電30t、金属類47t、プラスチック類127t、硬質プラスチック8t、びん類6t、アルミ缶1t、スチール缶1t、乾電池1t、蛍光管1t を分別し資源化した。

3　焼却灰等の状況

○焼却灰等の処分の状況　（単位：t、円）

焼却灰発生量(ばいじん含む)	処分の内容		
	再資源化	数量	委託料
	ﾂﾈｲｼｶﾑﾃｯｸｽ㈱	404.53	12,459,524
602	ﾒﾙﾃｯｸ㈱	51.98	2,744,544
	埋立処分	数量	委託料
	㈱ｳｲｽﾞｳｪｲｽﾄｼﾞｬﾊﾟﾝ	145.54	6,243,666

※委託料に運搬費を含む。

4　施設修繕の状況

・ごみ供給ホッパー内外鋼材取替修繕：内外鋼材の腐食個所の修繕
・ホッパーゲート修繕：腐食個所の修繕
・ごみ焼却炉内耐火物修繕：焼却炉の燃焼側壁、乾燥天井ノーズ部、ホッパーガイド取替等の修繕
・集塵機バグフィルター（2号炉）交換修繕：集塵機バグフィルター（2号炉・240本）の取替修繕
・水噴霧用コンプレッサー取替修繕：水噴霧用コンプレッサー1台の取替修繕
・汚泥引抜ポンプ及び消石灰用除湿器取替修繕：汚泥引抜ポンプ1台及び消石灰用除湿器1台の取替修繕
・灰コンベア取替緊急修繕：灰コンベアの部品交換工事（R5.9補正）

5　リサイクルフェアの実施

粗大ごみや燃やさないごみとしてクリーンセンターに搬入された家具等について、希望する市民に無償譲渡し、ごみの再使用（リユース）を促進する「リサイクルフェア」を、11月に開催した。

○リサイクルフェア及びイベント回収の状況

	第29回開催
開 催 日	R5.11.16(木)～18(土)
開催場所	リサイクル品展示会場
換算重量	1,083.0kg
来場者数	592人
引渡点数	42点
バッテリー回収	24個
パソコン回収	37台
携帯電話回収	19台

【前年度からの繰越事業（繰越明許）】 4,154,000円

・前年度からの繰越事業の内容

受電盤修繕（4,007,300円）

・令和4年度から令和5年度へ繰り越す理由

令和5年3月24日完成予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い工事材料の納品遅れが発生したことにより年度内の完成が困難となったため。

事 業 名		ごみ焼却施設基幹改良事業			4412-07
担 当 課		資源リサイクル課		現　年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	2,552,000 円	―
項	02	清掃費	最終予算額	2,552,000 円	―
目	02	じん芥処理費	決　算　額	2,530,000 円	―
事業の目的		加須クリーンセンターのごみ焼却施設は稼働か 25 年が経過し、施設の老朽化が進行している。このため、令和 9 年度及び令和 10 年度に実施を予定している加須クリーンセンターごみ焼却施設の基幹改良工事に向けた準備として、各計画の策定及び調査等を行う。			
事業の概要		基幹改良工事に先立ち、改良工事に向けた準備のため循環型社会形成推進地域計画を策定する。			

事業の実績・成果

・加須クリーンセンターのごみ焼却施設は、令和 9 年度から令和 10 年度に基幹改良工事を行う予定としており、その財源として、循環型社会形成推進交付金の活用を見込み、当該交付金の申請の際に、循環型社会形成推進地域計画を策定することが求められている。

当該計画の内容は、加須市の廃棄物処理や資源物再生処理の方向性を示すものであり、３Ｒに関する明確な目標設定をし、循環型社会の形成を図ることを目的としている。

令和 6 年 4 月 1 日から令和 13 年 3 月 31 日を計画期間とする、加須市循環型社会形成推進地域計画を策定し、環境省に提出した。

令和 6 年度には、同様の理由から、「廃棄物処理施設長寿命化総合計画」を策定する。

〇計画概要

1　地域の概要
2　一般廃棄物の減量化、再生利用の現状と目標
3　一般廃棄物処理施設の現況と更新、廃止、新設の予定
4　生活排水処理の現状と目標
5　浄化槽の整備の状況と更新、廃止、新設の予定

〇策定及び提出

令和 5 年 12 月 6 日　加須市地域循環型社会形成推進地域計画策定
環境大臣宛てに提出

事 業 名		加須クリーンセンターし尿処理事業			4424-03
担 当 課		資源リサイクル課		現　年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	190,169,000 円	―
項	02	清掃費	最終予算額	190,169,000 円	―
目	03	し尿処理費	決　算　額	172,298,557 円	―
事業の目的		河川の浄化を図るため、加須・騎西地域のし尿及び浄化槽汚泥を適正に処理する。			
事業の概要		・浄化槽汚泥及び汲み取りし尿の安定処理を行う。 ・し尿処理施設の運転及び維持管理を実施する。			

事業の実績・成果

処理施設を適切に管理・稼働させたことにより、加須・騎西地域のし尿及び浄化槽汚泥を、安定して処理することができた。

1　し尿及び浄化槽汚泥の処理

〇し尿処理量　（単位：kl）

区分	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
生し尿	714	660	590	635	603
浄化槽汚泥等	18,785	19,611	19,633	20,042	19,661
合計	19,499	20,271	20,223	20,677	20,264

2　焼却灰等の状況

〇焼却灰等の処分の状況　（単位：t、円）

焼却灰発生量(ばいじん含む)	処分の内容		
	再資源化	数量	委託料
59	ﾂﾈｲｼｶﾑﾃｯｸｽ(株)	59	2,217,072

※委託料に運搬費を含む。

3 公衆衛生向上の支援

し尿の適正処理及び悪臭防止を推進するため、し尿収集運搬許可業者 9 社で組織する加須市清掃組合に対し補助金を交付し公衆衛生向上に努めた。

・悪臭防止対策（清掃車から発生する悪臭防止対策）　480,000 円
・し尿処理業務の円滑化対策　180,000 円

4　施設修繕の状況

・し尿処理施設修繕
・スカム破砕ポンプバルブ修繕
・凝縮汚泥引抜ポンプバルブ修繕

事 業 名		大利根クリーンセンターし尿処理事業			4424-04
担 当 課		資源リサイクル課		現　年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	105,567,000 円	9,860,000 円
項	02	清掃費	最終予算額	105,551,000 円	9,860,000 円
目	03	し尿処理費	決　算　額	93,740,781 円	9,420,000 円
事業の目的		河川の浄化を図るため、北川辺・大利根地域のし尿及び浄化槽汚泥を適正に処理する。			
事業の概要		・浄化槽汚泥及び汲み取りし尿の安定処理を行う。 ・し尿処理施設の運転及び維持管理を実施する。			

事業の実績・成果

・処理施設を適切に管理・稼働させたことにより、北川辺・大利根地域のし尿及び浄化槽汚泥を安定して処理することができた。

1　し尿及び浄化槽汚泥の処理

〇し尿処理量　（単位：kl）

区　分	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
生し尿	547	502	521	546	475
浄化槽汚泥等	10,985	11,955	11,587	11,107	11,149
合　計	11,532	12,457	12,108	11,653	11, 624

2　焼却灰等の状況

〇焼却灰等の処分の状況　（単位：t、円）

焼却灰発生量(ばいじん含む)	処分の内容		
	再資源化	数量	委託料
30	ﾂﾈｲｼｶﾑﾃｯｸｽ(株)	30.13	928,004

※委託料に運搬費を含む。

3　施設修繕の状況

・し尿処理施設機械整備修繕工事：硝化槽曝気配管取替工事、希釈水・ろ過原水ポンプ取替工事等

・受水槽付給水ユニット緊急修繕：受水槽付給水ユニット交換修繕

【前年度からの繰越事業（繰越明許）】　9,860,000 円

・前年度からの繰越事業の内容

し尿処理施設機械設備修繕工事（9,420,000 円）

・令和 4 年度から令和 5 年度へ繰り越した理由

令和 5 年 3 月 24 日完成予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い工事材料の納品遅れが発生したことにより年度内の完成が困難となったため。

事 業 名		水道事業会計繰出事業			1343-07
担 当 課		水道課		現　年	前年度からの繰越
款	04	衛生費	当初予算額	0 円	―
項	03	水道費	最終予算額	155,000,000 円	―
目	01	水道費	決　算　額	155,000,000 円	―
事業の目的		電力・ガス・食料品等価格の物価高騰の影響を受けている市民生活及び事業活動の支援として、全世帯及び全事業所（官公庁等除く。）の水道基本料金を免除することにより生じる水道事業会計の減収を補填し、水道事業運営の安定化を図る。			
事業の概要		6 箇月分（令和 5 年 7 月～令和 5 年 10 月の 4 箇月分及び令和 6 年 1 月～2 月の 2 箇月分）の水道基本料金を免除することにより生じる水道事業会計の減収分を繰出金として適正に措置する。			

事業の実績・成果

物価高騰に係る対応（生活者支援）を実施した（巻末参照）。